

**下野市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査
【結果報告書】**

**令和6年3月
下野市**

目 次

はじめに	1
1. 調査概要	3
第1章 就学前児童調査結果	5
1. お子さんご家族の状況について	7
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	11
3. お子さんの保護者の就労状況について	17
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について	24
5. 保育施設探しについて	43
6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	46
7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	52
8. お子さんの病気の際の対応について	59
9. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	62
10. お子さんの小学校入学後の過ごし方について	69
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	86
12. 子育て全般について	89
13. 子育てに関する意識について	91
第2章 小学生児童調査結果	97
1. お子さんご家族の状況について	99
2. お子さんの保護者の就労状況について	104
3. お子さんの放課後の過ごし方について	111
4. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	124
5. 子育て全般について	127
6. 子どもの育ちをめぐる環境について	131
7. 地域における子育てについて	133
8. 子育てに関する意識について	136
9. 子どもの権利について	138
第3章 自由回答	141
1. 就学前児童保護者・自由記入欄意見	143
2. 小学生児童保護者・自由記入欄意見	144
第4章 調査結果のとりまとめ	145
資料編	159

はじめに

1. 調査概要

(1) 調査の目的

市町村においては、子ども・子育て支援法において国が示す基本指針に即して5年を一期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を定めることとされており、その計画の中では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びにそれに対応する提供体制の確保の内容及び実施時期について定めることとされています。

現在、本市においても令和2（2020）年度を始期とする第2期下野市子ども・子育て支援事業計画を基に事業を実施していますが、この計画期間が令和6（2024）年度に終了することから、新たに令和7（2025）年度を始期とした第3期下野市子ども・子育て支援事業計画の策定が必要となります。

本調査は、現在の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の利用状況と今後の利用希望等を把握し、子ども・子育てを取り巻く環境について課題の整理等を行いつつ、第3期計画の策定を行うために必要となる基礎資料を得ることを目的に実施しました。

(2) 実施概要

① 調査対象・方法等

就学前児童保護者	調査対象者	下野市内在住の就学前児童のいる保護者
	調査件数	1,400件（住民基本台帳より無作為抽出）
	調査方法	郵送による配布回収又はWEBアンケート
小学生児童保護者	調査対象者	下野市内在住の小学生児童のいる保護者
	調査件数	600件（市内各小学校の児童数に応じて、住民基本台帳より無作為抽出）
	調査方法	学校を通じて配布回収又はWEBアンケート

② 調査概要

家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業の現状・利用意向など

③ 調査期間

令和5年12月発送・令和6年1月9日締切り

(3) 回収結果

	配布件数	回収件数			回収率
		合計	調査用紙	WEB	
就学前児童保護者	1,400 件	915 件	430 件	485 件	65.4%
小学生児童保護者	600 件	469 件	258 件	211 件	78.2%
総計	2,000 件	1,384 件	688 件	696 件	69.2%

(4) 報告書をみるにあたっての注意点

- ・図表中の「n」は、その設問の有効回答者数を示しています。
- ・図表中の「N」は、その設問の回答総数を示しています。
- ・文中・図表中の「SA」は、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）です。
- ・文中・図表中の「MA」は、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）です。
- ・文中・図表中の「数量回答」は、日数や時間を数値記入で回答したものです。
- ・構成比(%)の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。また、複数回答は構成割合が対象者に対する割合となっているため、合計が100%になりません。
- ・就学前児童の年齢・小学生の学年定義は、ニーズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表の年齢・学年区分により集計を行いました。
- ・グラフ中の数値の表記については、グラフの見易さを考慮して、3.0%未満の数値については記載していない場合があります。

年齢表記	調査時年齢	回答生年月
0歳	0～1歳	令和4（2022）年4月以降
1歳	1～2歳	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
2歳	2～3歳	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
3歳	3～4歳	令和元（2019）年4月～令和2（2020）年3月
4歳	4～5歳	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
5歳	5～6歳	平成29（2017）年4月～平成30（2018）年3月

学年表記	調査時年齢	回答生年月
小学1年生	6～7歳	平成28（2016）年4月～平成29（2017）年3月
小学2年生	7～8歳	平成27（2015）年4月～平成28（2016）年3月
小学3年生	8～9歳	平成26（2014）年4月～平成27（2015）年3月
小学4年生	9～10歳	平成25（2013）年4月～平成26（2014）年3月
小学5年生	10～11歳	平成24（2012）年4月～平成25（2013）年3月
小学6年生	11～12歳	平成23（2011）年4月～平成24（2012）年3月

- ・文中・図表中の「前回調査」とは、平成30年に実施した「下野市子育て支援ニーズ調査」（配布数2,000件、回収率74.7%）のことを指します。
- ・就学前児童保護者調査結果の回収件数は915件で、有効件数は866件となります。
- ・小学生児童保護者調査結果の回収件数は469件で、有効件数は440件となります。

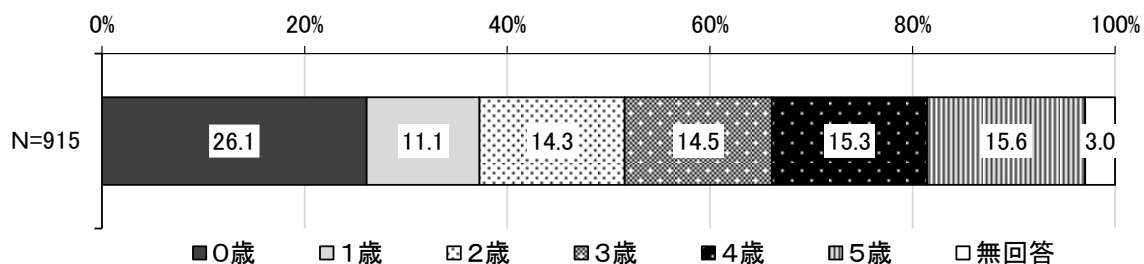
第1章 就学前児童調査結果

1. お子さんご家族の状況について

問1. お子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

年齢は、「0歳」(26.1%)の割合が最も多く、次いで「5歳」(15.6%)、「4歳」(15.3%)となっています。また、「1歳」(11.1%)が最も少ない割合となっています。

【年齢(基準日:令和5年4月1日)】

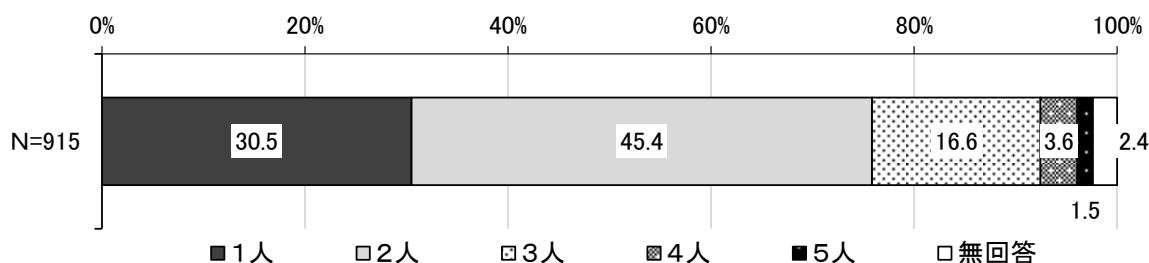


問1-1. 宛名のお子さんを含めて子どもは何人ですか。また末子の方の生年月をご記入ください。(数量回答)

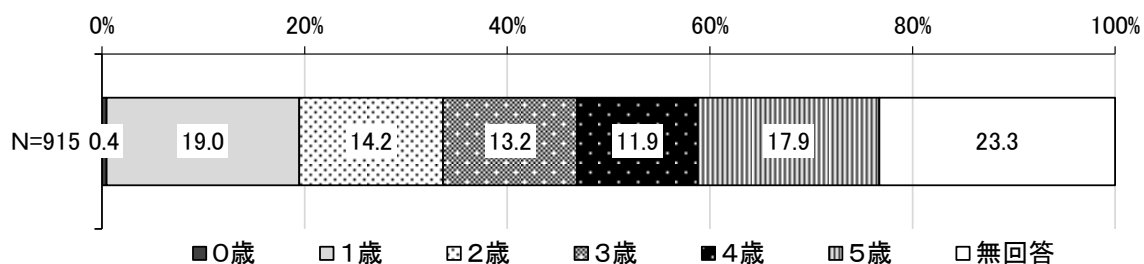
子どもの人数は、「2人」(45.4%)が約半数を占めており、次いで「1人」(30.5%)、「3人」(16.6%)となっています。

末子の年齢は、「1歳」(19.0%)の割合が最も多くなっています。

【子どもの人数】



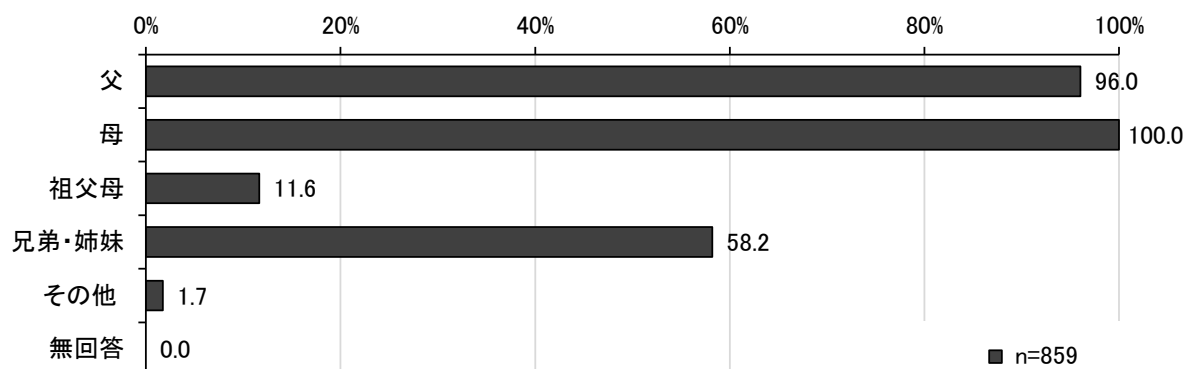
【末子の年齢】



【問1で生年月を回答した方にうかがいます。】

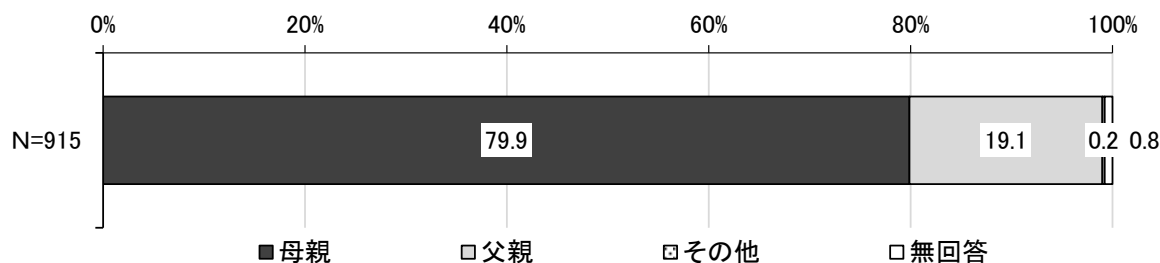
問1-2. 宛名のお子さんと同居している方はどなたですか。(MA)

宛名のお子さんと同居している方は、「母」(100.0%)の割合が最も多く、次いで「父」(96.0%)、「兄弟・姉妹」(58.2%)となっています。また、「祖父母」(11.6%)が最も少ない割合となっています。



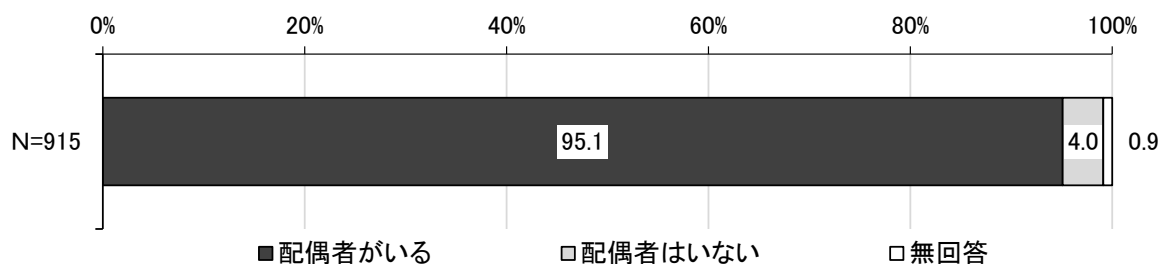
問2. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)

調査回答者は、「母親」が79.9%、「父親」が19.1%となっています。



問3. この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(SA)

調査回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が95.1%、「配偶者はいない」が4.0%となっています。



問 4. お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（S A）

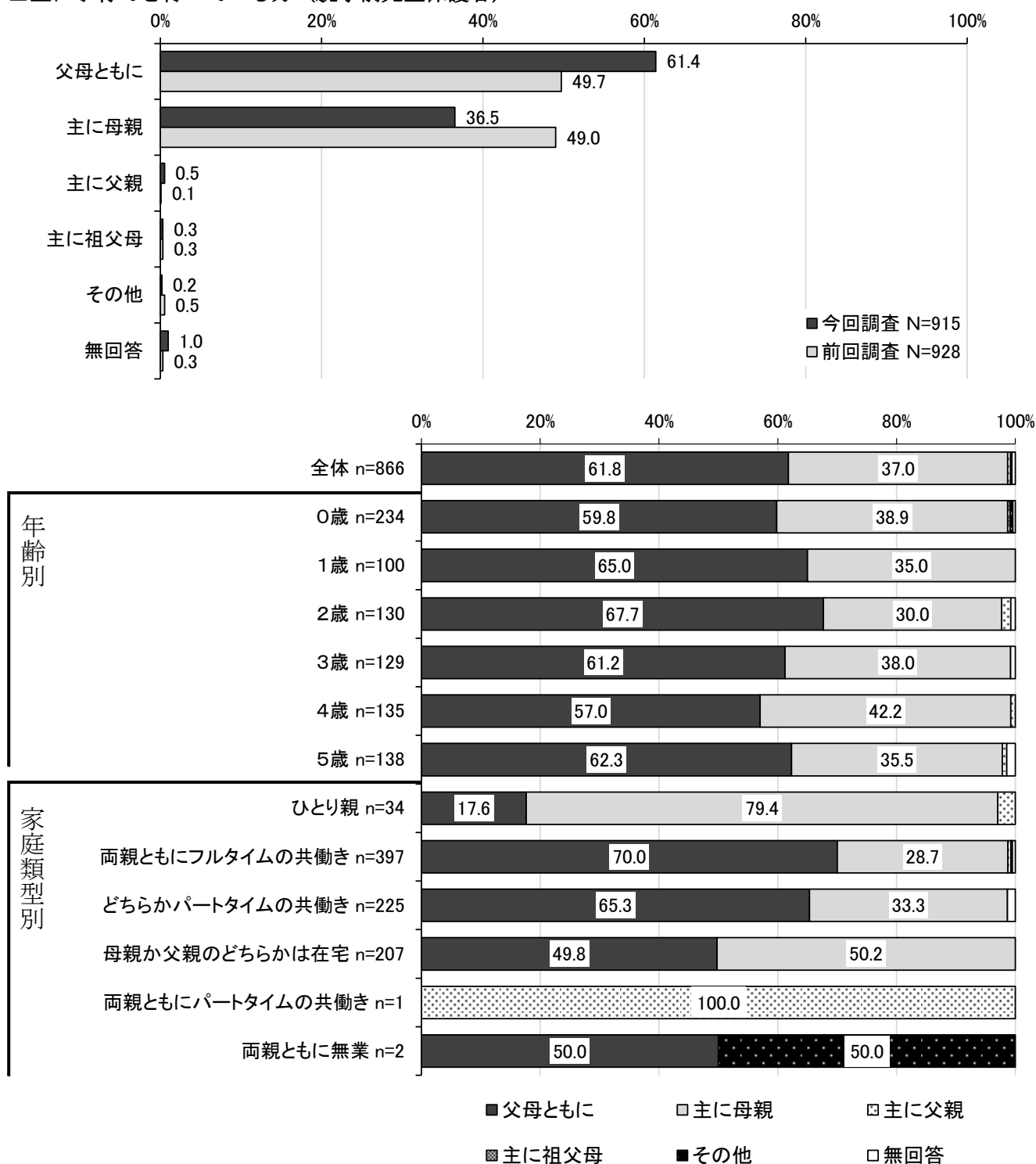
主に子育てを行っている方は、「父母ともに」（61.4%）と「主に母親」（36.5%）で大半を占めています。

前回調査と比較して、「父母ともに」が11.7ポイント増加し、「主に母親」が12.5ポイント減少しています。

児童の年齢別では、2歳児の保護者が「父母ともに」（67.7%）の割合がやや多くなっています。

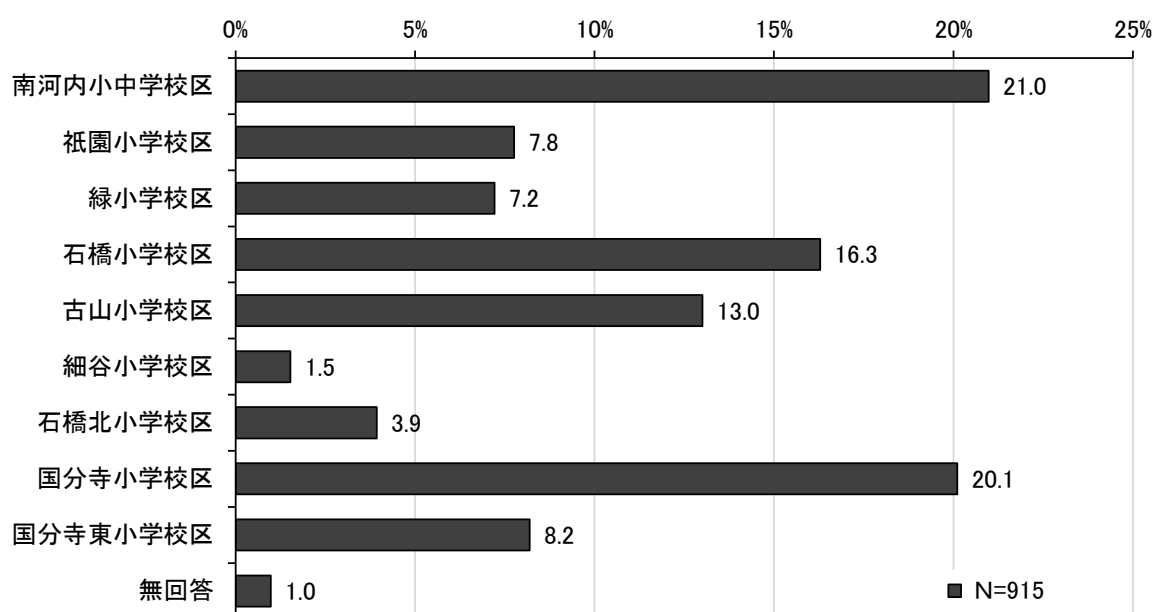
家庭類型別では、両親ともにフルタイムの共働き家庭が「父母ともに」（70.0%）の割合が多くなっています。

■主に子育てを行っている方（就学前児童保護者）



問 5. お住まいの小学校区はどちらですか。(SA)

居住している小学校区は、「南河内小中学校区」(21.0%)が最も多く、次いで「国分寺小学校区」(20.1%)、「石橋小学校区」(16.3%)となっています。



学校名	通学区域
南河内小中学校	下原、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、日生団地、成田、町田上、町田下、谷地賀上、谷地賀下、下文狹、東田中、西田中、地久目喜、仁良川上、仁良川下、本吉田北、本吉田南、塚越、磯部、川島、上吉田、三王山、鯉沼、絹板、絹板台、台坪山、的場、上坪山、東根、西坪山の各自治会区域
祇園小学校	祇園町、西区、自治医大職員住宅の各自治会区域、祇園一丁目から祇園五丁目までの区域、医大前一丁目から医大前四丁目までの区域
緑小学校	緑一丁目から緑六丁目までの区域、烏ヶ森一丁目、烏ヶ森二丁目、小金井上町(JR宇都宮線東側)
石橋小学校	石橋上町、寿町、石町、旭町、本町、栄町、上大領、中大領、東前原、下大領、入の谷、下石橋、富士見町、ゲンゼ社宅の各自治会区域
古山小学校	下古山、通古山、下長田、石橋上町の各自治会区域
細谷小学校	上台、細谷、橋本の各自治会区域
石橋北小学校	上古山、上原、若林の各自治会区域
国分寺小学校	駅前、仲町、小金井上町(JR宇都宮線西側)、関根井、小金井北、笹原、箕輪、川東、泉町、鈴苅町、川北、川南、下町、川西、南国分、国分1、国分2、国分3、紫の各自治会区域
国分寺東小学校	柴南1、柴南2、柴南3、柴南4、柴南5、柴南6、あづま町、旭ヶ丘、日出町、柴北1、柴北2、柴北3、柴北4、丸野町、駅東の各自治会区域

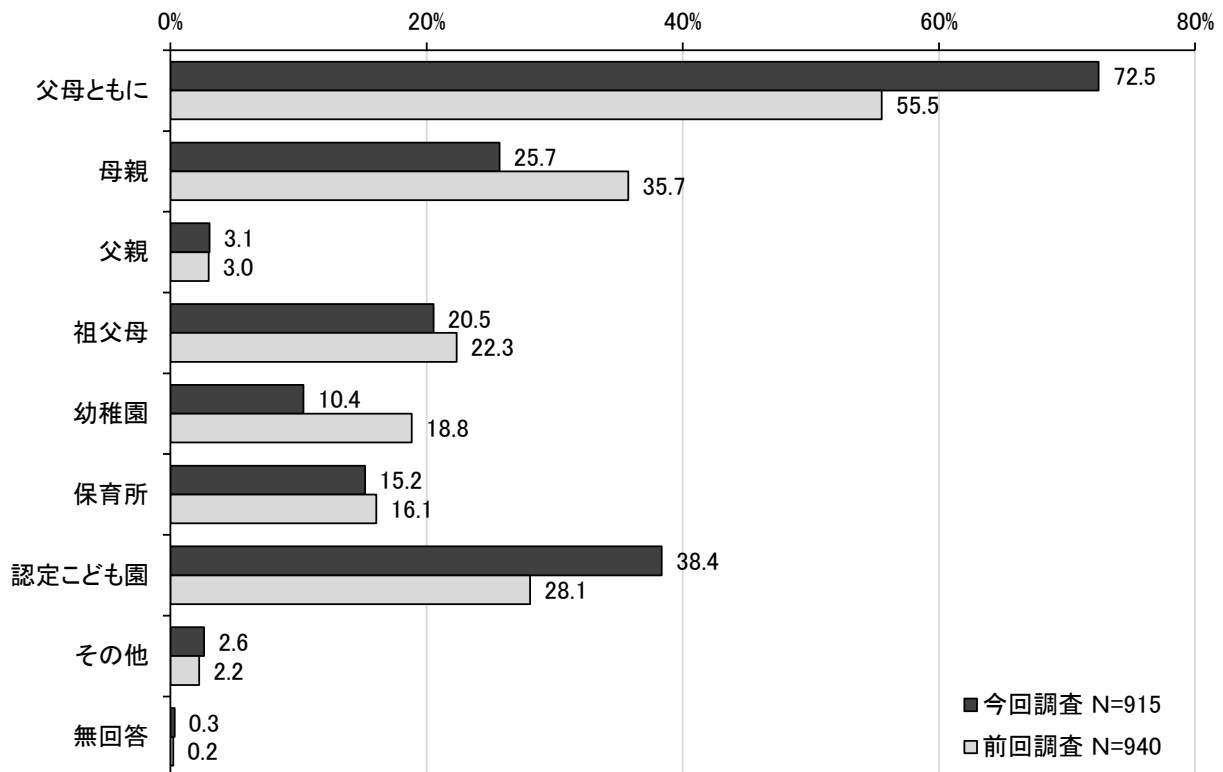
2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問 6. お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（MA）

日常的に子育てに関わっている方（施設含む）は、「父母ともに」（72.5%）が最も多く、次いで「認定こども園」（38.4%）、「母親」（25.7%）、「祖父母」（20.5%）となっています。

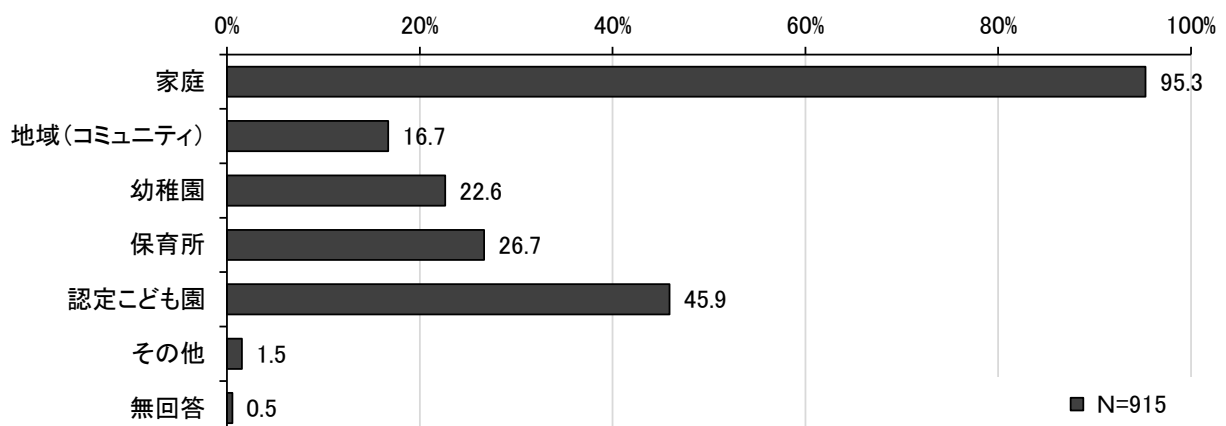
前回調査に比べ、「母親」が10.0ポイント減り、「父母ともに」が17.0ポイント増加しています。

■ 日常的に子育てに関わっている方（施設含む・就学前児童保護者）



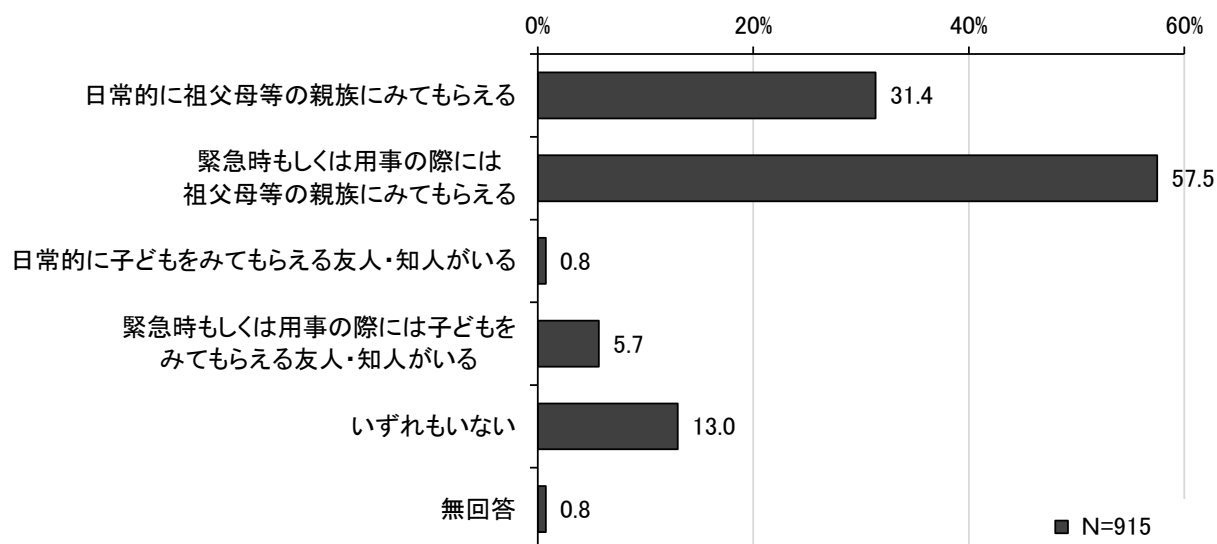
問 7. お子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境は何だと思いますか。（MA）

子育てに影響を与える環境は、「家庭」（95.3%）が最も多く、次いで「認定こども園」（45.9%）、「保育所」（26.7%）、「幼稚園」（22.6%）となっています。



問 8. 日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人はいですか。(MA)

主な協力者の状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(57.5%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(31.4%)となっています。

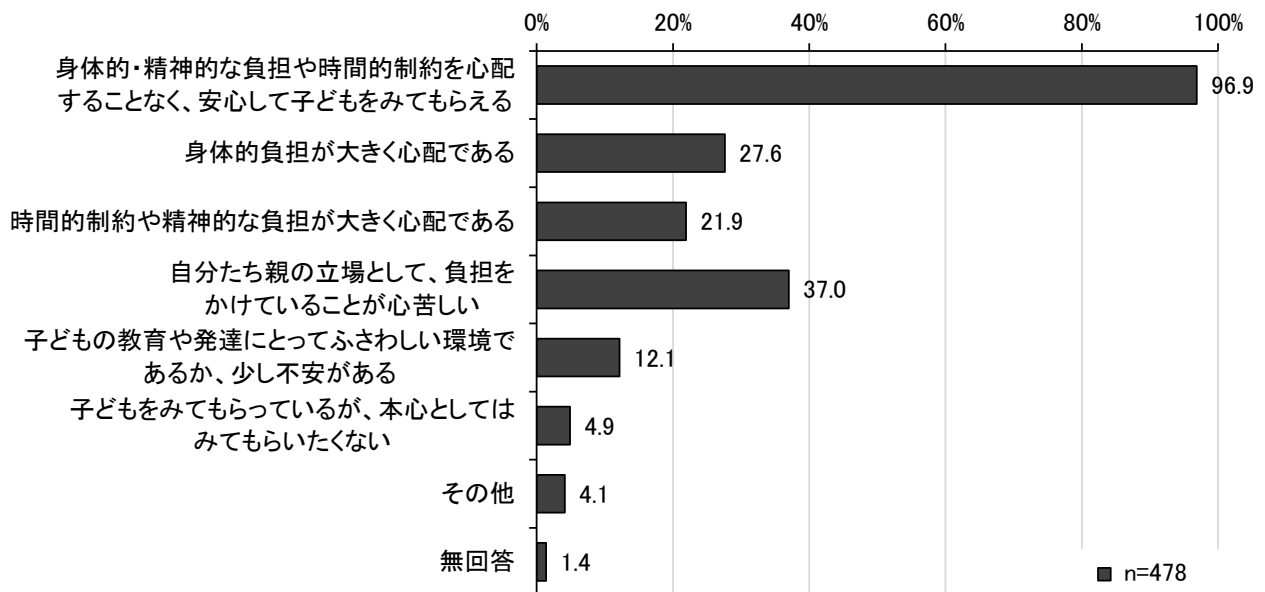


【問 8 で「みてもらえる」を選択した方】

問 8-1. お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

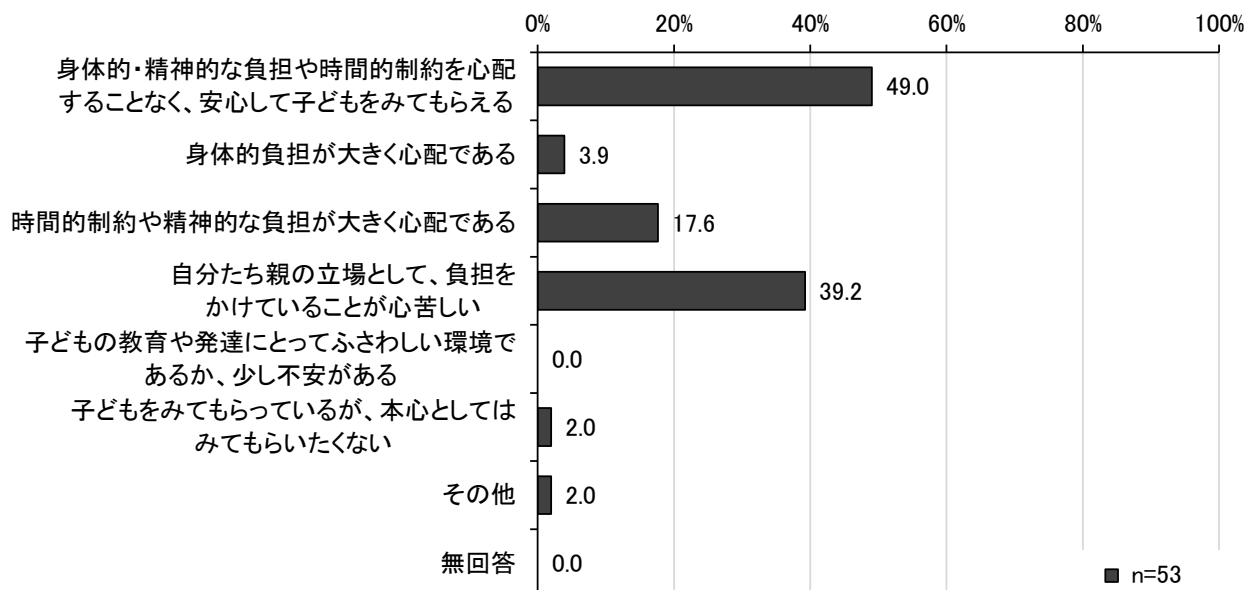
①祖父母等の親族にみてもらえる方

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことに対しては、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(96.9%) が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(37.0%) となっています。



②友人・知人にみてもらえる方

友人・知人に子どもをみてもらうことに対しては、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(49.0%) が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(39.2%) となっています。

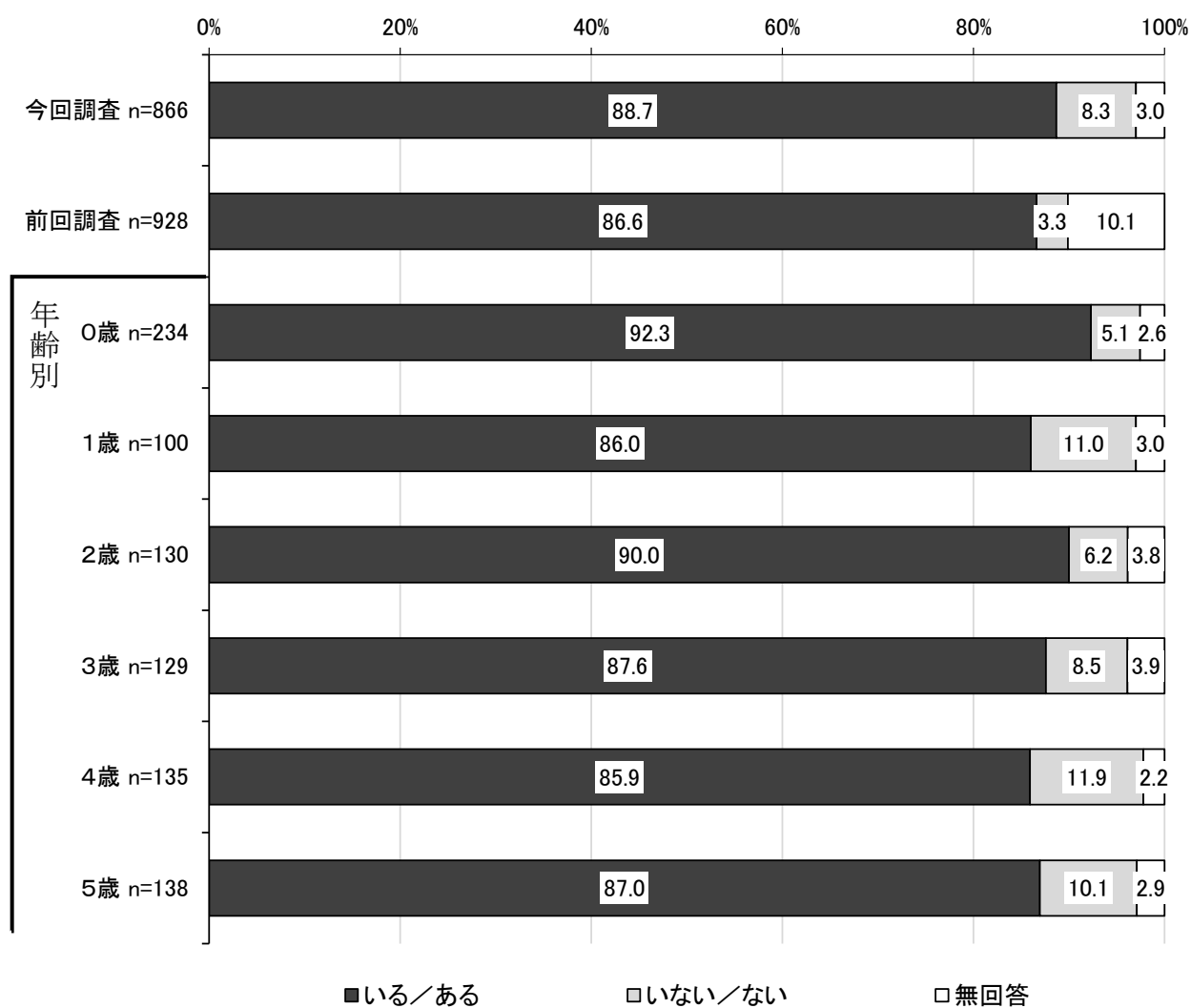


問 9. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。（S A）

気軽に相談できる人の有無は、ほとんどの方が「いる/ある」（88.7%）となっています。

前回調査と回答の傾向に変化はありません。

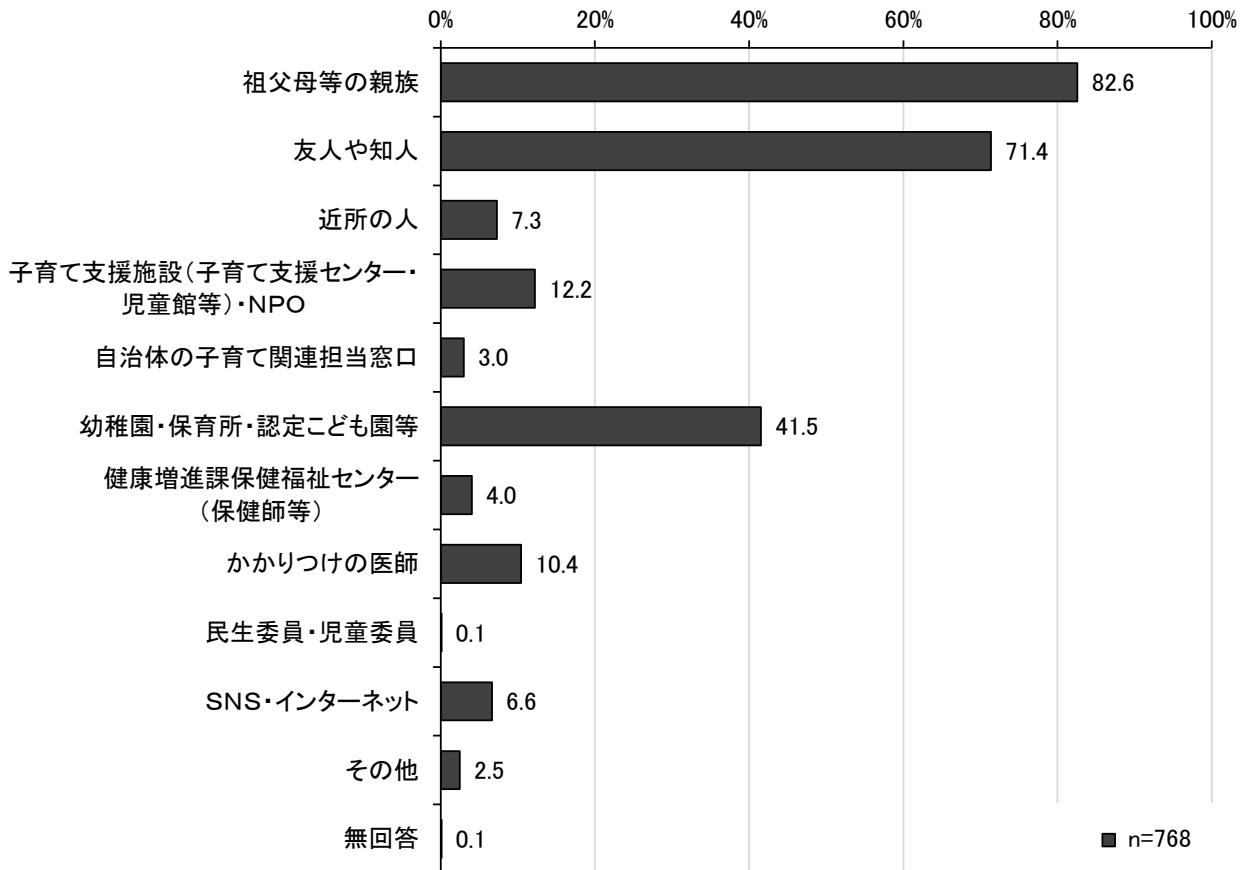
子どもの年齢別では、いずれの年齢でも「いる/ある」が8割以上を占めています。



【問9で「いる/ある」を選択した方】

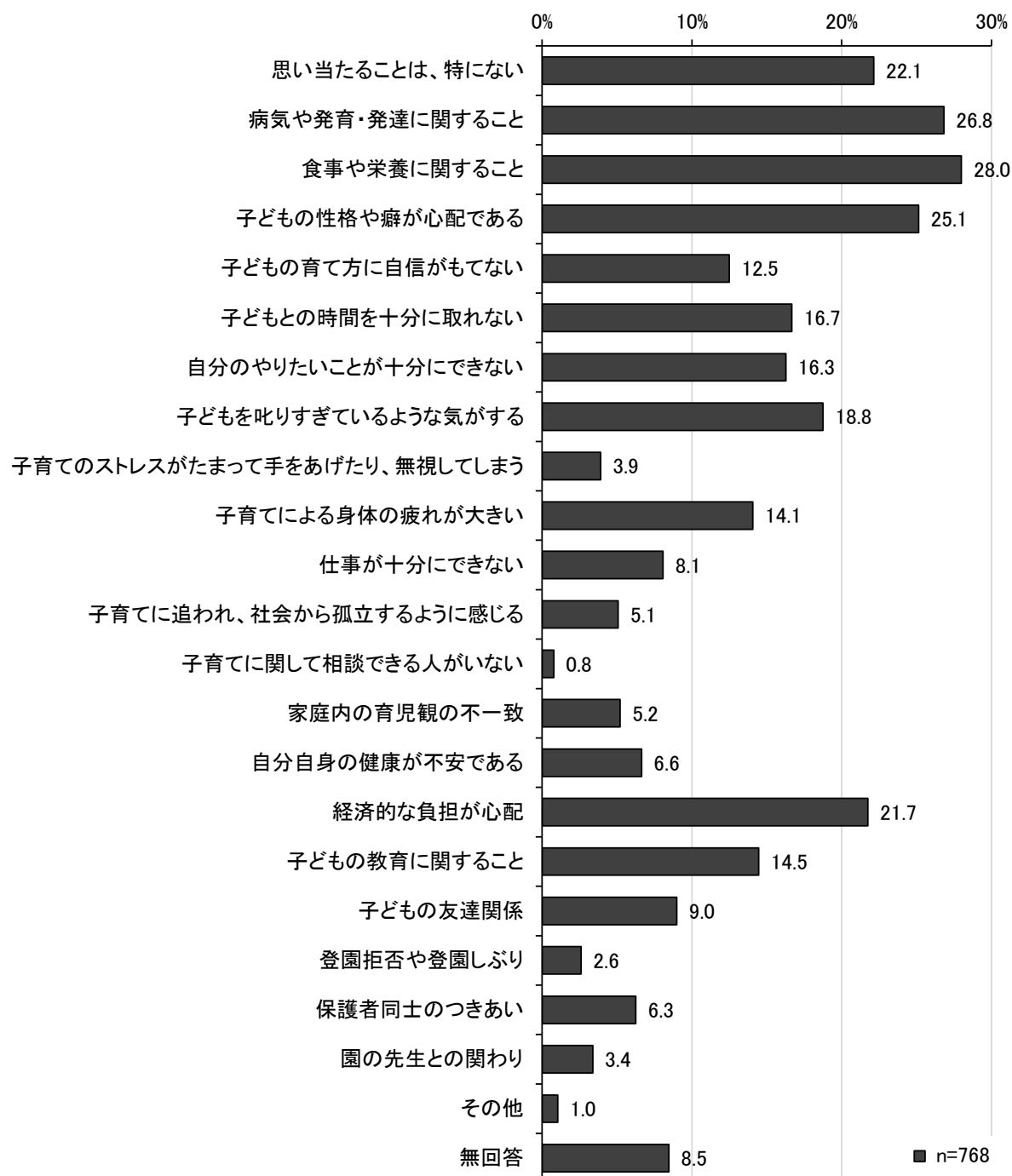
問9-1. 気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（MA）

相談できる相手としては、「祖父母等の親族」（82.6%）が最も多く、次いで「友人や知人」（71.4%）、「幼稚園・保育所・認定こども園等」（41.5%）となっています。



問9－2. 子育てに関して日常で悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。 (MA)

子育てに関して日常で悩んでいること、または気になることとしては、「食事や栄養に関すること」(28.0%)が最も多く、次いで「病気や発育・発達に関すること」(26.8%)、「子どもの性格や癖が心配である」(25.1%)となっています。



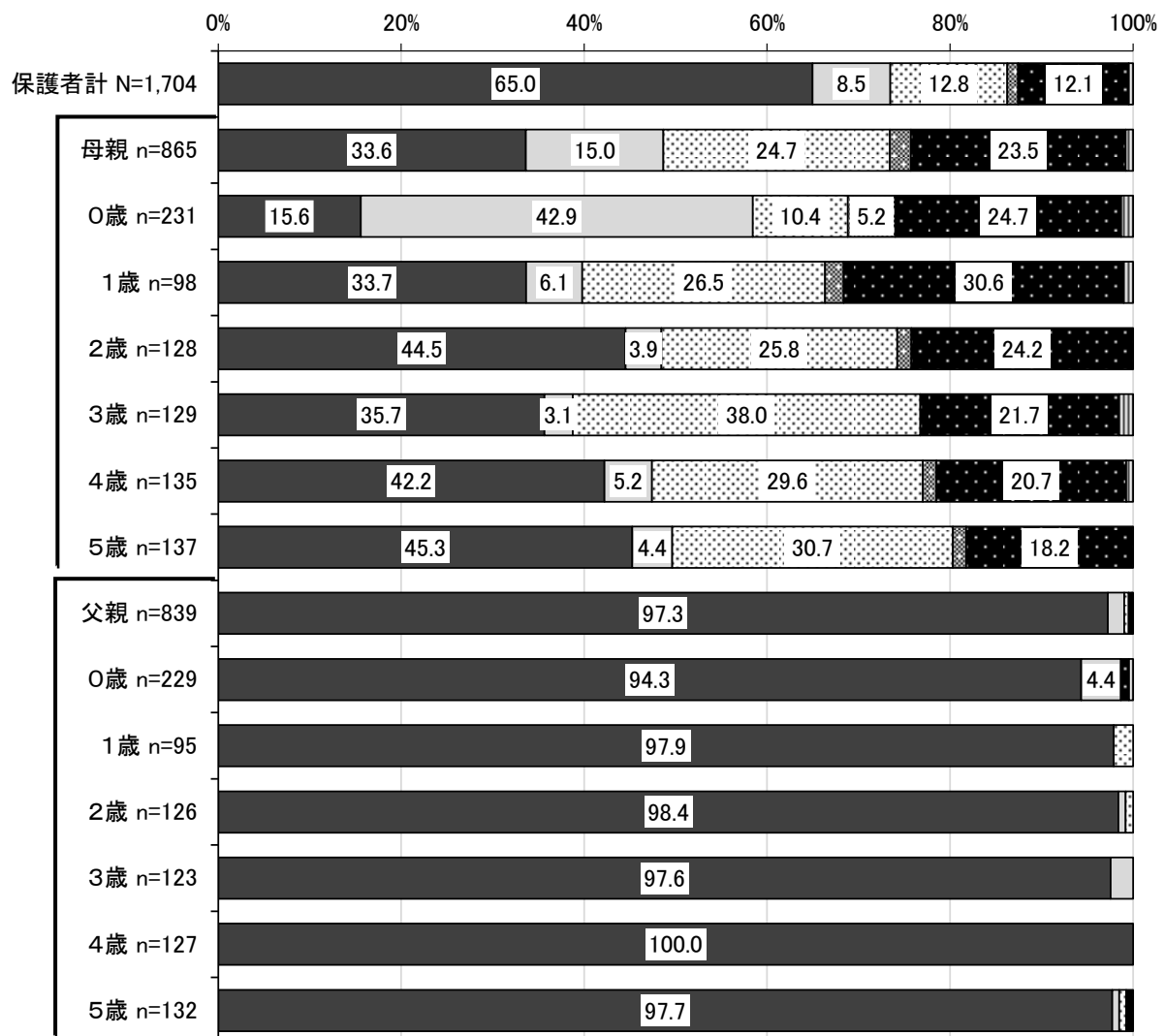
3. お子さんの保護者の就労状況について

問 10. お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者、在宅勤務含む）についてお答えください。（SA）（問 13 共通設問）

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（33.6%）が最も多く、次いで「パートタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（24.7%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（23.5%）となっています。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（97.3%）が最も多くなっています。

「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は、0歳児の母親（42.9%）が最も多くなっています。



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▣パートタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤パートタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▨これまで就労したことがない
- 無回答

【問10で「就労している」を選択した方】

問10-1. 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩・残業時間も含む）」をお答えください。（数量回答）（問13-1 共通設問）

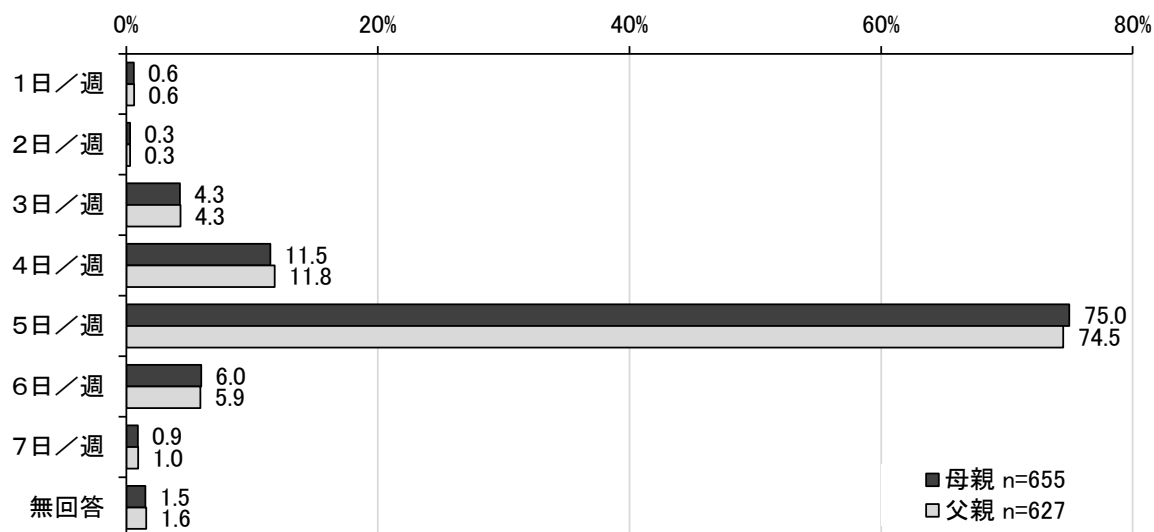
就労日数は、母親は「1週当たり5日」（75.0%）が最も多く、次いで「1週当たり4日」（11.5%）、「1週当たり6日」（6.0%）となっています。

父親は「1週当たり5日」（74.5%）が最も多く、次いで「1週当たり4日」（11.8%）、「1週当たり6日」（5.9%）となっています。

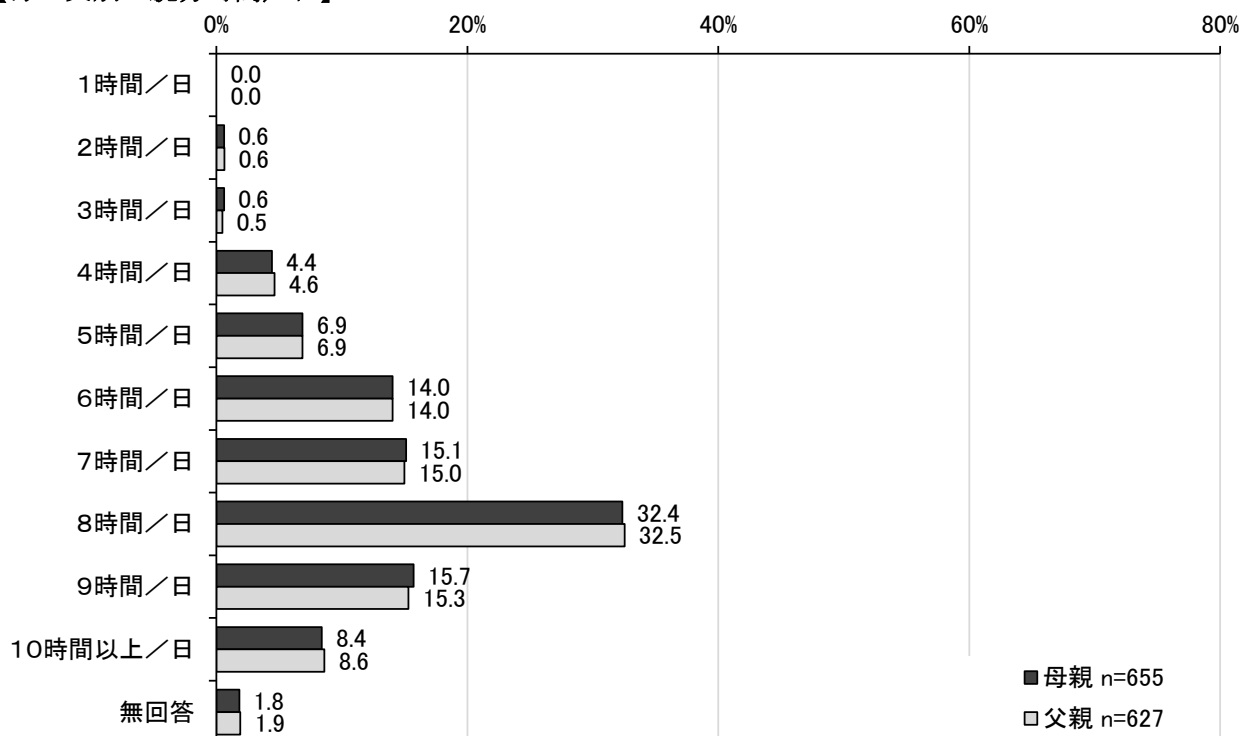
就労時間は、母親は、「1日当たり8時間」（32.4%）が最も多く、次いで「1日当たり9時間」（15.7%）、「1日当たり7時間」（15.1%）となっています。

父親は「1日当たり8時間」（32.5%）が最も多く、次いで「1日当たり9時間」（15.3%）、「1日当たり7時間」（15.0%）となっています。

【母・父別 就労日数／週】



【母・父別 就労時間／日】



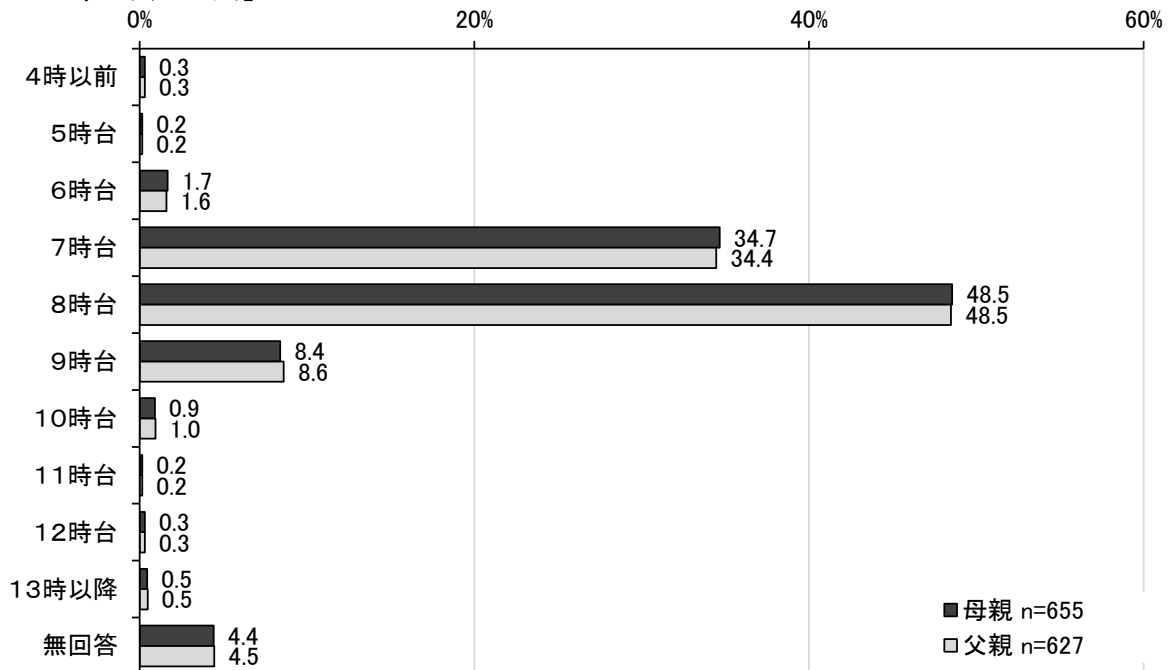
【問 10 で「就労している」を選択した方】

問 10-2. 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(数量回答) (問 13-2 共通設問)

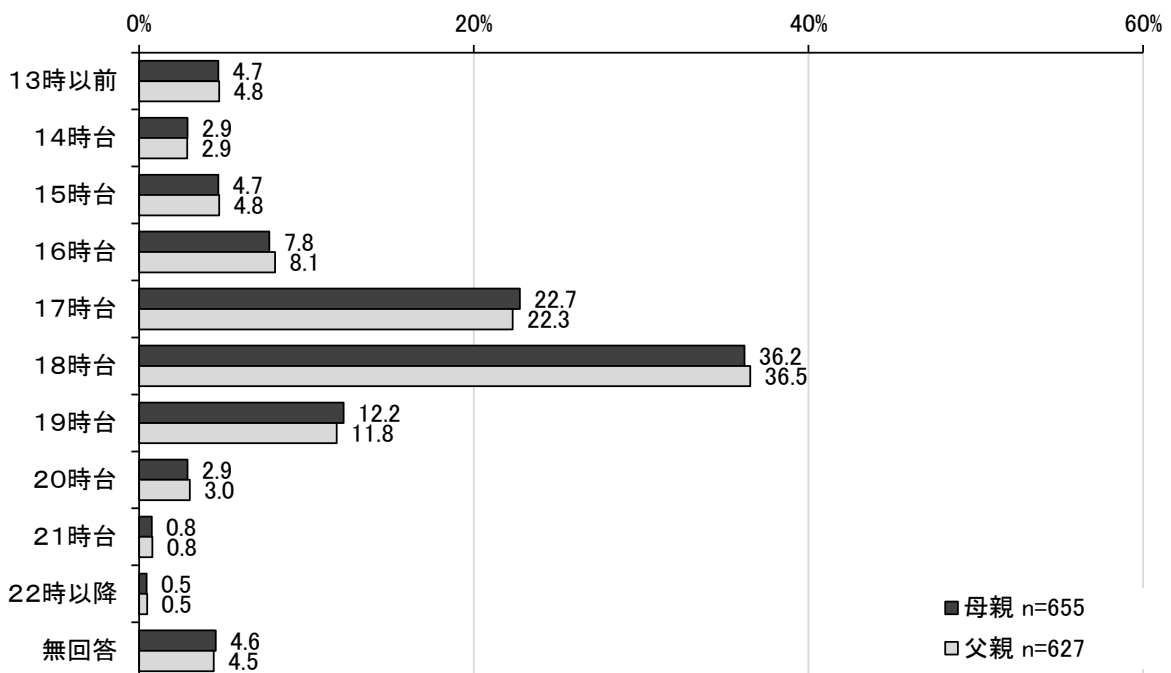
家を出る時刻は、母親は、「8 時台」(48.5%) が最も多く、次いで「7 時台」(34.7%)、「9 時台」(8.4%) となっています。父親は、「8 時台」(48.5%) で最も多く、次いで「7 時台」(34.4%)、「9 時台」(8.6%) となっています。

帰宅時刻は、母親は、「1 8 時台」(36.2%) が最も多く、次いで「1 7 時台」(22.7%)、「1 9 時台」(12.2%) となっています。父親は、「1 8 時台」(36.5%) で最も多く、次いで「1 7 時台」(22.3%)、「1 9 時台」(11.8%) となっています。

【母・父別 家を出る時刻】



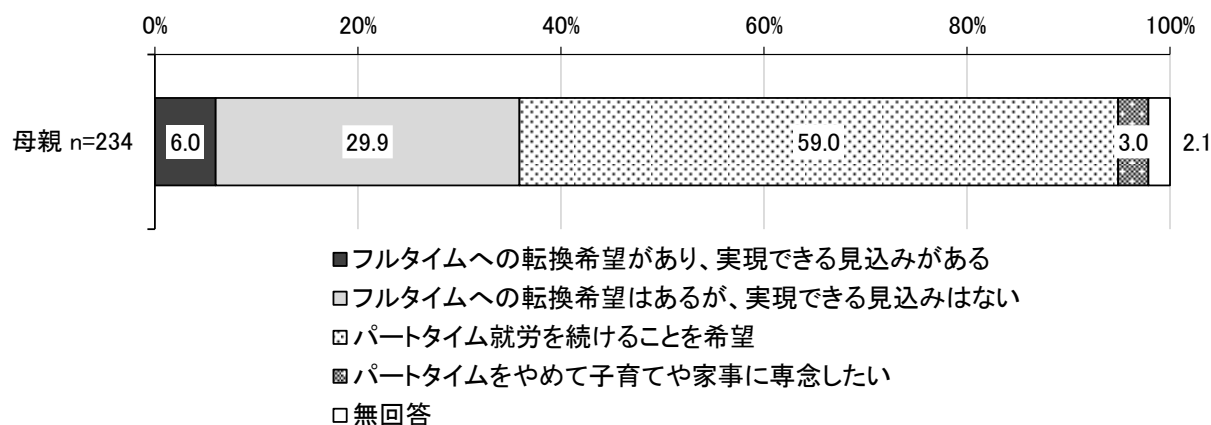
【母・父別 帰宅時刻】



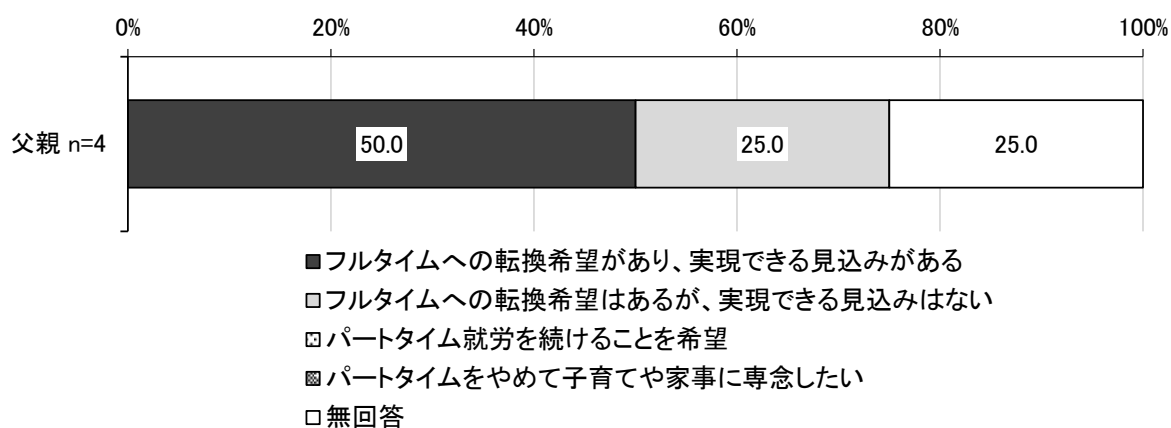
【問 10 で「パートタイムで就労している」を選択した方】

問 11. フルタイムへの転換希望はありますか。(S A) (問 14 共通設問)

母親のパートタイムからフルタイムへの転換希望は、「パートタイム就労を続けることを希望」(59.0%) が最も多くなっています。次いで「フルタイムへの転換を希望」(35.9%) となっています。そのうち、「実現できる見込みのある方」は6.0%となっています。



父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(50.0%) が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(25.0%) となっています。

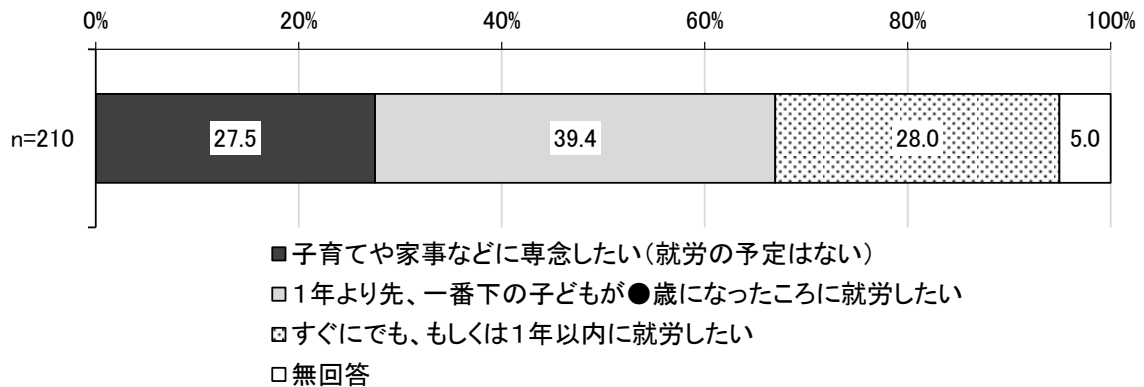


【問 10 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方】

問 12. 就労したいという希望はありますか。(SA・数量回答)(問 15 共通設問)

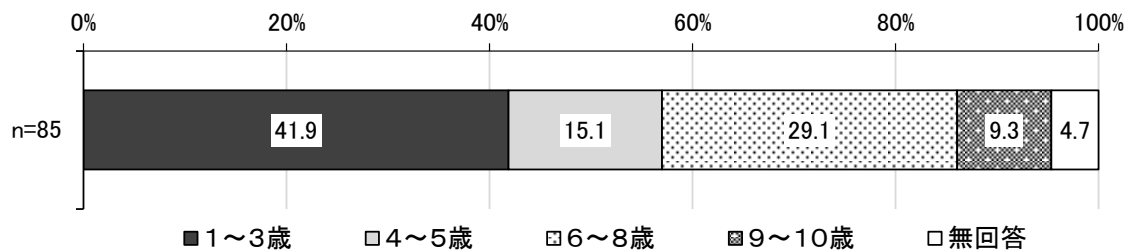
①母親

就労していない母親の今後の就労希望は、就労したい方が 67.4%となっています。その内訳は「1 年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」が 39.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 28.0%となっています。



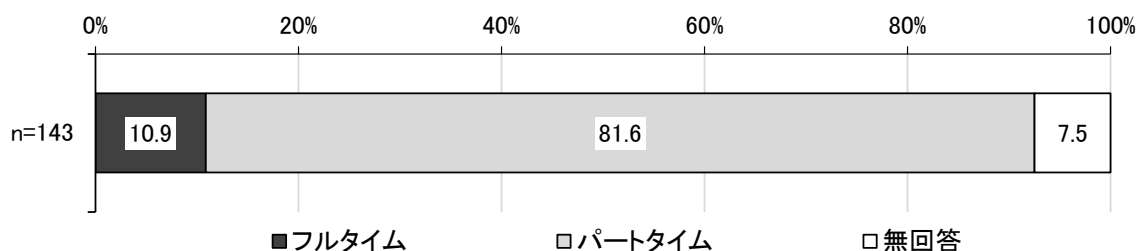
問 12. 選択肢中・一番下の子どもが何歳になったところに就労したいですか。(数量回答)

1 年より先の子どもの●歳になったところの就労時期は、一番下の子の年齢が、「1～3 歳になったところ」(41.9%) が最も多く、次いで「6～8 歳になったところ」(29.1%)、「4～5 歳になったところ」(15.1%) となっています。



問 12. 選択肢中・希望する就労形態は何ですか。(SA)

希望する就労形態は、「パートタイム」が 81.6%、「フルタイム」が 10.9%となっています。

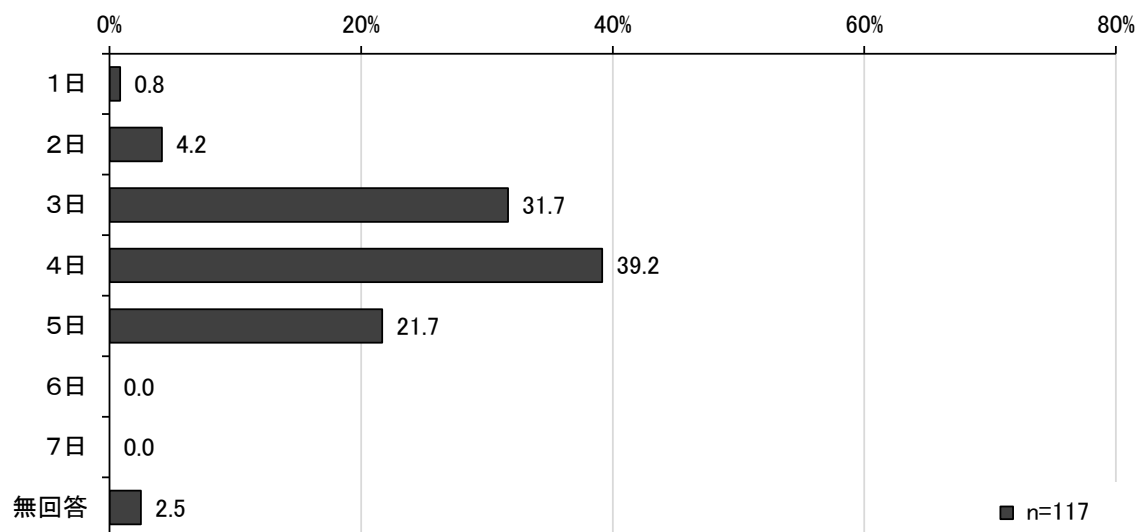


問 12. 選択肢中・パートタイムにおいて希望する就労日数・就労時間は何ですか。(数量回答)

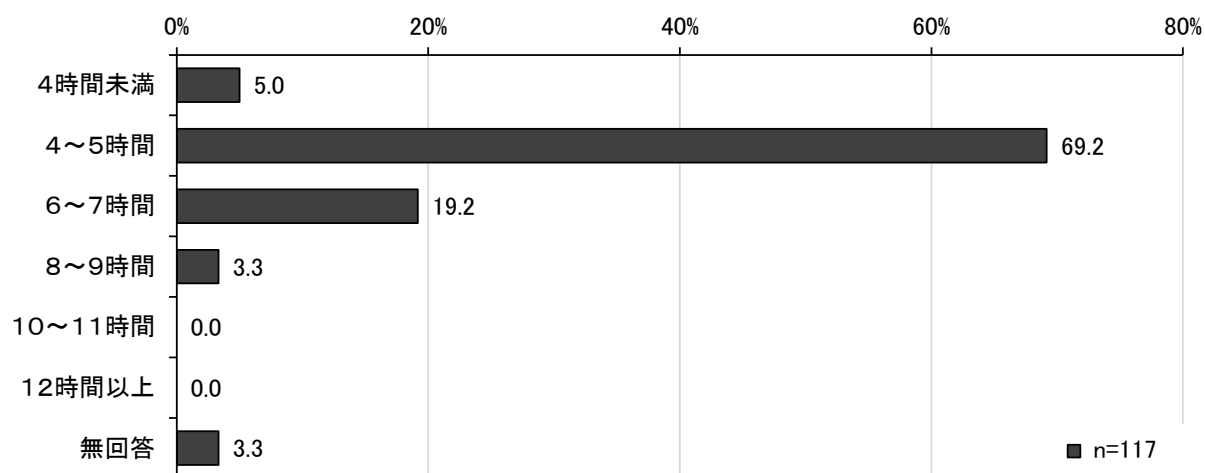
母親の希望する就労日数は、「4日」(39.2%)が最も多く、次いで「3日」(31.7%)、「5日」(21.7%)となっています。

就労時間は、「4～5時間」(69.2%)が最も多く、次いで「6～7時間」(19.2%)となっています。

【母 希望する就労日数】

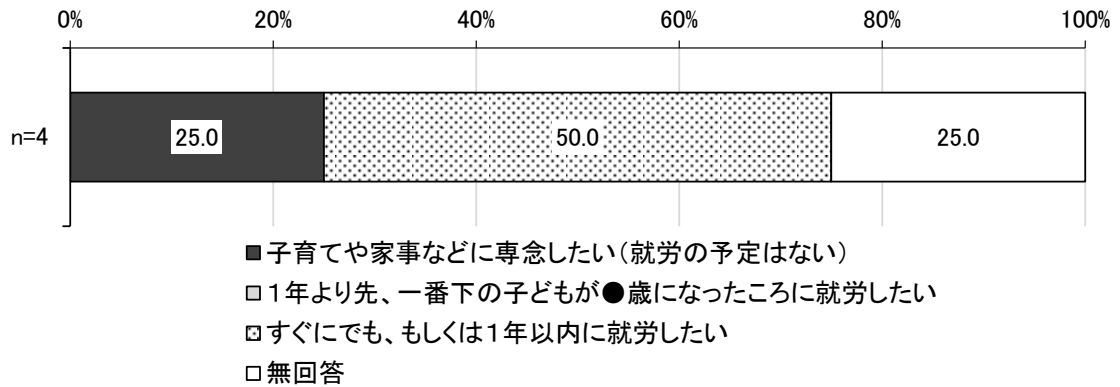


【母 希望する就労時間】



②父親

就労していない父親の今後の就労希望は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が25.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%となっています。



問 15. 選択肢中・一番下の子どもが何歳になったところに就労したいですか。(数量回答)

1年より先の子どもが●歳になったところの就労時期は、該当者はなし。

問 15. 選択肢中・希望する就労形態は何ですか。(SA)

希望する就労形態は、「フルタイム」(100.0%)が2件となっています。

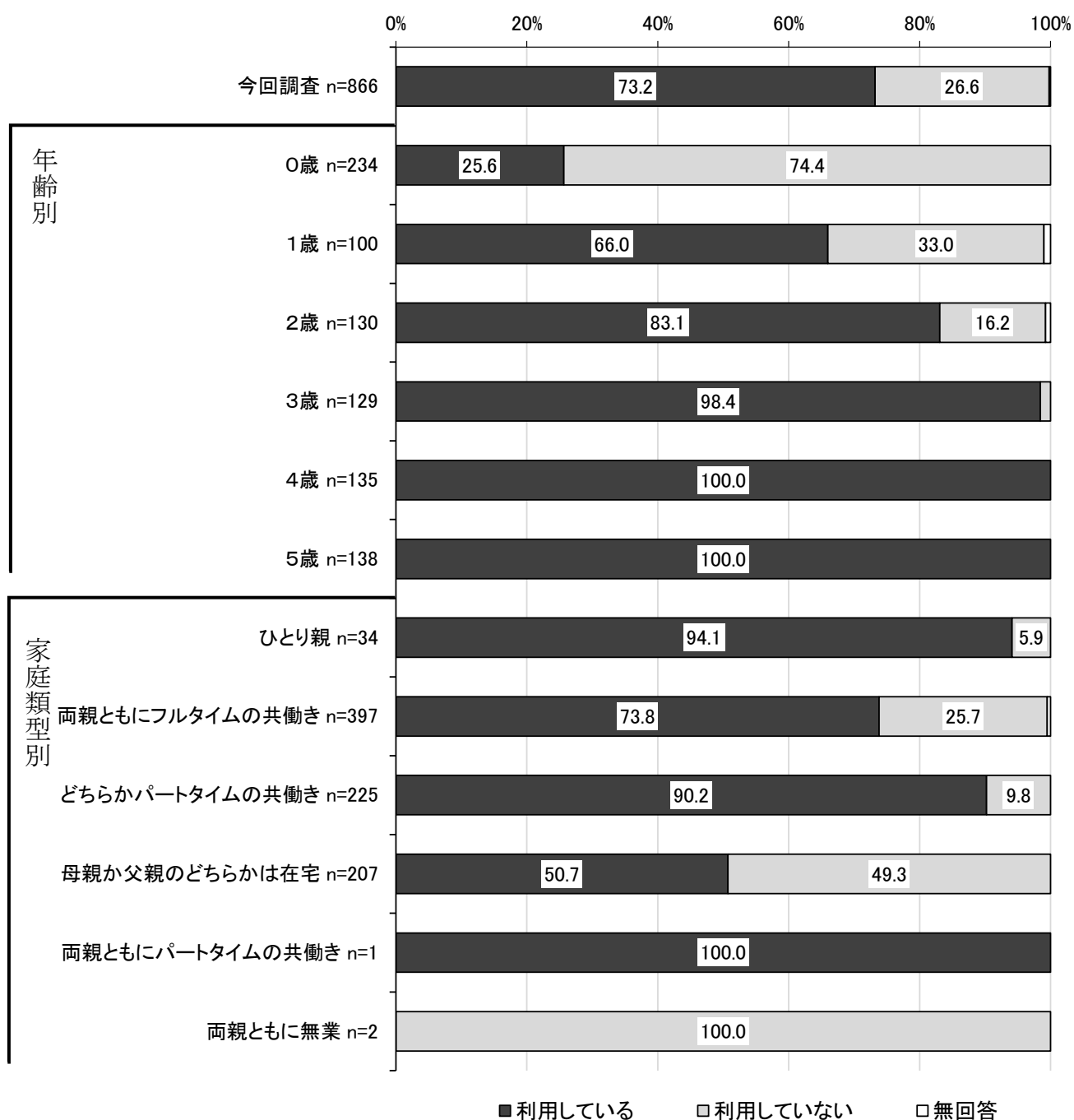
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

問 16. お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。 (SA)

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」(73.2%)が最も多くなっています。

年齢別では、4歳、5歳(100.0%)がともに最も利用しており、次いで3歳(98.4%)、2歳(83.1%)となっています。

家庭類型別では、「ひとり親」(94.1%)が最も利用しており、次いで「どちらかパートタイムの共働き」(90.2%)、「両親ともにフルタイムの共働き」(73.8%)となっています。



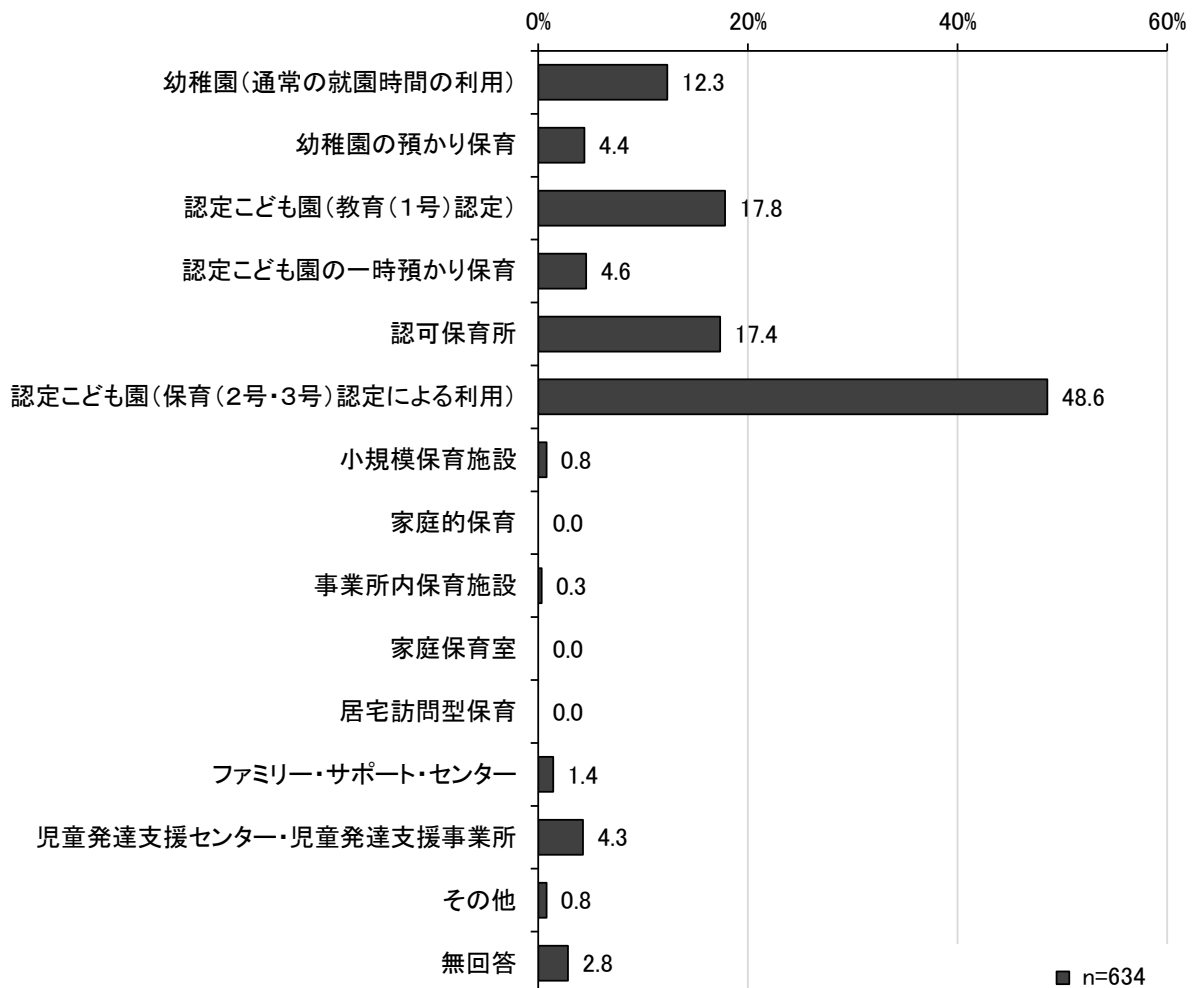
【問 16 で「利用している」を選択した方】

問 16-1. お子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(MA)

利用中の事業は、「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」（48.6%）が最も多く、次いで「認定こども園（教育（1号）認定）」（17.8%）、「認可保育所」（17.4%）、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」（12.3%）となっています。

年齢別では、すべての年齢で「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」（40%以上）が最も多くなっていますが、2歳以上では「認定こども園（教育（1号）認定）」の利用比率が**多く**なっています。

家庭類型別では、「ひとり親」は「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」（46.9%）が最も**多く**、「母親か父親のどちらかは在宅」は「認定こども園（教育（1号）認定）」（56.2%）が最も**多く**なっています。



(単位: %)

		幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認定こども園(教育(1号)認定)	認定こども園の一時預かり保育	認可保育所	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用)	小規模保育施設	家庭的保育
全体 n=634		12.3	4.4	17.8	4.6	17.4	48.6	0.8	0.0
年齢別	0歳 n=60	6.7	0.0	6.7	5.0	25.0	51.7	5.0	0.0
	1歳 n=66	0.0	1.5	4.5	6.1	22.7	57.6	0.0	0.0
	2歳 n=108	7.4	2.8	17.6	0.0	21.3	51.9	0.9	0.0
	3歳 n=127	20.5	9.4	18.9	6.3	15.0	47.2	0.0	0.0
	4歳 n=135	14.1	0.7	23.7	4.4	15.6	43.0	0.7	0.0
	5歳 n=138	15.2	8.0	22.5	5.8	12.3	47.1	0.0	0.0
家庭類型別	ひとり親 n=32	6.3	12.5	9.4	0.0	25.0	46.9	0.0	0.0
	両親ともにフルタイムの共働き n=293	7.2	4.1	9.6	4.1	23.2	55.3	0.7	0.0
	どちらかパートタイムの共働き n=203	8.4	4.4	11.3	4.4	16.3	61.1	1.0	0.0
	母親か父親のどちらかは在宅 n=105	36.2	2.9	56.2	7.6	1.0	5.7	1.0	0.0
	両親ともにパートタイムの共働き n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	両親ともに無業 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		事業所内保育施設	家庭保育室	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター・児童発達支援事業所	その他	無回答	
全体 n=634		0.3	0.0	0.0	1.4	4.3	0.8	2.8	
年齢別	0歳 n=60	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	
	1歳 n=66	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	4.5	
	2歳 n=108	0.9	0.0	0.0	0.9	2.8	1.9	2.8	
	3歳 n=127	0.0	0.0	0.0	0.8	3.9	0.0	0.8	
	4歳 n=135	0.0	0.0	0.0	0.7	5.2	0.7	3.7	
	5歳 n=138	0.0	0.0	0.0	2.9	8.7	0.7	3.6	
家庭類型別	ひとり親 n=32	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	9.4	
	両親ともにフルタイムの共働き n=293	0.0	0.0	0.0	1.7	2.0	0.0	2.7	
	どちらかパートタイムの共働き n=203	1.0	0.0	0.0	1.5	5.9	1.0	2.0	
	母親か父親のどちらかは在宅 n=105	0.0	0.0	0.0	1.0	6.7	1.0	2.9	
	両親ともにパートタイムの共働き n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	
	両親ともに無業 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【問 16 で「利用している」を選択した方】

問 16-2. 平日に定期的に利用している教育・保育事業（主なもの）について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たりの利用日数、1 日当たりの利用時間と時間帯（何時から何時までか）をお答えください。（数量回答）

定期的な教育・保育事業の 1 週当たりの利用日数は、「5 日」が最も多くなっています。

1 日当たりの利用時間は、「9 時間」が最も多く、次いで「10 時間以上」となっています。

利用開始時間は「8 時・9 時台」で、終了時間は「17 時・18 時台」が多くなっています。

【現在__1 週当たりの利用日数】

(単位: %)

	幼稚園(通常の就園時間の利用) n=78	幼稚園の預かり保育 n=28	認定こども園(教育(1号)認定) n=113	認定こども園の一時預かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用) n=308	小規模保育施設 n=5	家庭的保育 n=0
1 日	1.3	3.6	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
2 日	2.6	3.6	1.8	10.3	0.9	0.0	0.0	0.0
3 日	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.3	0.0	0.0
4 日	1.3	0.0	0.9	3.4	0.0	2.3	0.0	0.0
5 日	92.3	89.3	95.6	75.9	92.7	93.8	80.0	0.0
6 日	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	1.9	20.0	0.0
7 日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.6	3.6	1.8	3.4	0.9	1.6	0.0	0.0
	事業所内保育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型保育 n=0	ファミリー・サポート・センター n=9	児童発達支援センター・児童発達支援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
1 日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
2 日	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
3 日	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4 日	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
5 日	0.0	0.0	0.0	100.0	96.3	80.0	16.7	
6 日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
7 日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	

【現在__1日当たりの利用時間】

(単位:%)

	幼稚園(通常の就園時間の利用) n=78	幼稚園の預かり保育 n=28	認定こども園(教育(1号)認定) n=113	認定こども園の一時預かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用) n=308	小規模保育施設 n=5	家庭的保育 n=0
1時間	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.6	0.0	0.0
2時間	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3時間	0.0	0.0	0.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
4時間	0.0	0.0	1.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
5時間	33.3	3.6	46.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
6時間	21.8	7.1	23.0	20.7	0.0	1.6	0.0	0.0
7時間	11.5	10.7	3.5	17.2	7.3	11.4	0.0	0.0
8時間	9.0	10.7	5.3	17.2	21.8	25.3	20.0	0.0
9時間	15.4	28.6	11.5	17.2	35.5	26.6	60.0	0.0
10時間以上	7.7	28.6	5.3	10.3	34.5	32.8	20.0	0.0
その他	1.3	3.6	2.7	3.4	0.9	1.6	0.0	0.0
	事業所内保育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型保育 n=0	ファミリー・サポート・センター n=9	児童発達支援センター・児童発達支援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
1時間	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
2時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
3時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
5時間	50.0	0.0	0.0	0.0	18.5	0.0	5.6	
6時間	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0	
7時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
8時間	0.0	0.0	0.0	33.3	18.5	0.0	0.0	
9時間	50.0	0.0	0.0	33.3	18.5	40.0	0.0	
10時間以上	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	20.0	11.1	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	20.0	83.3	

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

【現在__利用開始時間】

(単位: %)

	幼稚園(通常の就園時間の利用) n=78	幼稚園の預かり保育 n=28	認定こども園(教育(1号)認定) n=113	認定こども園の一時預かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用) n=308	小規模保育施設 n=5	家庭的保育 n=0
6時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時	6.4	7.1	2.7	10.3	21.8	20.1	20.0	0.0
8時	37.2	60.7	29.2	44.8	61.8	58.4	80.0	0.0
9時	50.0	25.0	58.4	27.6	14.5	19.2	0.0	0.0
10時	5.1	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13時以降	0.0	3.6	2.7	10.3	0.0	0.3	0.0	0.0
	事業所内保育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型保育 n=0	ファミリー・サポート・センター n=9	児童発達支援センター・児童発達支援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
6時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
7時	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	20.0	5.6	
8時	0.0	0.0	0.0	55.6	37.0	40.0	5.6	
9時	100.0	0.0	0.0	22.2	33.3	40.0	5.6	
10時	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	
11時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13時以降	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【現在__利用終了時間】

(単位: %)

	幼稚園(通常 の就園時間 の利用) n=78	幼稚園の預 かり保育 n=28	認定こども 園(教育(1 号)認定) n=113	認定こども 園の一時預 かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども 園(保育(2 号・3号)認 定による利 用) n=308	小規模保育 施設 n=5	家庭的保育 n=0
11時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14時	44.9	7.1	59.3	13.8	0.0	0.6	0.0	0.0
15時	12.8	3.6	11.5	17.2	0.0	1.9	0.0	0.0
16時	12.8	10.7	3.5	20.7	23.6	23.7	0.0	0.0
17時	17.9	39.3	11.5	27.6	38.2	37.3	80.0	0.0
18時	10.3	35.7	7.1	13.8	27.3	31.5	20.0	0.0
19時	0.0	0.0	0.9	0.0	8.2	2.6	0.0	0.0
20時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3	0.0	0.0
21時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保 育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型 保育 n=0	ファミリー・ サポート・セ ンター n=9	児童発達支 援センター・ 児童発達支 援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
11時	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	20.0	0.0	
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
14時	50.0	0.0	0.0	0.0	25.9	0.0	1.0	
15時	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	
16時	0.0	0.0	0.0	22.2	18.5	20.0	0.0	
17時	0.0	0.0	0.0	33.3	25.9	20.0	0.0	
18時	50.0	0.0	0.0	44.4	18.5	40.0	1.0	
19時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	
20時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
21時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用希望日数は、「5日」が最も多くなっています。1日当たりの利用希望時間は、「9時間」が多くなっています。

利用開始時間は「8時・9時台」で、終了時間は「17時台」が多くなっています。

【希望__1週当たりの利用日数】

(単位: %)

	幼稚園(通常の就園時間の利用) n=78	幼稚園の預かり保育 n=28	認定こども園(教育(1号)認定) n=113	認定こども園の一時預かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用) n=308	小規模保育施設 n=5	家庭的保育 n=0
1日	1.3	0.0	0.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
2日	0.0	0.0	0.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
3日	1.3	3.6	0.9	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
4日	1.3	0.0	1.8	6.9	1.8	0.6	0.0	0.0
5日	69.2	75.0	77.9	69.0	70.0	80.2	80.0	0.0
6日	1.3	3.6	3.5	0.0	10.0	4.2	20.0	0.0
7日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	25.6	17.9	14.2	17.2	18.2	14.6	0.0	0.0
	事業所内保育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型保育 n=0	ファミリー・サポート・センター n=9	児童発達支援センター・児童発達支援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
1日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
3日	50.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
4日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
5日	50.0	0.0	0.0	77.8	81.5	40.0	5.6	
6日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
7日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	0.0	0.0	0.0	22.2	14.8	40.0	94.4	

【希望__1日当たりの利用時間】

(単位:%)

	幼稚園(通常の就園時間の利用) n=78	幼稚園の預かり保育 n=28	認定こども園(教育(1号)認定) n=113	認定こども園の一時預かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用) n=308	小規模保育施設 n=5	家庭的保育 n=0
1時間	1.3	0.0	0.0	3.4	0.0	0.3	0.0	0.0
2時間	0.0	10.7	0.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
3時間	0.0	0.0	0.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
4時間	0.0	0.0	0.9	3.4	0.9	0.0	0.0	0.0
5時間	9.0	3.6	15.0	3.4	0.0	0.3	0.0	0.0
6時間	16.7	7.1	20.4	3.4	0.9	1.3	0.0	0.0
7時間	10.3	7.1	17.7	3.4	1.8	6.8	0.0	0.0
8時間	14.1	10.7	8.8	31.0	14.5	19.8	20.0	0.0
9時間	15.4	25.0	11.5	10.3	28.2	25.3	60.0	0.0
10時間以上	10.3	17.9	8.8	13.8	34.5	31.2	20.0	0.0
	事業所内保育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型保育 n=0	ファミリー・サポート・センター n=9	児童発達支援センター・児童発達支援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
1時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2時間	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
3時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
5時間	50.0	0.0	0.0	0.0	7.4	20.0	0.0	
6時間	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	
7時間	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
8時間	0.0	0.0	0.0	22.2	14.8	0.0	0.0	
9時間	50.0	0.0	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	
10時間以上	0.0	0.0	0.0	33.3	18.5	40.0	5.6	

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

【希望__利用開始時間】

(単位: %)

	幼稚園(通常 の就園時間 の利用) n=78	幼稚園の預 かり保育 n=28	認定こども 園(教育(1 号)認定) n=113	認定こども 園の一時預 かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども 園(保育(2 号・3号)認 定による利 用) n=308	小規模保育 施設 n=5	家庭的保育 n=0
6時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時	7.7	10.7	1.8	0.0	18.2	17.5	20.0	0.0
8時	32.1	42.9	29.2	37.9	43.6	45.8	60.0	0.0
9時	29.5	17.9	38.9	17.2	9.1	11.7	0.0	0.0
10時	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13時以降	0.0	3.6	2.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保 育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型 保育 n=0	ファミリー・ サポート・セ ンター n=9	児童発達支 援センター・ 児童発達支 援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
6時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
7時	0.0	0.0	0.0	22.2	14.8	0.0	5.6	
8時	0.0	0.0	0.0	55.6	29.6	40.0	0.0	
9時	100.0	0.0	0.0	0.0	22.2	20.0	0.0	
10時	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
11時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13時以降	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	

【希望__利用終了時間】

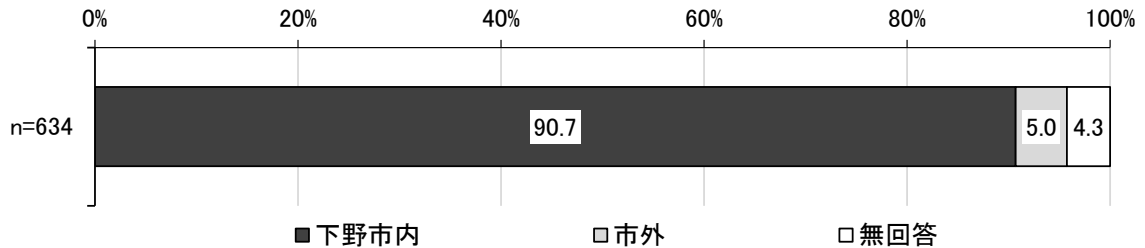
(単位: %)

	幼稚園(通常の就園時間の利用) n=78	幼稚園の預かり保育 n=28	認定こども園(教育(1号)認定) n=113	認定こども園の一時預かり保育 n=29	認可保育所 n=110	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用) n=308	小規模保育施設 n=5	家庭的保育 n=0
11時	0.0	0.0	0.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13時	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14時	11.5	3.6	16.8	3.4	0.0	0.3	0.0	0.0
15時	12.8	3.6	18.6	3.4	0.9	1.3	0.0	0.0
16時	12.8	10.7	16.8	24.1	8.2	13.6	0.0	0.0
17時	17.9	25.0	9.7	24.1	27.3	28.9	60.0	0.0
18時	12.8	21.4	6.2	3.4	22.7	21.8	20.0	0.0
19時	2.6	10.7	1.8	3.4	8.2	7.8	0.0	0.0
20時	0.0	0.0	0.9	0.0	3.6	1.3	0.0	0.0
21時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設 n=2	家庭保育室 n=0	居宅訪問型保育 n=0	ファミリー・サポート・センター n=9	児童発達支援センター・児童発達支援事業所 n=27	その他 n=5	無回答 n=18	
11時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	
12時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
14時	50.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
15時	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
16時	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	
17時	0.0	0.0	0.0	22.2	29.6	20.0	20.0	
18時	50.0	0.0	0.0	11.1	11.1	20.0	20.0	
19時	0.0	0.0	0.0	22.2	3.7	0.0	0.0	
20時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
21時	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【問 16 で「利用している」を選択した方】

問 16－3. 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。下野市内を選ばれた方は施設名を、市外を選ばれた方は自治体名をお書きください。（SA）

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用している方の実施場所は、「下野市内」が 90.7%となっています。



【市外の自治体】

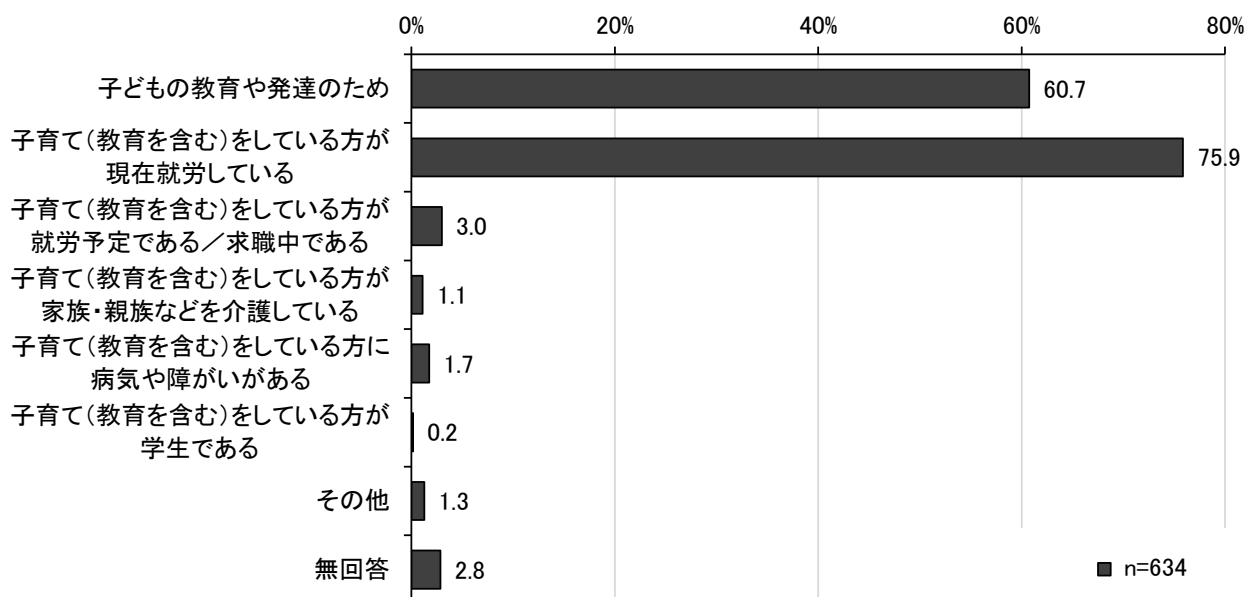
(単位: %)

	上三川町	壬生町	宇都宮市	小山市	栃木市	その他	無回答
市外 n=32	31.3	28.1	15.6	12.5	3.1	9.4	0.0

【問 16 で「利用している」を選択した方】

問 16－4. 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由について伺います。（MA）

利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（75.9%）が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（60.7%）となっています。



利用している理由は、子どもの年齢別では、0歳と1歳で、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が多く、3歳以上になると「子どもの教育や発達のため」が6割を超えます。

家庭類型別では、「ひとり親」「両親ともにフルタイムの共働き」「どちらかパートタイムの共働き」は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が多くなっています。

(単位: %)

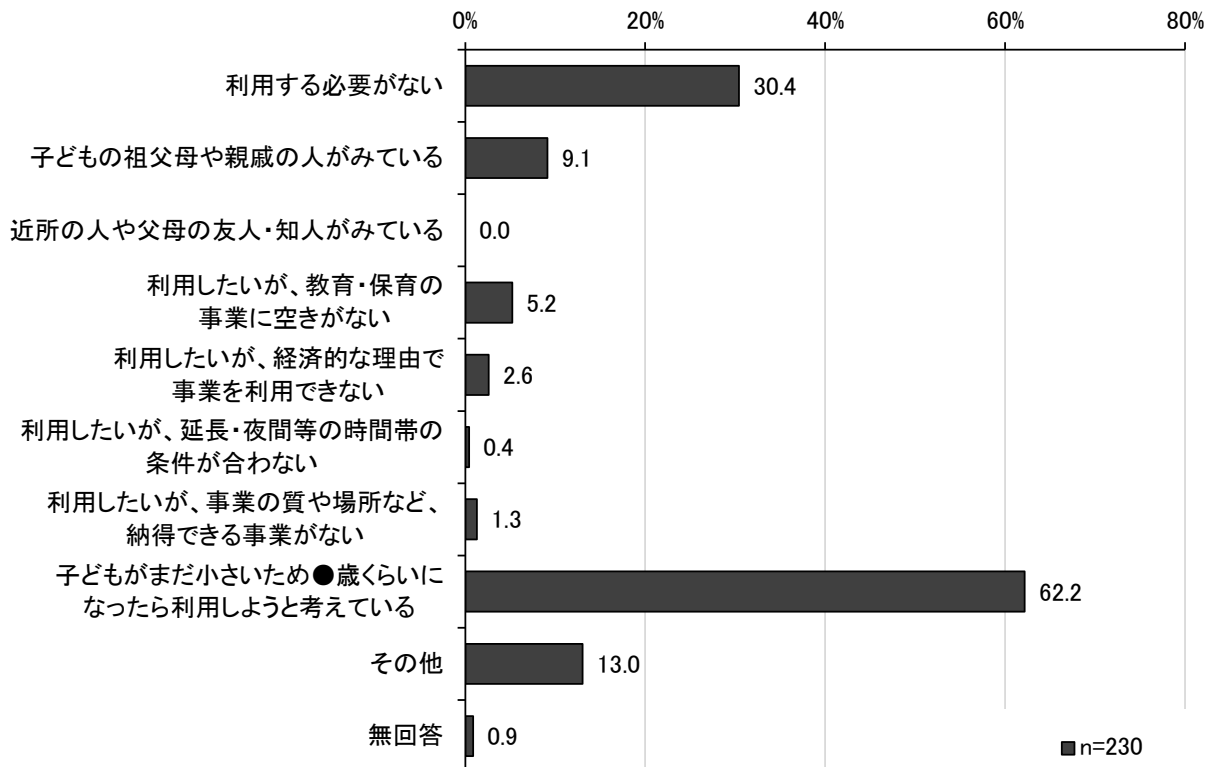
		子どもの教育や発達のため	子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	子育て(教育を含む)をしている方が就労予定である/求職中である	子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	子育て(教育を含む)をしている方に病気や障がいがある	子育て(教育を含む)をしている方が学生である	その他	無回答
n=634		60.7	75.9	3.0	1.1	1.7	0.2	1.3	2.8
年齢別	0歳 n=60	43.3	90.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
	1歳 n=66	45.5	87.9	4.5	0.0	6.1	1.5	3.0	4.5
	2歳 n=108	52.8	79.6	2.8	0.9	2.8	0.0	1.9	1.9
	3歳 n=127	65.4	66.9	3.1	1.6	0.8	0.0	0.8	3.1
	4歳 n=135	68.1	71.1	1.5	3.0	1.5	0.0	0.7	3.0
	5歳 n=138	70.3	73.9	2.9	0.0	0.7	0.0	1.4	2.9
家庭類型別	ひとり親 n=32	40.6	71.9	3.1	0.0	9.4	0.0	0.0	9.4
	両親ともにフルタイムの共働き n=293	50.9	91.8	1.7	0.3	0.7	0.0	0.0	2.0
	どちらかパートタイムの共働き n=203	63.1	89.7	2.0	2.0	0.0	0.5	1.0	2.0
	母親か父親のどちらかは在宅 n=105	90.5	5.7	8.6	1.9	4.8	0.0	5.7	4.8
	両親ともにパートタイムの共働き n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	両親ともに無業 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問 16 で「利用していない」を選択した方】

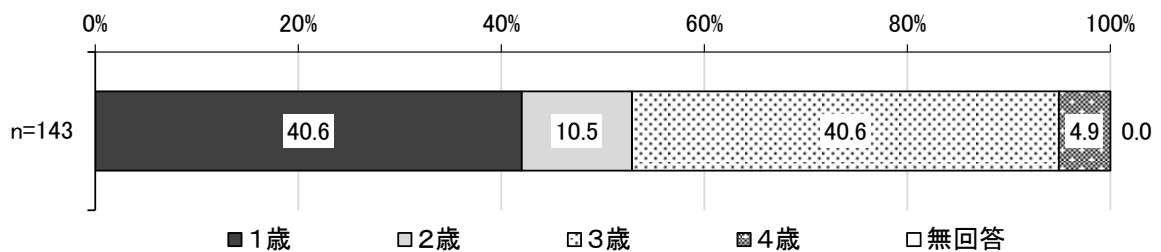
問 16－5. 利用していない理由は何ですか。(MA・数量回答)

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していない方の理由は、「子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている」(62.2%)が最も多く、次いで「利用する必要がある」(30.4%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(9.1%)となっています。

また、「子どもがまだ小さいため」を理由に利用していない方は、子どもの年齢が「1歳」や「3歳」(ともに40.6%)になったら利用したいと考えているが最も多くなっています。



問 16－5. 選択肢中・子どもが何歳くらいになったら利用したいと考えていますか。(数量回答)

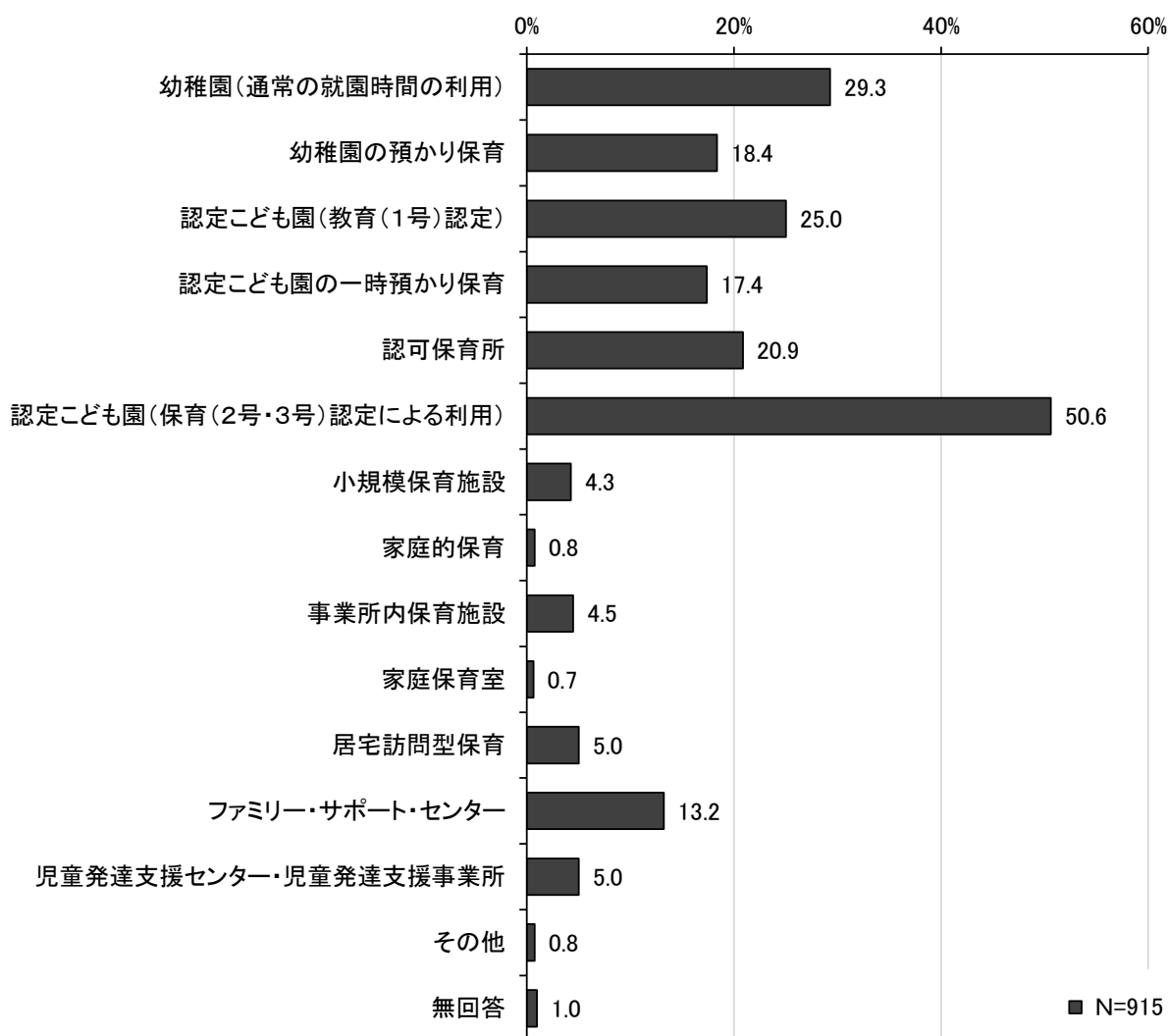


問 17. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育制度として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(MA)

子どもの平日の教育・保育制度として定期的に利用したいと考える事業は、「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」（50.6%）が最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」（29.3%）、「認定こども園（教育（1号）認定）」（25.0%）、「認可保育所」（20.9%）となっています。

年齢別では、全ての年齢で「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」（40%以上）の利用希望が多く、0歳～2歳で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」（20%以上）の利用希望が多く、1歳で「認定こども園（教育（1号）認定）」（30%以上）が多くなっています。

家庭類型別では、「母親か父親のどちらかは在宅」は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「認定こども園（教育（1号）認定）」（50%以上）の利用希望が多くなっています。



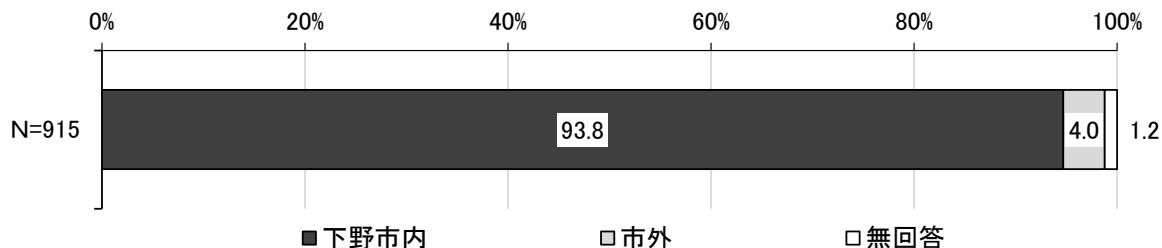
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

(単位: %)

		幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認定こども園(教育(1号)認定)	認定こども園の一時預かり保育	認可保育所	認定こども園(保育(2号・3号)認定による利用)	小規模保育施設	家庭的保育
全体 n=866		29.0	18.0	24.9	17.0	20.8	51.0	4.2	0.8
年齢別	0歳 n=234	35.0	17.9	23.9	16.7	30.3	48.3	7.7	1.7
	1歳 n=100	34.0	24.0	34.0	21.0	21.0	49.0	4.0	0.0
	2歳 n=130	29.2	17.7	24.6	14.6	16.2	53.1	3.1	0.0
	3歳 n=129	27.9	22.5	22.5	21.7	17.1	55.8	2.3	0.0
	4歳 n=135	18.5	8.9	25.2	13.3	16.3	49.6	3.0	1.5
	5歳 n=138	26.1	18.8	22.5	15.9	16.7	52.2	2.2	0.7
家庭類型別	ひとり親 n=34	11.8	20.6	14.7	11.8	23.5	61.8	0.0	0.0
	両親ともにフルタイムの共働き n=397	19.9	16.1	15.6	15.4	27.7	60.7	5.8	1.3
	どちらかパートタイムの共働き n=225	20.4	13.3	18.7	15.6	17.8	57.8	2.7	0.4
	母親か父親のどちらかは在宅 n=207	58.5	26.6	51.2	22.7	10.6	23.2	3.4	0.5
	両親ともにパートタイムの共働き n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	両親ともに無業 n=2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
		事業所内保育施設	家庭保育室	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター・児童発達支援事業所	その他	無回答	
全体 n=866		4.5	0.7	5.1	13.4	5.0	0.8	1.0	
年齢別	0歳 n=234	4.7	1.3	5.1	8.5	2.1	1.3	0.4	
	1歳 n=100	8.0	0.0	10.0	18.0	7.0	1.0	0.0	
	2歳 n=130	2.3	0.0	4.6	14.6	3.1	0.0	1.5	
	3歳 n=129	3.9	0.0	3.9	14.0	6.2	1.6	0.8	
	4歳 n=135	4.4	0.7	5.9	13.3	6.7	0.0	2.2	
	5歳 n=138	4.3	1.4	2.2	16.7	7.2	0.7	1.4	
家庭類型別	ひとり親 n=34	8.8	2.9	8.8	23.5	2.9	0.0	8.8	
	両親ともにフルタイムの共働き n=397	6.8	1.0	6.0	17.1	4.0	1.0	0.8	
	どちらかパートタイムの共働き n=225	3.1	0.4	4.9	10.7	4.4	0.9	0.4	
	母親か父親のどちらかは在宅 n=207	1.0	0.0	2.9	7.7	7.7	0.5	1.0	
	両親ともにパートタイムの共働き n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	両親ともに無業 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 17-1. 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(S A)

教育・保育事業を利用したい場所は、「下野市内」が93.8%となっています。



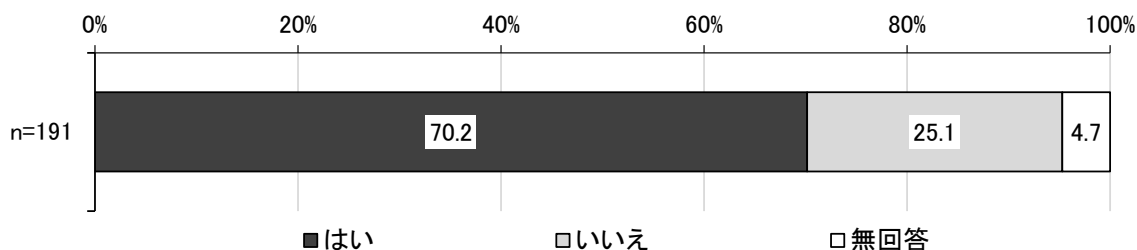
【市外の自治体】

(単位: %)

	上三川町	壬生町	宇都宮市	小山市	その他	無回答
市外 n=36	32.4	20.6	26.5	11.8	0.0	8.8

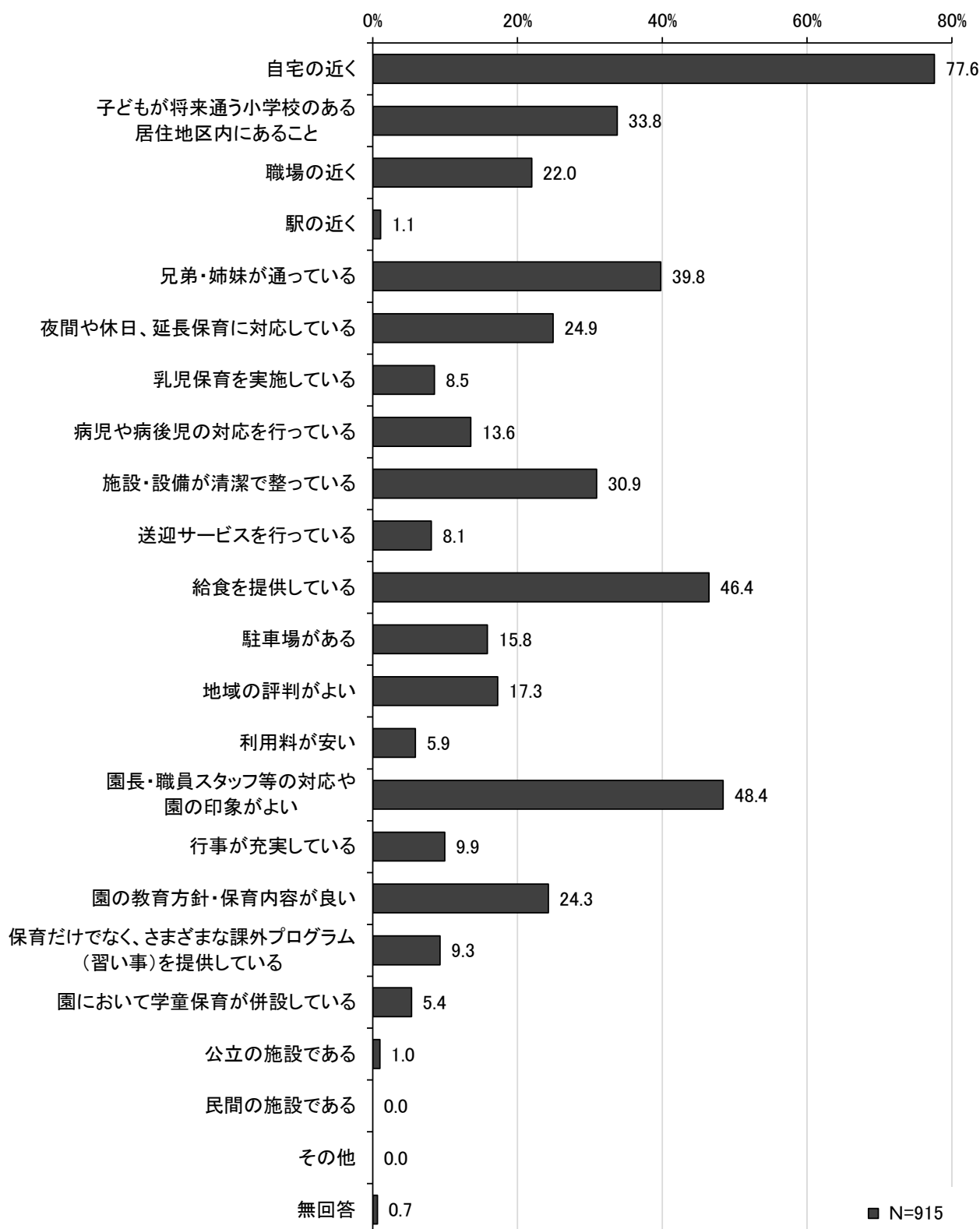
問 17-2. 問 17で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」と回答し、かつ他の選択肢にも回答した方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(S A)

幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望する方は、「はい」（70.2%）が半数を超えています。

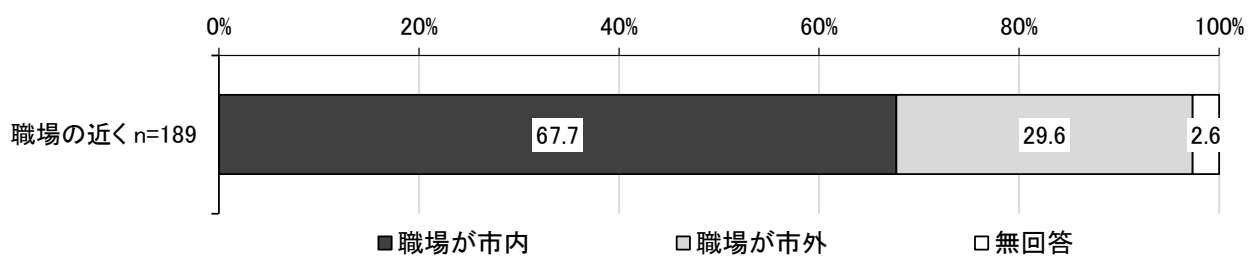


問 18. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(MA) (5つまで)

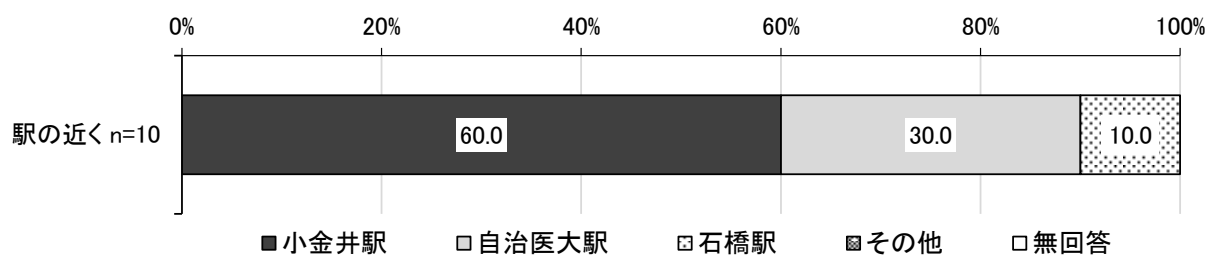
平日の教育・保育事業を選ぶ際に重視する点は、「自宅の近く」(77.6%) が最も多く、次いで「園長・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」(48.4%)、「給食を提供している」(46.4%) となっています。



【職場の近くの内訳】



【駅の近くの内訳】



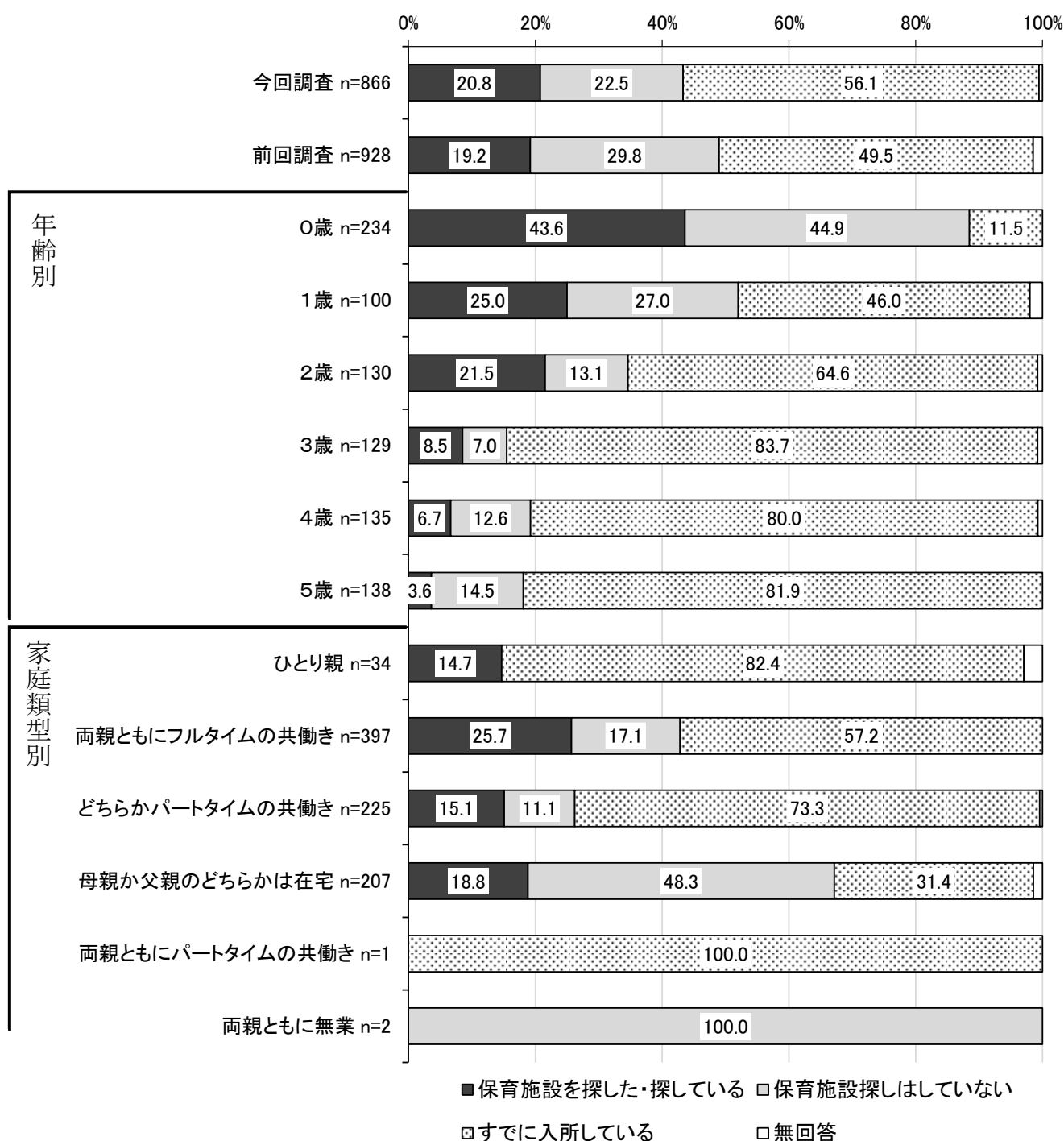
5. 保育施設探しについて

問 19. あなたは、お子さんを預けるため、この1年間で保育施設探しを行いましたか。(S A)

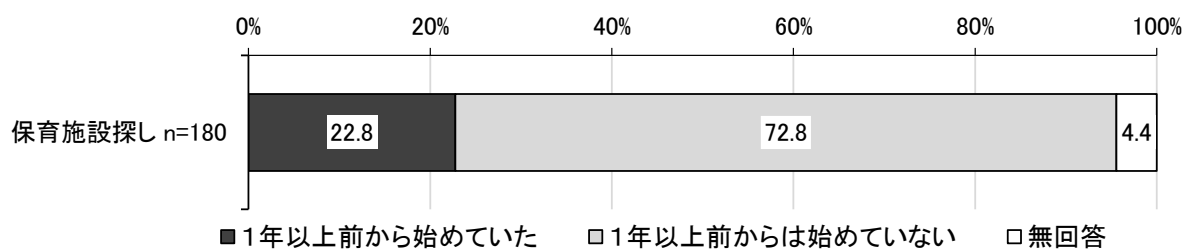
保育施設探しは、「すでに入所している」(56.1%)が最も多く、次いで「保育施設探しはしていない」(22.5%)、「保育施設を探した・探している」(20.8%)となっています。

子どもの年齢では、0歳～2歳は「保育施設を探した・探している」割合が**多く**(20%以上)なっています。家庭類型別では、両親ともにフルタイムの共働きの家庭は、「保育施設を探した・探している」(20%以上)割合が**多く**なっています。

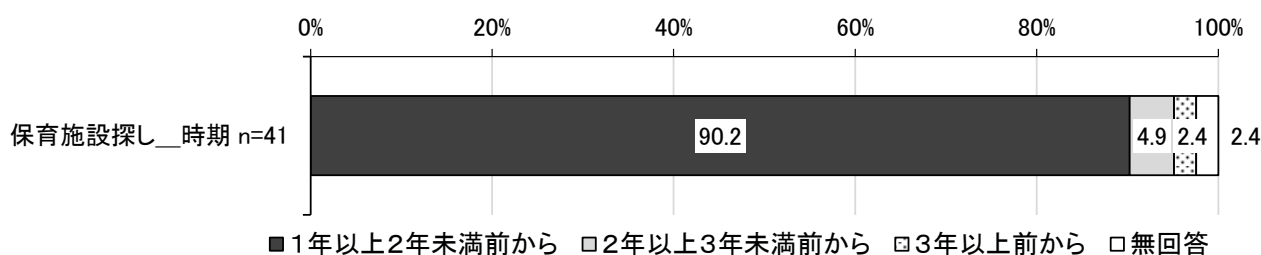
前回調査に比べ、「すでに入所している」が6.6ポイント**増加**しています。



【保育施設探し】



【保育施設探し__時期】

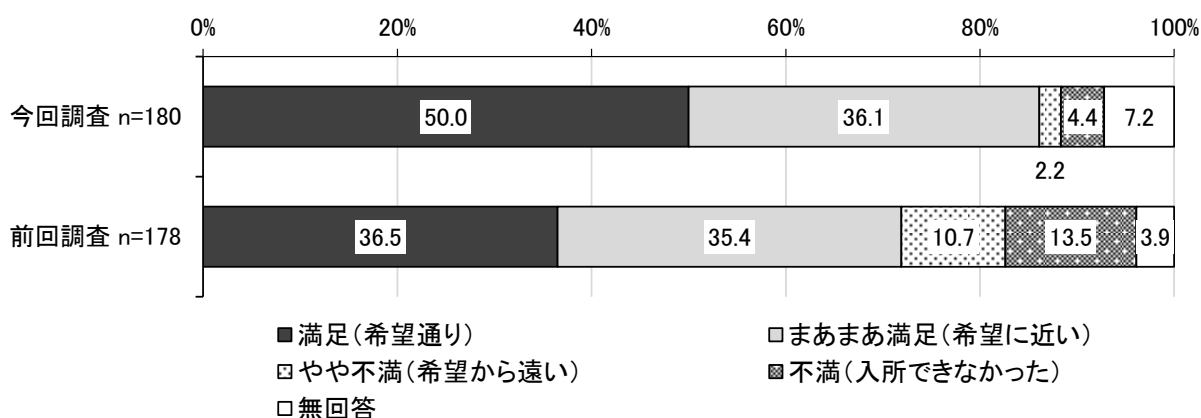


【問 19 で「保育施設を探した・探している」を選択した方】

問 19-1. 保育施設探しの結果に満足されていますか。(S A)

「保育施設を探した・探している」を選択した方の保育施設探しの結果は、「満足（希望通り）」（50.0%）が最も多く、次の「まあまあ満足（希望に近い）」（36.1%）と合わせて満足した方が 86.1% いる一方で、不満を抱えている方（やや不満（希望から遠い）+不満（入所できなかった））は 6.6% います。

前回調査に比べ、『満足』（満足（希望通り）+まあまあ満足（希望に近い））が 14.2 ポイント増加しています。



【問 19－1 で「やや不満（希望から遠い）」または「不満（入所できなかった）」と保育施設探しの結果に不満であると回答をした方】

問 19－2. 保育施設探しの結果に、不満を抱いている・希望通りにならなかったと感じている理由は何ですか。（MA）

保育施設探しの結果への不満の理由をみると、「選考基準に疑問がある」（3 件）が最も多く、次いで「兄弟・姉妹で別の施設」「保育内容に不満」「希望した時期に入園できない」がともに 2 件、「職場から遠い」「利用料が高い」「保育士の質に不満」「園の施設・設備に不満（園庭が狭いなど）」「年齢制限があり、今後の転園に不安」がともに 1 件となっています。

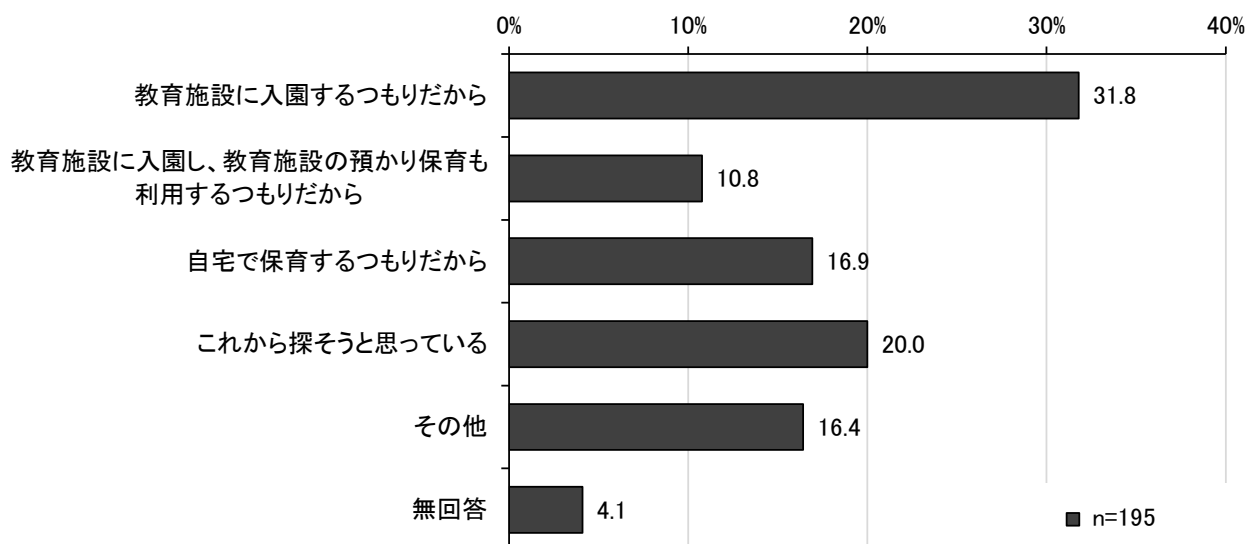
「その他」（4 件）には、「入園できなかった」「見学時の説明がなかった」などがありました。

【問 19 で「保育施設探しはしていない」を選択した方】

問 19－3. 保育施設探しをしていない・探さなかった理由は何ですか。（SA）

保育施設探しをしていない理由は、「教育施設に入園するつもりだから」（31.8%）が最も多く、次いで「これから探そうと思っている」（20.0%）、「自宅で保育するつもりだから」（16.9%）となっています。

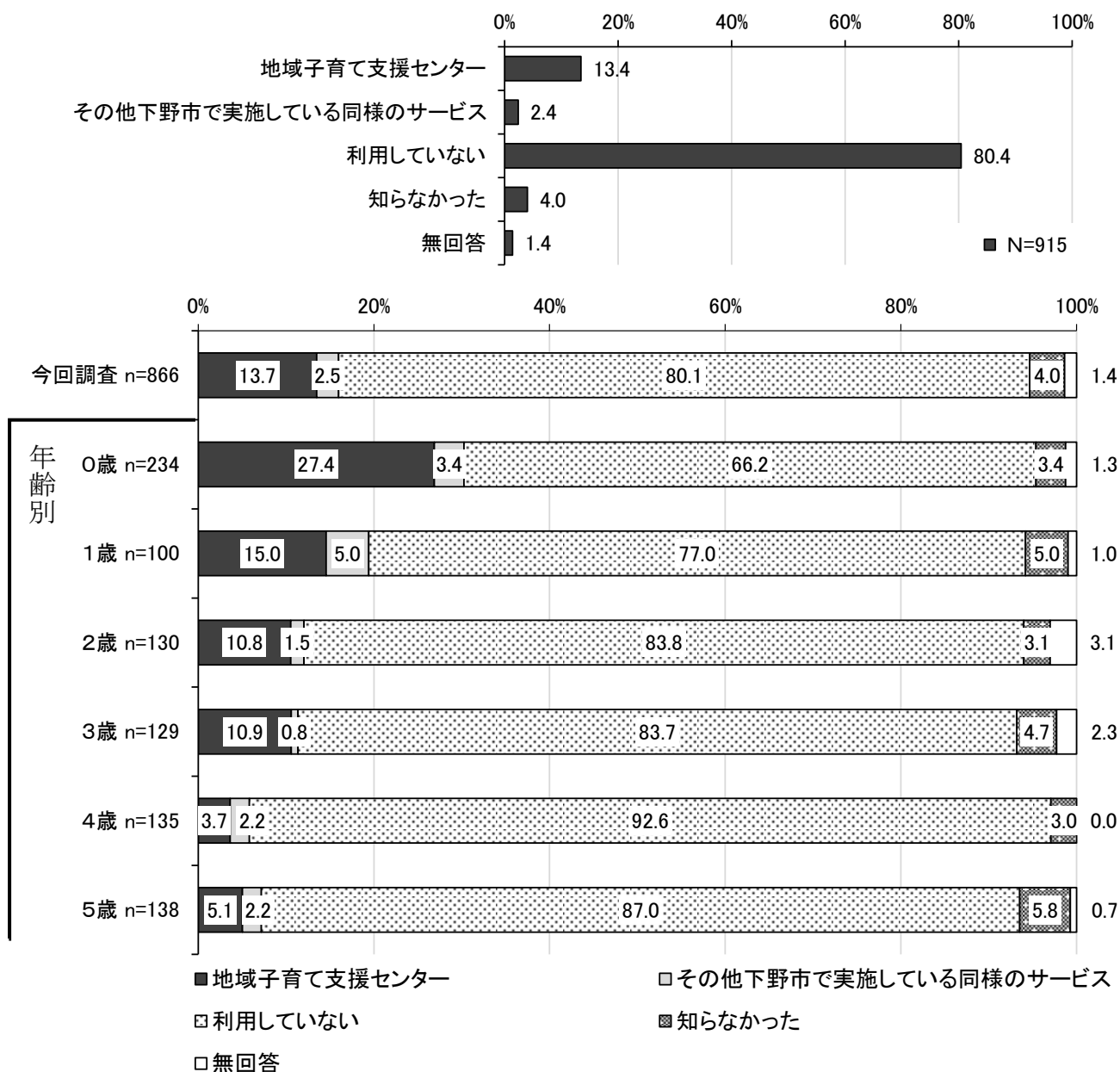
「その他」には、「兄弟・姉妹と同じ施設に通わせる予定のため」「引っ越し予定のため」などがありました。



6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 20. お子さんは、現在、地域子育て支援センターを利用していますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（MA・数量回答）

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」（80.4%）が最も多く、次いで「地域子育て支援センター」（13.4%）、「知らなかった」（4.0%）となっています。0歳児の保護者は、地域子育て支援センターを利用している割合が2割以上となっていますが、1～3歳児の保護者は、1割程度となっています。



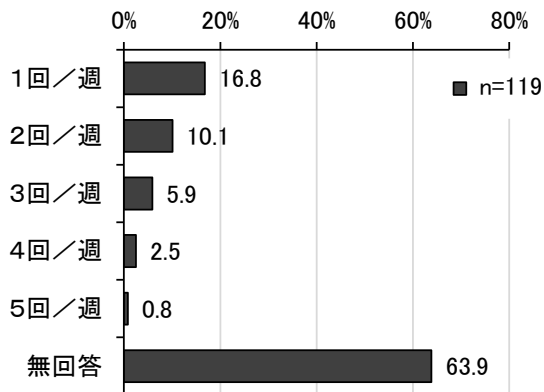
その他下野市で実施している同様のサービス（具体的な記載があった回答）

年齢	サービス名及び件数
0歳	石橋児童館（1件）、児童館（2件）
1歳	南河内児童館（1件）、石橋児童館（1件）
2歳	南河内児童館（1件）、児童館（1件）

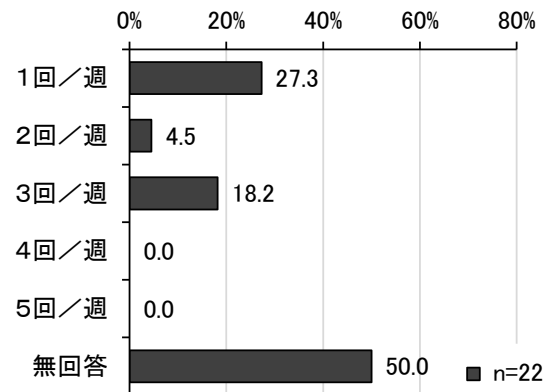
地域子育て支援センターの1週当たりの利用は、「1回」（16.8%）が最も多く、次いで「2回」（10.1%）、「3回」（5.9%）となっています。1か月当たりの利用は「1回」（33.6%）が最も多く、次いで「2回」（16.8%）、「3回」（8.4%）となっています。

その他下野市で実施している同様のサービスの1週当たりの利用は、「1回」（27.3%）が多く、1か月当たりの利用は「1回」「2回」（ともに22.7%）が多くなっています。

【地域子育て支援センターの1週当たりの利用】



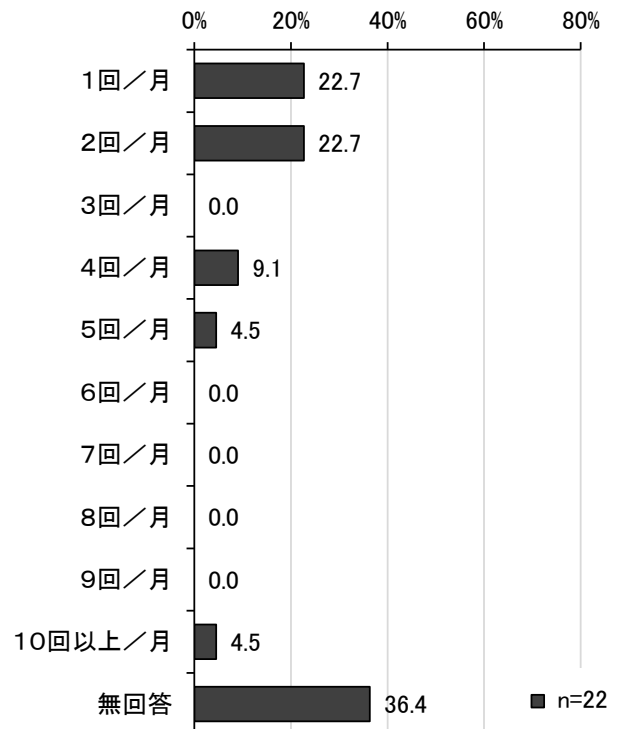
【その他下野市で実施している同様のサービスの1週当たりの利用】



【地域子育て支援センターの1か月当たりの利用】



【その他下野市で実施している同様のサービスの1か月当たりの利用】

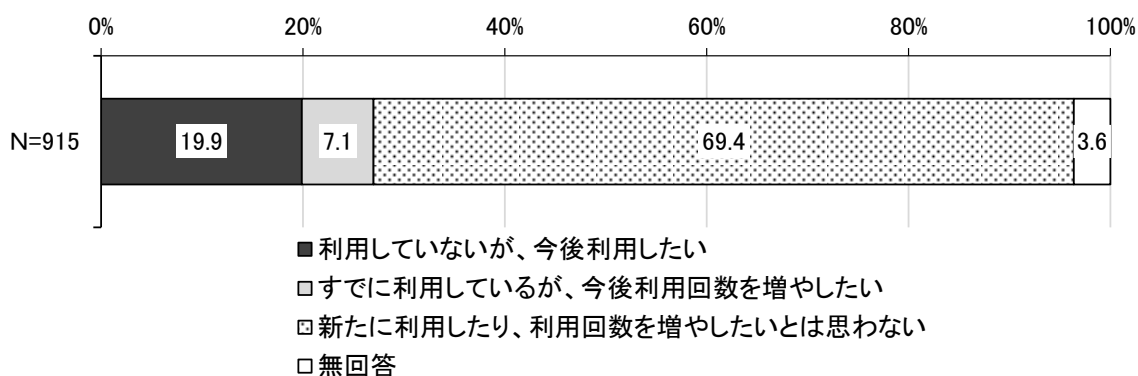


問 21. 地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。
（SA・数量回答）

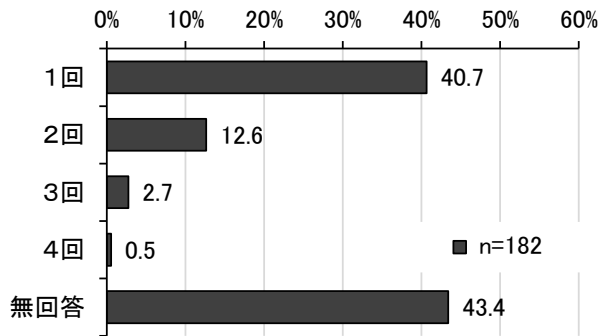
地域子育て支援センターの利用は、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」（69.4%）が最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」（19.9%）、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」（7.1%）となっています。

未利用者の希望利用回数（1週当たり）は、「1回」（40.7%）が最も多く、次いで「2回」（12.6%）、「3回」（2.7%）となっています。

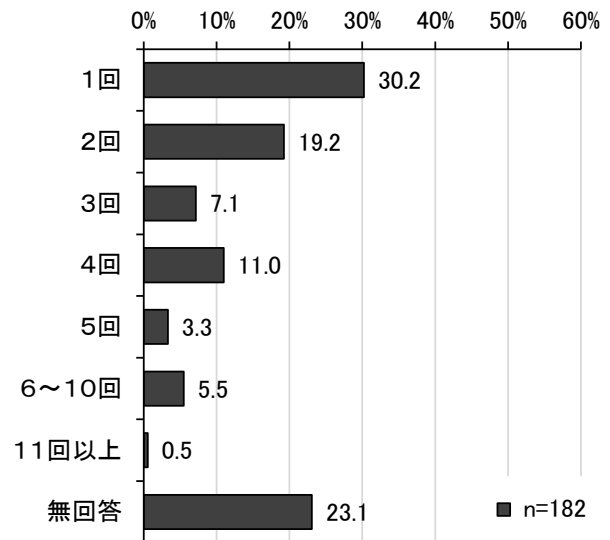
既利用者が今後増やしたい利用回数（1週当たり）は、「1回」（24.6%）が最も多く、次いで「4回」（12.3%）、「2回」「3回」（ともに 10.8%）となっています。



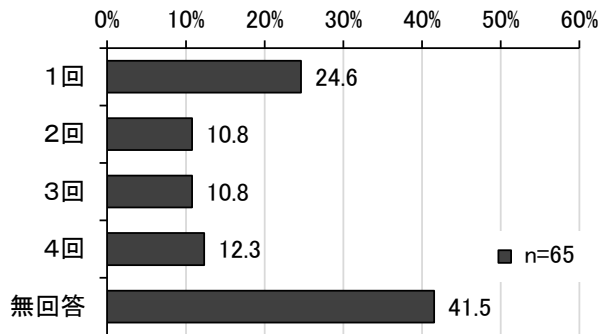
【未利用・週当たりの希望利用回数】



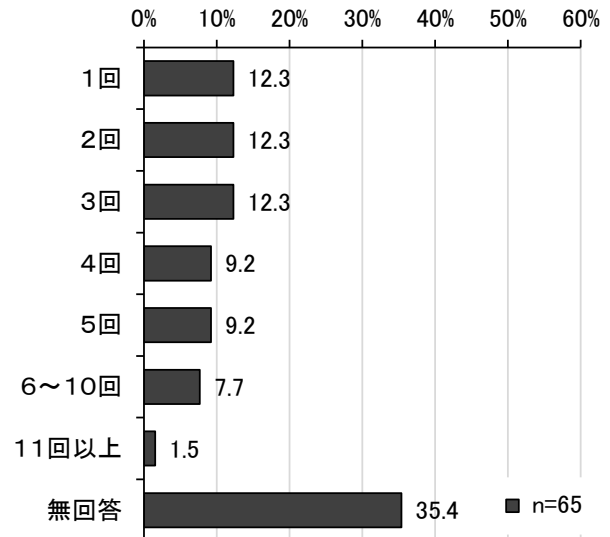
【未利用・1か月当たりの希望利用回数】



【既利用・週当たりの希望利用回数】



【既利用・1か月当たりの希望利用回数】

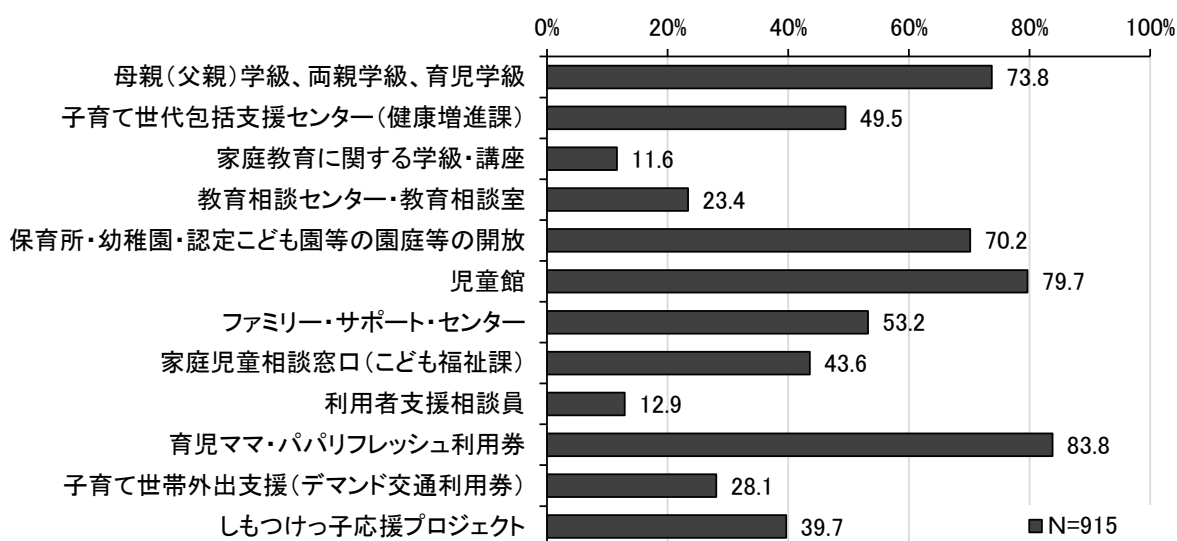


問 22. 下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(MA)

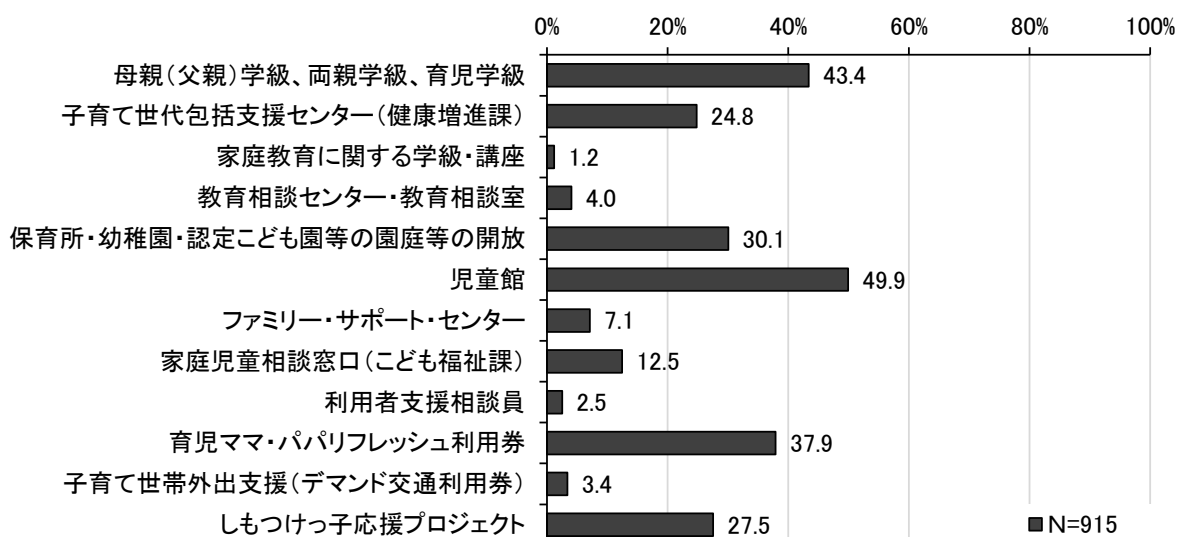
地域の子育て支援事業で「知っている」ものは、「育児ママ・パパリフレッシュ利用券」(83.8%)が最も多く、次いで「児童館」(79.7%)、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(73.8%)となっています。

「利用したことがある」ものは、「児童館」(49.9%)が最も多く、次いで「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(43.4%)、「育児ママ・パパリフレッシュ利用券」(37.9%)となっています。

■認知度 (知っている事業について)

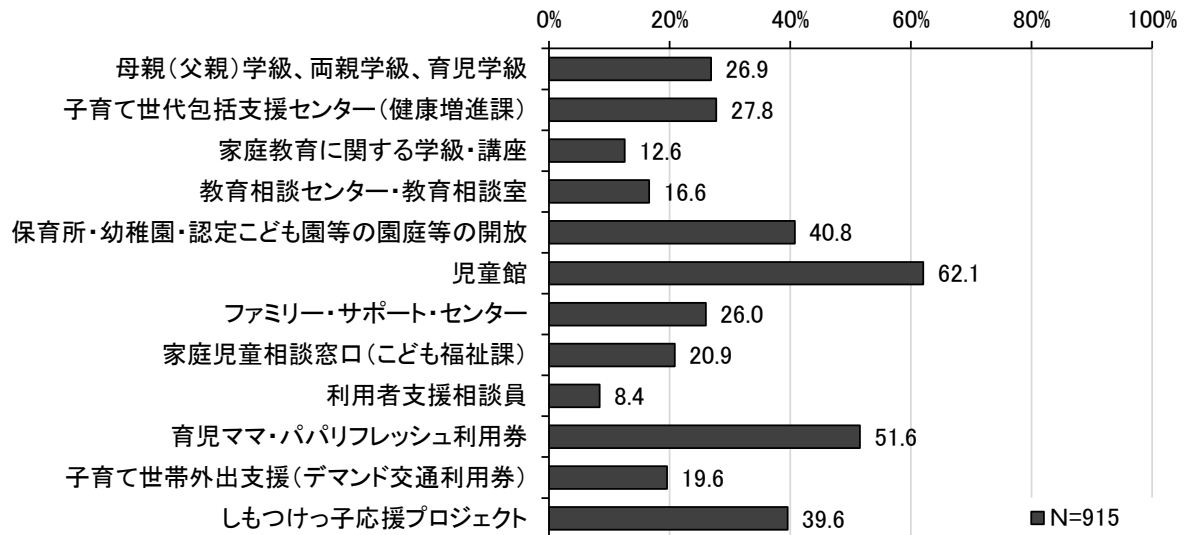


■利用経験 (利用したことがある事業について)



「今後利用したい」ものは、「児童館」(62.1%)が最も多く、次いで「育児ママ・パパリフレッシュ利用券」(51.6%)、「保育所・幼稚園・認定こども園等の園庭等の開放」(40.8%)となっています。

■今後の利用意向（今後利用したい事業について）

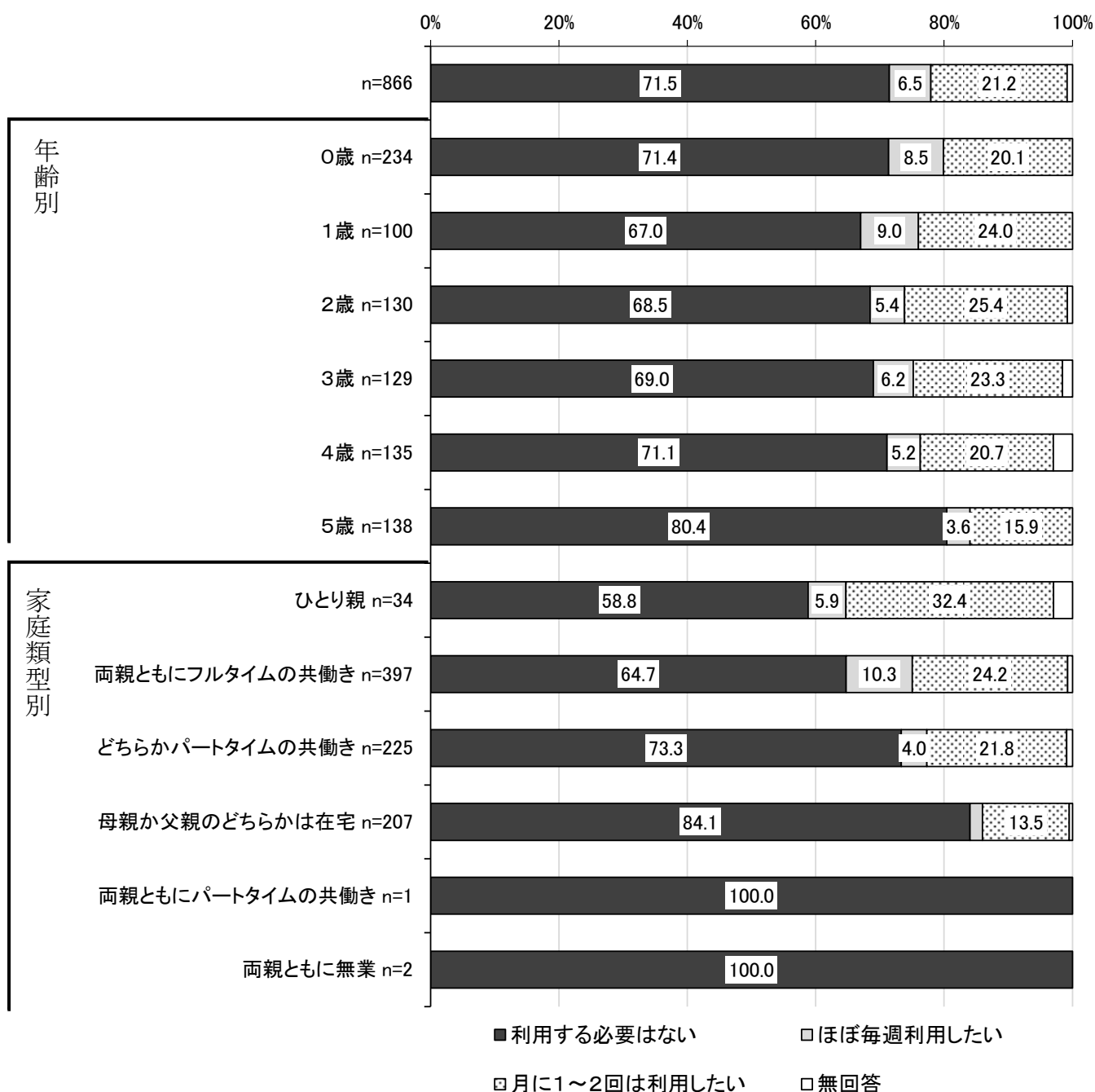


7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 23. お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、それぞれで定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（S A・数量回答）

土曜日の定期的な教育・保育事業は、「利用する必要はない」（71.5%）が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（21.2%）、「ほぼ毎週利用したい」（6.5%）となっています。

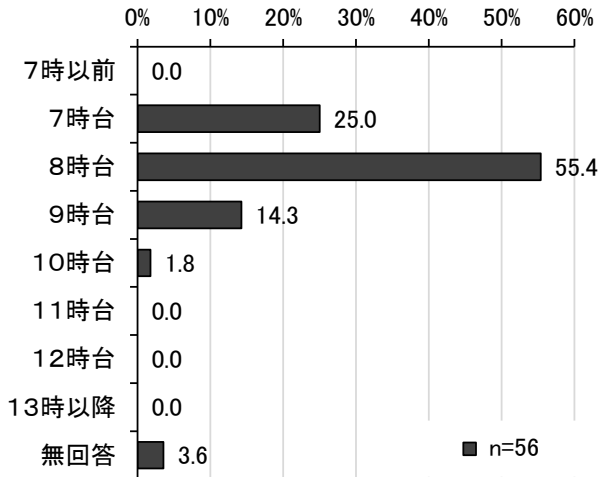
■土曜日



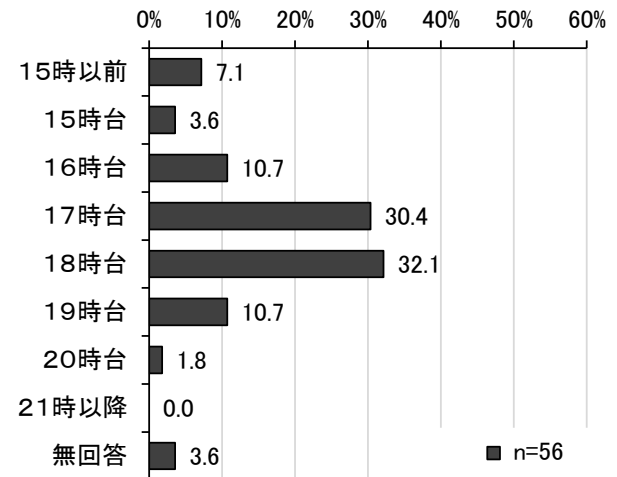
土曜日の定期的な教育・保育事業をほぼ毎週利用したい方の場合、利用開始時間は、「8 時台」(55.4%) が最も多く、利用終了時間は、「1 8 時台」(32.1%) が最も多くなっています。

また、月 1 ～ 2 回利用したい方の場合、利用開始時間は、「8 時台」(39.1%) が最も多く、利用終了時間は、「1 7 時台」(28.8%) が最も多くなっています。

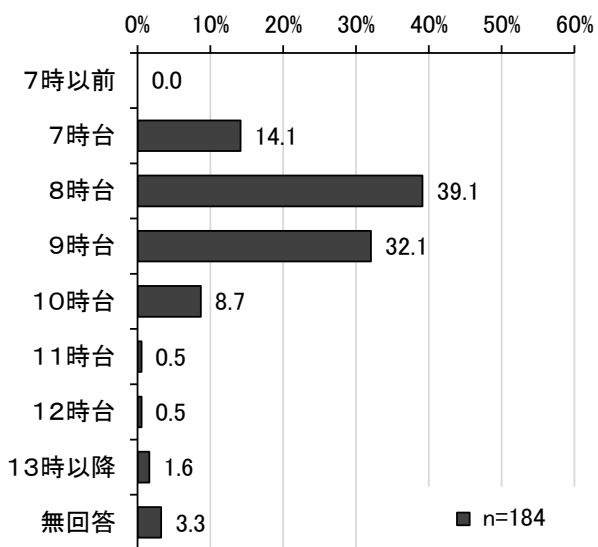
【土曜日・ほぼ毎週利用したい__利用開始時間】



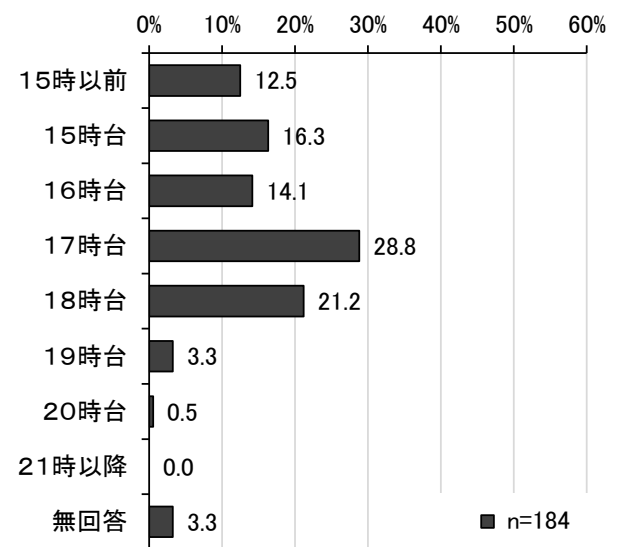
【土曜日・ほぼ毎週利用したい__利用終了時間】



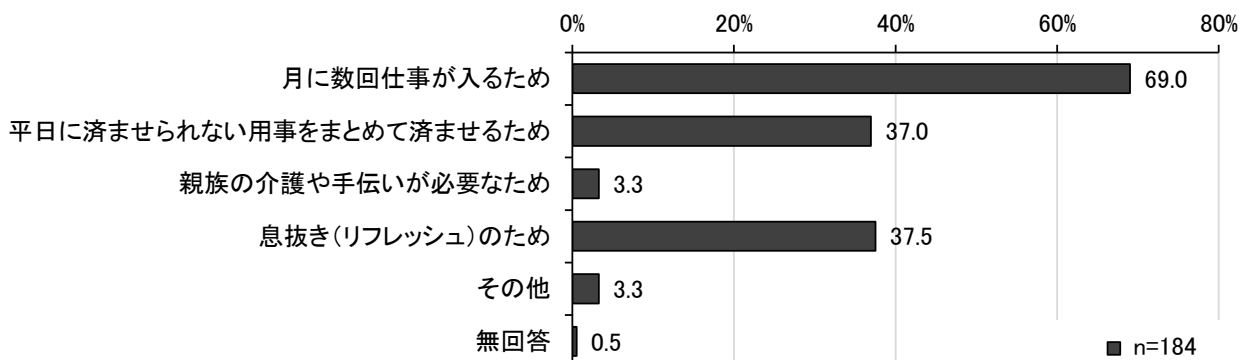
【土曜日・月 1 ～ 2 回利用したい__利用開始時間】



【土曜日・月 1 ～ 2 回利用したい__利用終了時間】

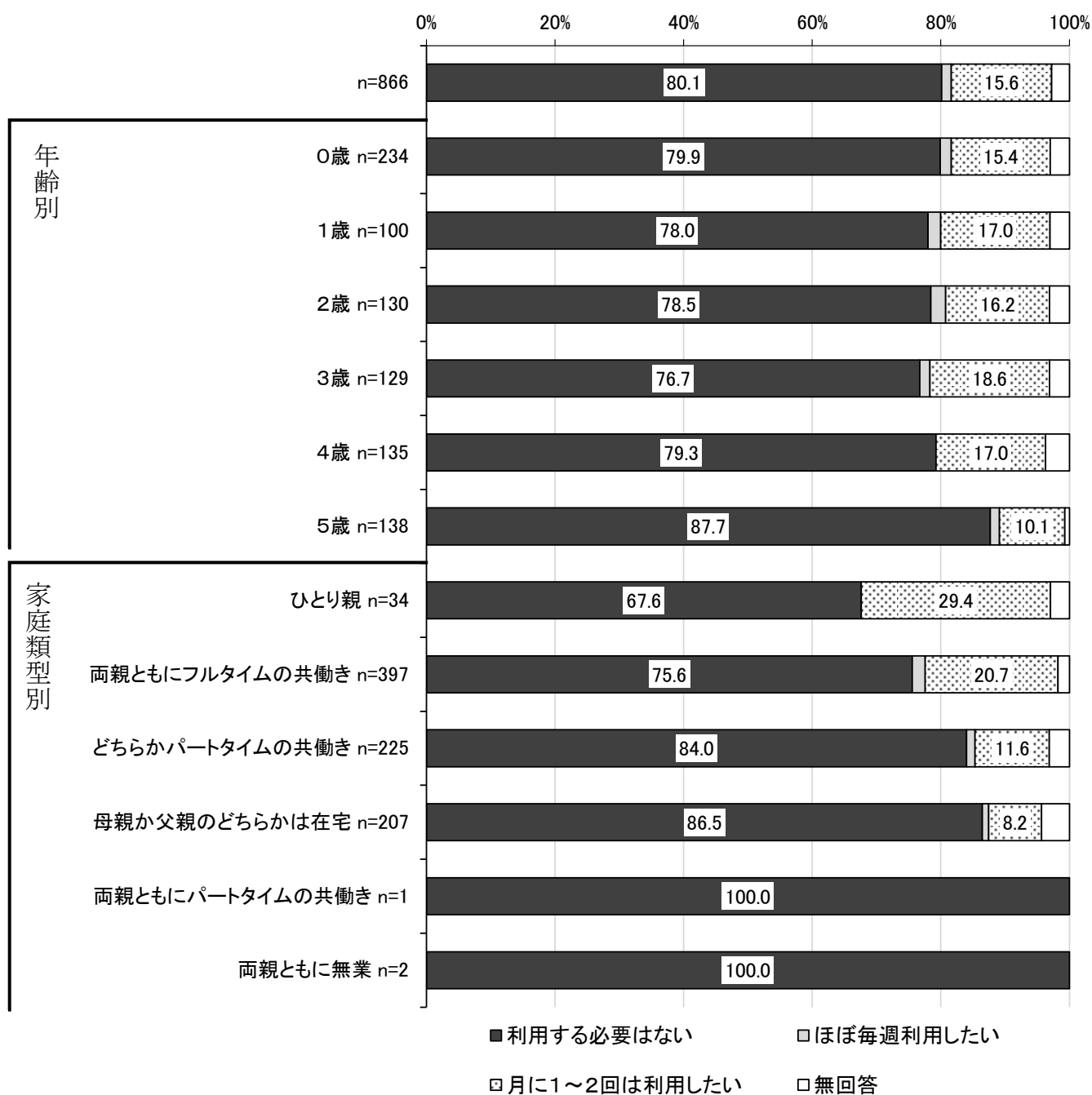


月 1 ～ 2 回利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」(69.0%) が最も多く、次いで「息抜き(リフレッシュ)のため」(37.5%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(37.0%) となっています。



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業は、「利用する必要はない」(80.1%)が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」(15.6%)となっています。

■日曜日・祝日

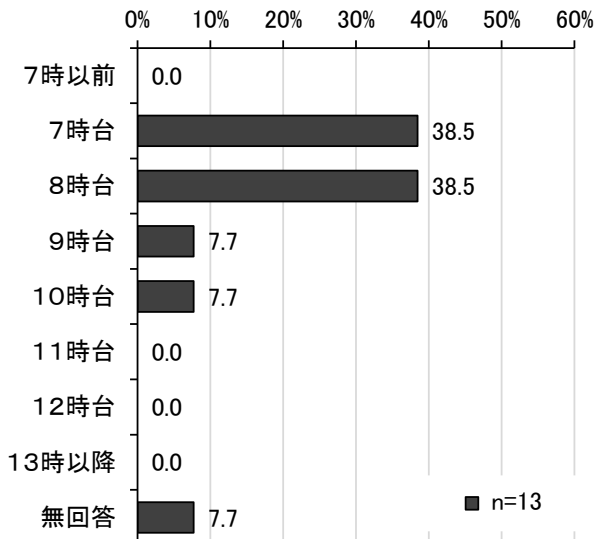


7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

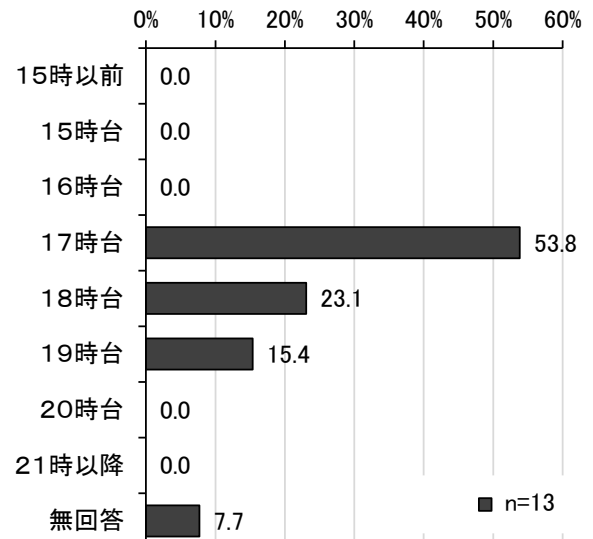
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をほぼ毎週利用したい方の場合、利用開始時間は、「7時台」「8時台」(38.5%) がともに最も多く、利用終了時間は、「17時台」(53.8%) が最も多くなっています。

また、月1～2回利用したい方の場合、利用開始時間は、「8時台」(43.0%) が最も多く、利用終了時間は、「18時台」(30.4%) が最も多くなっています。

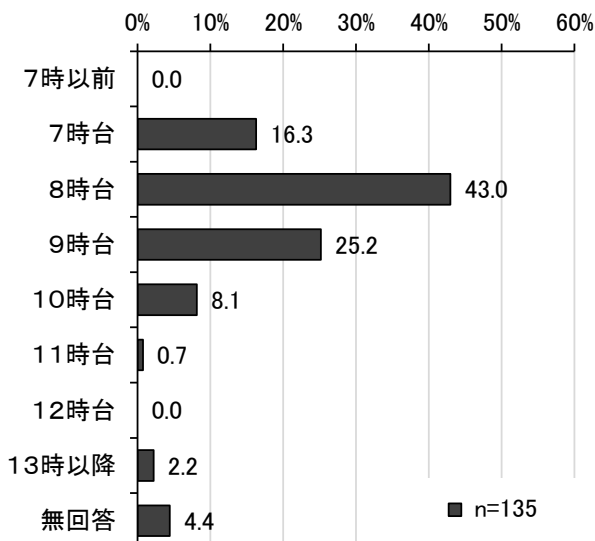
【日曜日・ほぼ毎週利用したい__利用開始時間】



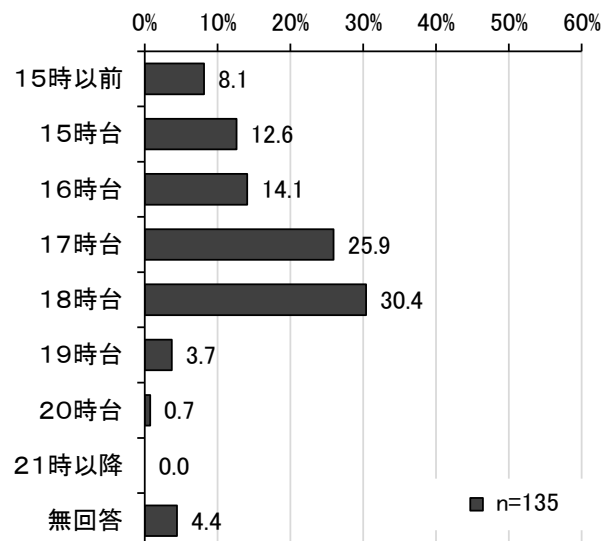
【日曜日・ほぼ毎週利用したい__利用終了時間】



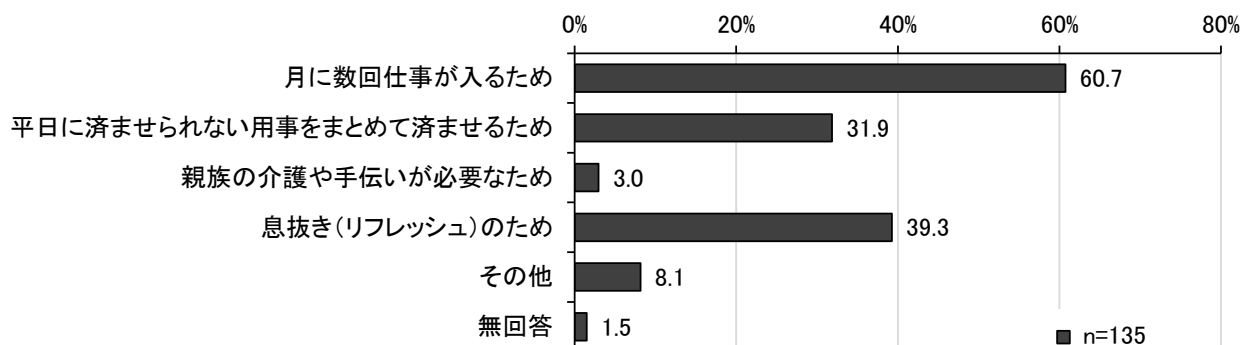
【日曜日・月1～2回利用したい__利用開始時間】



【日曜日・月1～2回利用したい__利用終了時間】



月に1～2回利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」(60.7%) が最も多く、次いで「息抜き(リフレッシュ)のため」(39.3%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(31.9%) となっています。

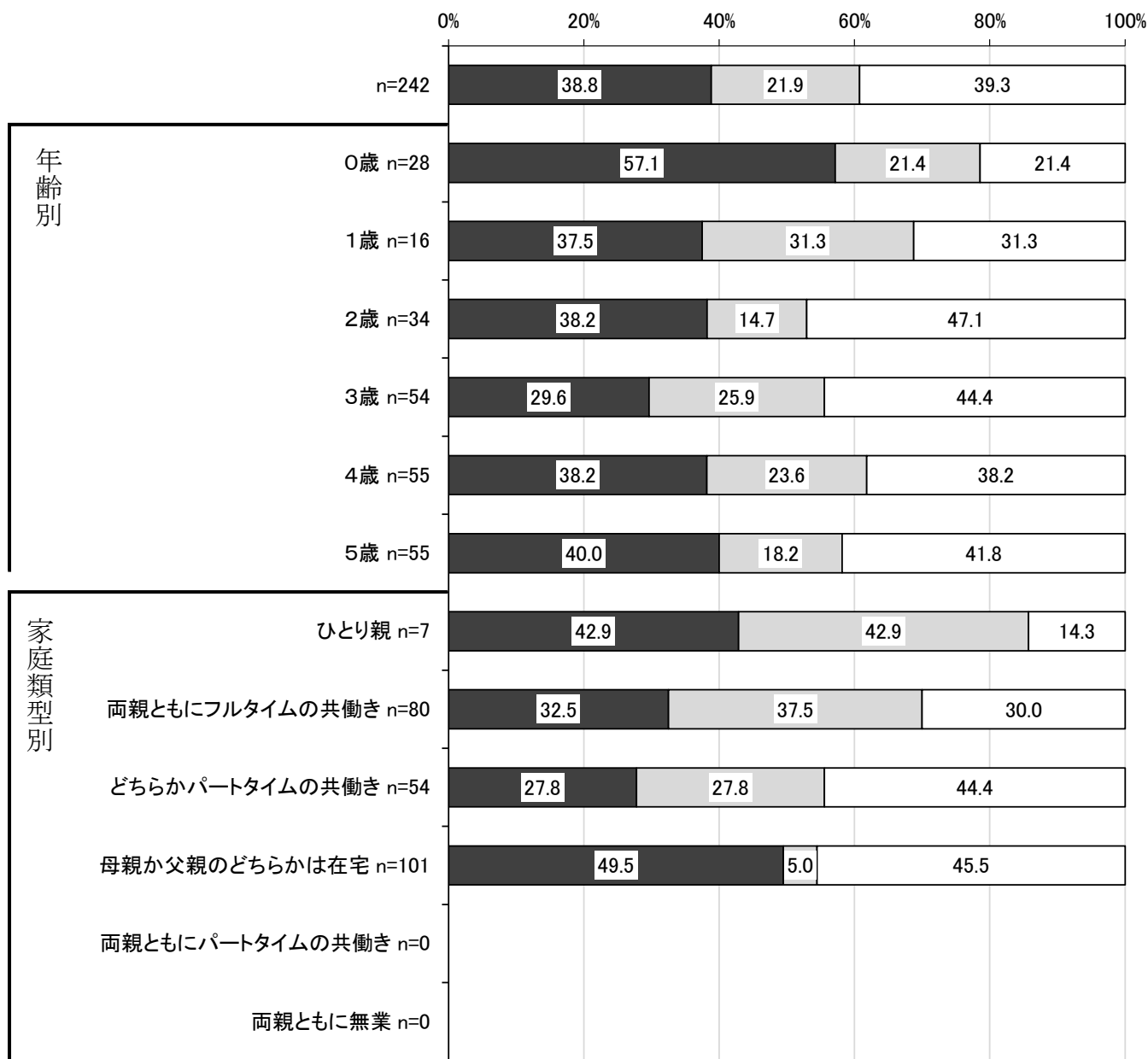


【教育施設（幼稚園・認定こども園（教育（1号）認定））を利用されている方】

問 24. お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育施設の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（S A・数量回答）

長期の休暇期間中の教育・保育事業は、「休みの期間中、週に数日利用したい」（39.3%）が最も多く、次いで「利用する必要はない」（38.8%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（21.9%）となっています。

■長期休暇



■ 利用する必要はない

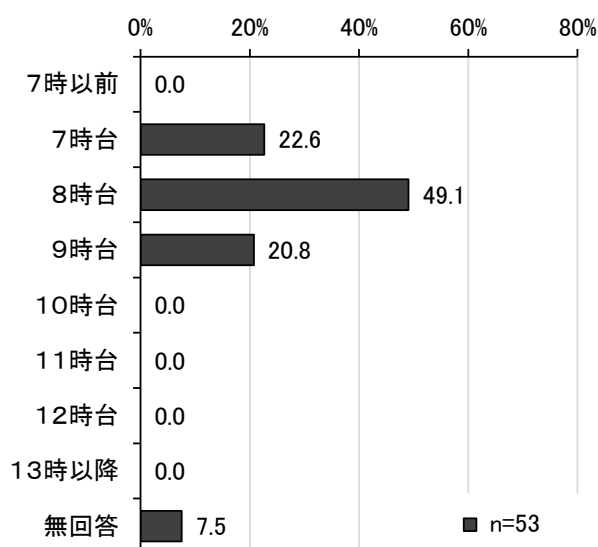
□ 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

□ 休みの期間中、週に数日利用したい

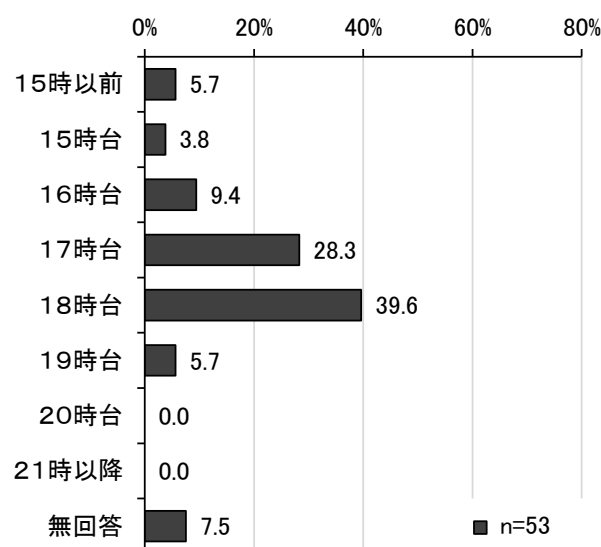
長期の休暇期間中の定期的な教育・保育事業をほぼ毎日利用したい方の場合、利用開始時間は、「8時台」(49.1%) が最も多く、利用終了時間は、「18時台」(39.6%) が最も多くなっています。

また、週に数日利用したい方の場合、利用開始時間は、「9時台」(53.7%) が最も多く、利用終了時間は、「15時以前」(29.5%) が最も多くなっています。

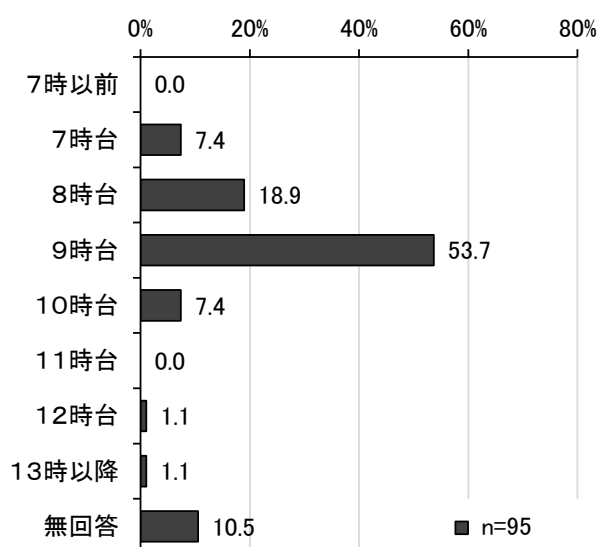
【長期休暇・ほぼ毎日利用したい__利用開始時間】



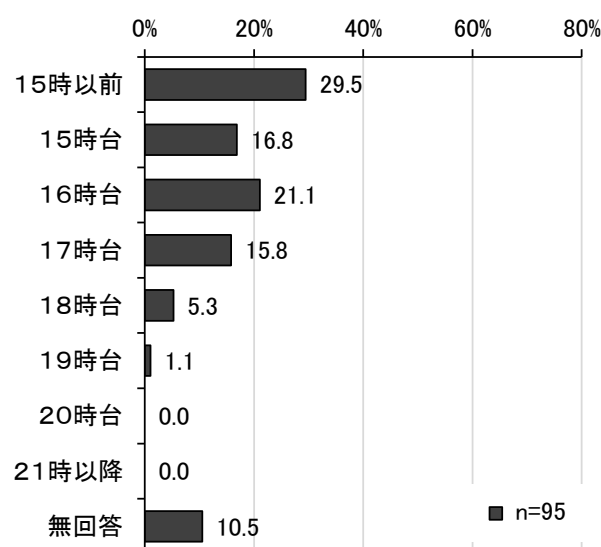
【長期休暇・ほぼ毎日利用したい__利用終了時間】



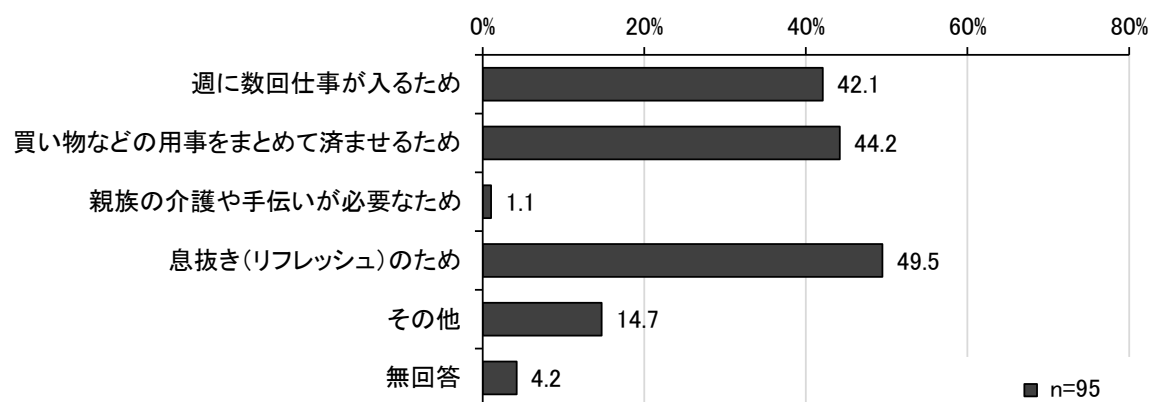
【長期休暇・週に数日利用したい__利用開始時間】



【長期休暇・週に数日利用したい__利用終了時間】



週に数日利用したい理由は、「息抜き（リフレッシュ）のため」（49.5%）が最も多く、次いで「買い物などの用事をまとめて済ませるため」（44.2%）、「週に数回仕事が入るため」（42.1%）となっています。



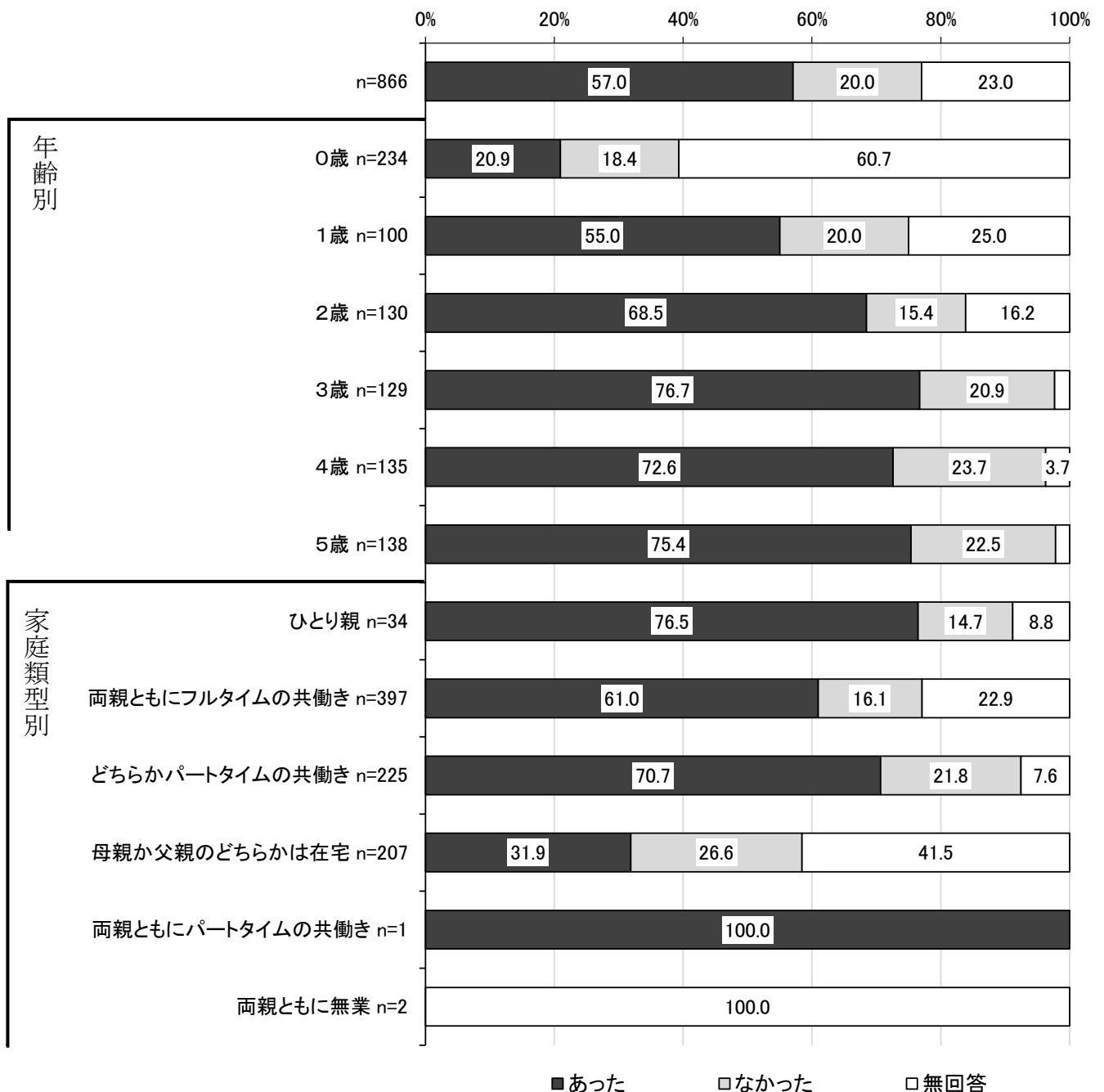
8. お子さんの病気の際の対応について

問 25. この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が利用できなかったことはありますか。(S A)

児童が病気やケガで普段利用している教育・保育施設が「利用できなかったことがあった」は57.0%となっています。

年齢別では、3歳で「あった」の割合が最も多く(76.7%)、次いで5歳(75.4%)、4歳(72.6%)となっています。

家庭類型別では、「ひとり親」の家庭で「あった」(76.5%)の割合が多くなっています。



【問 25 で「あった」を選択した方】

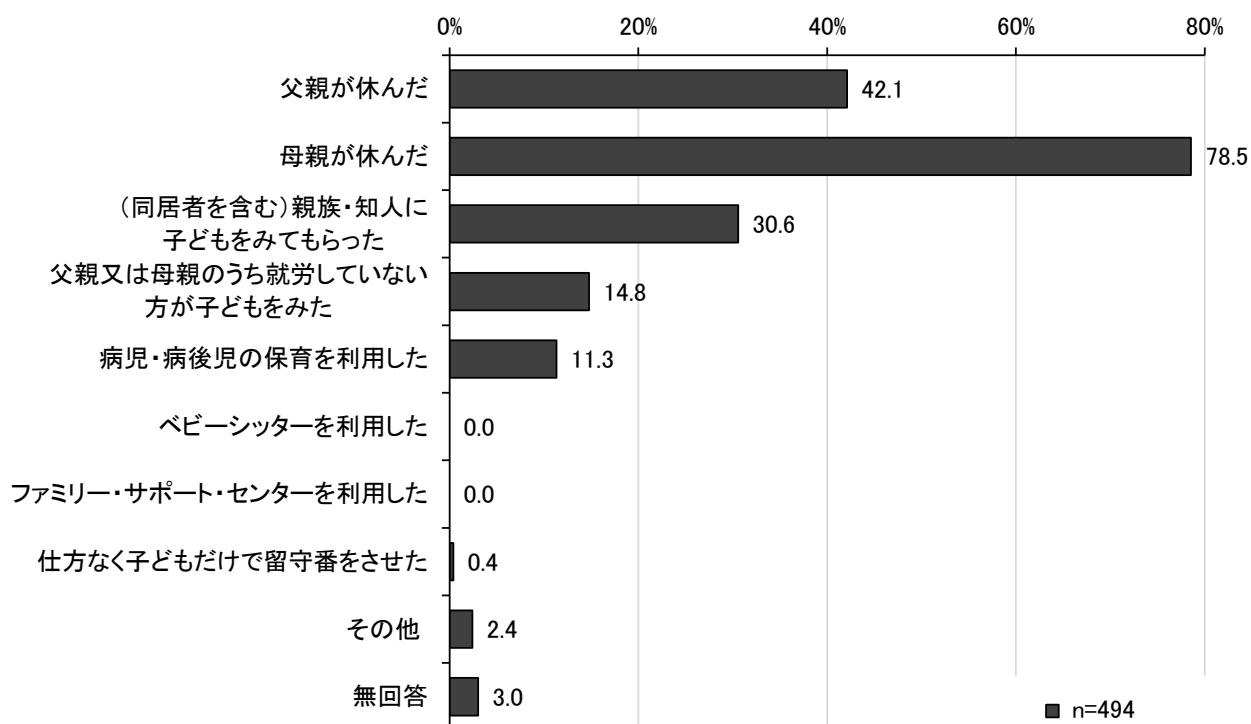
問 25-1. この1年間で、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が利用できなかったとき、どのように対処しましたか。それぞれの日数もご記入ください。

(MA・数量回答)

対処は、「母親が休んだ」(78.5%)が最も多く、次いで「父親が休んだ」(42.1%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(30.6%)となっています。

それぞれの対処で、母親が休んだ日数は、「11日以上」(33.2%)が最も多く、次いで「6～10日」(30.4%)、「5日」(14.9%)となっています。父親が休んだ日数は「5日」(24.0%)が最も多くなっています。

その他は12名で、「在宅勤務に切り替えた」などでした。



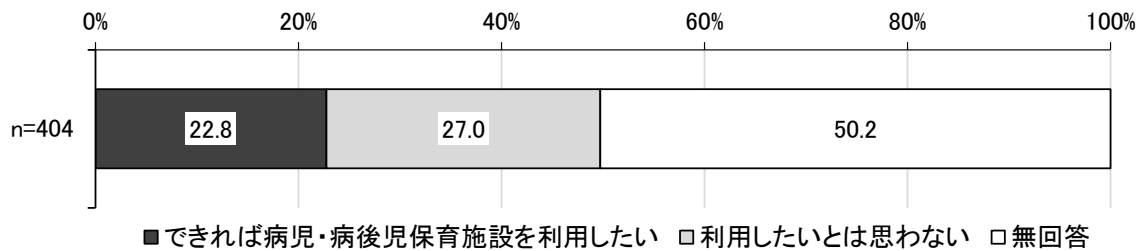
(単位: %)

	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11日以上	無回答
父親が休んだ n=208	7.2	16.8	16.3	7.2	24.0	18.8	6.7	2.9
母親が休んだ n=388	1.8	5.4	7.0	3.1	14.9	30.4	33.2	4.1
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった n=151	6.0	9.9	15.2	2.0	19.9	27.8	14.6	4.6
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた n=73	0.0	0.0	5.5	0.0	13.7	27.4	49.3	4.1
病児・病後児の保育を利用した n=56	12.5	12.5	21.4	5.4	16.1	19.6	12.5	0.0
ベビーシッターを利用した n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
その他 n=12	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	41.7	8.3

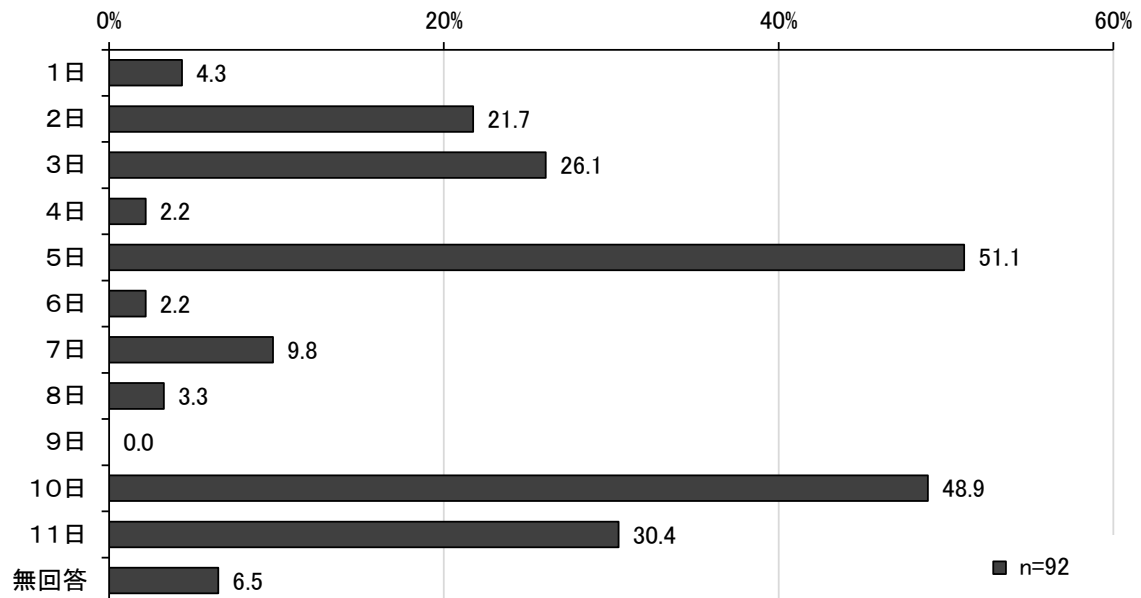
【問 25-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」を選択した方】

問 25-2. その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
日数もご記入ください。(SA・数量回答)

父親・母親が休んだ方で病児・病後児保育施設の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」が22.8%となっており、その利用日数は「5日」(51.1%)が最も多く、次いで「10日」(48.9%)、「11日」(30.4%)となっています。



■利用希望日数

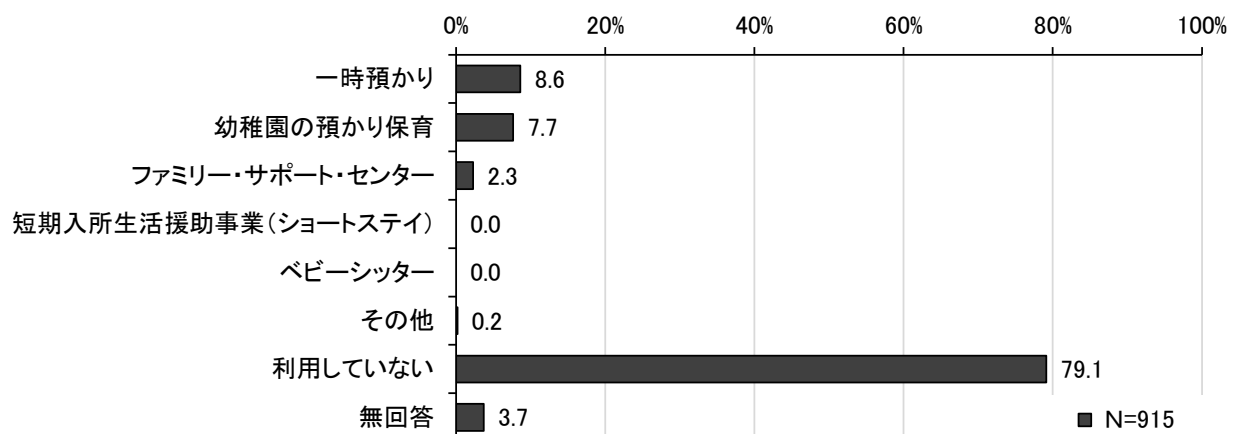


9. お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 26. お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。1 年間の利用回数（おおよそ）もご記入ください。（MA・数量回答）

不規則の教育・保育事業等の利用状況は、「利用していない」（79.1%）が最も多く、次いで「一時預かり」（8.6%）、「幼稚園の預かり保育」（7.7%）となっています。

全ての事業で利用回数は、「5 回以下」が最も多くなっています。



■利用回数

(単位: %)

	一時預かり n=79	幼稚園の 預かり保育 n=70	ファミリー・ サポート・ センター n=21	その他 n=2
5回以下	58.2	51.4	47.6	50.0
6～10回	24.1	15.7	9.5	50.0
11～20回	6.3	11.4	9.5	0.0
21回以上	6.3	15.7	28.6	0.0
無回答	5.1	5.7	4.8	0.0

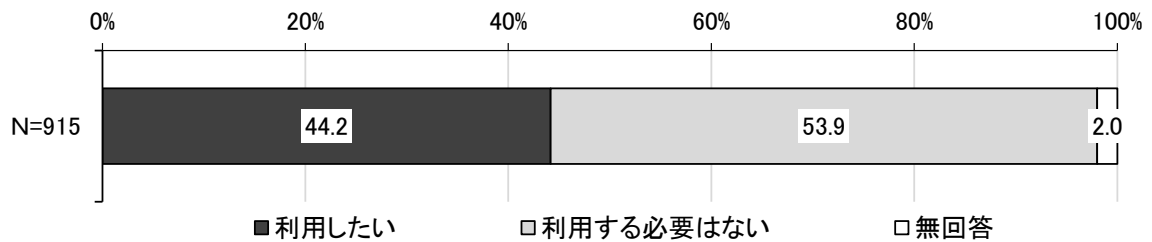
(単位: %)

	一時預かり	幼稚園の預 かり保育	ファミリー・ サポート・セ ンター	短期入所生 活援助事業 (ショートス テイ)	ベビーシッ ター	その他	利用してい ない	無回答
n=866	8.7	7.5	2.3	0.0	0.0	0.2	79.6	3.5
年齢別								
0歳 n=234	14.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	82.5	2.6
1歳 n=100	14.0	2.0	3.0	0.0	0.0	0.0	79.0	3.0
2歳 n=130	10.8	12.3	2.3	0.0	0.0	0.0	76.2	3.1
3歳 n=129	7.8	9.3	4.7	0.0	0.0	0.8	76.0	4.7
4歳 n=135	1.5	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	82.2	3.7
5歳 n=138	0.7	14.5	1.4	0.0	0.0	0.0	79.0	4.3
家庭類型別								
ひとり親 n=34	0.0	20.6	2.9	0.0	0.0	0.0	73.5	2.9
両親ともにフルタイムの共働き n=397	7.6	3.8	2.0	0.0	0.0	0.3	84.6	3.0
どちらかパートタイムの共働き n=225	5.3	8.0	3.6	0.0	0.0	0.4	78.2	5.8
母親か父親のどちらかは在宅 n=207	15.5	12.1	1.4	0.0	0.0	0.0	72.5	1.9
両親ともにパートタイムの共働き n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
両親ともに無業 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

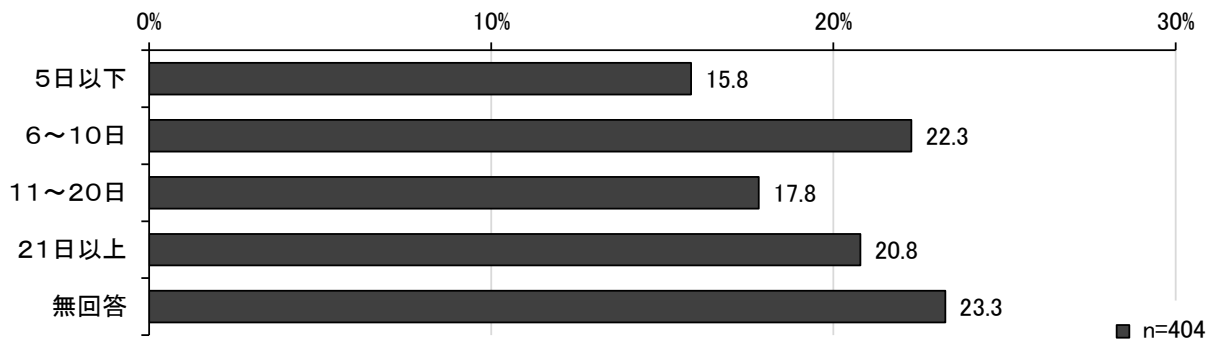
問 27. 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんについて年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。(S A・MA・数量回答)

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の教育・保育施設や宿泊を伴う一時預かり等の利用希望は、「利用する必要はない」が 53.9%、「利用したい」が 44.2%となっています。

利用したい日数は、「6～10日」(22.3%) が最も多く、次いで「21日以上」(20.8%)、「11～20日」(17.8%) となっています。

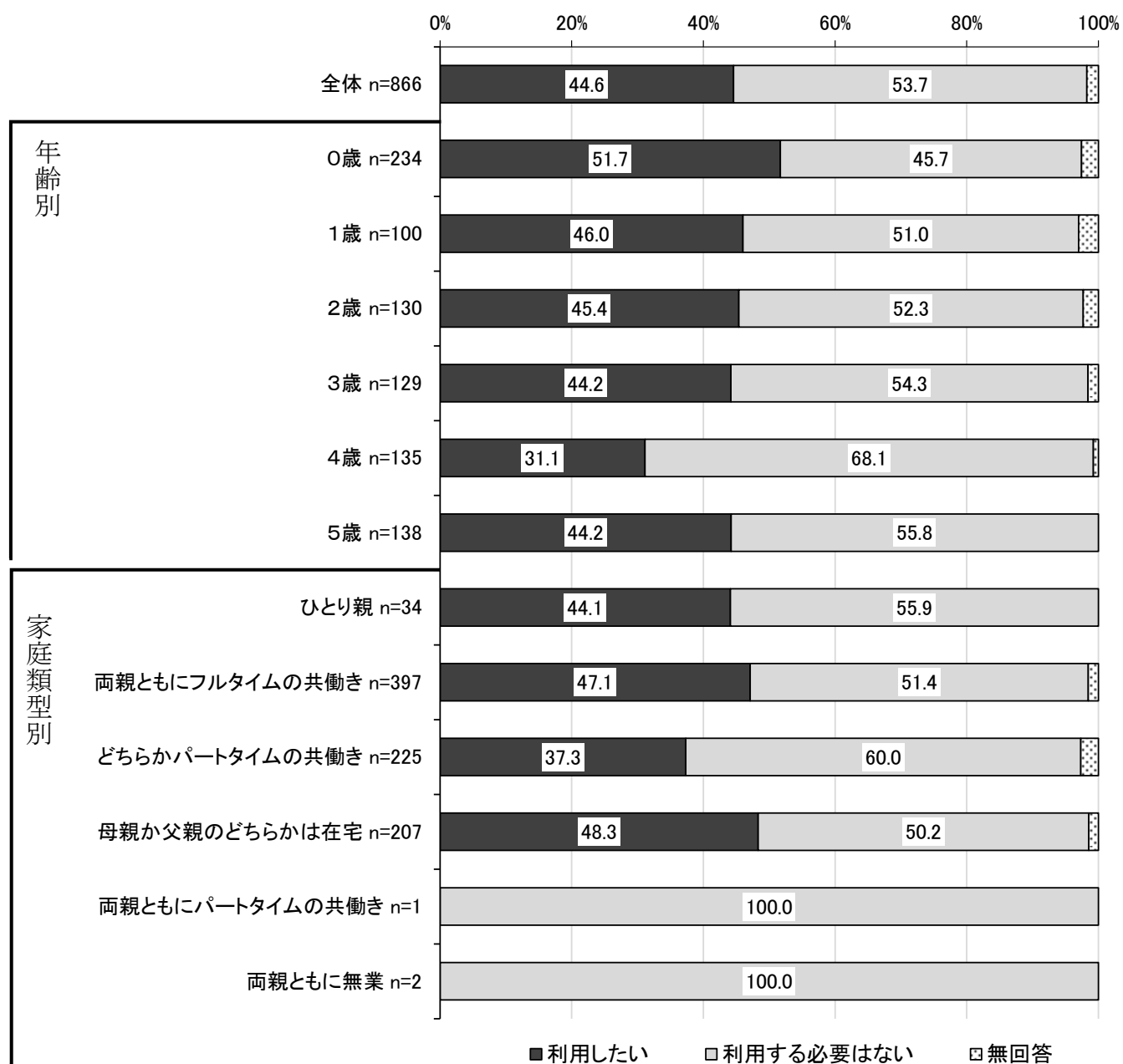


■利用したい日数



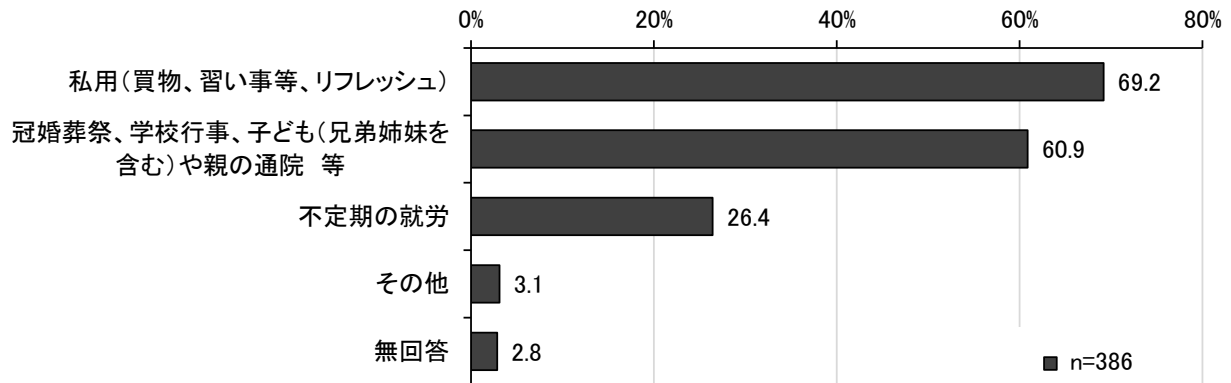
子どもの年齢別では、0歳以外では「利用する必要はない」が50%以上を占めています。

家庭類型別では、「母親か父親のどちらかは在宅」の家庭で「利用したい」(48.3%)が最も多くなっています。



「利用したい」の目的は、「私用（買物、習い事等、リフレッシュ）」（69.2%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（60.9%）、「不定期の就労」（26.4%）となっています。

必要日数は、すべての選択肢で「5日以下」での利用希望が最も多くなっています。



必要日数

（単位：％）

	私用（買物、習い事等、リフレッシュ） n=267	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等 n=235	不定期の就労 n=102	その他 n=12
5日以下	34.5	57.4	30.4	75.0
6～10日	25.5	17.4	24.5	8.3
11～20日	24.3	15.7	7.5	0.4
21日以上	10.1	4.9	7.9	0.4
無回答	5.6	3.4	1.9	0.0

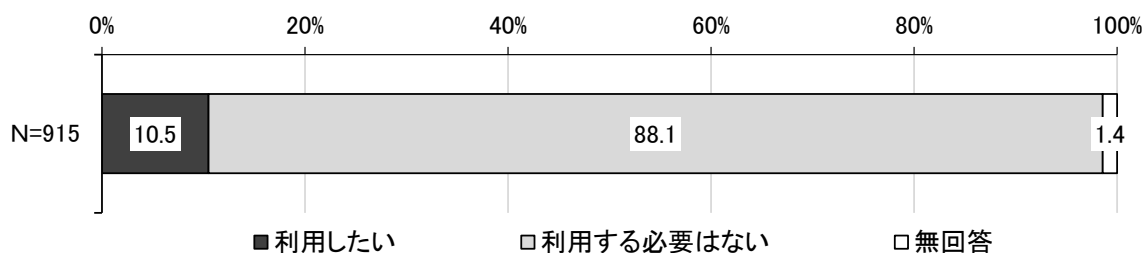
（単位：％）

	私用（買物、習い事等、リフレッシュ）	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	不定期の就労	その他	無回答
今回調査 n=386	69.2	60.9	26.4	3.1	2.8
年齢別					
0歳 n=121	79.3	56.2	20.7	4.1	0.0
1歳 n=46	76.1	69.6	32.6	0.0	0.0
2歳 n=59	72.9	59.3	20.3	5.1	5.1
3歳 n=57	68.4	63.2	24.6	5.3	3.5
4歳 n=42	64.3	66.7	35.7	0.0	9.5
5歳 n=61	44.3	59.0	34.4	1.6	3.3
家庭類型別					
ひとり親 n=15	66.7	53.3	53.3	0.0	0.0
両親ともにフルタイムの共働き n=187	70.1	56.7	31.0	2.1	3.7
どちらかパートタイムの共働き n=84	63.1	61.9	28.6	1.2	2.4
母親か父親のどちらかは在宅 n=100	73.0	69.0	12.0	7.0	2.0
両親ともにパートタイムの共働き n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
両親ともに無業 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

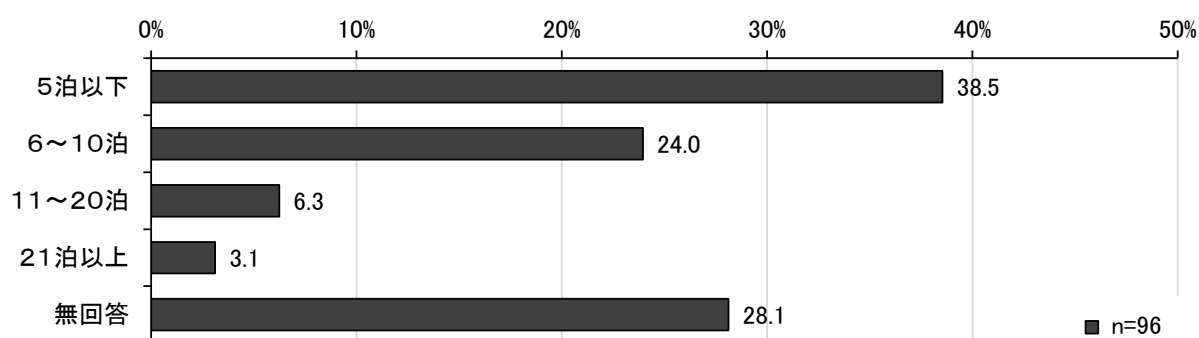
問 28. 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊まりがけで家族以外に保育事業でみてもらいたいと思いますか。また、年間何日ぐらい家族以外にみてもらいたいと思いますか。（S A・MA・数量回答）

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、泊りがけの家族以外の保育事業の利用については「利用したい」が10.5%、「利用する必要はない」が88.1%となっています。

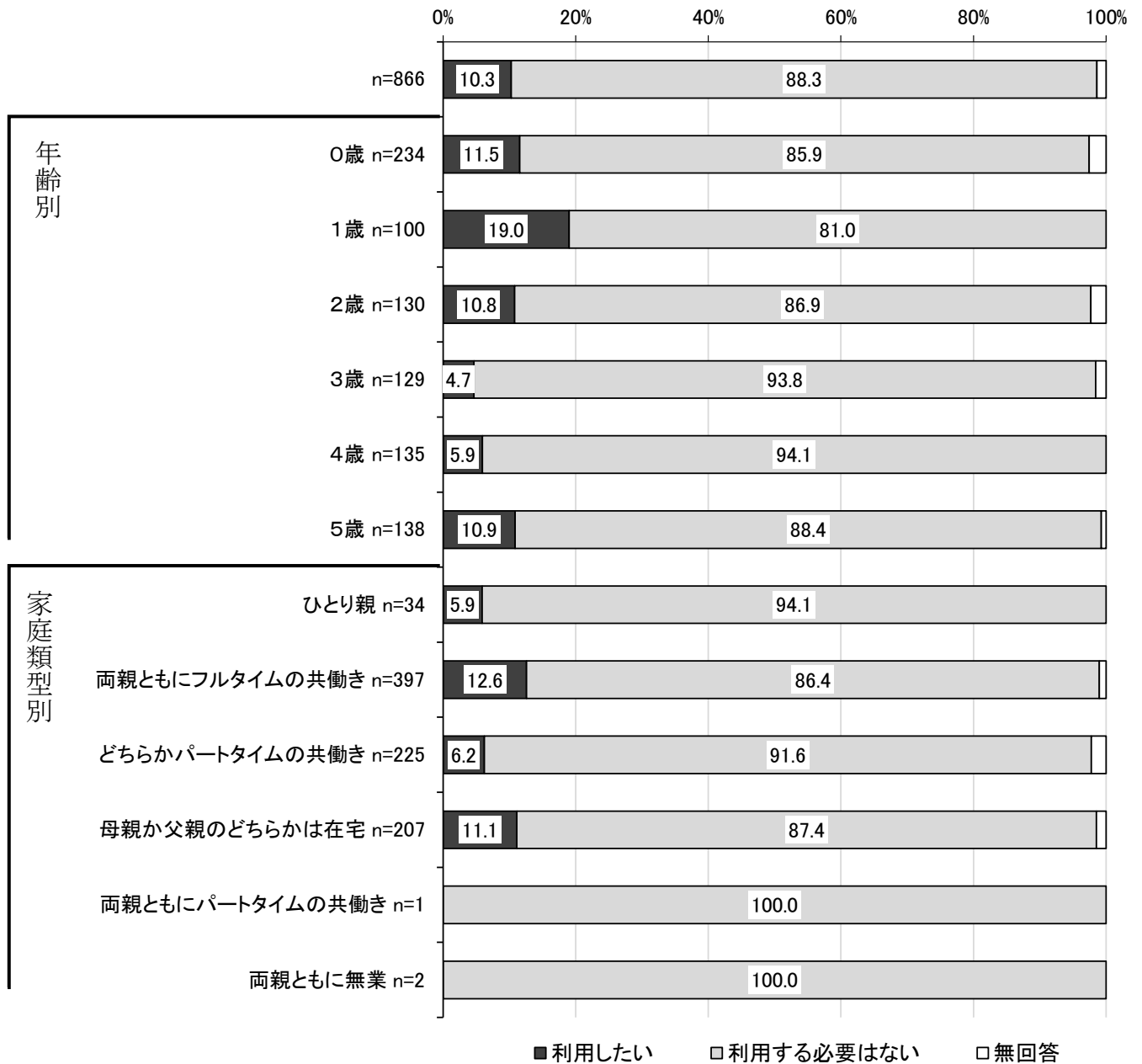
利用したい泊数は、「5泊以下」（38.5%）が最も多く、次いで「6～10泊」（24.0%）、「11～20泊」（6.3%）、「21泊以上」（3.1%）となっています。



■ 利用したい泊数

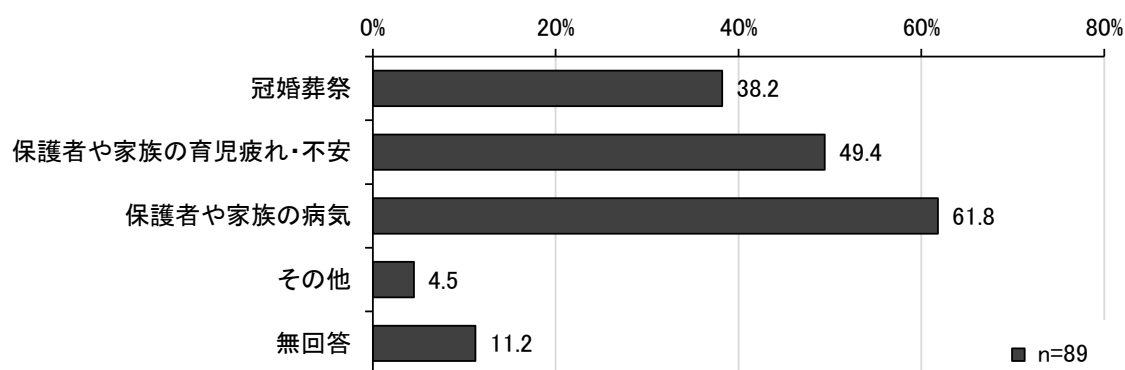


「利用したい」保護者は、年齢別では1歳児（19.0%）がやや多く、家庭類型別では「両親ともにフルタイムの共働き」（12.6%）がやや多くなっています。



「利用したい」の目的は、「保護者や家族の病気」(61.8%)が最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(49.4%)、「冠婚葬祭」(38.2%)となっています。

必要日数は、すべての選択肢で「5日以下」での利用希望が最も多くなっています。



■必要日数

(単位: %)

	冠婚葬祭 n=34	保護者や 家族の育 児疲れ・不 安 n=44	保護者や 家族の病 気 n=55	その他 n=4
5日以下	91.2	63.6	70.9	25.0
6～10日	8.8	22.7	20.0	25.0
11～20日	0.0	9.1	1.8	0.0
21日以上	0.0	0.0	1.8	50.0
無回答	0.0	4.5	5.5	0.0

10. お子さんの小学校入学後の過ごし方について

問 29. お子さんについて、小学校入学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。A 小学校 1～3 年生、B 小学校 4～6 年生の両方についてあてはまる過ごし方を選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「公立の学童保育」「民間の学童保育」の場合には、利用を希望する時間もお記入ください。（MA、数量回答）

①令和 6 年度入学予定児（5 歳児）の学童保育の利用意向

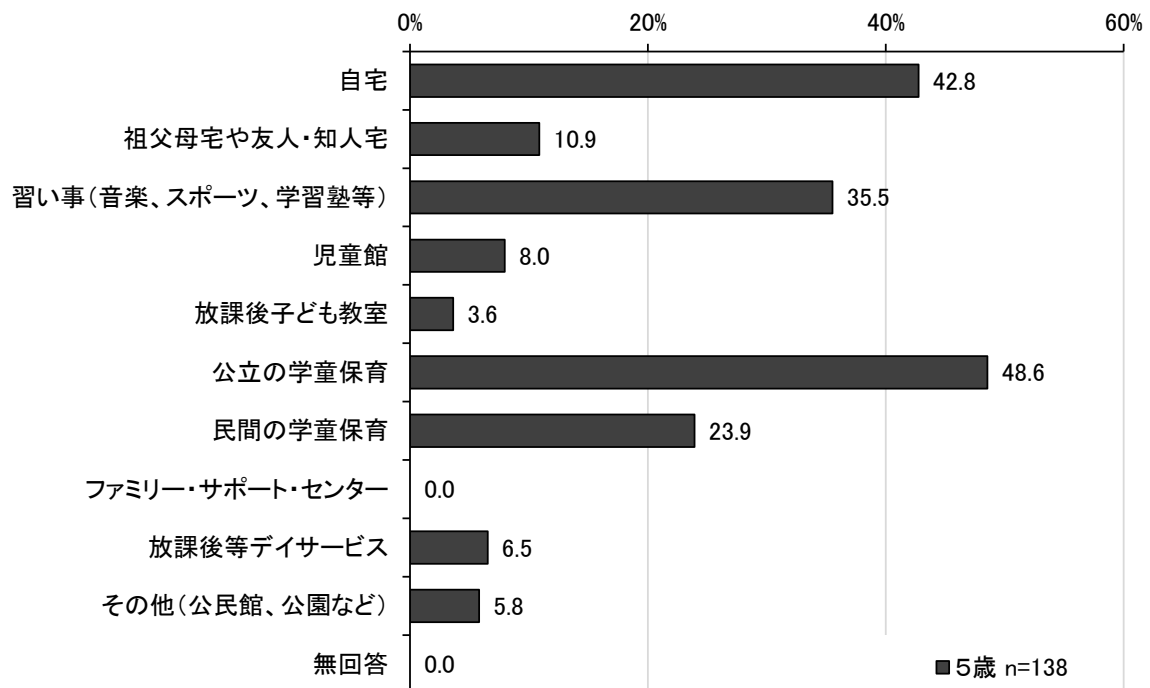
■小学校 1～3 年生__5 歳児

小学校入学後の平日の放課後の過ごし方は、「公立の学童保育」（48.6%）が最も多く、次いで「自宅」（42.8%）、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（35.5%）となっています。

自宅や学童保育は、週に 5 日の利用希望が多く、それ以外は 1～3 日程度を希望しています。

公立の学童保育の希望時間は、「18 時まで」（29.9%）が最も多く、次いで「17 時まで」（28.4%）、「19 時まで」（23.9%）となっています。

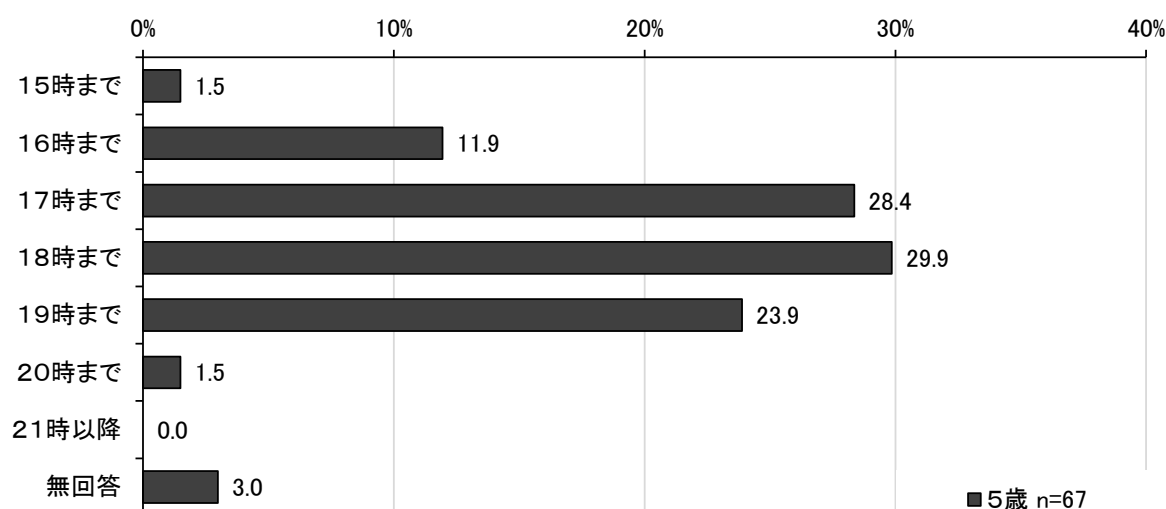
民間の学童保育の希望時間は、「17 時まで」「18 時まで」（33.3%）がともに最も多く、次いで「19 時まで」（15.2%）、「20 時まで」（9.1%）となっています。



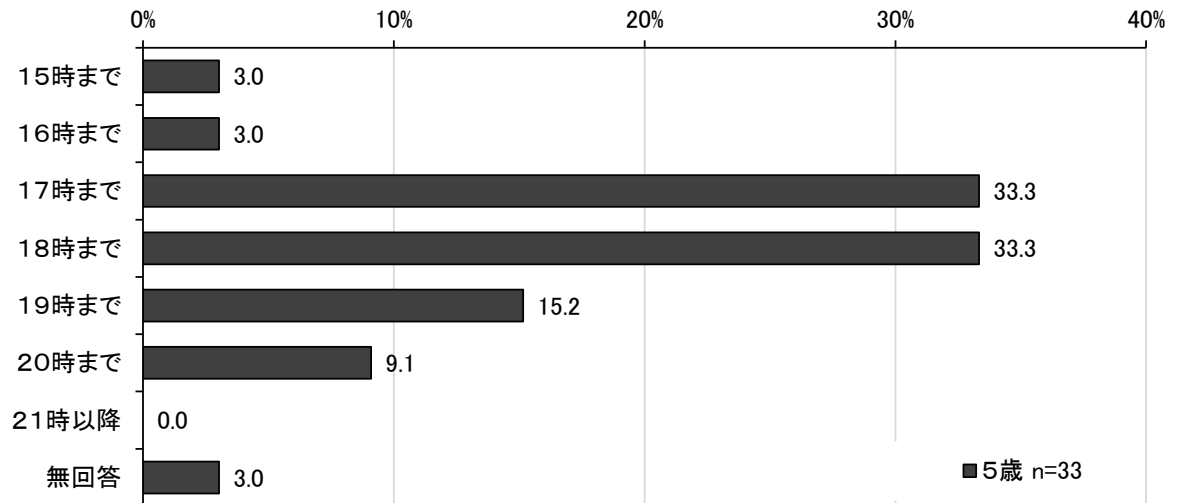
(単位: %)

	自宅 n=59	祖父母宅 や友人・知 人宅 n=15	習い事(音 楽、スポー ツ、学習塾 等) n=49	児童館 n=11	放課後子ど も教室 n=5
1日	18.6	60.0	38.8	45.5	20.0
2日	13.6	6.7	40.8	18.2	20.0
3日	16.9	0.0	16.3	0.0	20.0
4日	8.5	6.7	0.0	0.0	0.0
5日	23.7	13.3	0.0	36.4	40.0
6日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7日	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	16.9	13.3	4.1	0.0	0.0
	公立の学 童保育 n=67	民間の学 童保育 n=33	ファミリー・ サポート・ センター n=0	放課後等 デイサービ ス n=9	その他(公 民館、公園 など) n=8
1日	0.0	3.0	0.0	11.1	50.0
2日	3.0	9.1	0.0	22.2	37.5
3日	6.0	9.1	0.0	11.1	12.5
4日	13.4	3.0	0.0	0.0	0.0
5日	74.6	69.7	0.0	55.6	0.0
6日	1.5	6.1	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0

■公立の学童保育の利用希望時間「●●時まで」 — 5歳児



■民間の学童保育の利用希望時間「●●時まで」__5歳児



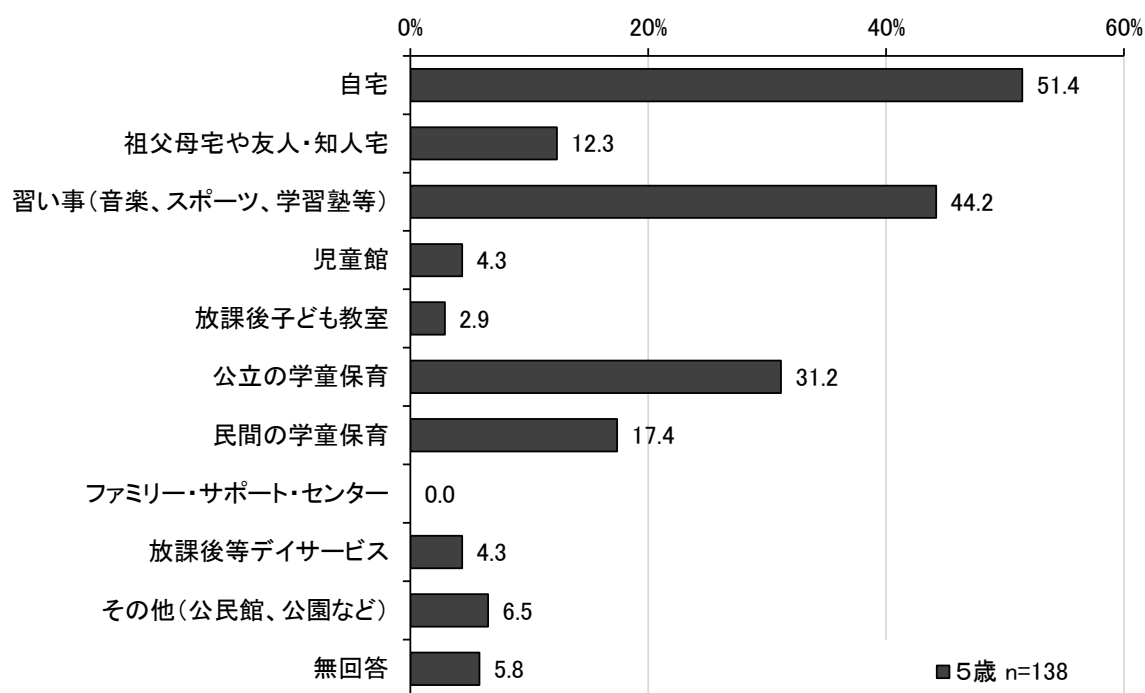
■小学校4～6年生__5歳児

小学校4～6年生になった時の平日の放課後の過ごし方は、「自宅」(51.4%)が最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」(44.2%)、「公立の学童保育」(31.2%)となっています。

自宅や学童保育は、週に5日の利用希望が多く、「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」は週に1～3日の利用希望が多く、それ以外は1～2日程度を希望しています。

公立の学童保育の希望時間は、「18時まで」(34.9%)が最も多く、次いで「17時まで」(30.2%)、「19時まで」(23.3%)となっています。

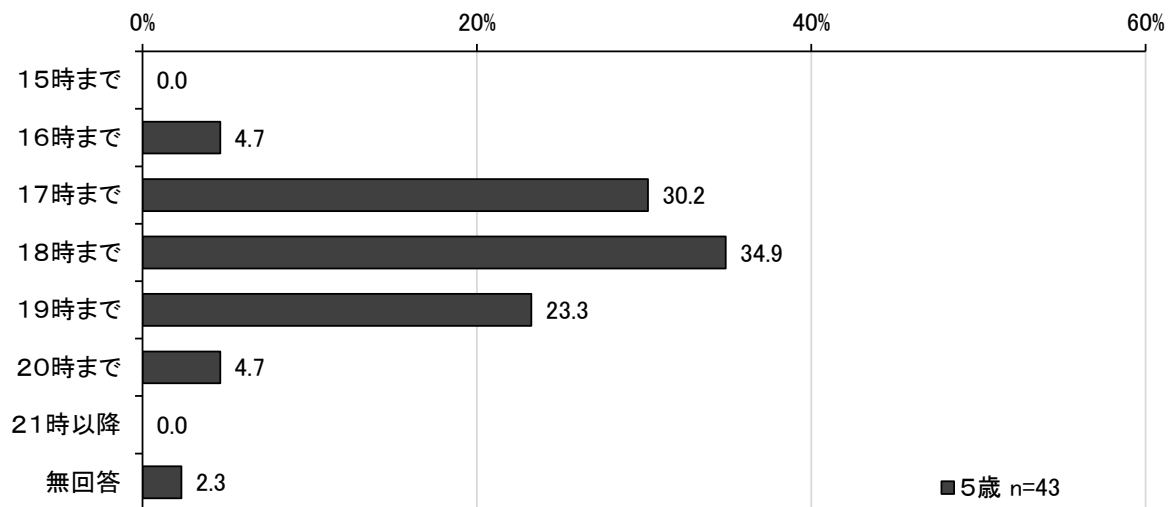
民間の学童保育の希望時間は、「18時まで」(45.8%)が最も多く、次いで「17時まで」「19時まで」「20時まで」(ともに16.7%)となっています。



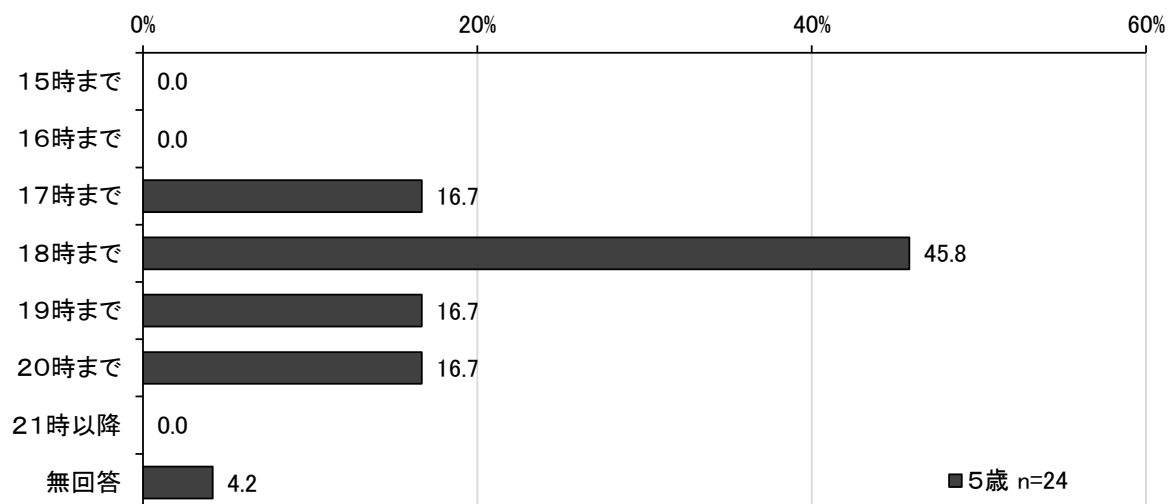
(単位: %)

	自宅 n=71	祖父母宅 や友人・知 人宅 n=17	習い事(音 楽、スポー ツ、学習塾 等) n=61	児童館 n=6	放課後子ど も教室 n=4
1日	9.9	41.2	27.9	50.0	0.0
2日	8.5	0.0	31.1	16.7	25.0
3日	14.1	0.0	13.1	0.0	25.0
4日	7.0	5.9	0.0	0.0	0.0
5日	16.9	11.8	0.0	16.7	25.0
6日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7日	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	42.3	41.2	27.9	16.7	25.0
	公立の学 童保育 n=43	民間の学 童保育 n=24	ファミリー・ サポート・ センター n=0	放課後等 デイサービ ス n=6	その他(公 民館、公園 など) n=9
1日	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
2日	2.3	8.3	0.0	16.7	33.3
3日	7.0	8.3	0.0	0.0	11.1
4日	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0
5日	76.7	66.7	0.0	66.7	0.0
6日	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9.3	12.5	0.0	0.0	22.2

■公立の学童保育の利用希望時間「●●時まで」__5歳児



■民間の学童保育の利用希望時間「●●時まで」__5歳児



② 0～5歳児すべての学童保育の利用意向

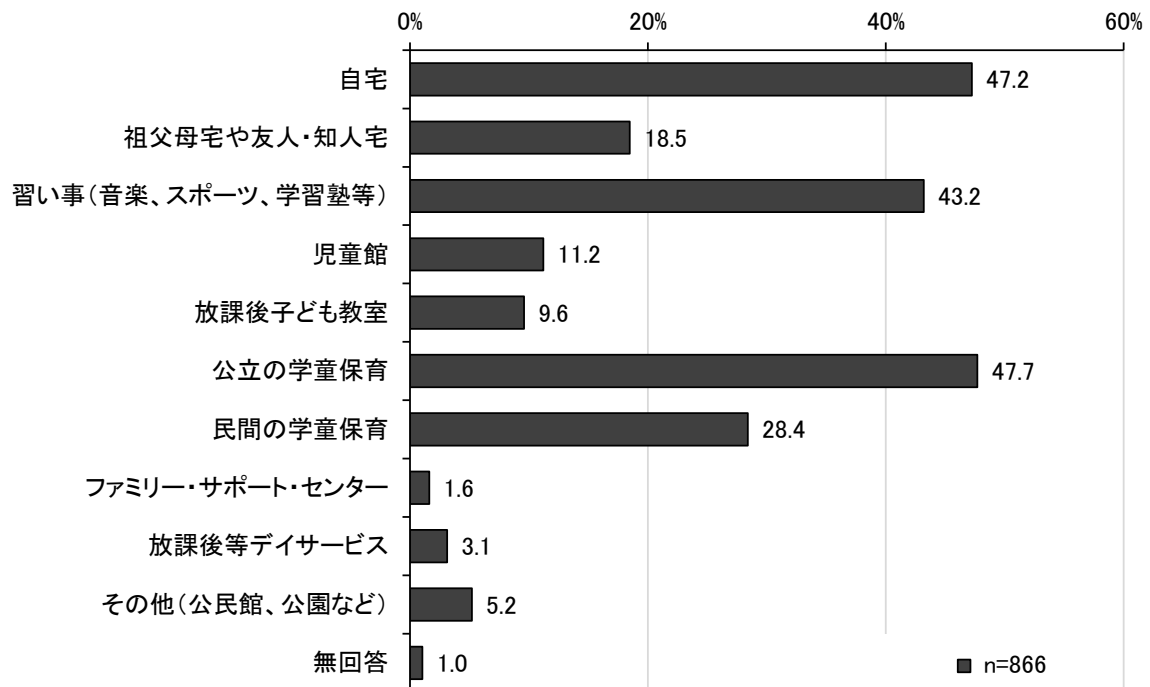
■ 小学校1～3年生__0～5歳児

小学校入学後の平日の放課後の過ごし方は、「公立の学童保育」(47.7%)が最も多く、次いで「自宅」(47.2%)、「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」(43.2%)となっています。

自宅や学童保育は、週に5日の利用希望が多く、「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」は週に1～3日の利用希望が多く、それ以外は1～3日程度を希望しています。

公立の学童保育の希望時間は、「18時まで」(43.6%)が最も多く、次いで「17時まで」(23.7%)、「19時まで」(18.2%)となっています。

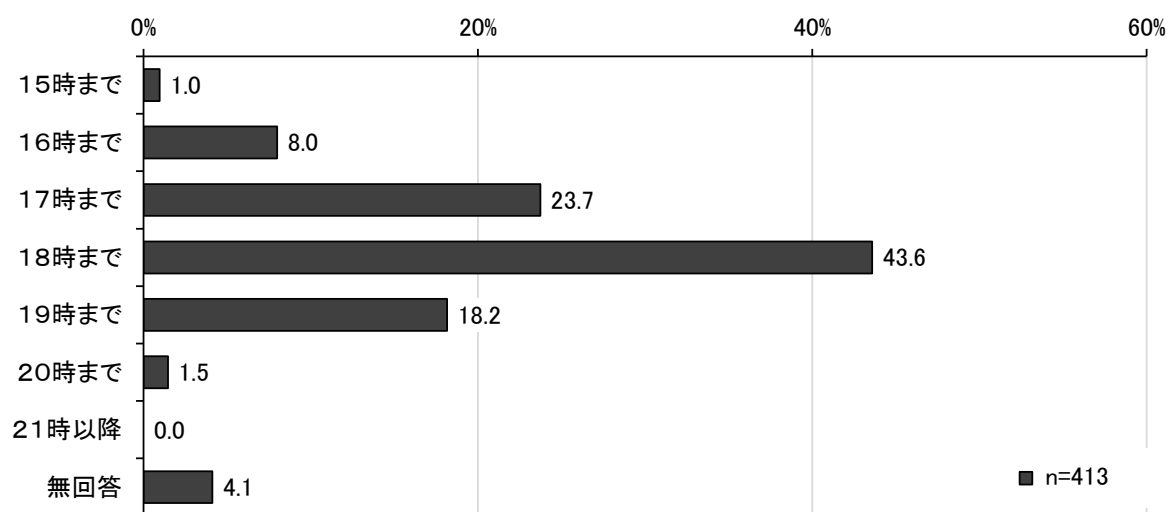
民間の学童保育の希望時間は、「18時まで」(47.6%)が最も多く、次いで「19時まで」(19.9%)、「17時まで」(18.7%)となっています。



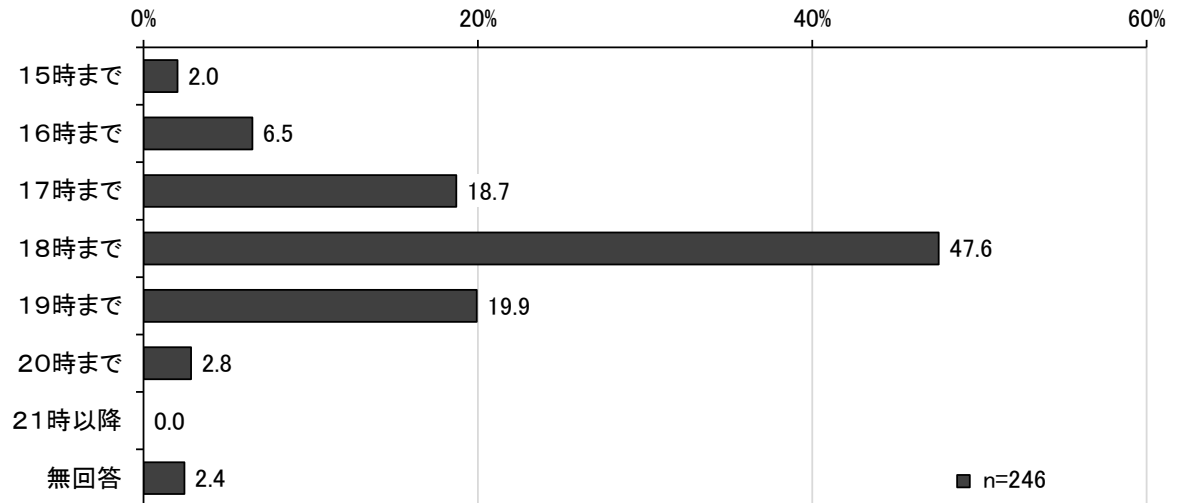
(単位: %)

	自宅 n=409	祖父母宅 や友人・知 人宅 n=160	習い事(音 楽、スポー ツ、学習塾 等) n=388	児童館 n=97	放課後子ど も教室 n=83
1日	8.3	30.6	31.7	35.1	28.9
2日	16.6	21.3	42.3	18.6	14.5
3日	16.6	11.9	13.1	11.3	12.0
4日	6.6	1.9	1.0	4.1	1.2
5日	33.0	20.6	1.8	22.7	28.9
6日	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0
7日	2.9	0.6	0.0	0.0	1.2
無回答	15.6	13.1	9.8	8.2	13.3
	公立の学 童保育 n=413	民間の学 童保育 n=246	ファミリー・ サポート・ センター n=14	放課後等 デイサービ ス n=27	その他(公 民館、公園 など) n=45
1日	2.7	3.3	42.9	11.1	33.3
2日	5.8	6.9	28.6	22.2	31.1
3日	11.1	11.0	14.3	7.4	15.6
4日	6.3	5.7	0.0	0.0	0.0
5日	68.3	67.5	14.3	48.1	8.9
6日	1.2	2.4	0.0	0.0	0.0
7日	0.5	0.8	0.0	7.4	0.0
無回答	4.1	2.4	0.0	3.7	11.1

■公立の学童保育の利用希望時間「●●時まで」



■民間の学童保育の利用希望時間「●●時まで」



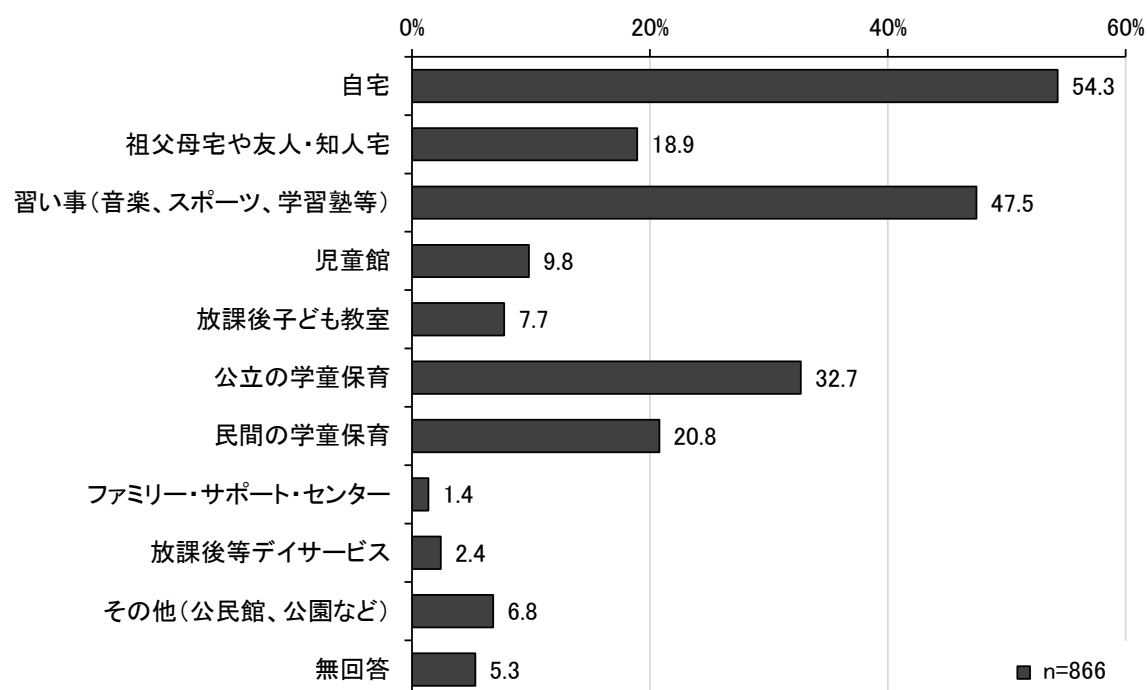
■小学校4～6年生__0～5歳児

小学校4～6年生になった時の平日の放課後の過ごし方は、「自宅」(54.3%)が最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」(47.5%)、「公立の学童保育」(32.7%)となっています。

自宅や学童保育は、週に5日の利用希望が多く、「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」は、週に1～3日の利用希望が多く、それ以外は1～3日程度を希望しています。

公立の学童保育の希望時間は、「18時まで」(47.3%)が最も多く、次いで「17時まで」(23.0%)、「19時まで」(19.4%)となっています。

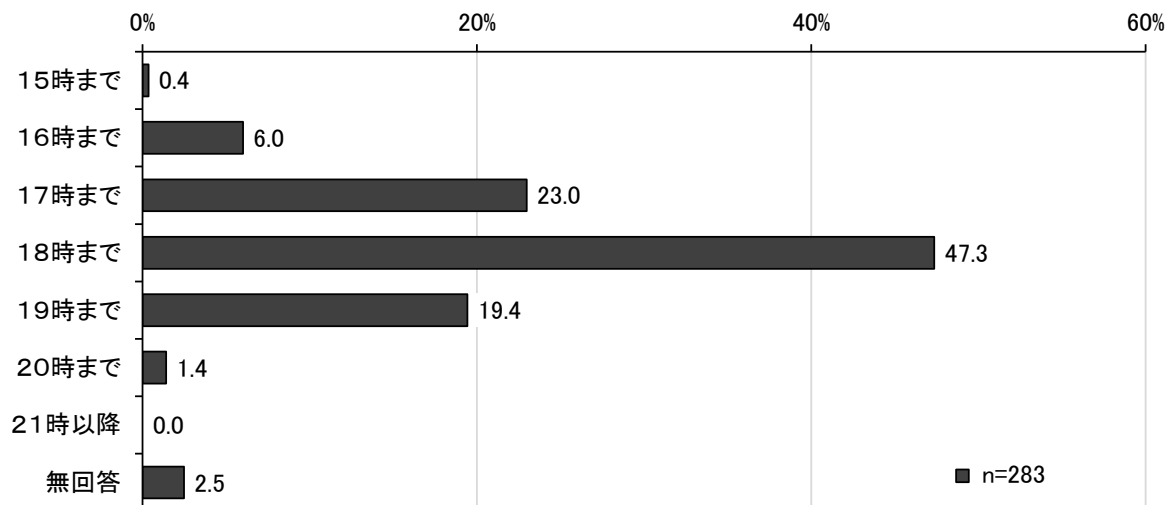
民間の学童保育の希望時間は、「18時まで」(47.0%)が最も多く、次いで「19時まで」(23.2%)、「17時まで」(19.5%)となっています。



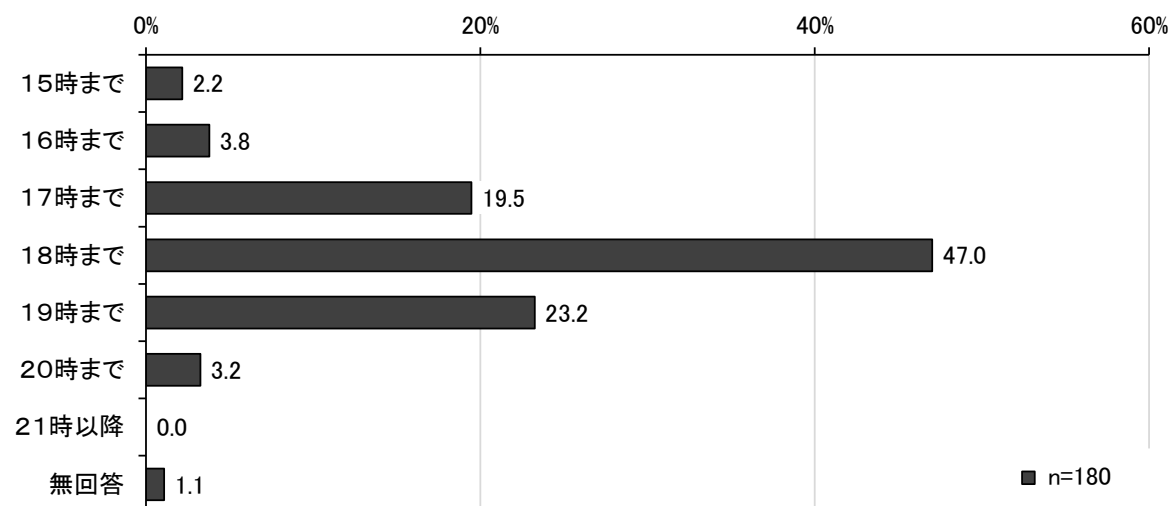
(単位: %)

	自宅 n=470	祖父母宅 や友人・知 人宅 n=164	習い事(音 楽、スポー ツ、学習塾 等) n=411	児童館 n=85	放課後子ど も教室 n=67
1日	5.5	24.4	26.8	29.4	23.9
2日	13.0	15.9	36.0	12.9	13.4
3日	13.0	9.1	11.4	10.6	10.4
4日	5.7	1.8	0.7	3.5	0.0
5日	25.1	17.1	1.7	15.3	23.9
6日	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0
7日	2.6	0.6	0.0	0.0	1.5
無回答	34.9	31.1	23.1	28.2	26.9
	公立の学 童保育 n=283	民間の学 童保育 n=180	ファミリー・ サポート・ センター n=12	放課後等 デイサービ ス n=21	その他(公 民館、公園 など) n=59
1日	2.8	2.8	33.3	9.5	22.0
2日	4.9	6.1	33.3	19.0	23.7
3日	11.7	10.0	8.3	4.8	10.2
4日	4.6	5.0	0.0	0.0	0.0
5日	68.2	68.3	16.7	52.4	5.1
6日	1.1	2.8	0.0	0.0	0.0
7日	0.4	1.1	0.0	9.5	0.0
無回答	6.4	3.9	8.3	4.8	39.0

■公立の学童保育の利用希望時間「●●時まで」



■民間の学童保育の利用希望時間「●●時まで」

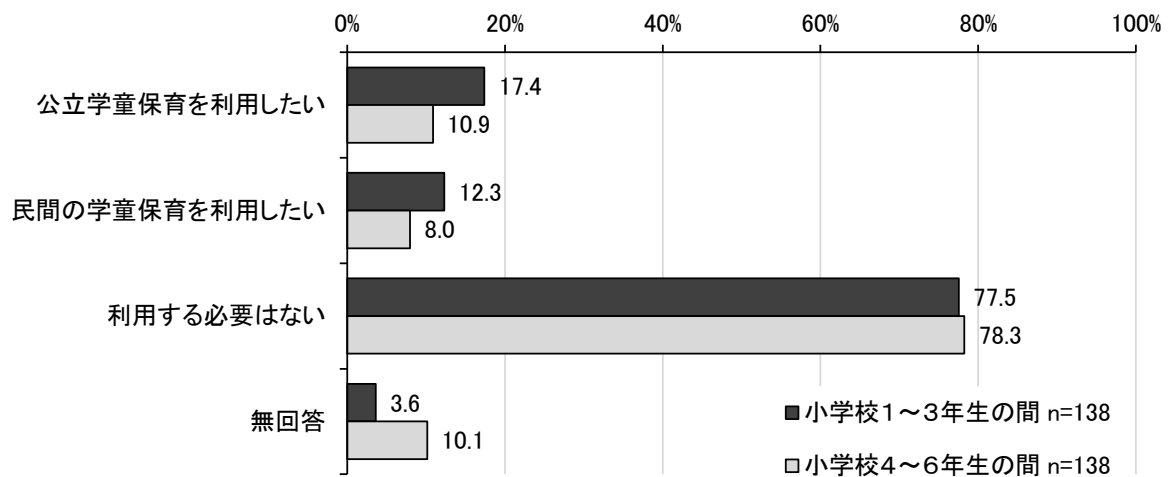


問 30. お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や長期の休暇期間中（夏休み・冬休み）に、公立の学童保育か民間の学童保育の利用希望はありますか。（MA）

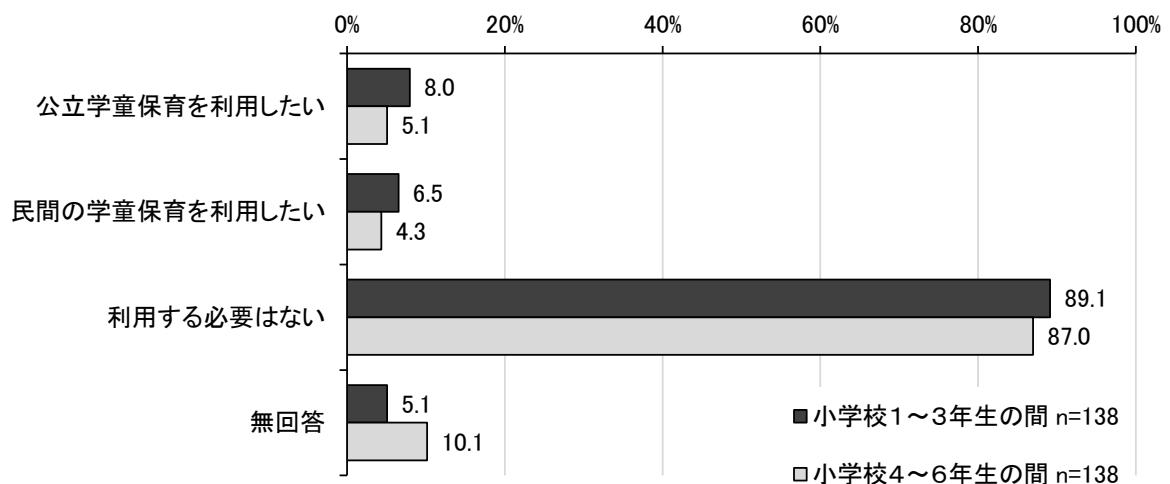
①令和6年度入学予定児（5歳児）の土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の学童保育の利用意向

小学校1～3年生、4～6年生ともに土曜日、日曜日・祝日では学童保育を「利用する必要はない」（70%以上）が最も多くを占めていますが、長期休暇では「学童保育を利用したい」が小学校1～3年生で公立・民間あわせて84.1%、小学校4～6年生で同68.9%となっています。

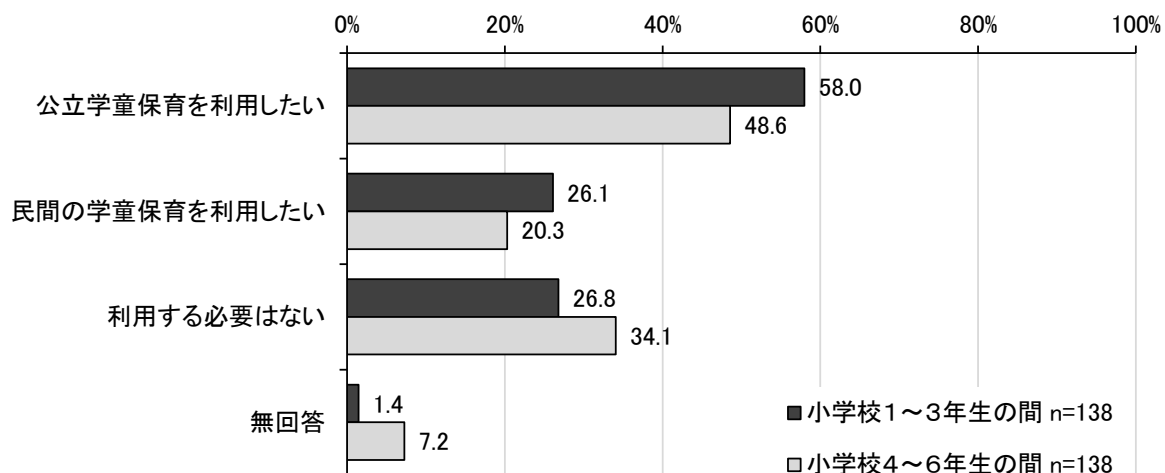
■土曜日__5歳児



■日曜日・祝日__5歳児



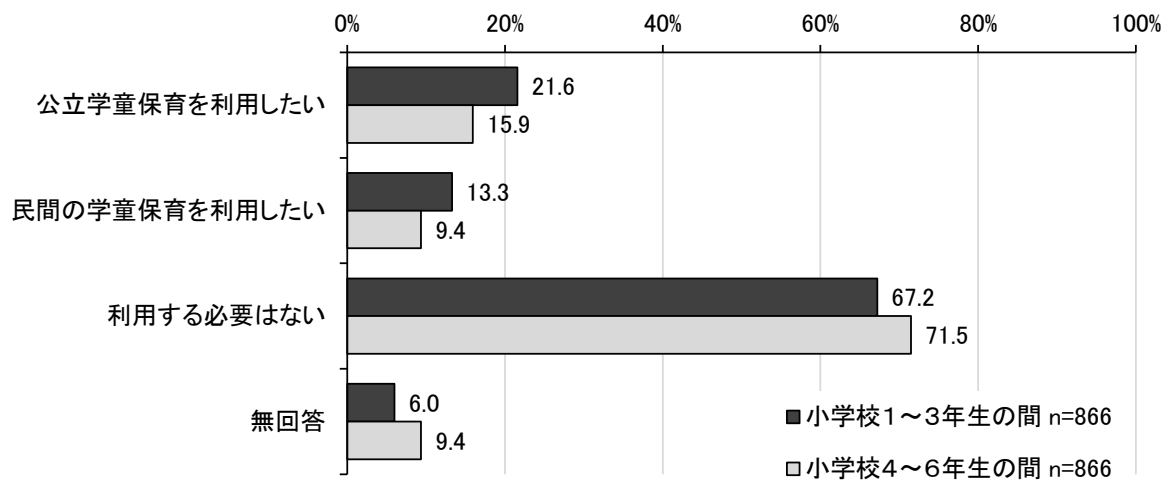
■長期休暇__5歳児



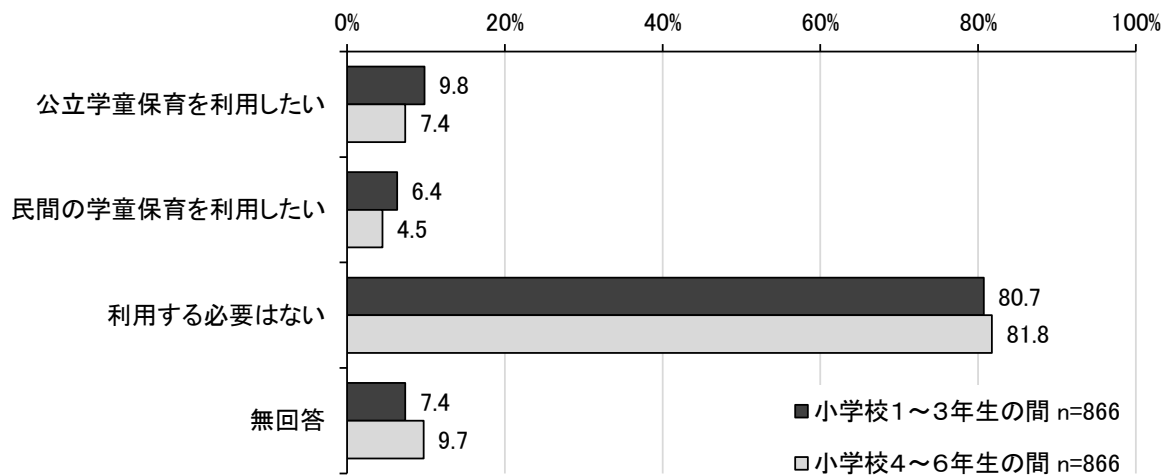
②0～5歳児すべての土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の学童保育の利用意向

小学校1～3年生、4～6年生ともに土曜日、日曜日・祝日では学童保育を「利用する必要はない」(60%以上)が最も多くを占めていますが、長期休暇では「学童保育を利用したい」が小学校1～3年生で公立・民間あわせて85.3%、小学校4～6年生で同71.7%となっています。

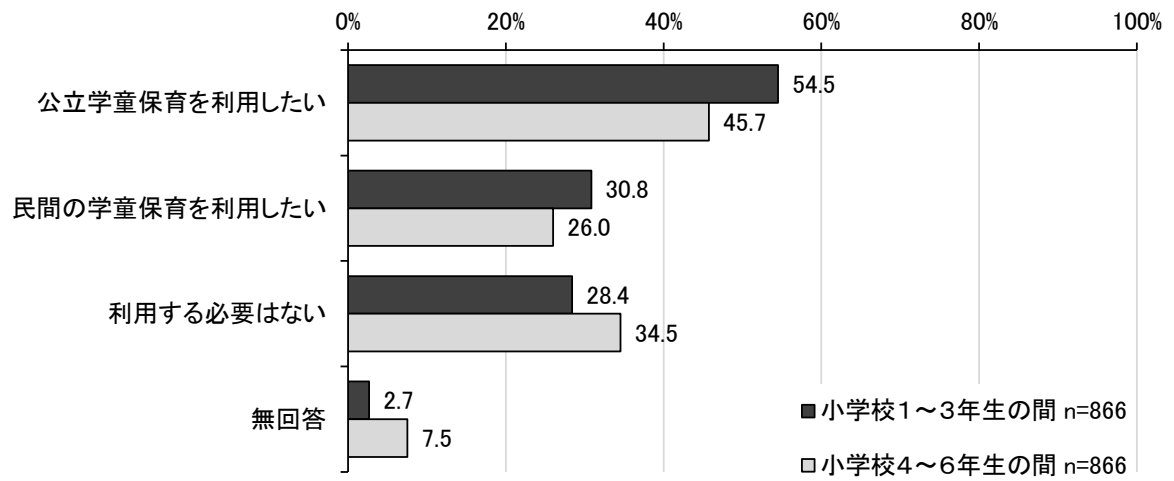
■土曜日



■日曜日・祝日



■長期休暇



【問 30 で「公立学童保育を利用したい」、「民間の学童保育を利用したい」を選択した方】

問 30-1. 利用したい時間帯をご記入ください。(数量回答)

利用開始時間は、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇ともに「8時」からが最も多く、利用終了時間は「18時」までが最も多くなっています。

■利用開始時間

(単位: %)

	土曜日 n=209	日曜日・ 祝日 n=209	長期休暇 n=98
6時以前	0.0	0.0	0.2
7時	22.0	24.5	18.7
8時	53.1	53.1	54.8
9時	19.6	16.3	18.5
10時	2.4	2.0	1.5
11時	0.0	0.0	0.0
12時	0.5	1.0	0.2
13時以降	2.4	3.1	1.8
無回答	0.0	0.0	4.4

■利用終了時間

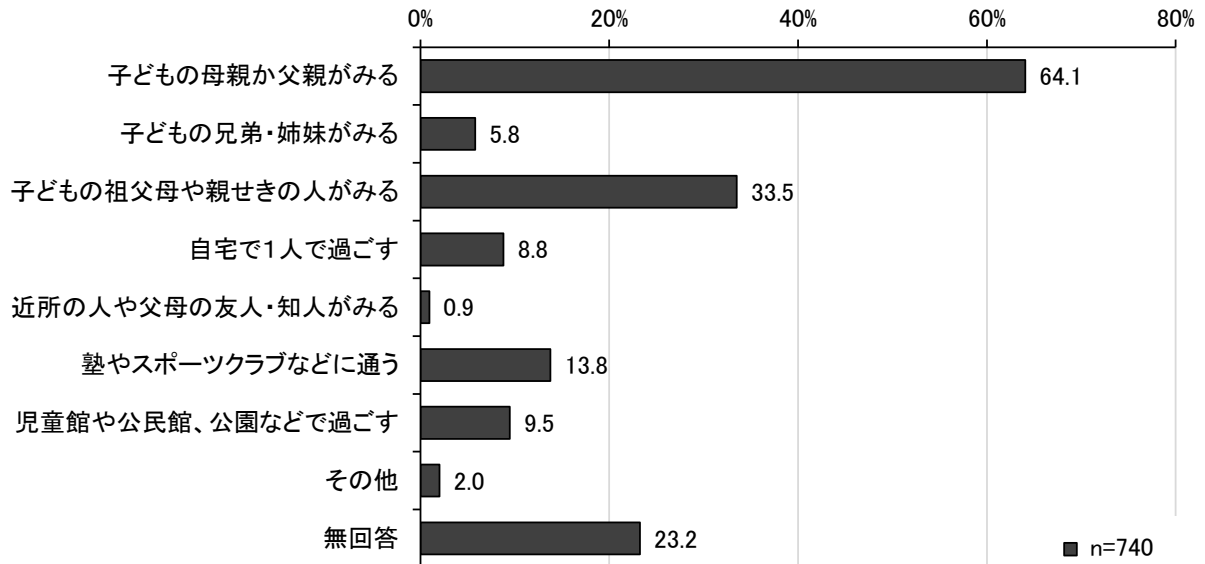
(単位: %)

	土曜日 n=209	日曜日・ 祝日 n=209	長期休暇 n=98
14時以前	5.7	4.1	2.4
15時	8.1	1.0	5.5
16時	12.9	10.2	10.4
17時	23.9	33.7	26.6
18時	37.3	34.7	40.8
19時	10.5	15.3	12.9
20時	1.0	1.0	1.2
21時以降	0.0	0.0	0.0
無回答	0.5	0.0	0.2

【問 30 で「利用する必要はない」を選択した方】

問 30-2. 利用する必要はない理由は何ですか。(MA)

公立学童保育や民間の学童保育を利用する必要はないと答えた方の理由は、「子どもの母親か父親がみる」(64.1%)が最も多く、次いで「子どもの祖父母や親せきの人がみる」(33.5%)、「塾やスポーツクラブなどに通う」(13.8%)となっています。



1.1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

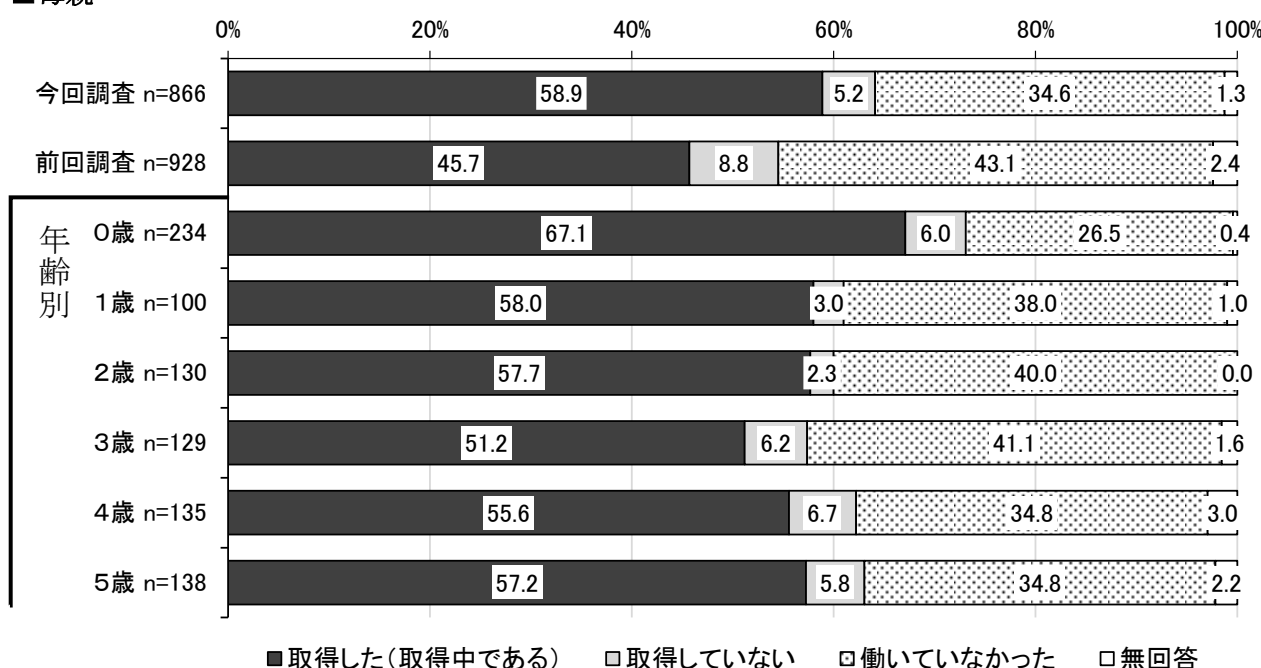
問 31. 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休暇を取得しましたか。 (SA)

育児休業制度の利用状況は、母親は「取得した（取得中である）」が58.9%に対して、父親は「取得した（取得中である）」が17.9%となっています。

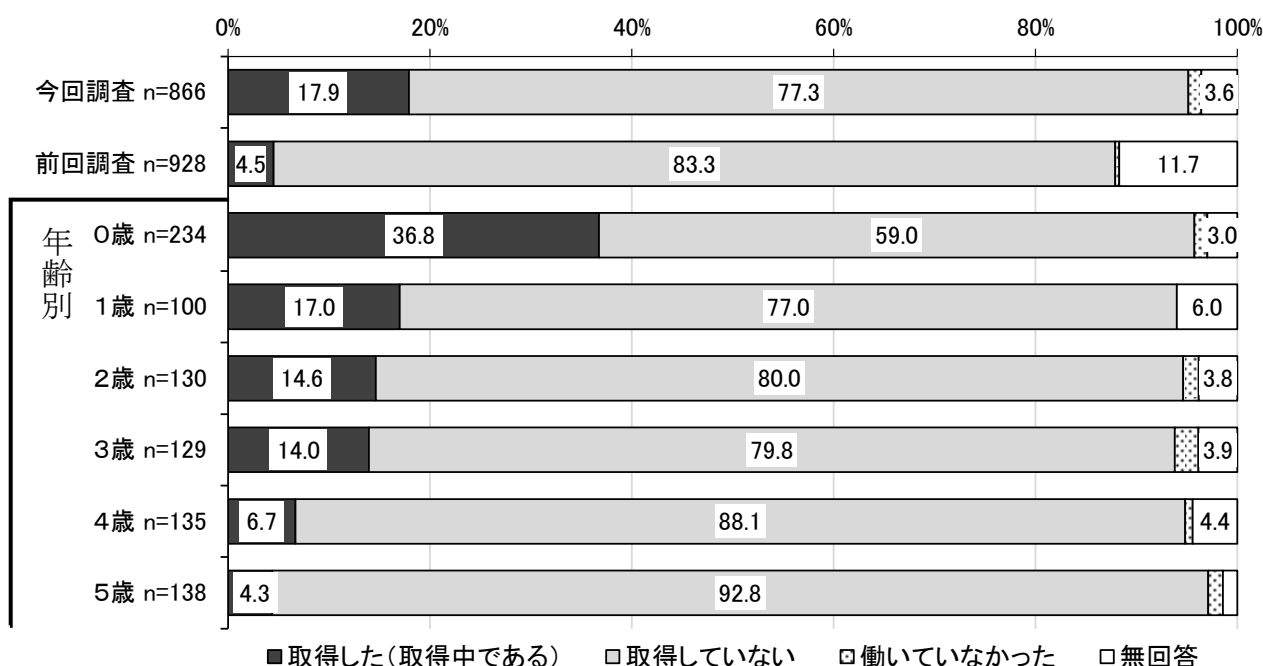
前回調査と比べ、「取得した（取得中である）」が母親は13.2ポイント、父親は13.4ポイント増加しています。

年齢別では、母親父親ともに0歳児の保護者は「取得した（取得中である）」の割合が最も多くなっています。

■母親



■父親

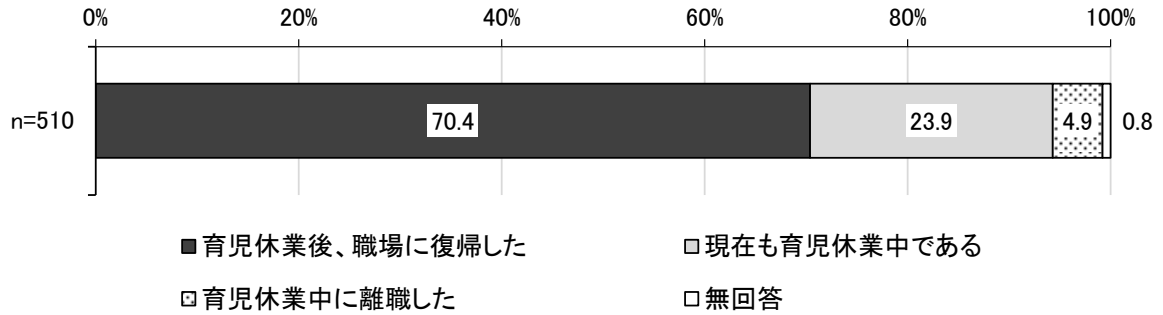


【問 31 の（１）母親もしくは（２）父親で「取得した（取得中である）」を選択した方】

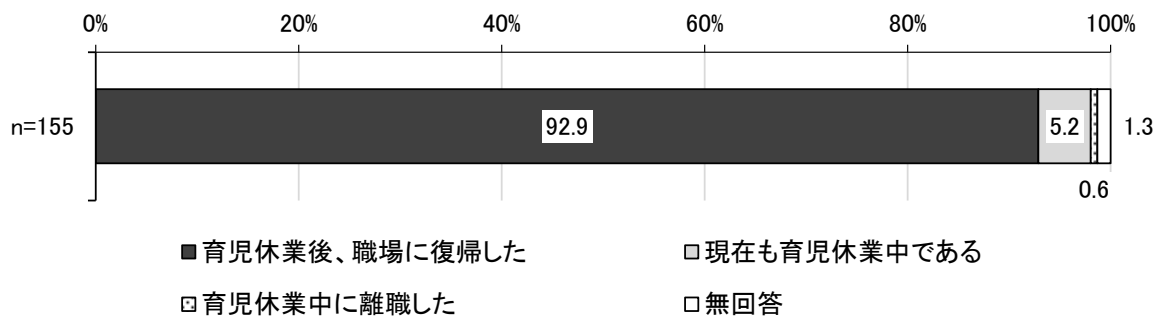
問 31-1. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（S A）

育児休業取得後は、母親は「育児休業後、職場に復帰した」（70.4%）が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」（23.9%）、「育児休業中に離職した」（4.9%）となっています。父親は「育児休業後、職場に復帰した」（92.9%）が大きな割合を占めています。

■母親



■父親

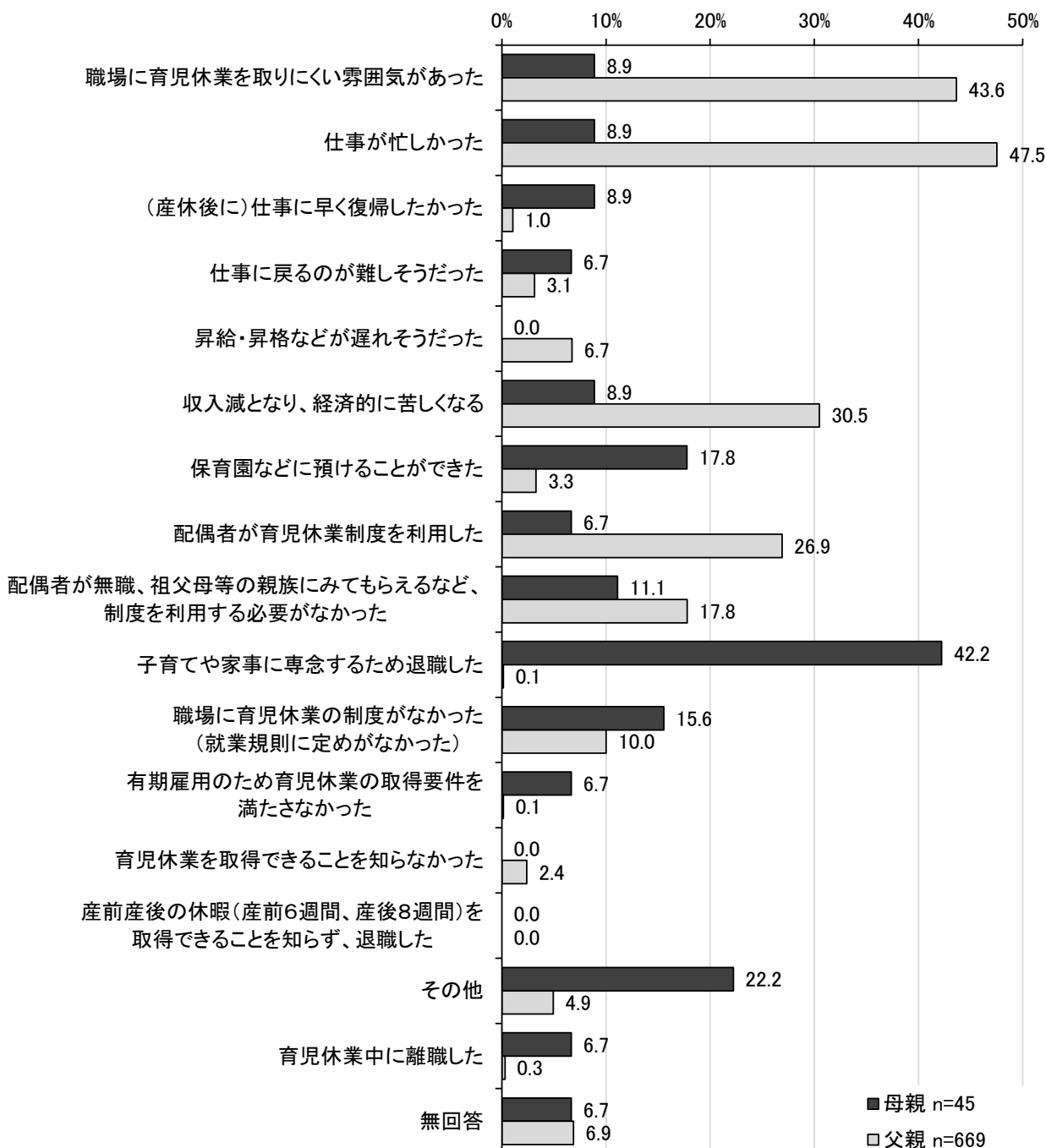


【問31の(1) 母親もしくは(2) 父親で「取得していない」を選択した方】

問31-2 取得していない方はその理由をお答えください。(MA)

育児休業制度を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」(42.2%)が最も多く、次いで「その他」(22.2%)、「保育園などに預けることができた」(17.8%)となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」(47.5%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(43.6%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(30.5%)となっています。



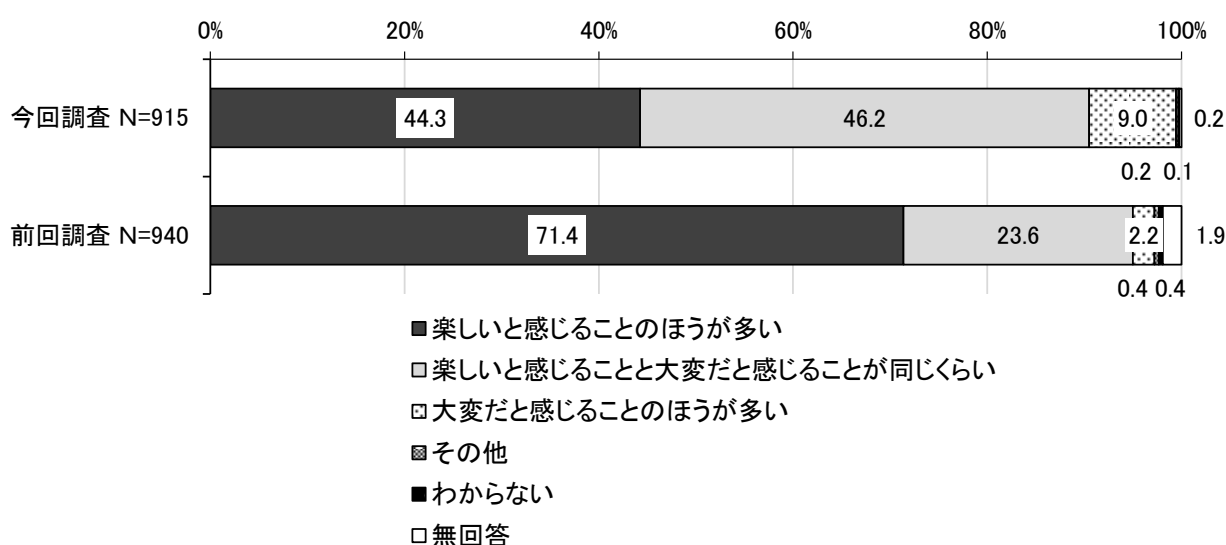
12. 子育て全般について

問 32. あなたは、自分にとって子育ては楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも大変だと感じる人が多いですか。(SA)

子育てに関する意識は、「楽しいと感じることと大変だと感じることが同じくらい」(46.2%) が最も多く、次いで「楽しいと感じることのほうが多い」(44.3%)、「大変だと感じることのほうが多い」(9.0%) となっています。

全体の約4割の方が子育てを楽しんでいると感じています。

前回調査と比べ、「楽しいと感じることと大変だと感じることが同じくらい」が今回調査では22.6ポイント増加しています。



※選択肢の表現を、

「前回調査：楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」→

「今回調査：楽しいと感じることと大変だと感じることが同じくらい」

「前回調査：つらいと感じることのほうが多い」→

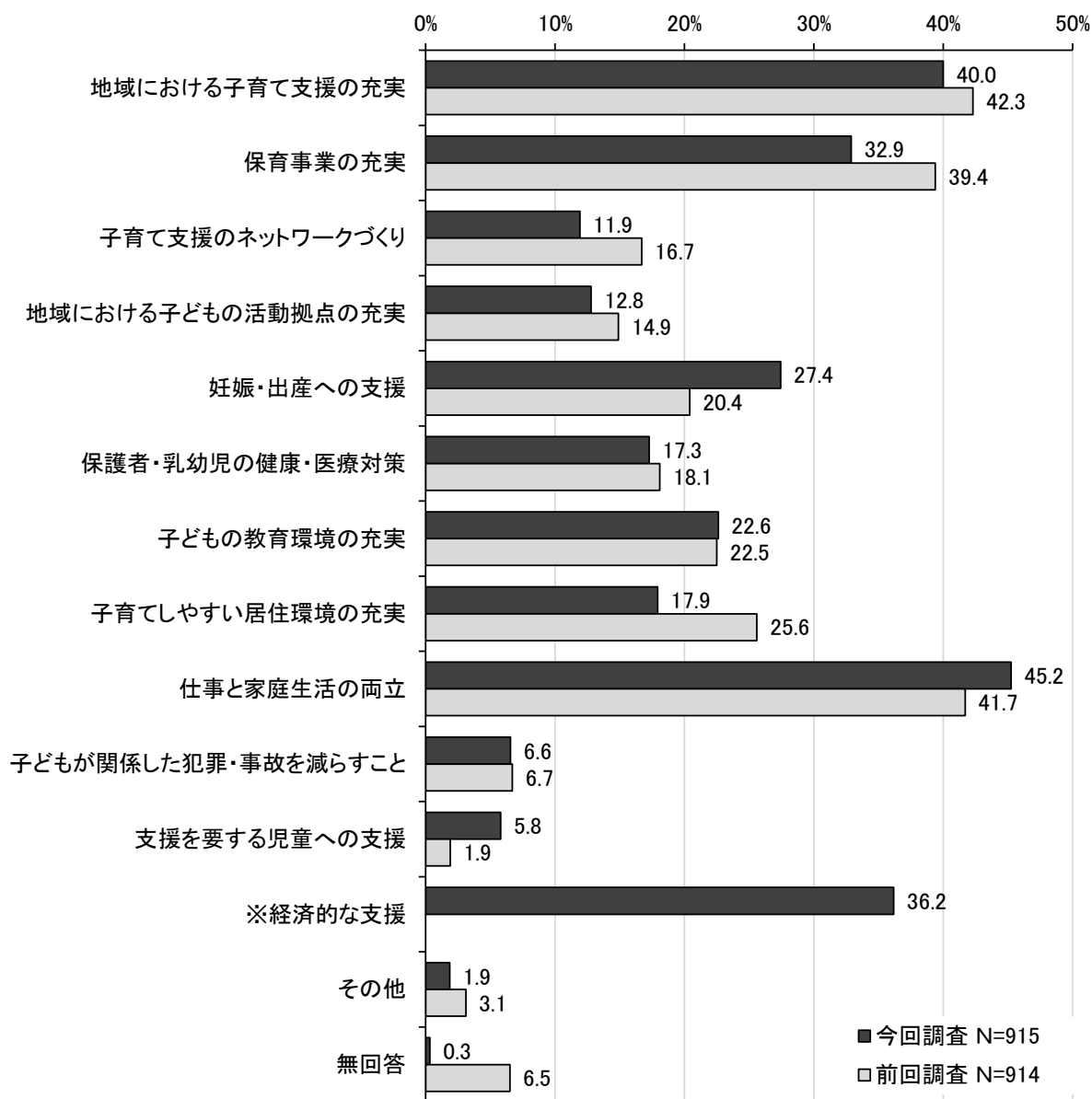
「今回調査：大変だと感じることのほうが多い」

上記に変更しております。

問 33. 子育てをする中でどのような支援・対策が有効だと思いますか。また、自分にとって子育てのつらさを解消するために必要なことは何ですか。(MA) (3つまで)

子育て環境の支援・対策で有効だと思うことは、「仕事と家庭生活の両立」(45.2%)が最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」(40.0%)、「※経済的な支援」(36.2%)となっています。

前回調査と比べ、「妊娠・出産への支援」が今回調査では7.0ポイント増加し、「子育てしやすい居住環境の充実」が7.7ポイント減少しています。

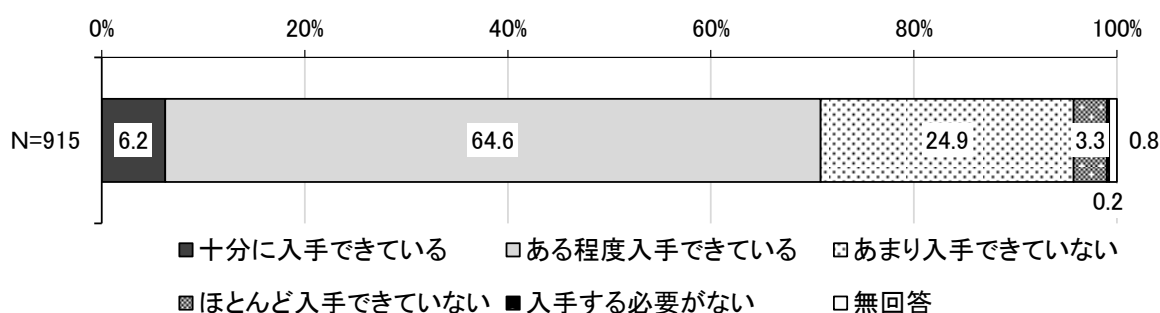


※は、今回調査から追加した選択肢となります。

13. 子育てに関する意識について

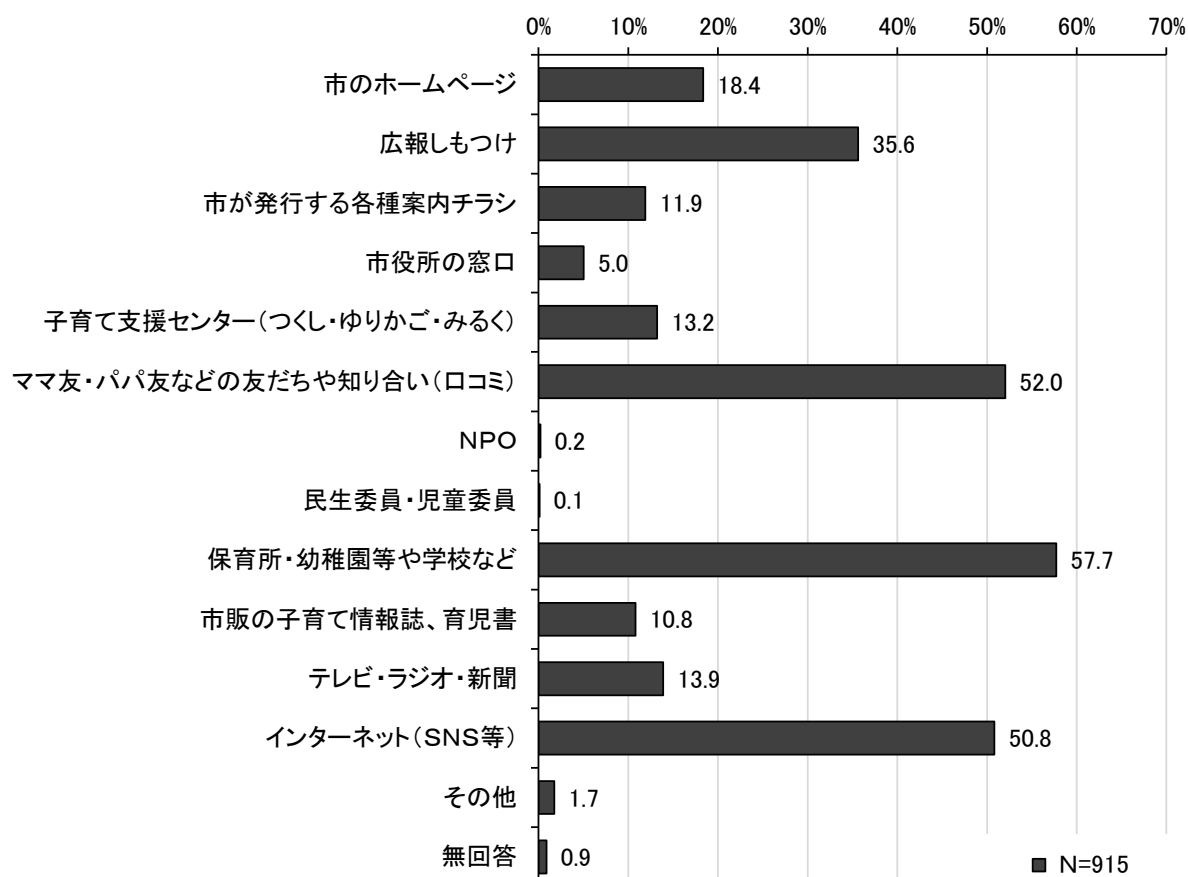
問 34. 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(SA)

子育てに関する情報の入手程度は、『入手できている』（十分に入手できている+ある程度入手できている）が70.8%となっています。一方、『入手できていない』（あまり入手できていない+ほとんど入手できていない）が28.2%となっています。



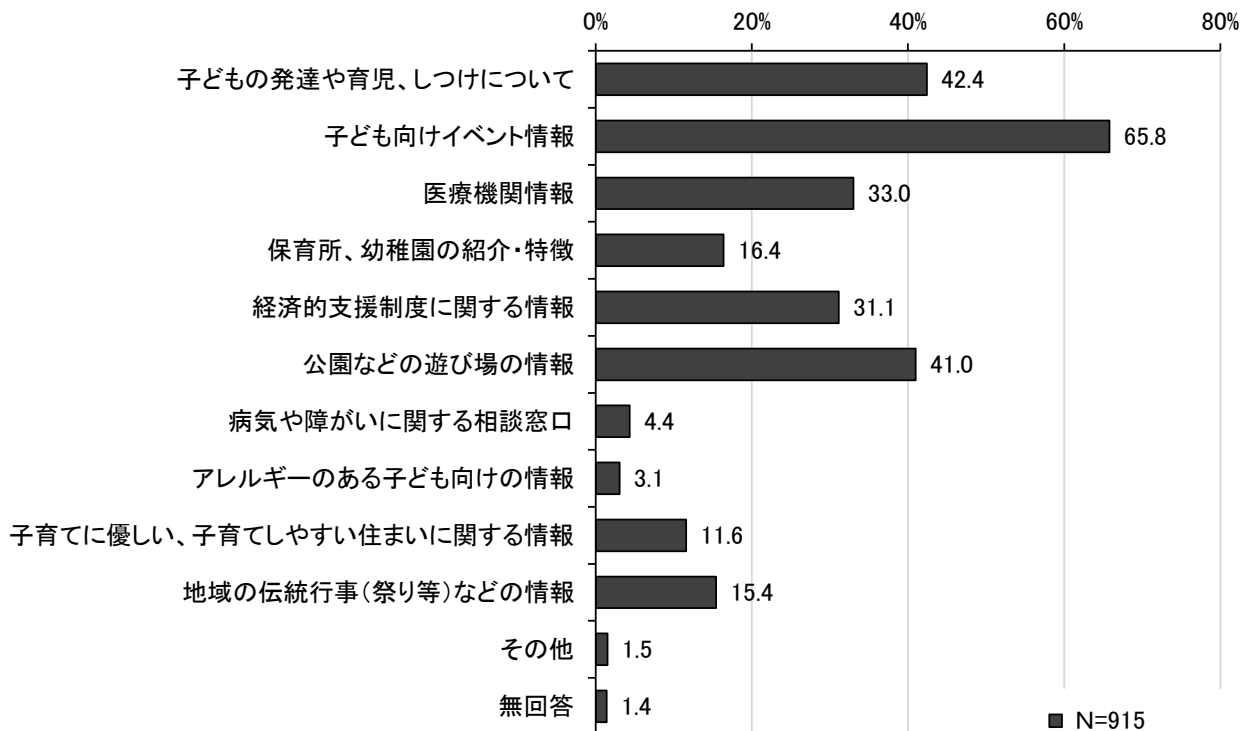
問 35. 子育てに関する情報は、どこから入手していますか。(MA)

子育てに関する情報の入手先は、「保育所・幼稚園等や学校など」(57.7%) が最も多く、次いで「ママ友・パパ友などの友だちや知り合い(口コミ)」(52.0%)、「インターネット(SNS等)」(50.8%)となっています。



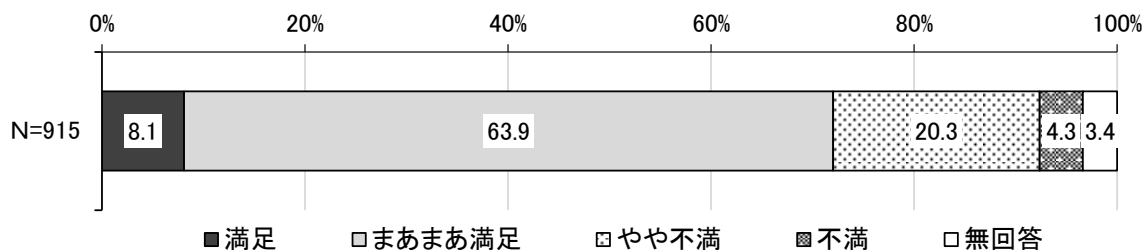
問 36. あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。(MA)(3つまで)

子育てに関する必要な情報は、「子ども向けイベント情報」(65.8%)が最も多く、次いで「子どもの発達や育児、しつけについて」(42.4%)、「公園などの遊び場の情報」(41.0%)となっています。



問 37. 市の情報発信力に対する満足度はいかがですか。(SA)

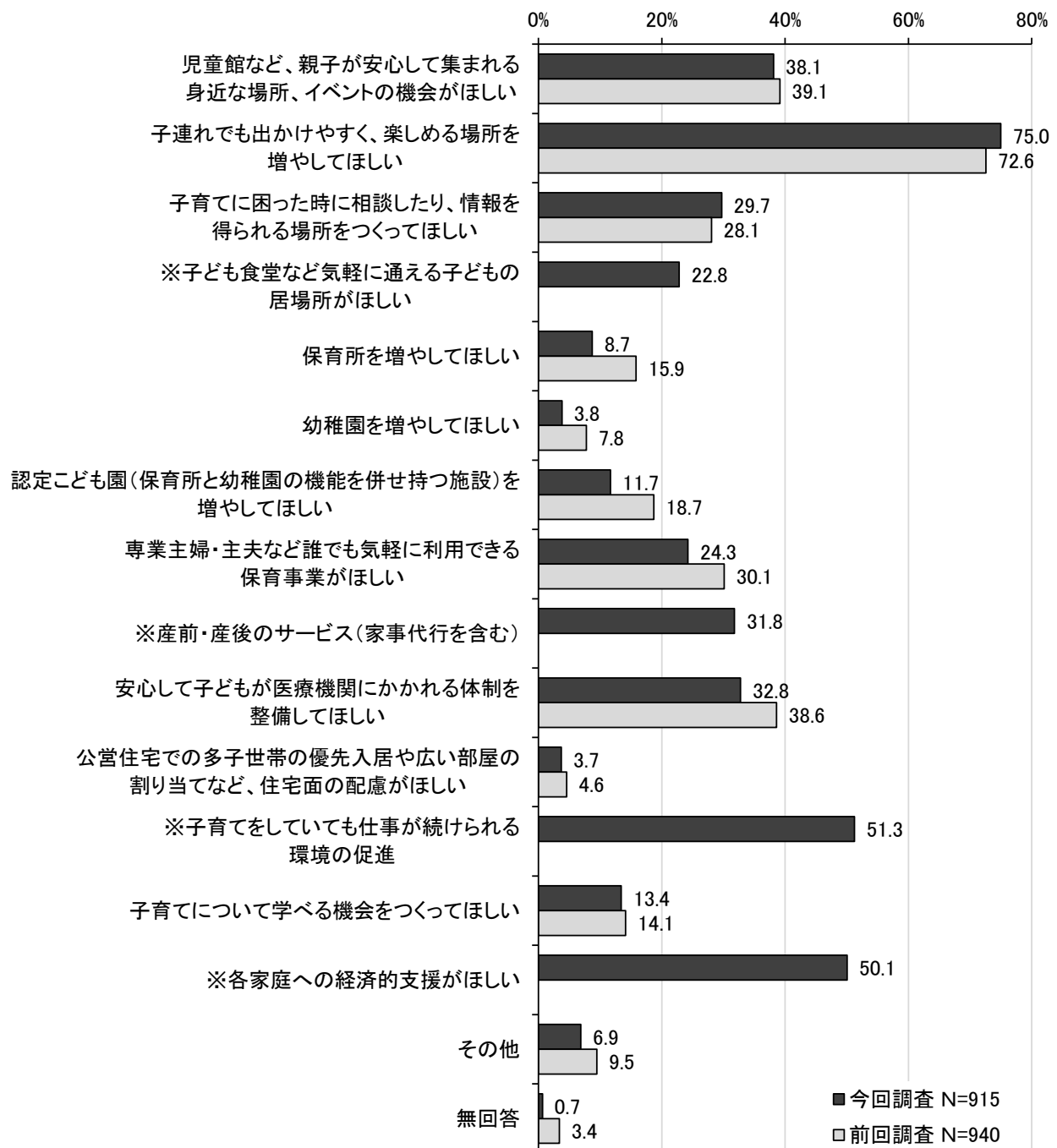
市の情報発信力に対する満足度は、「まあまあ満足」(63.9%)が最も多く、次いで「やや不満」(20.3%)、「満足」(8.1%)となっています。



**問 38. 今後、子どもを安心して産み育てられる環境をつくっていくために、下野市に期待すること
は何ですか。(MA)**

子育て環境をつくっていくために本市に期待することは、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」(75.0%)が最も多く、次いで「※子育てをしても仕事が続けられる環境の促進」(51.3%)、「※各家庭への経済的支援がほしい」(50.1%)、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」(38.1%)となっています。

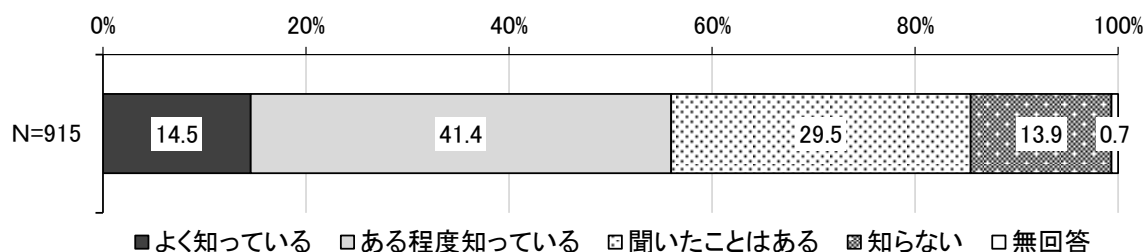
今回調査からの新規選択肢の「※子育てをしても仕事が続けられる環境の促進」「※各家庭への経済的支援がほしい」への回答が約半数となっています。



※は、今回調査から追加した選択肢となります。

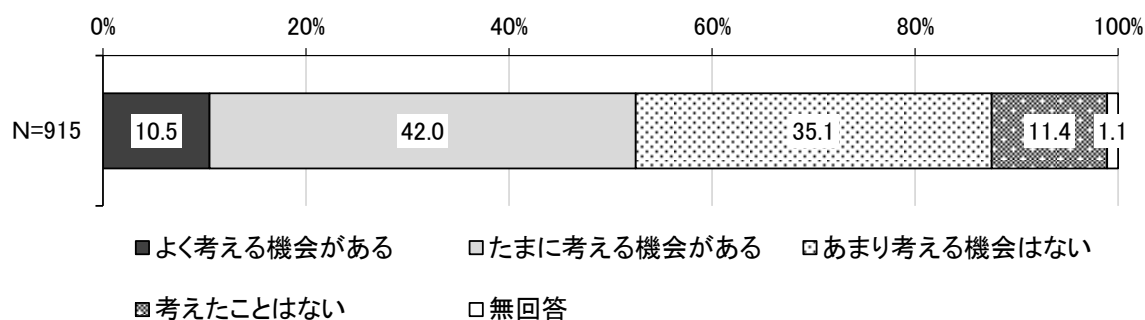
問 39. 「子どもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「子どもの権利」について知っていますか。(S A)

子どもの権利の認知度は、「ある程度知っている」(41.4%)が最も多く、次いで「聞いたことはある」(29.5%)、「よく知っている」(14.5%)となっています。



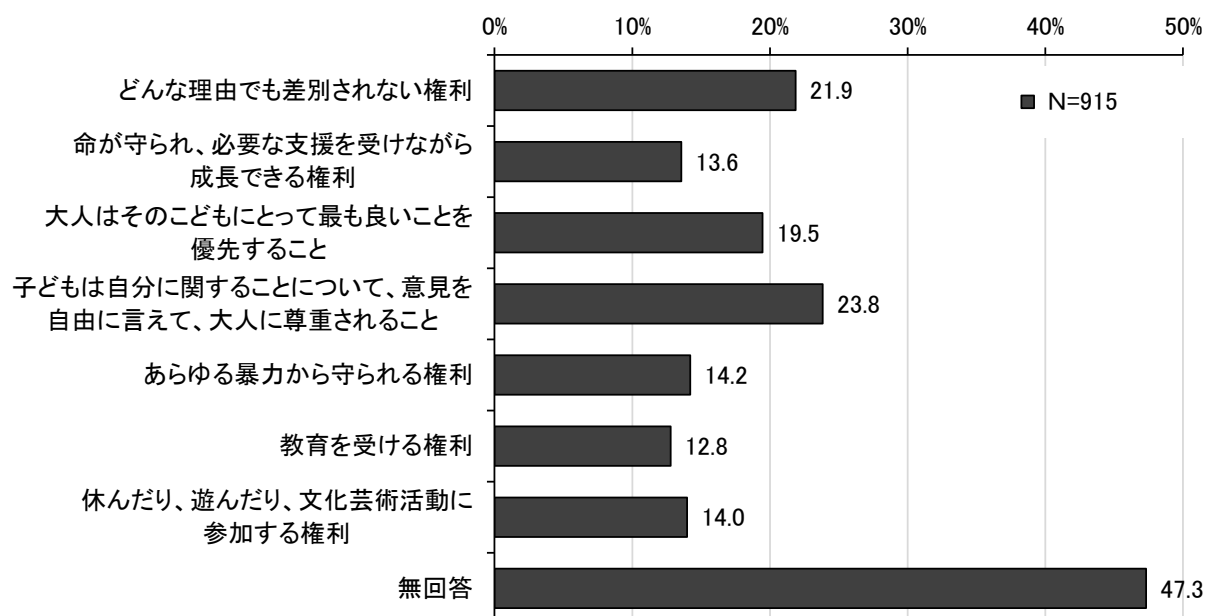
問 40. あなたは、「子どもの権利」について考えることはありますか。(S A)

子どもの権利について考えることの有無は、「たまに考える機会がある」(42.0%)が最も多く、次いで「あまり考える機会はない」(35.1%)、「考えたことはない」(11.4%)となっています。



問 41. あなたや、あなたの周りのお子さんで、次にあげるような「子どもの権利」が守られていないと感じるものはありますか。(MA)

子どもの権利が守られていないと感じるものは、「子どもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」(23.8%) が最も多く、次いで「どんな理由でも差別されない権利」(21.9%)、「大人はそのこどもにとって最も良いことを優先すること」(19.5%) となっています。

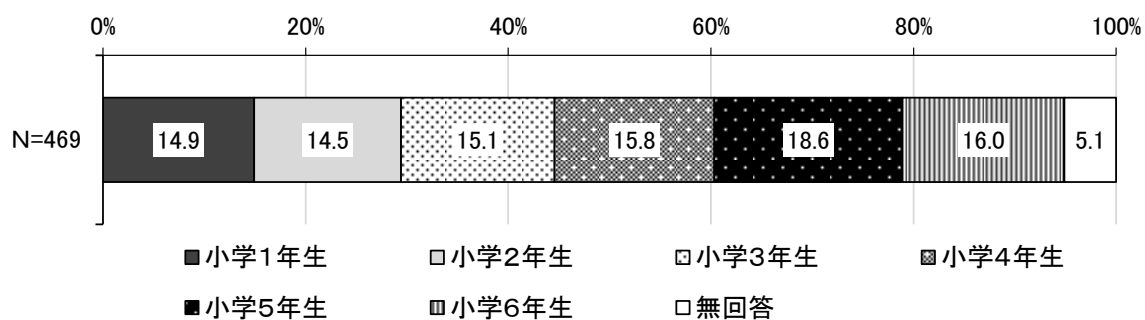


第2章 小学生児童調査結果

1. お子さんご家族の状況について

問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

学年は、「小学5年生」(18.6%)の割合が最も多く、次いで「小学6年生」(16.0%)、「小学4年生」(15.8%)となっています。

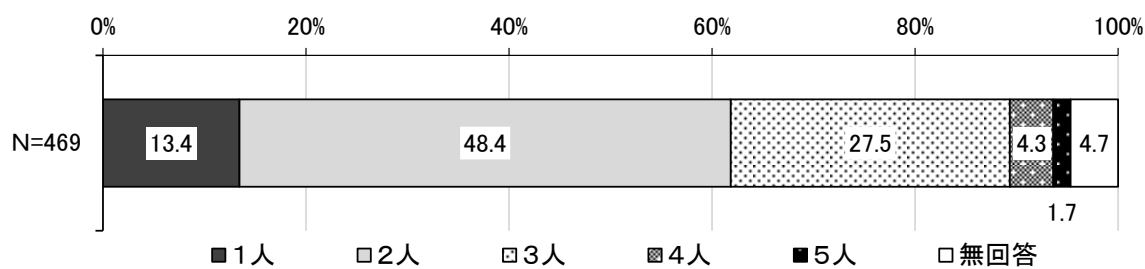


問1-1 調査票を持ち帰ったお子さんも含めて子どもは何人ですかまた、末子の方の生年月をご記入ください。(数量回答)

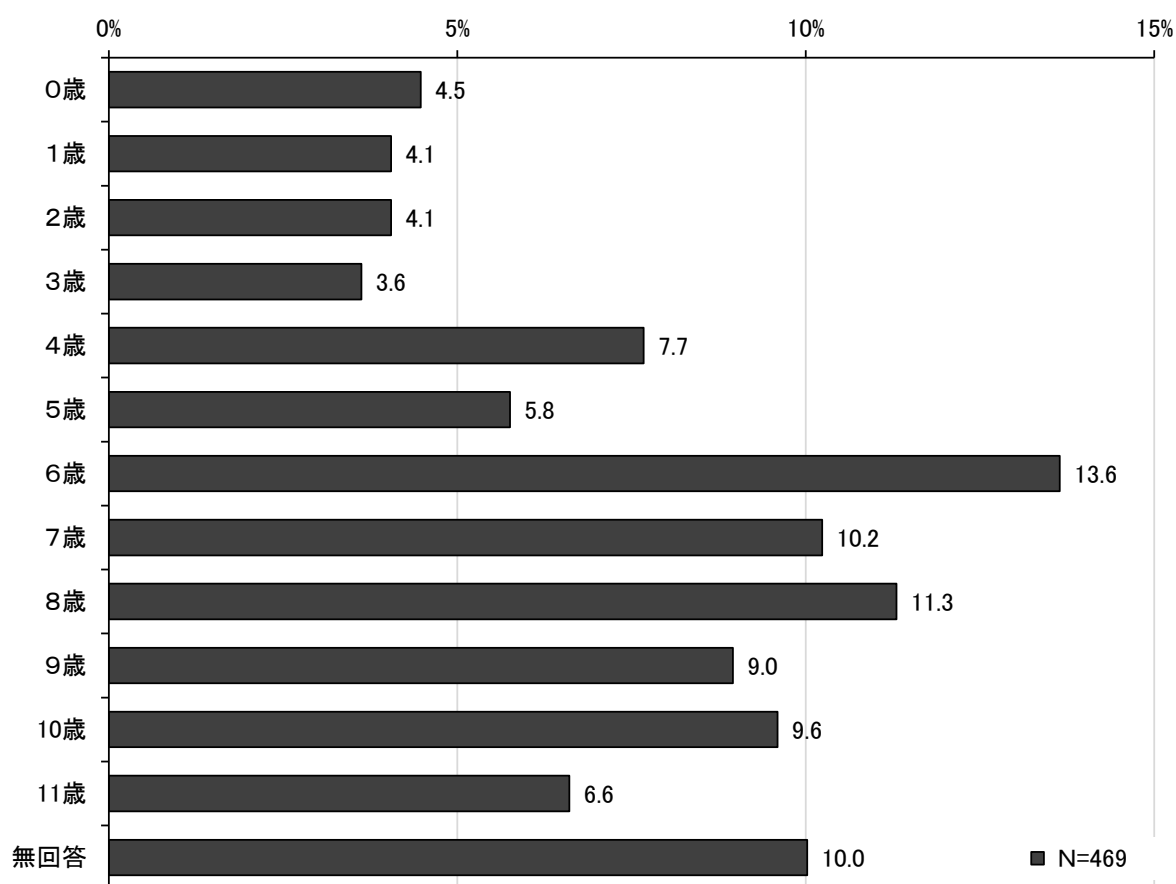
子どもの人数は、「2人」(48.4%)が半数近くを占めており、次いで「3人」(27.5%)、「1人」(13.4%)となっています。

末子の年齢は「6歳」(13.6%)が最も多くなっています。

■子どもの人数



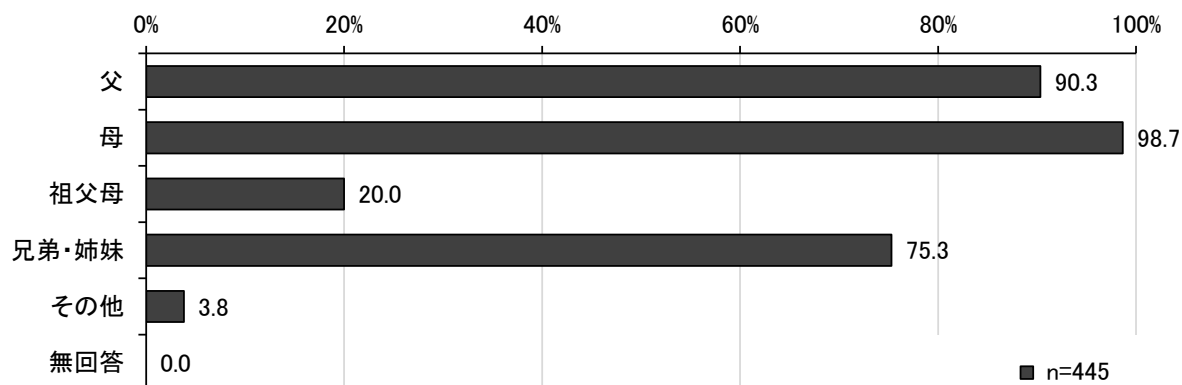
■末子の年齢



【問 1 で生年月を回答した方にうかがいます。】

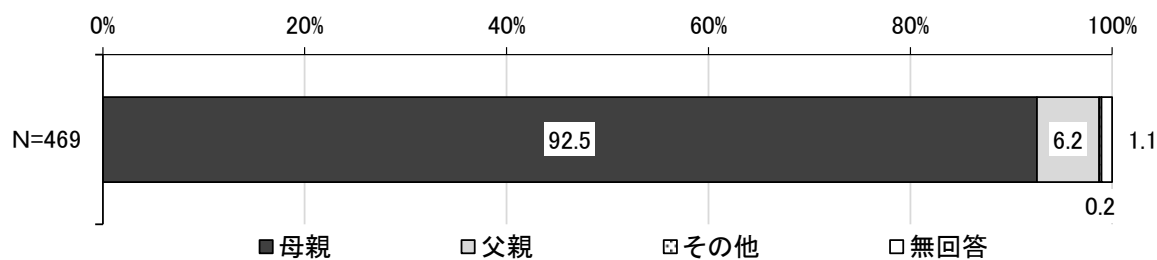
【問 1-2 調査票を持ち帰ったお子さんと同居している方はどなたですか。(MA)】

同居者は、「母」が 98.7%、「父」が 90.3%となっています。



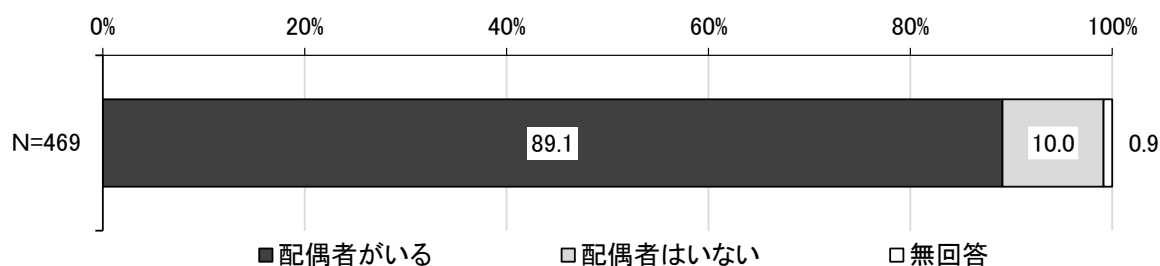
問 2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)

調査回答者は、「母親」が 92.5%、「父親」が 6.2%となっています。



問3 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(SA)

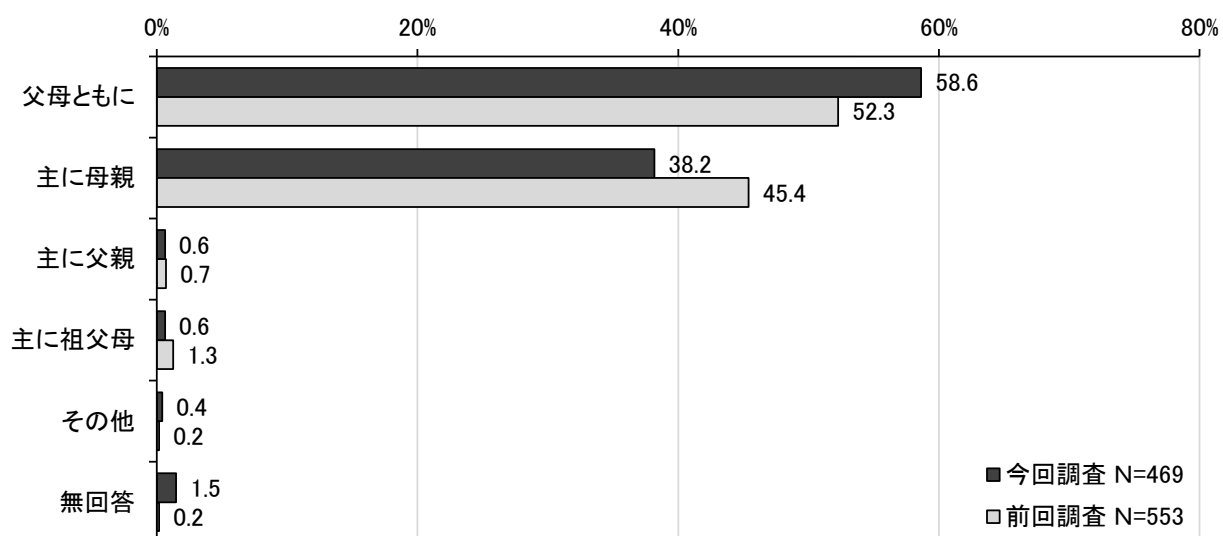
調査回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が89.1%、「配偶者はいない」が10.0%となっています。



問4 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)

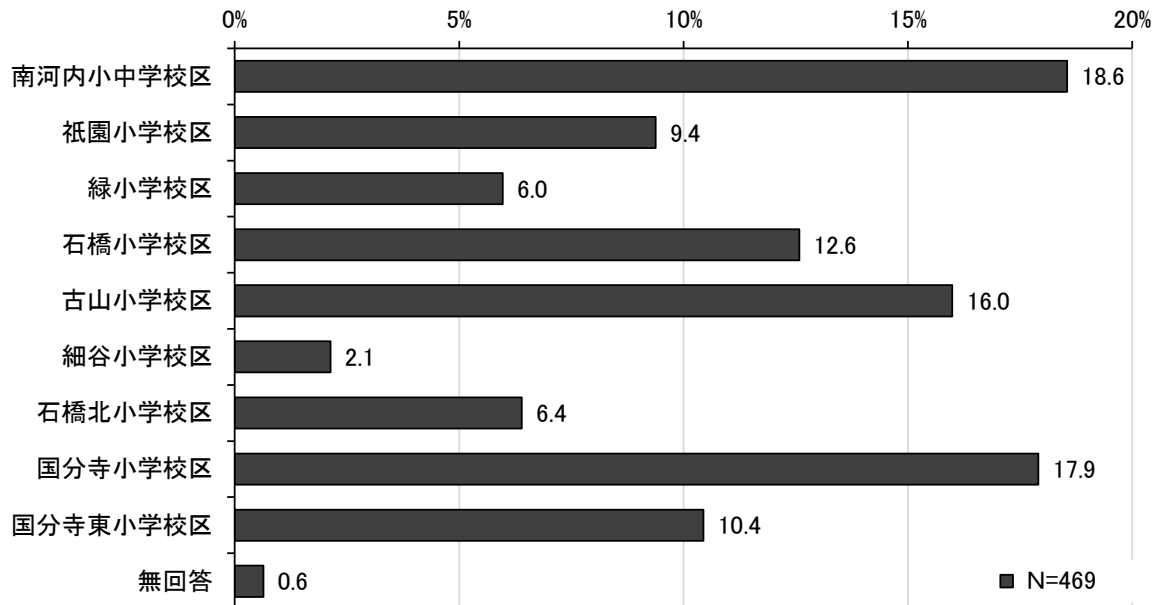
主に子育てを行っている方は、「父母ともに」(58.6%)と「主に母親」(38.2%)で大半を占めています。

前回調査と比較して、「父母ともに」が6.3ポイント増加しています。



問5 お住まいの小学校区はどちらですか。(SA)

居住している小学校区は、「南河内小中学校区」(18.6%)が最も多く、次いで「国分寺小学校区」(17.9%)、「古山小学校区」(16.0%)となっています。



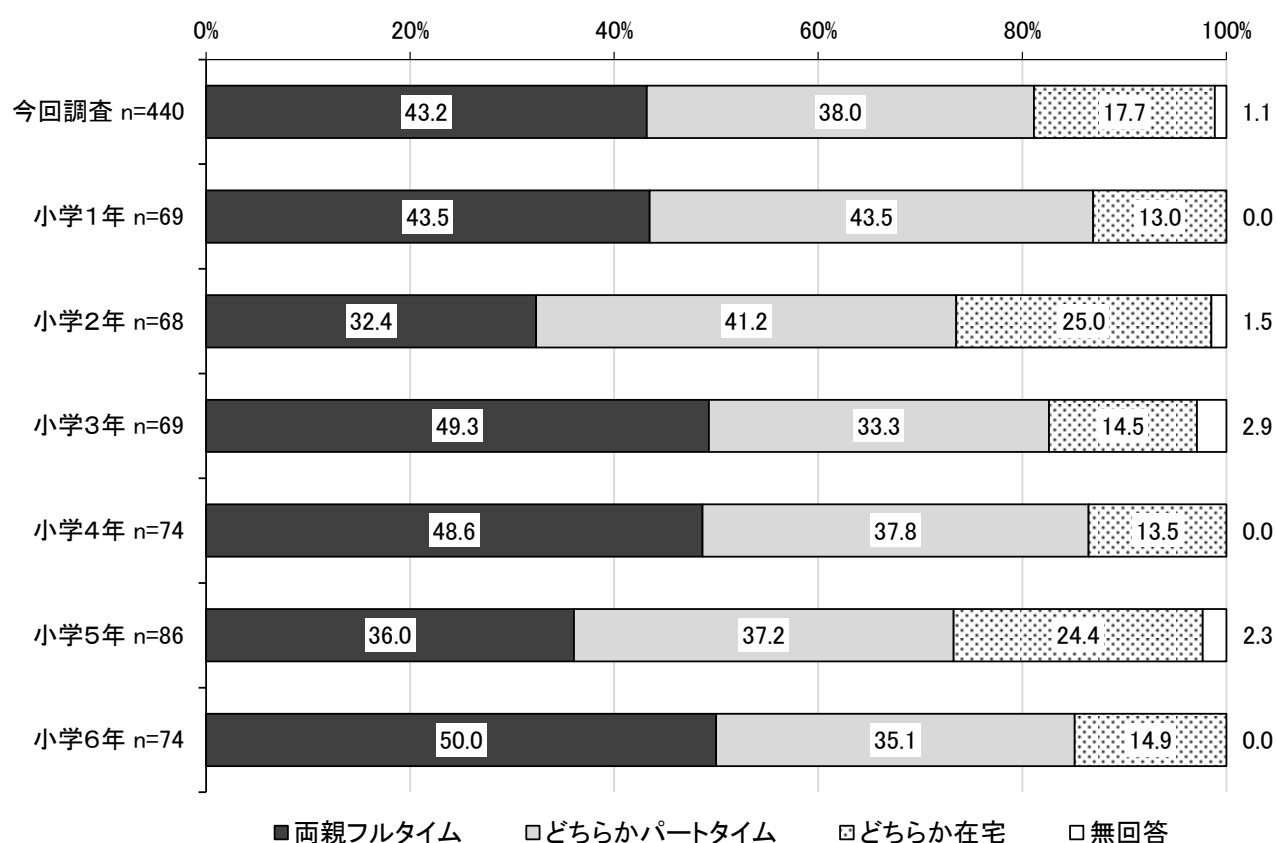
2. お子さんの保護者の就労状況について

問6 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者、在宅勤務含む）についてお答えください。（SA）（問9 共通設問）

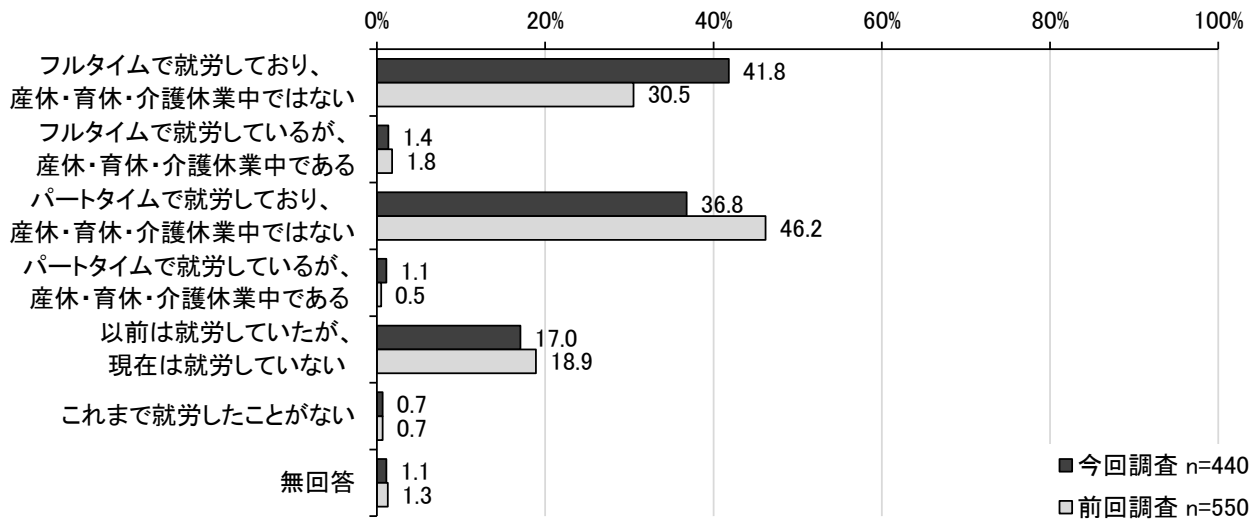
保護者の現在の就労状況は、「両親フルタイム」（43.2%）が最も多く、次いで「どちらかパートタイム」（38.0%）、「どちらか在宅」（17.7%）となっています。

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（41.8%）が最も多く、次いで「パートタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（36.8%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（17.0%）となっています。前回調査と比べ、フルタイムの就労が10.9ポイント増加、パートタイムの就労が8.8ポイント減少しています。

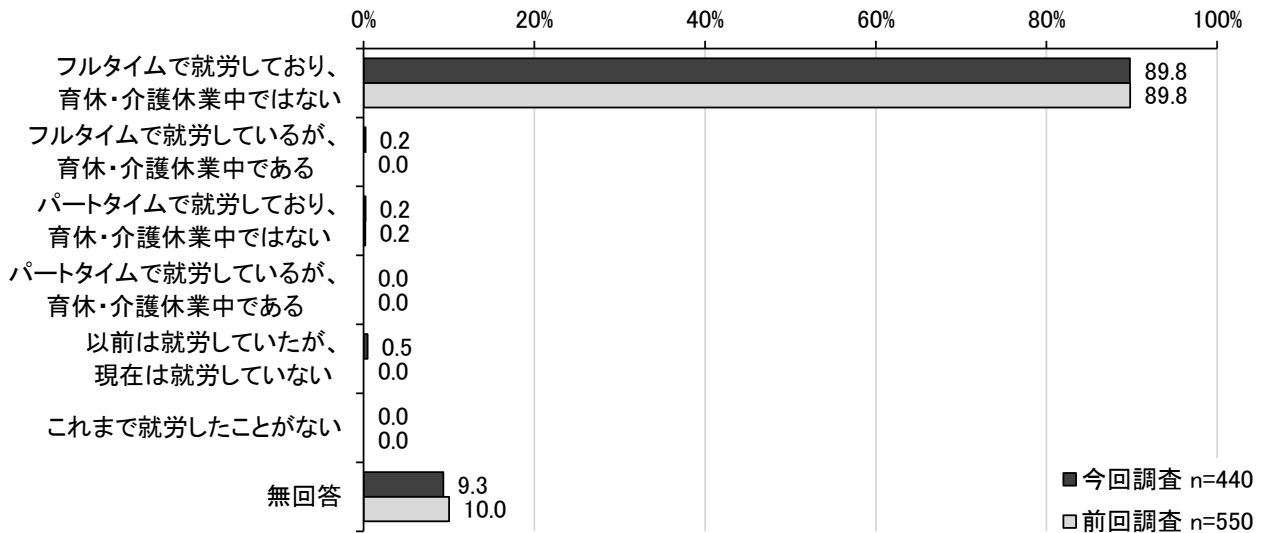
父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（89.8%）が最も多くなっています。前回調査と比べ、回答の傾向に変化はありません。



■保護者の就労状況（母親）



■保護者の就労状況（父親）



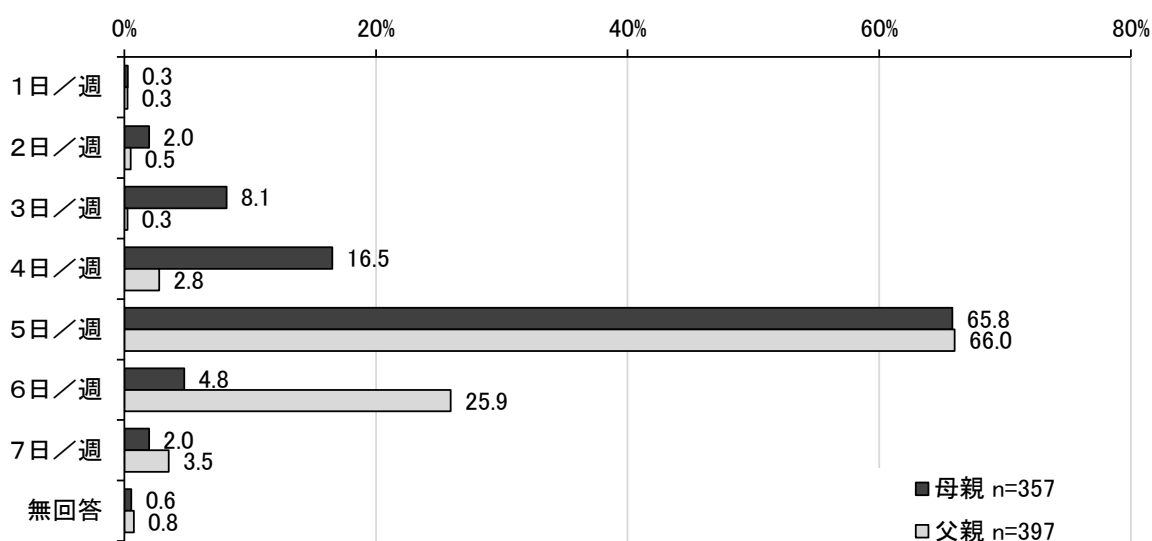
【問 6 で「就労している」を選択した方】

問 6-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩・残業時間も含む）」をお答えください。（数量回答）（問 9-1 共通設問）

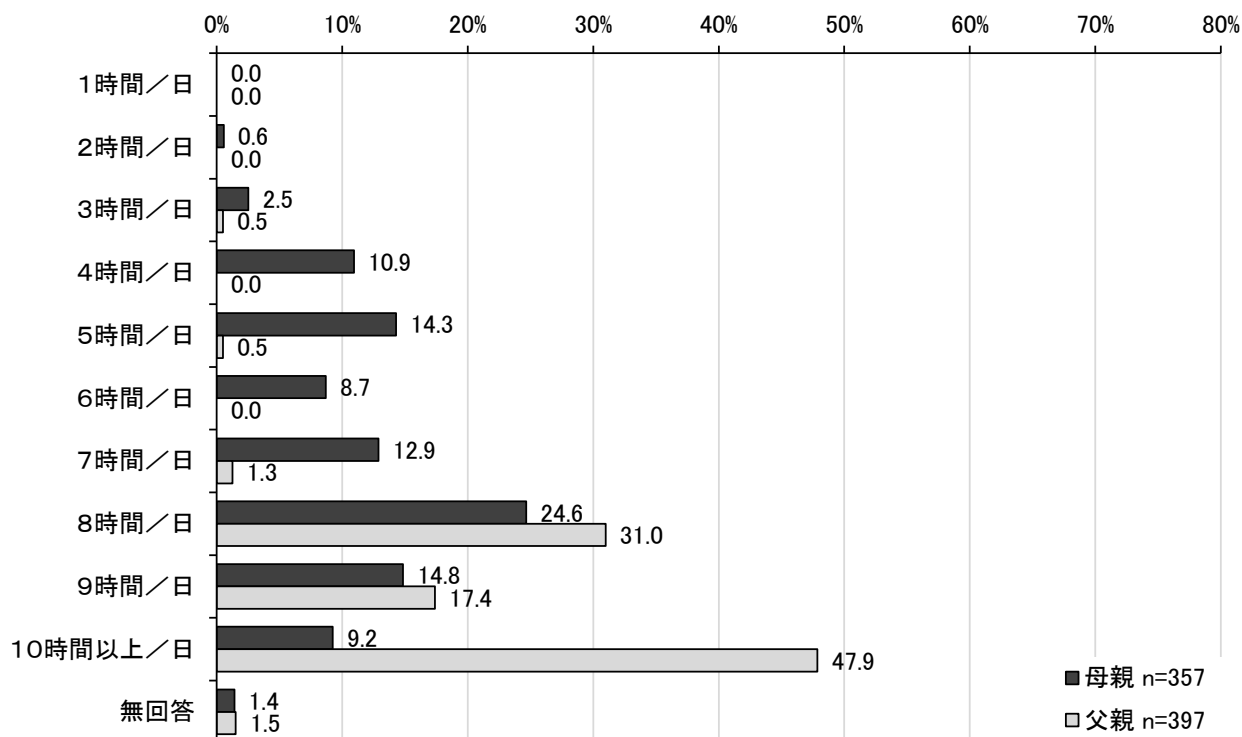
就労日数は、母親は「1週当たり5日」(65.8%)が最も多く、次いで、「1週当たり4日」(16.5%)、「1週当たり3日」(8.1%)となっています。父親は「1週当たり5日」(66.0%)が最も多く、次いで、「1週当たり6日」(25.9%)、「1週当たり7日」(3.5%)となっています。

就労時間は、母親は「1日当たり8時間」(24.6%)が最も多く、次いで、「1日当たり9時間」(14.8%)、「1日当たり5時間」(14.3%)となっています。父親は「1日当たり10時間以上」(47.9%)が最も多く、次いで「1日当たり8時間」(31.0%)、「1日当たり9時間」(17.4%)となっています。

■母・父別 就労日数



■母・父別 就労時間



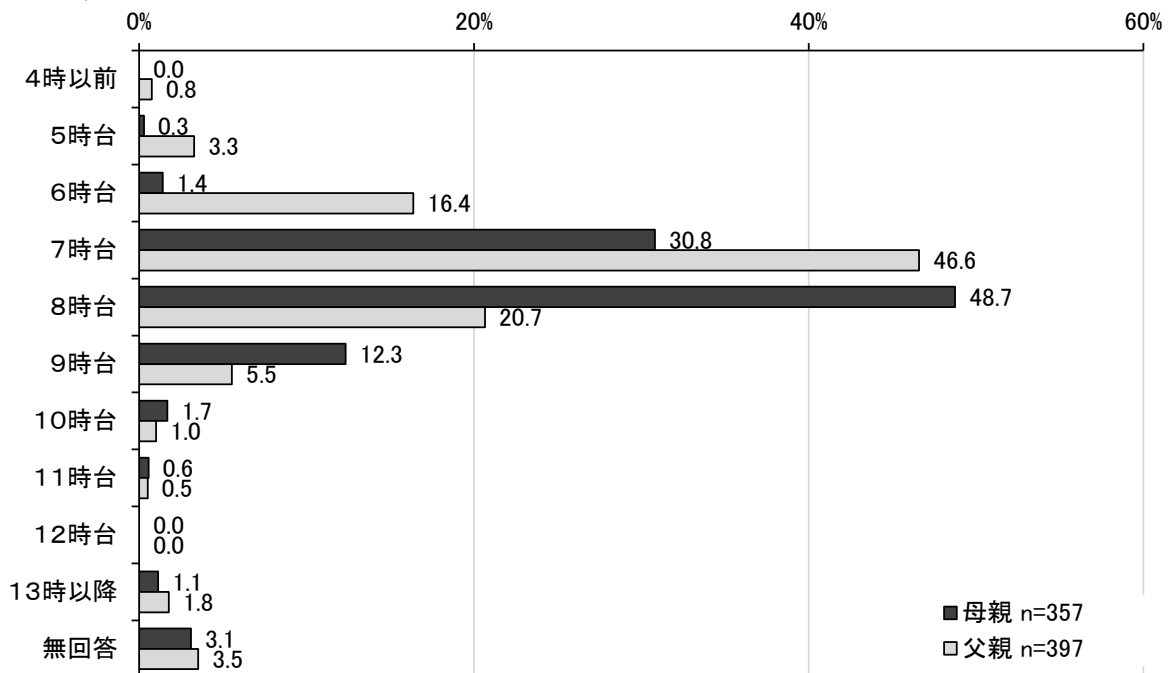
【問 6 で「就労している」を選択した方】

問 6-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(数量回答) (問 9-2 共通設問)

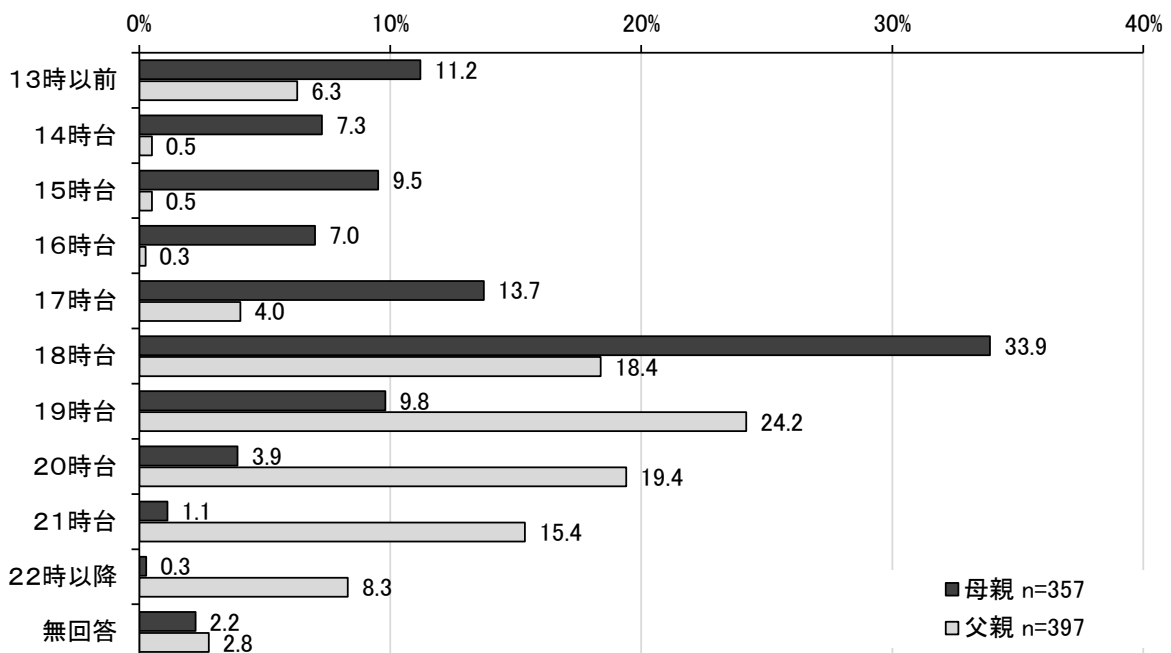
家を出る時刻は、母親は「8 時台」(48.7%) が最も多く、次いで「7 時台」(30.8%)、「9 時台」(12.3%) となっています。父親は「7 時台」(46.6%) が最も多く、次いで「8 時台」(20.7%)、「6 時台」(16.4%) となっています。

帰宅時刻は、母親は「1 8 時台」(33.9%) が最も多く、次いで「1 7 時台」(13.7%)、「1 3 時以前」(11.2%) となっています。父親は「1 9 時台」(24.2%) が最も多く、次いで「2 0 時台」(19.4%)、「1 8 時台」(18.4%) となっています。

■母・父別 家を出る時刻



■母・父別 帰宅時刻

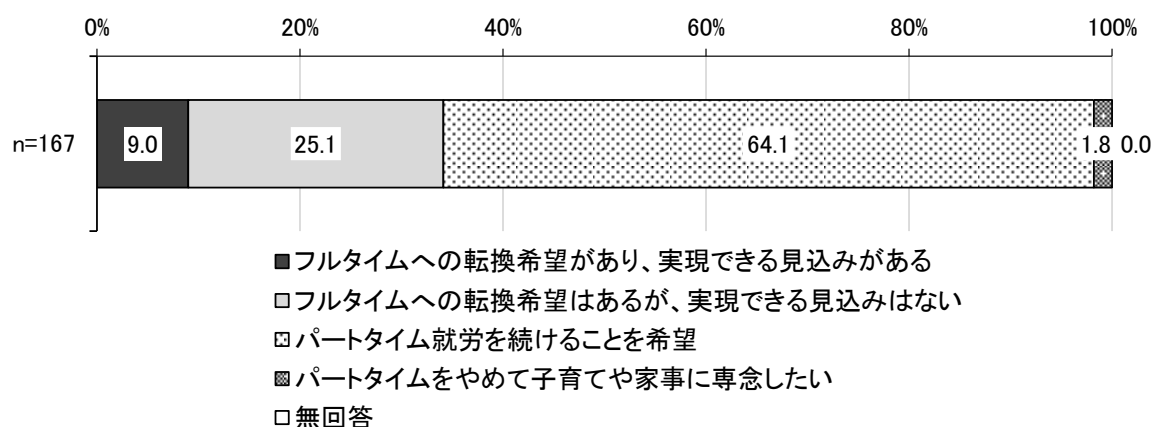


【問 6 で「パートタイムで就労している」を選択した方】

問 7 フルタイムへの転換希望はありますか。(S A) (問 10 共通設問)

母親のパートタイムからフルタイムへの転換希望は、「パートタイム就労を続けることを希望」(64.1%) が最も多くなっています。「フルタイムへの転換を希望」(フルタイム見込みあり+なし) する方が 34.1% となっています。また、「実現できる見込みのある方」は 9.0% となっています。

■母親のフルタイムの転換希望



■父親のフルタイムの転換希望 (n=1)

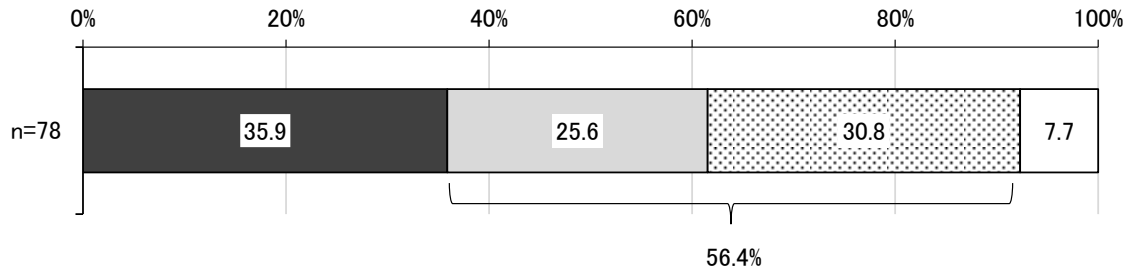
「パートタイム就労を続けることを希望」と 1 名の方が回答されています。

【問 6 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方】

問 8 就労したいという希望はありますか。(SA・数量回答)(問 11 共通設問)

■母親の就労希望

就労していない母親で今後就労したい方は56.4%となっています。その内訳は「1年より先」が25.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.8%となっています。



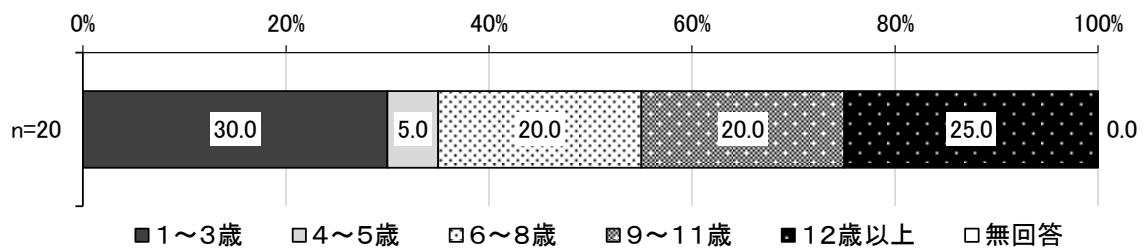
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもの●歳になったところに就労したい
- ▣すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

■父親の就労希望

(該当者なし)

問 8 選択肢中・一番下の子が何歳になったところに就労したいですか。(数量回答)

母親の1年より先の就労時期は一番下の子の年齢が、「1～3歳になったころ」(30.0%)が最も多く、次いで「12歳以上になったころ」(25.0%)となっています。

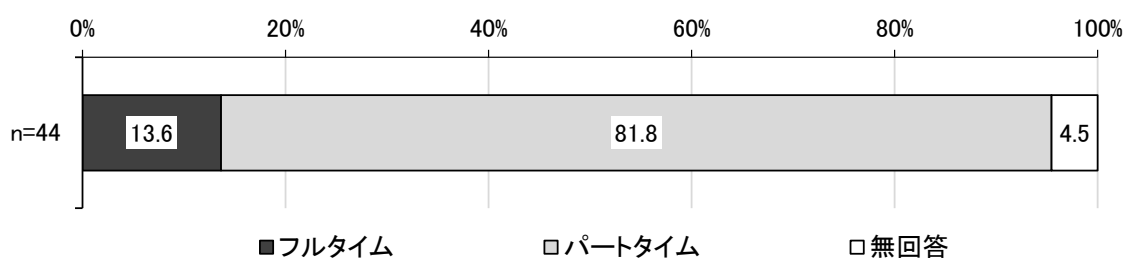


問 11 選択肢中・一番下の子が何歳になったところに就労したいですか。(数量回答)

(父親該当者なし)

問8 選択肢中・希望する就労形態は何ですか。(SA)

母親の希望する就労形態は、「パートタイム」が81.8%、「フルタイム」が13.6%となっています。

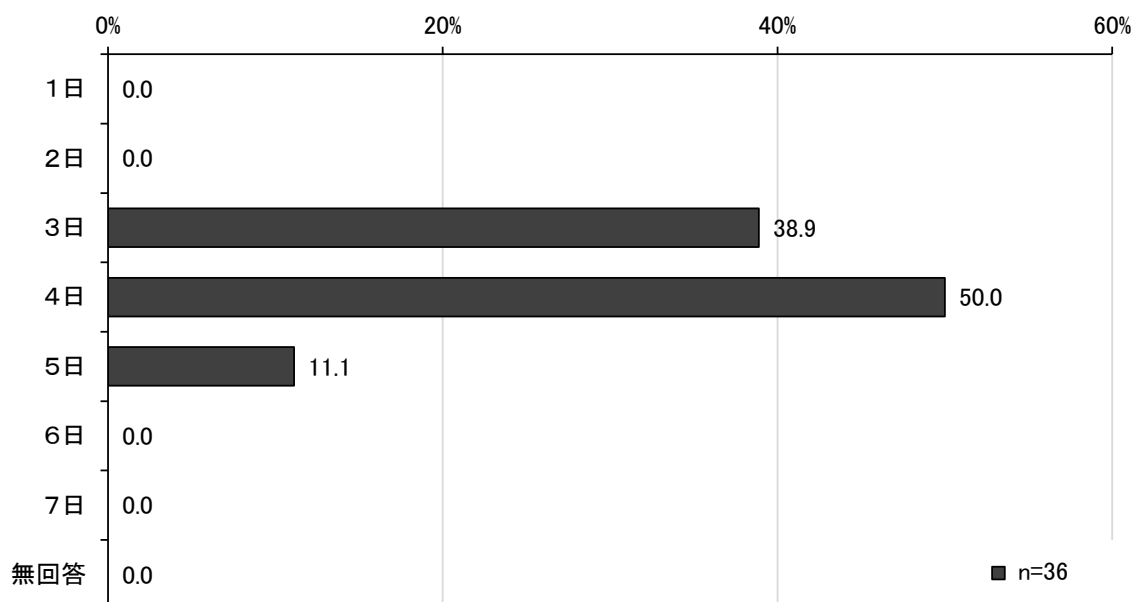


問8 選択肢中・パートタイムで希望する就労日数・就労時間は何ですか。(数量回答)

母親の希望する就労日数は、「4日」(50.0%)が最も多く、次いで「3日」(38.9%)、「5日」(11.1%)となっています。

就労時間は、「5時間」(52.8%)が最も多く、次いで「4時間」「6時間以上」(ともに22.2%)、「4時間未満」(2.8%)となっています。

■母親の就労希望日数



■母親の就労希望時間



問11 選択肢中・パートタイムで希望する就労日数・就労時間は何ですか。(数量回答)

(父親該当者なし)

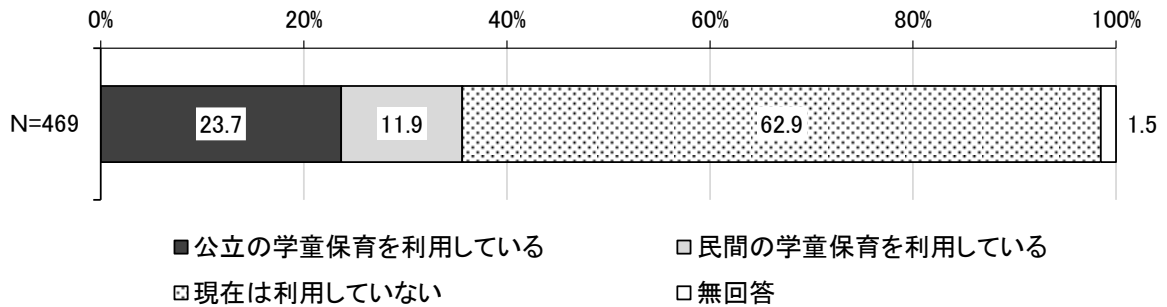
■父親の就労希望時間

(父親該当者なし)

3. お子さんの放課後の過ごし方について

問 12 現在、学童保育を利用されていますか。(SA)

平日の学童保育の利用状況は、「現在は利用していない」(62.9%) が最も多く、次いで「公立の学童保育を利用している」(23.7%)、「民間の学童保育を利用している」(11.9%) となっています。

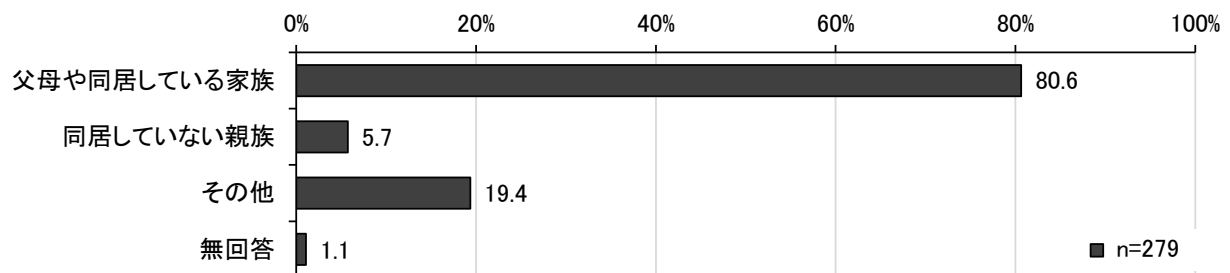


【問 12 で「現在は利用していない」を選択した方】

問 12-1 お子さんは放課後誰と過ごしていますか。(MA)

放課後過ごしている相手は、「父母や同居している家族」(80.6%) が最も多く、次いで「その他」(19.4%)、「同居していない親族」(5.7%) となっています。

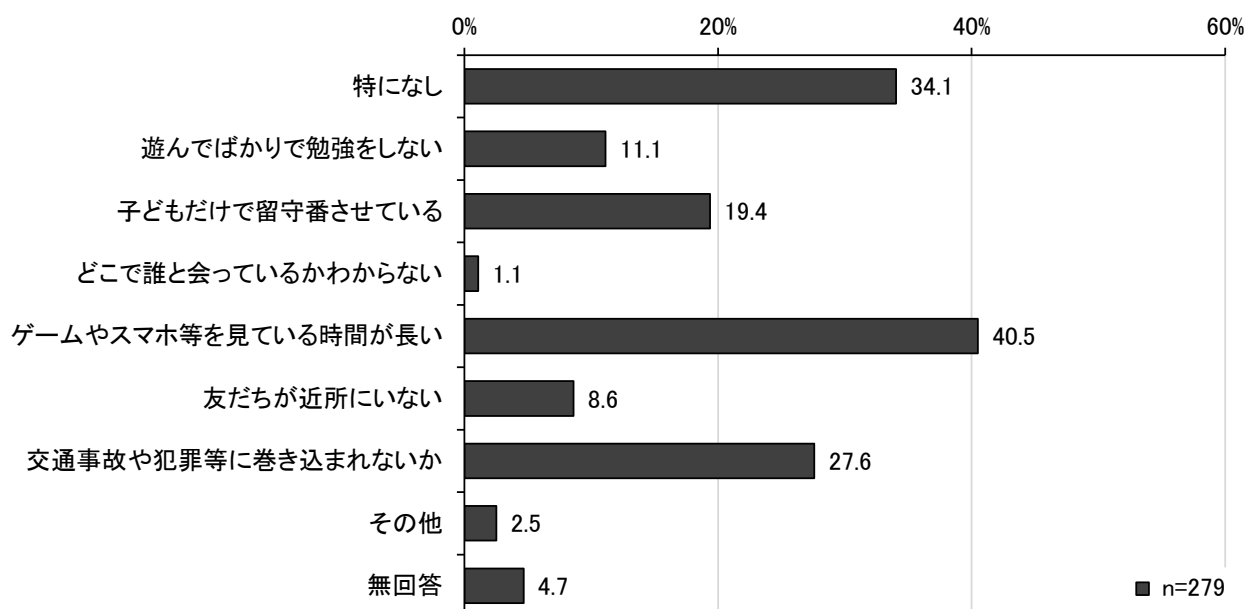
「その他」は 54 名で、「ひとりで過ごす」や「友達と過ごす」などがありました。



【問 12 で「現在は利用していない」を選択した方】

問 12-2 放課後のお子さんの過ごし方について心配事がありますか。(MA)

放課後のお子さんの過ごし方についての心配事は、「ゲームやスマホ等を見ている時間が長い」(40.5%)が最も多く、次いで「特になし」(34.1%)、「交通事故や犯罪等に巻き込まれないか」(27.6%)となっています。



問 13 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる過ごし方を選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（MA、数量回答）
お子さんが1～3年生の場合は、「小学校1～3年生」と将来を見越して「小学校4～6年生」の両方を記入してください。
お子さんが4～6年生の場合は、「小学校4～6年生」のみ記入してください。

小学校1～3年生

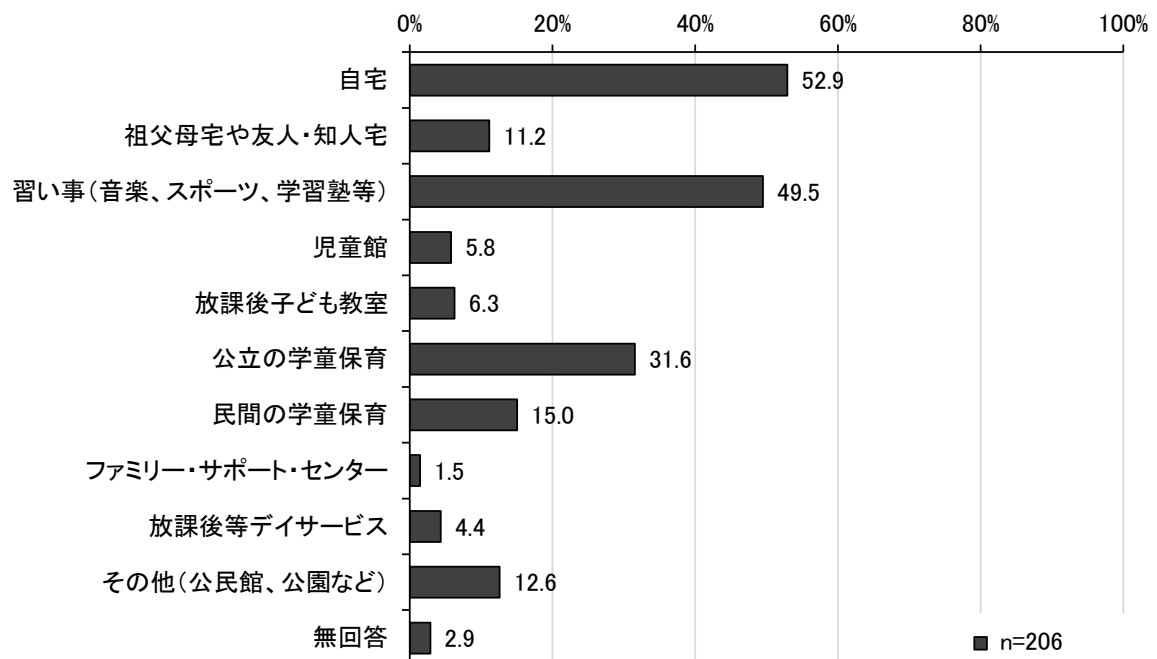
平日の放課後の過ごさせ方は、小学校1～3年生の間は「自宅」（52.9%）が最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（49.5%）、「公立の学童保育」（31.6%）となっています。

小学校4～6年生になった場合は、「自宅」（76.7%）が最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（13.1%）、「公立の学童保育」（6.8%）となっています。

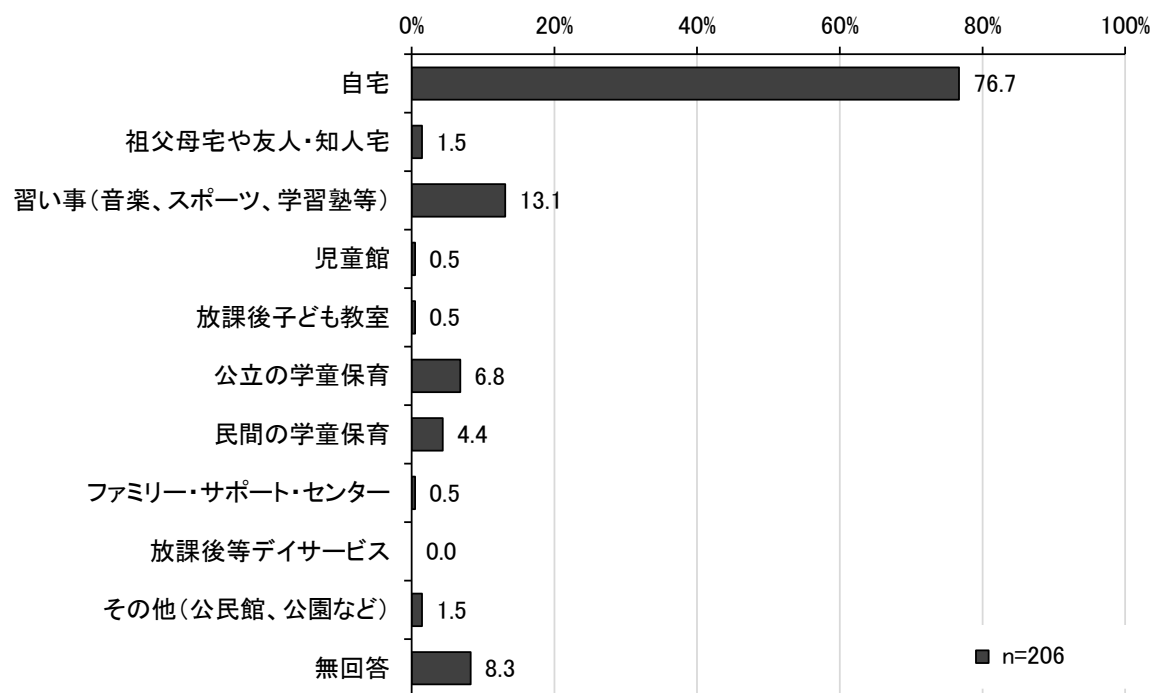
公立の学童保育の希望時間は、「18時まで」（43.1%）が最も多く、次いで「17時まで」（24.6%）、「19時まで」（18.5%）となっています。

民間の学童保育の希望時間は、「18時まで」（48.4%）が最も多く、次いで「17時まで」（29.0%）、「19時まで」（12.9%）となっています。

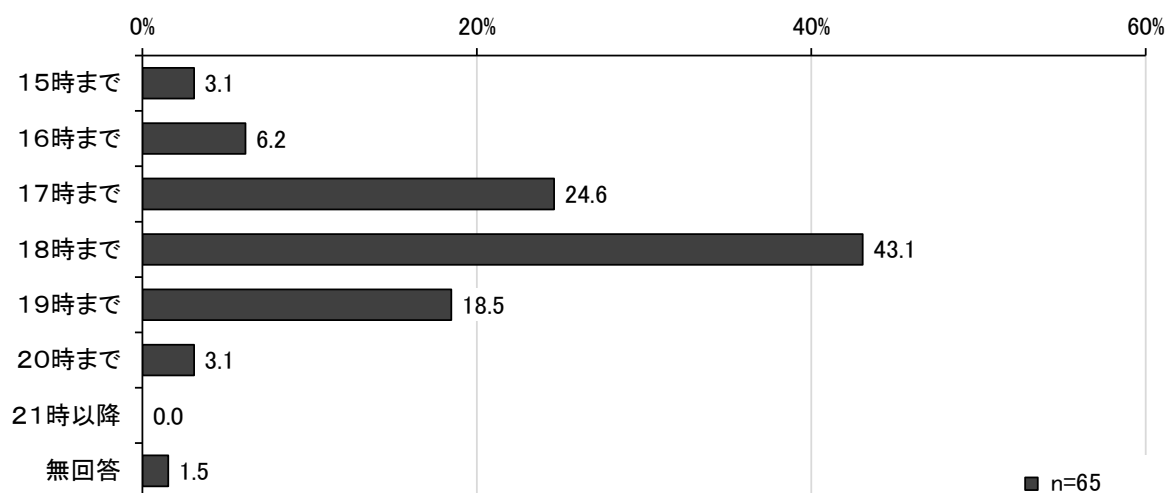
■放課後の過ごし方・小学校1～3年生__小学校1～3年生の間



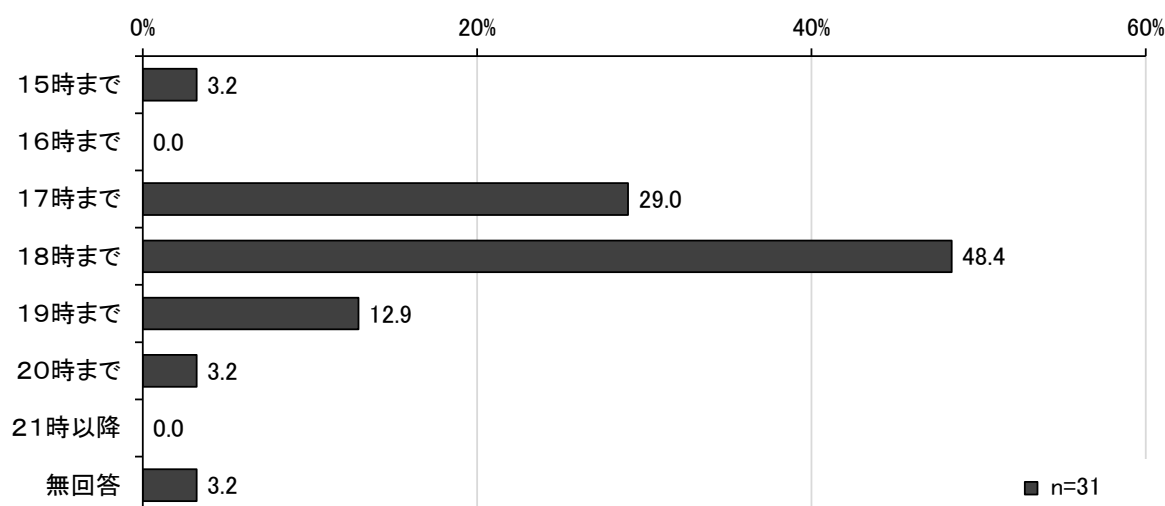
■放課後の過ごし方・小学校1～3年生__小学校4～6年生になった場合



■公立の学童保育の利用希望時間「●●時まで」__小学校1～3年生



■民間の学童保育の利用希望時間「●●時まで」__小学校1～3年生



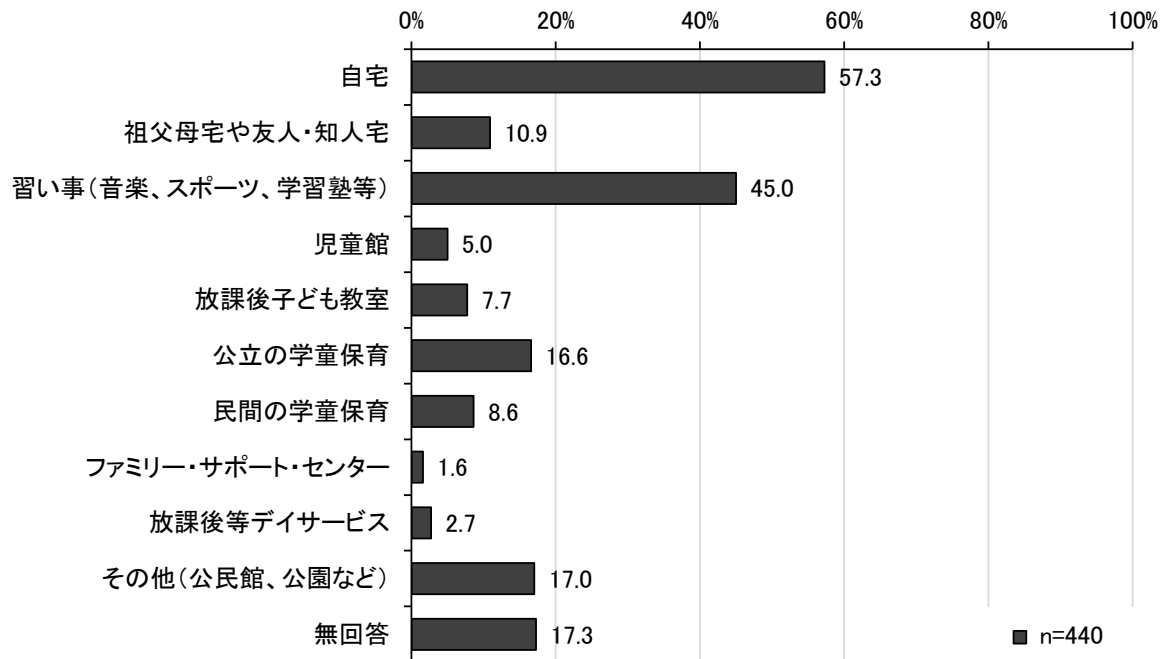
小学校4～6年生

平日の放課後の過ごさせ方は、「自宅」(57.3%)が最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」(45.0%)、「その他(公民館、公園など)」(17.0%)となっています。

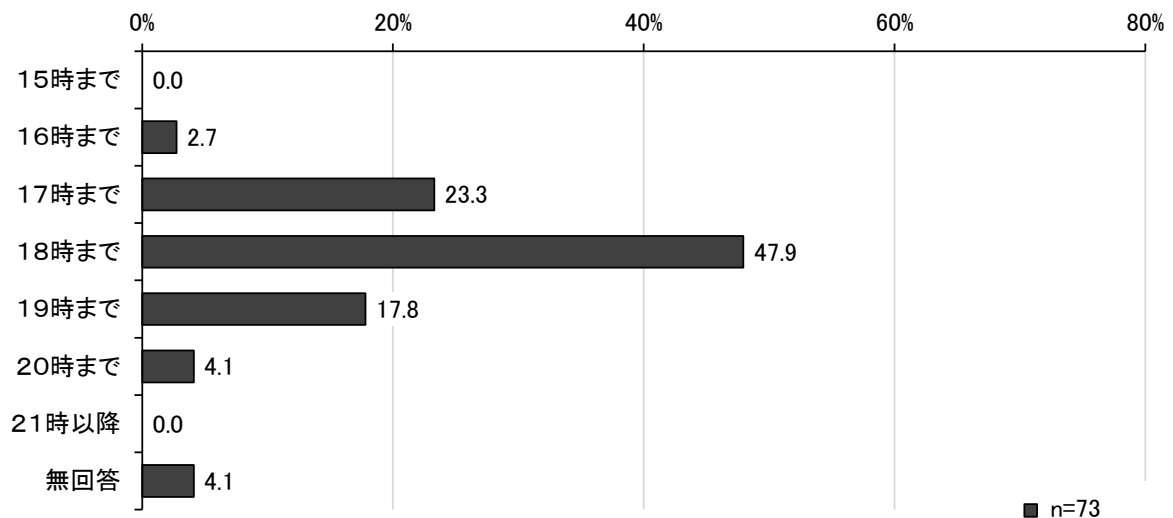
公立の学童保育の希望時間は、「18時まで」(47.9%)が最も多く、次いで「17時まで」(23.3%)、「19時まで」(17.8%)となっています。

民間の学童保育の希望時間は、「18時まで」(57.9%)が最も多く、次いで「17時まで」「19時まで」(ともに18.4%)、「16時まで」「20時まで」(ともに2.6%)となっています。

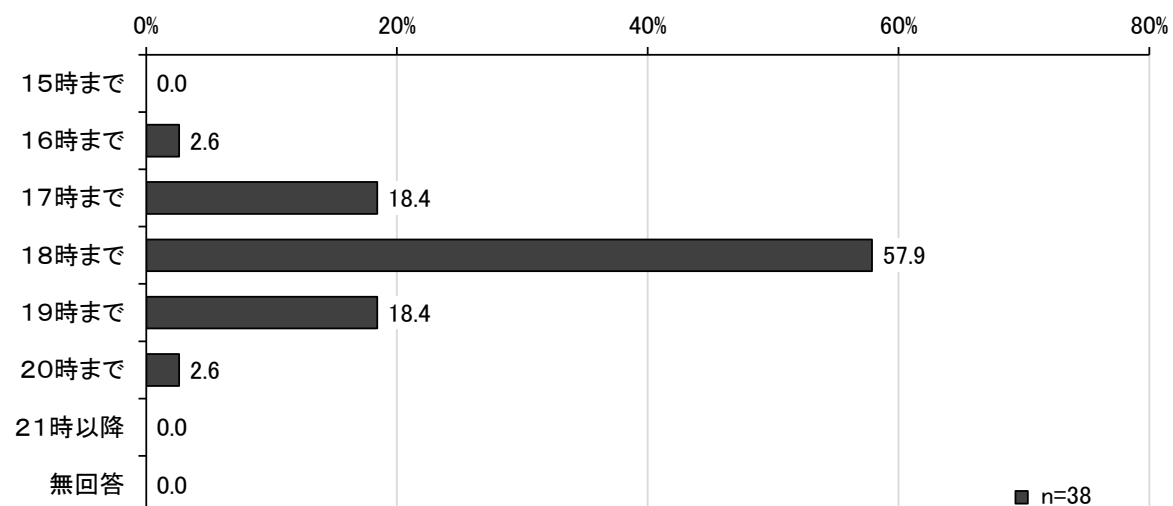
■放課後の過ごし方・小学校4～6年生



■公立の学童保育の利用希望時間「●●時まで」__小学校4～6年生



■民間の学童保育の利用希望時間「●●時まで」__小学校4～6年生



問 14 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や長期の休暇期間中（夏休み・冬休み）に、公立学童保育か民間の学童保育の利用希望はありますか。（MA）

お子さんが1～3年生の場合は、「1～3年生の間」と将来を見越して「4～6年生の間」の両方を記入してください。

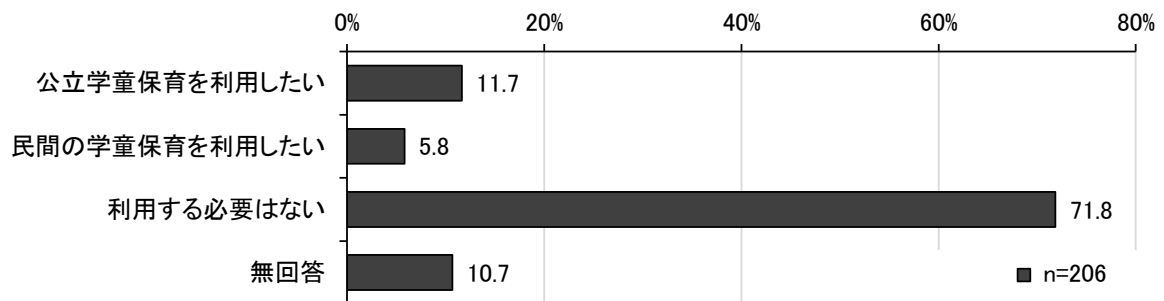
お子さんが4～6年生の場合は、「4～6年生の間」のみ記入してください。

（1）土曜日

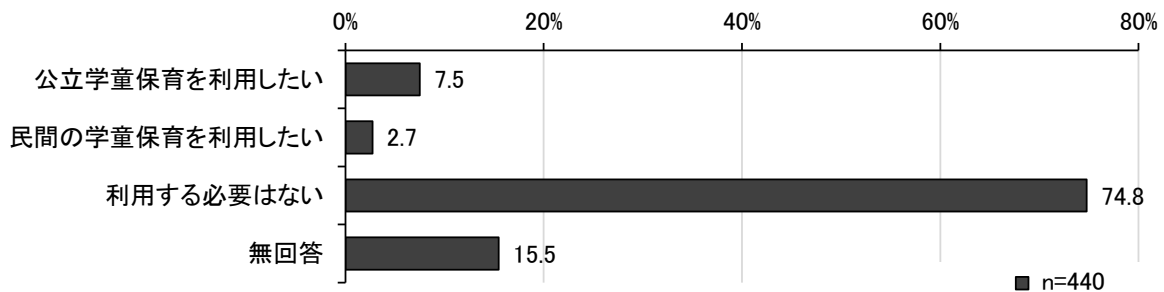
学童保育の土曜日の利用希望は、小学校1～3年生では「利用する必要はない」（71.8%）が最も多く、次いで「公立学童保育を利用したい」（11.7%）、「民間の学童保育を利用したい」（5.8%）となっています。

小学校4～6年生でも同様に、「利用する必要はない」（74.8%）が最も多くなっています。

■小学校1～3年生（土曜日）



■小学校4～6年生（土曜日）

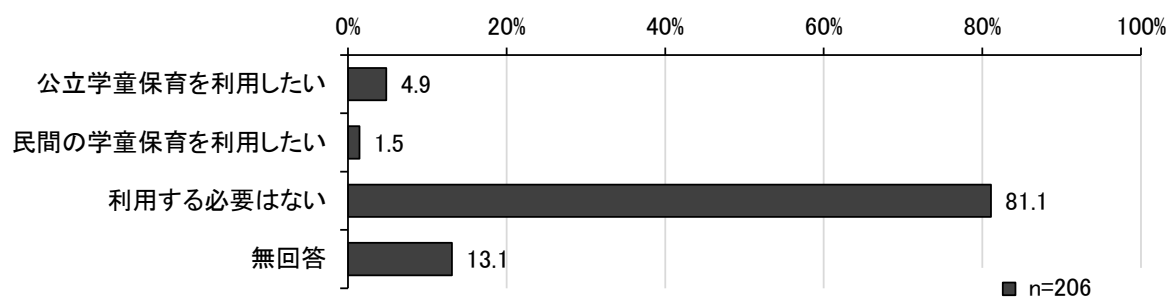


(2) 日曜日・祝日

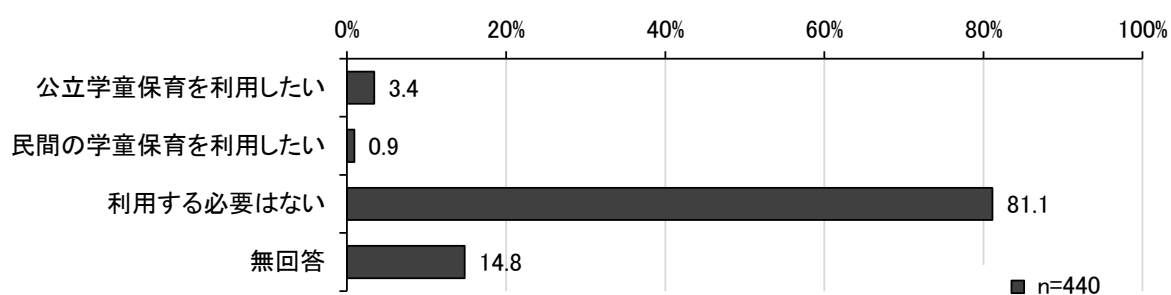
学童保育の日曜日・祝日の利用希望は、小学校1～3年生では「利用する必要はない」(81.1%)が最も多く、次いで「公立学童保育を利用したい」(4.9%)、「民間の学童保育を利用したい」(1.5%)となっています。

小学校4～6年生でも同様に、「利用する必要はない」(81.1%)が最も多くなっています。

■小学校1～3年生（日曜日・祝日）



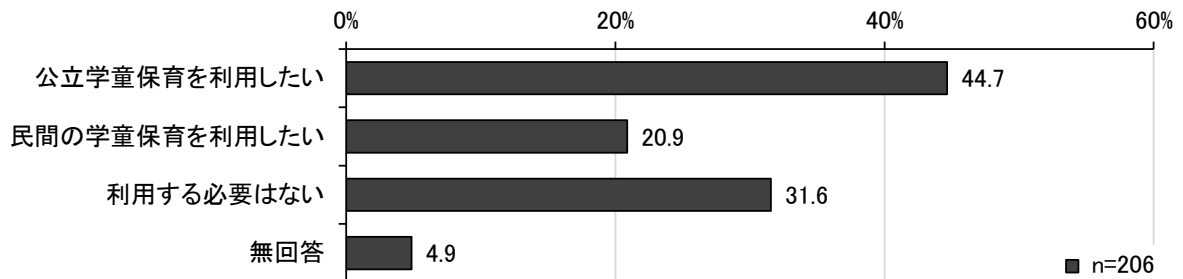
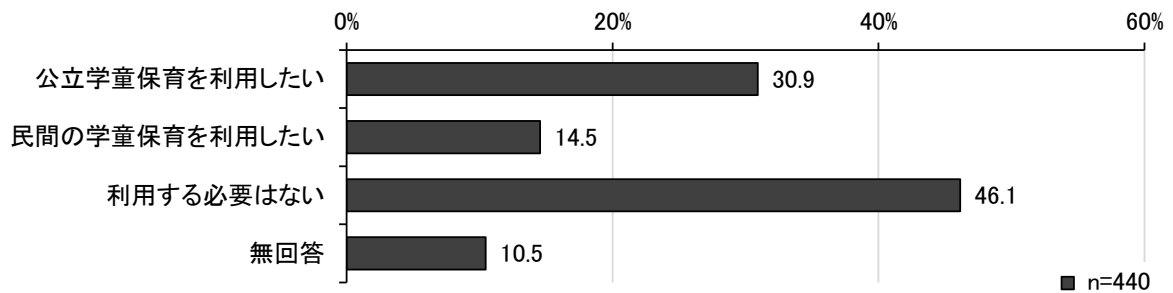
■小学校4～6年生（日曜日・祝日）



(3) 長期休暇

学童保育の長期休暇の利用希望は、小学校1～3年生では「公立学童保育を利用したい」(44.7%)が最も多く、次いで「利用する必要はない」(31.6%)、「民間の学童保育を利用したい」(20.9%)となっています。

小学校4～6年生では「利用する必要はない」(46.1%)が最も多く、次いで「公立学童保育を利用したい」(30.9%)、「民間の学童保育を利用したい」(14.5%)となっています。

■小学校1～3年生（長期休暇）**■小学校4～6年生（長期休暇）**

【問 14 で「公立学童保育を利用したい」、「民間の学童保育を利用したい」を選択した方】

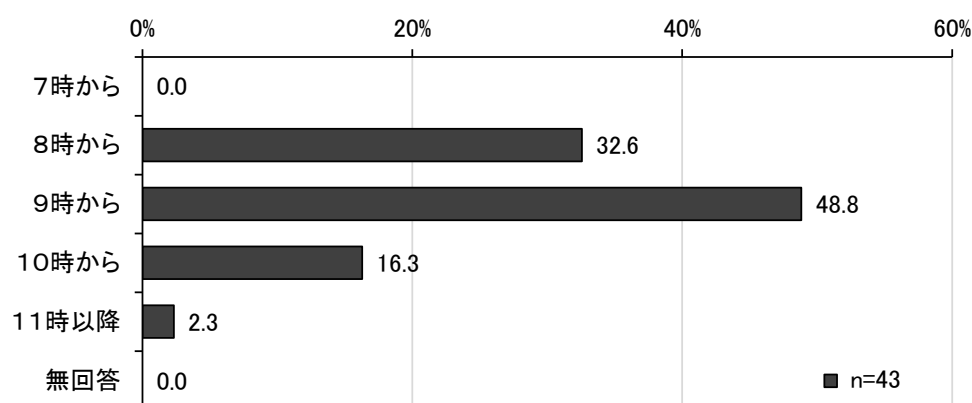
問 14-1 利用したい時間帯をご記入ください。（数量回答）

①土曜日

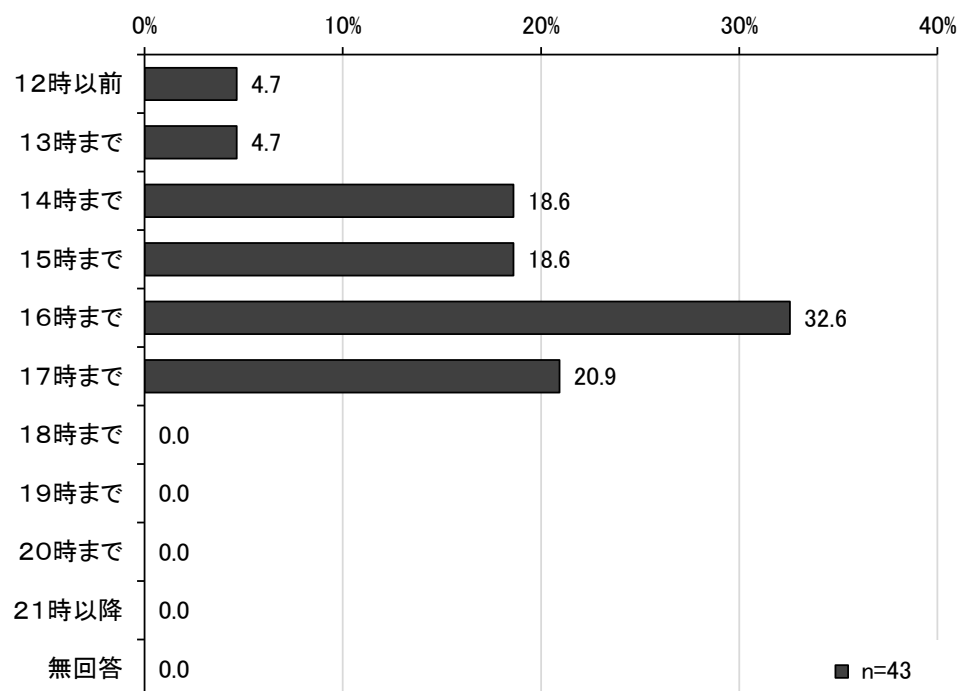
土曜日の公立の学童保育や民間の学童保育を利用したい時間帯は、開始時間では「9時から」(48.8%) が最も多く、次いで「8時から」(32.6%)、「10時から」(16.3%) となっています。

終了時間は「16時まで」(32.6%) が最も多く、次いで「17時まで」(20.9%)、「14時まで」「15時まで」(ともに18.6%) となっています。

■利用開始時間（土曜日）



■利用終了時間（土曜日）

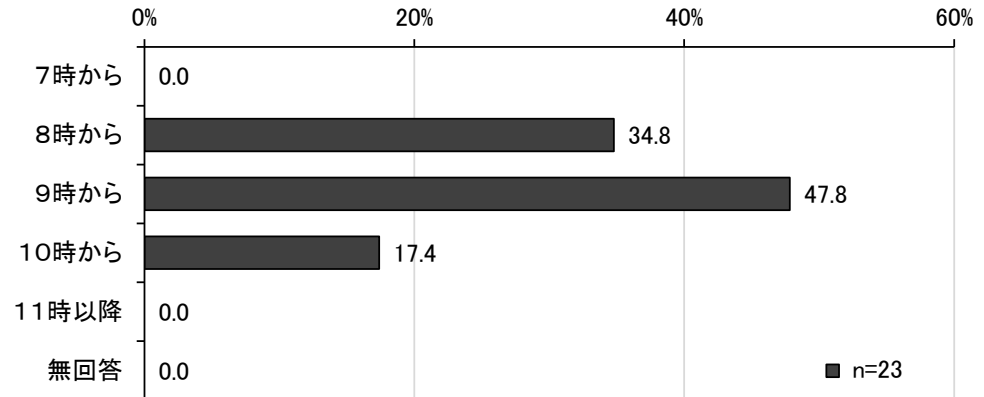


②日曜日・祝日

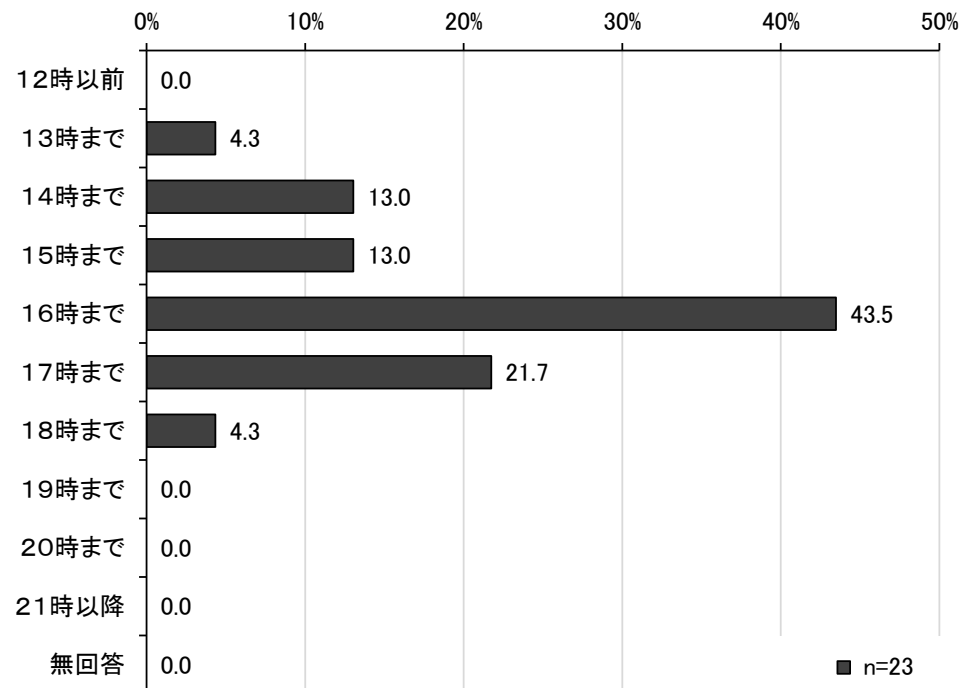
日曜日・祝日の開始時間は、「9時から」(47.8%) が最も多く、次いで「8時から」(34.8%)、「10時から」(17.4%) となっています。

終了時間は、「16時まで」(43.5%) が最も多く、次いで「17時まで」(21.7%)、「14時まで」「15時まで」(ともに13.0%) となっています。

■利用開始時間（日曜日・祝日）



■利用終了時間（日曜日・祝日）

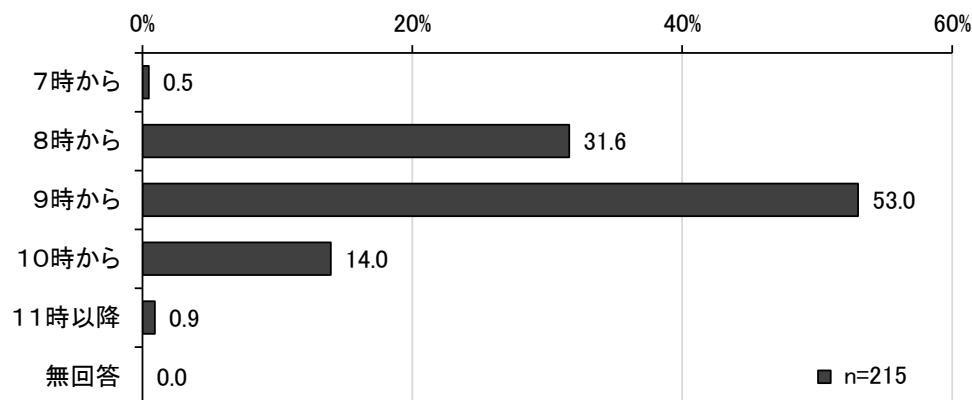


③長期休暇

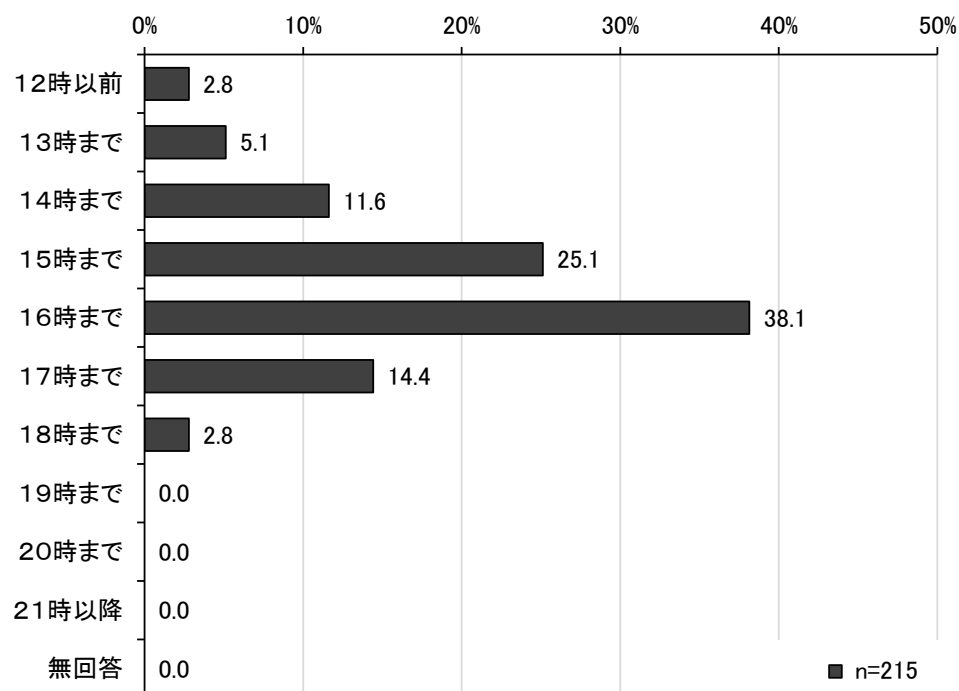
長期休暇の開始時間は、「9時から」(53.0%)が最も多く、次いで「8時から」(31.6%)、「10時から」(14.0%)となっています。

終了時間は、「16時まで」(38.1%)が最も多く、次いで「15時まで」(25.1%)、「17時まで」(14.4%)となっています。

■利用開始時間（長期休暇）



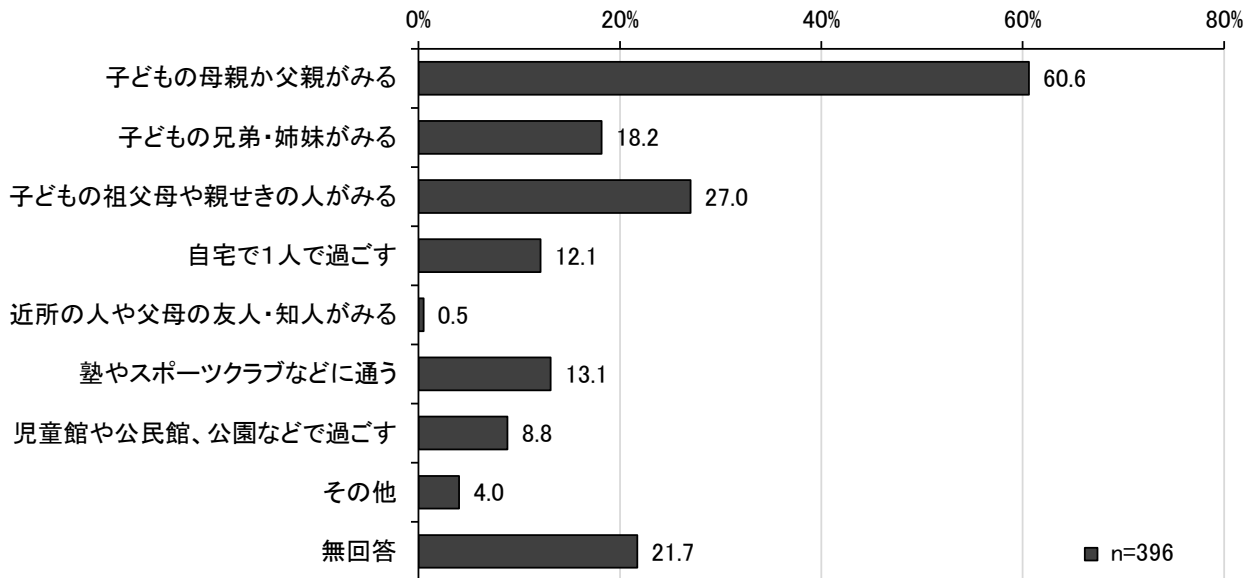
■利用終了時間（長期休暇）



【問 14 で「利用する必要はない」を選択した方】

問 14-2 利用する必要はない理由は何ですか。(MA)

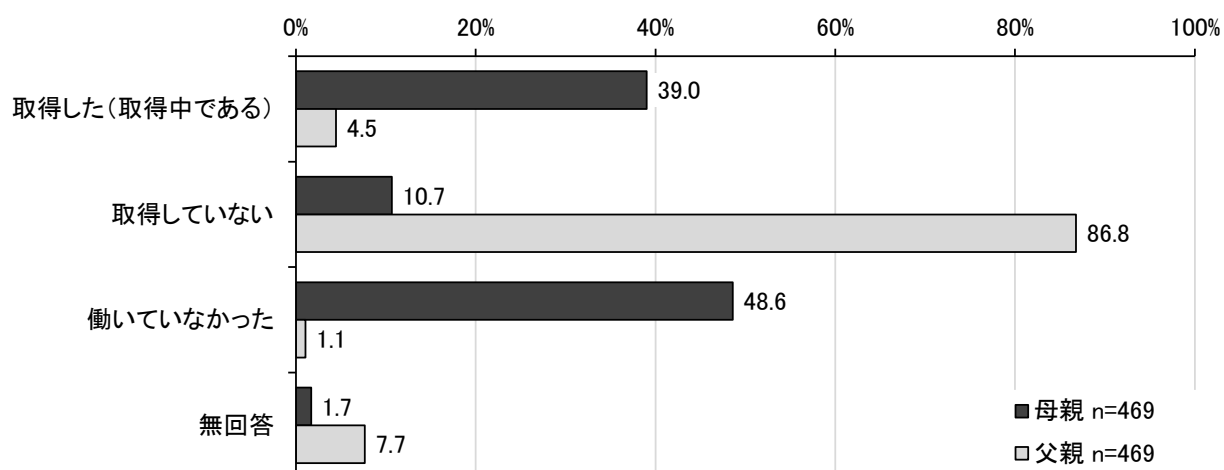
公立学童保育や民間の学童保育を利用する必要はないと答えた方の理由は、「子どもの母親か父親がみる」(60.6%)が最も多く、次いで「子どもの祖父母や親せきの人がみる」(27.0%)、「子どもの兄弟・姉妹がみる」(18.2%)となっています。



4. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 15 調査票を持ち帰ったお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(S A)

育児休業の取得状況は、母親は「働いていなかった」(48.6%)が最も多く、次いで「取得した(取得中である)」(39.0%)、「取得していない」(10.7%)となっています。父親は「取得していない」(86.8%)が大きな割合を占めています。

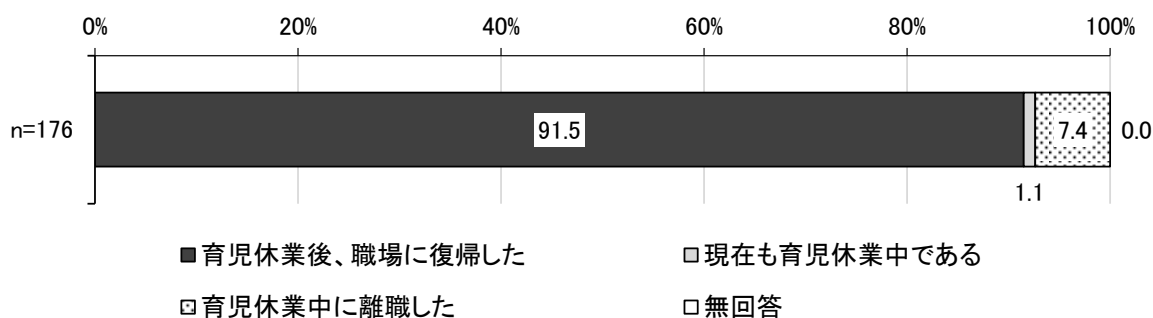


【問 15 の (1) 母親もしくは (2) 父親で「取得した(取得中である)」を選択した方】

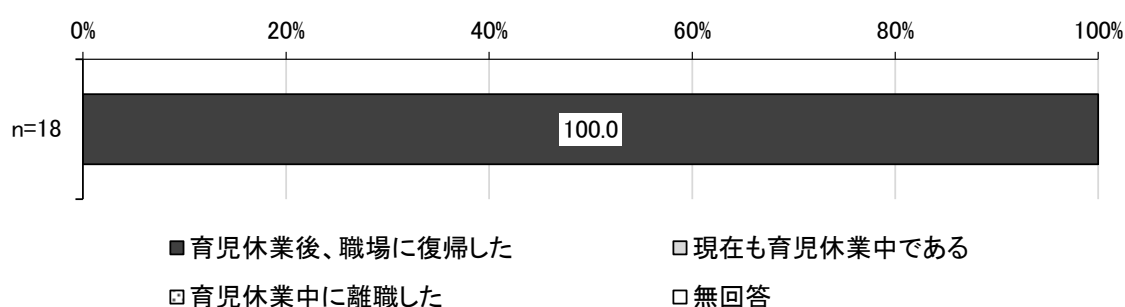
問 15-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(S A)

育児休業取得後は、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」(91.5%)が最も多く、次いで「育児休業中に離職した」(7.4%)、「現在も育児休業中である」(1.1%)となっています。父親は「育児休業後、職場に復帰した」が全件(100.0%)となっています。

■母親



■父親

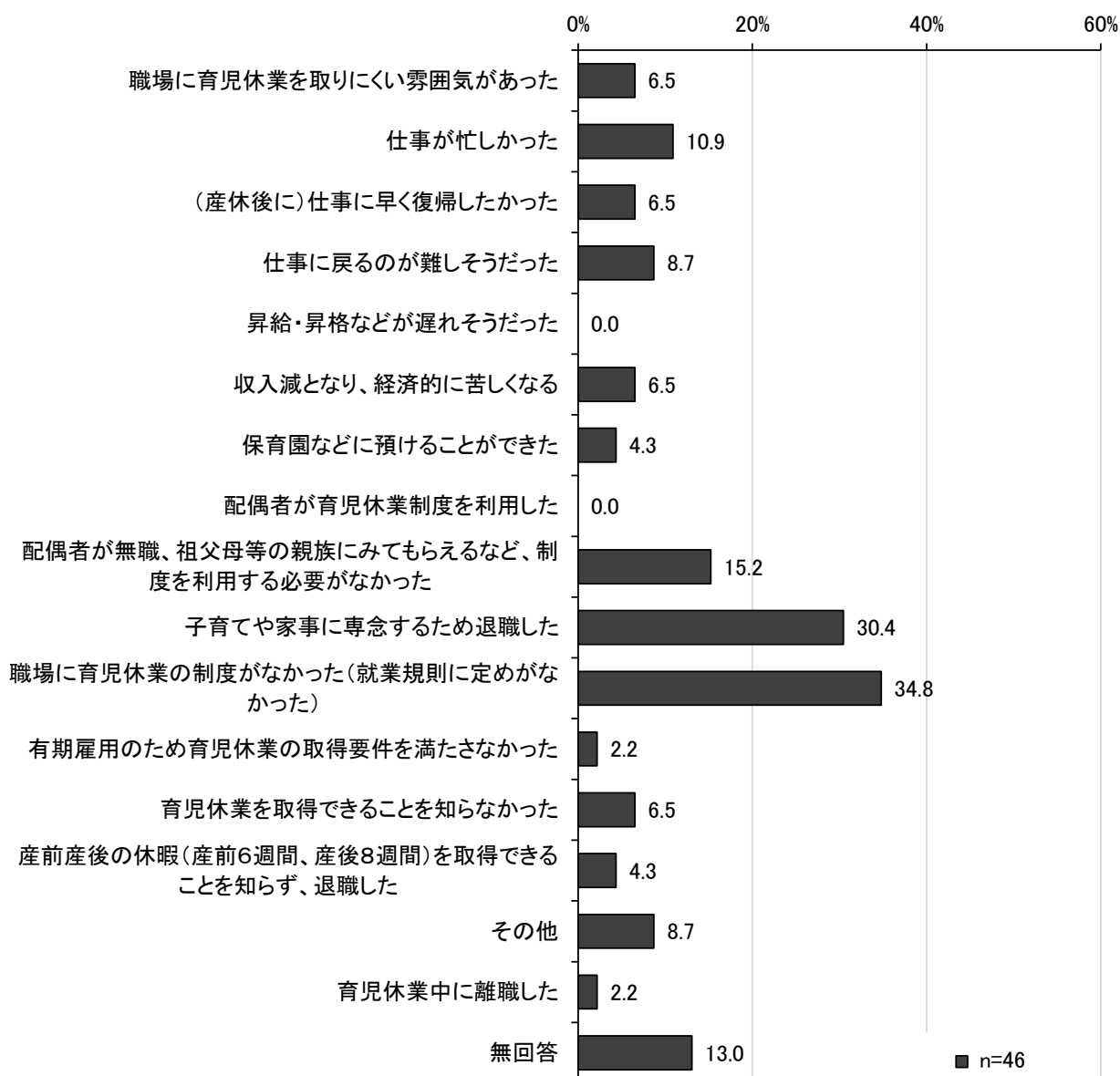


【問 15 の（１）母親もしくは（２）父親で「取得していない」を選択した方】

問 15-2 取得していない方はその理由をお答えください。（MA）

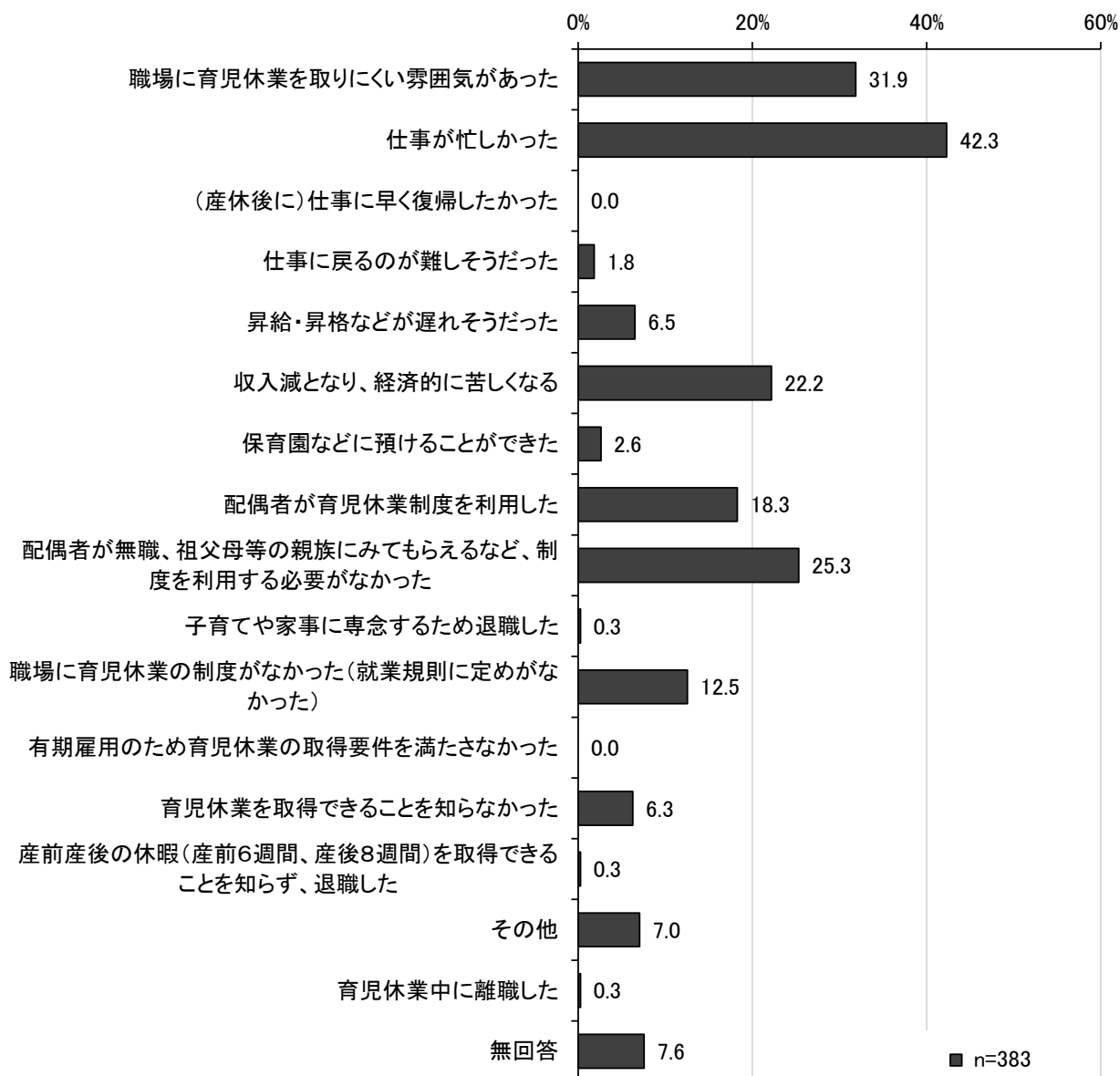
育児休業制度を取得しなかった理由は、母親では「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（34.8%）が最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」（30.4%）、
「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（15.2%）
となっています。

■母親



父親では、「仕事が忙しかった」(42.3%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(31.9%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(25.3%)となっています。

■父親



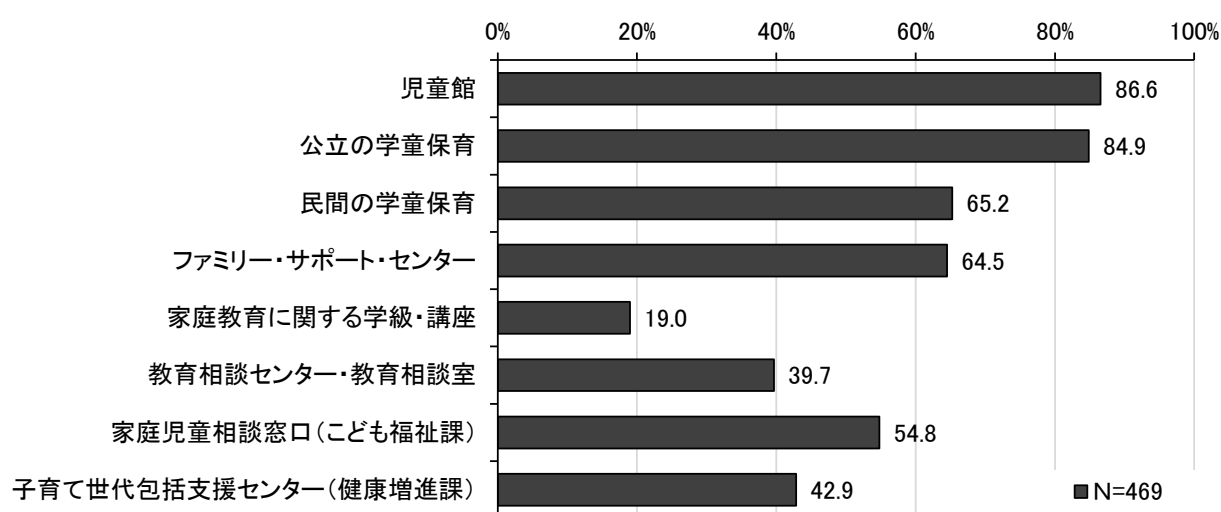
5. 子育て全般について

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(S A)

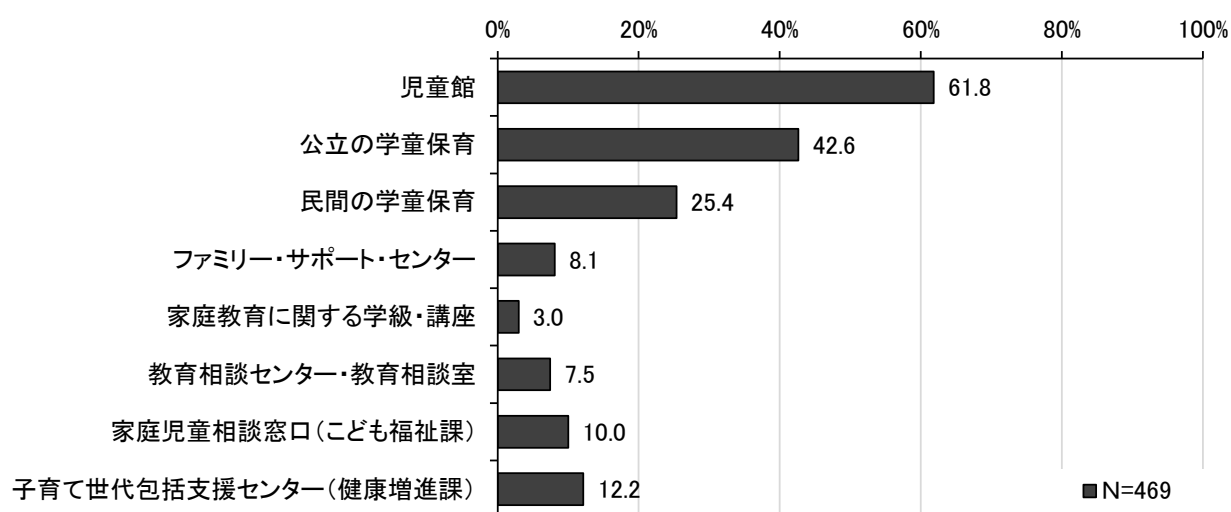
地域の子育て支援事業で「知っている」ものは「児童館」(86.6%)が最も多く、次いで「公立の学童保育」(84.9%)、「民間の学童保育」(65.2%)となっています。

「利用したことがある」ものは、「児童館」(61.8%)が最も多く、次いで「公立の学童保育」(42.6%)、「民間の学童保育」(25.4%)となっています。

①認知度 (知っている「はい」にチェック)

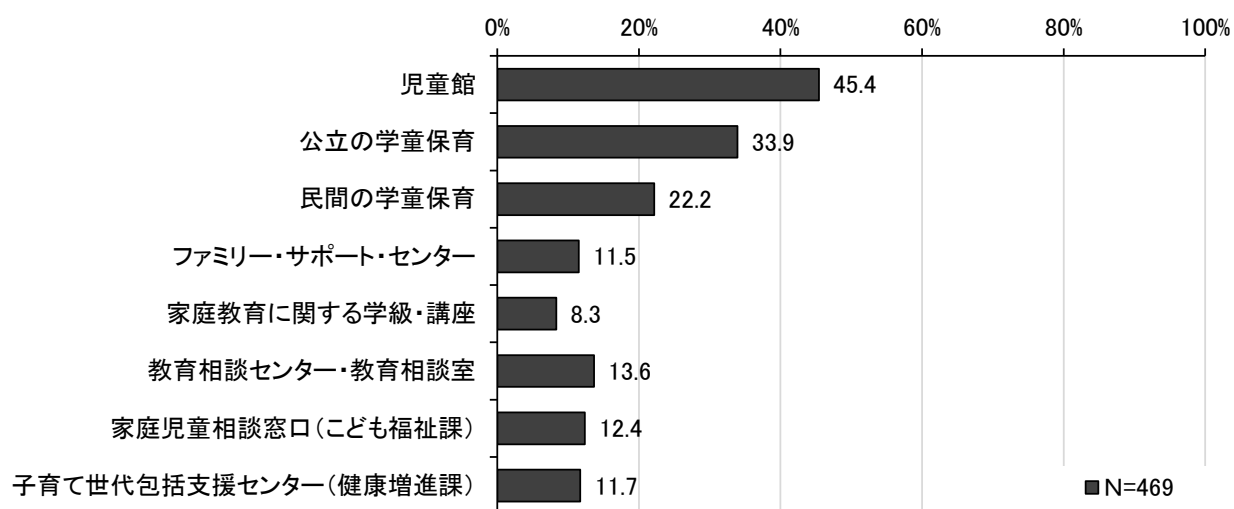


②利用経験 (利用したことがある「はい」にチェック)



「今後利用したい」ものは、「児童館」(45.4%)が最も多く、次いで「公立の学童保育」(33.9%)、「民間の学童保育」(22.2%)となっています。

③今後の利用希望（今後利用したい「はい」にチェック）

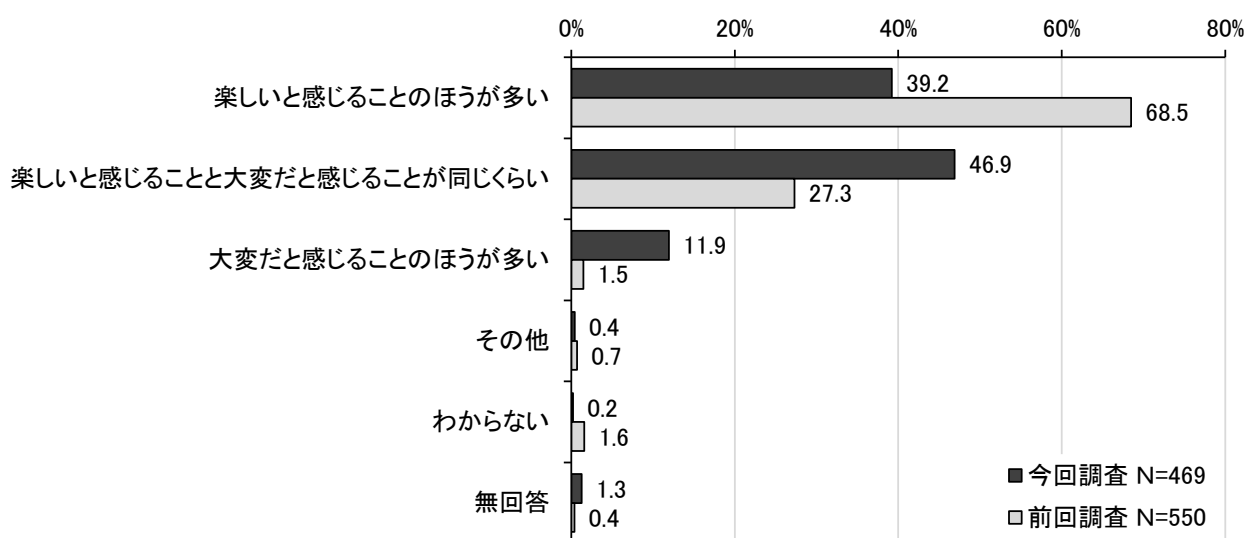


問 17 あなたは、自分にとって子育ては楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも大変だと感じる人が多いですか。(S A)

子育てに関する意識は、「楽しいと感じることと大変だと感じることが同じくらい」(46.9%)が最も多く、次いで「楽しいと感じることのほうが多い」(39.2%)となっています。

全体の約4割の方が子育てを楽しんでいると感じています。

前回調査と比べ、「楽しいと感じることと大変だと感じることが同じくらい」が19.6ポイント増加し、「楽しいと感じることのほうが多い」が29.3ポイント減少しています。



※選択肢の表現を、

「前回調査：楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」→

「今回調査：楽しいと感じることと大変だと感じることが同じくらい」

「前回調査：つらいと感じることの方が多い」→

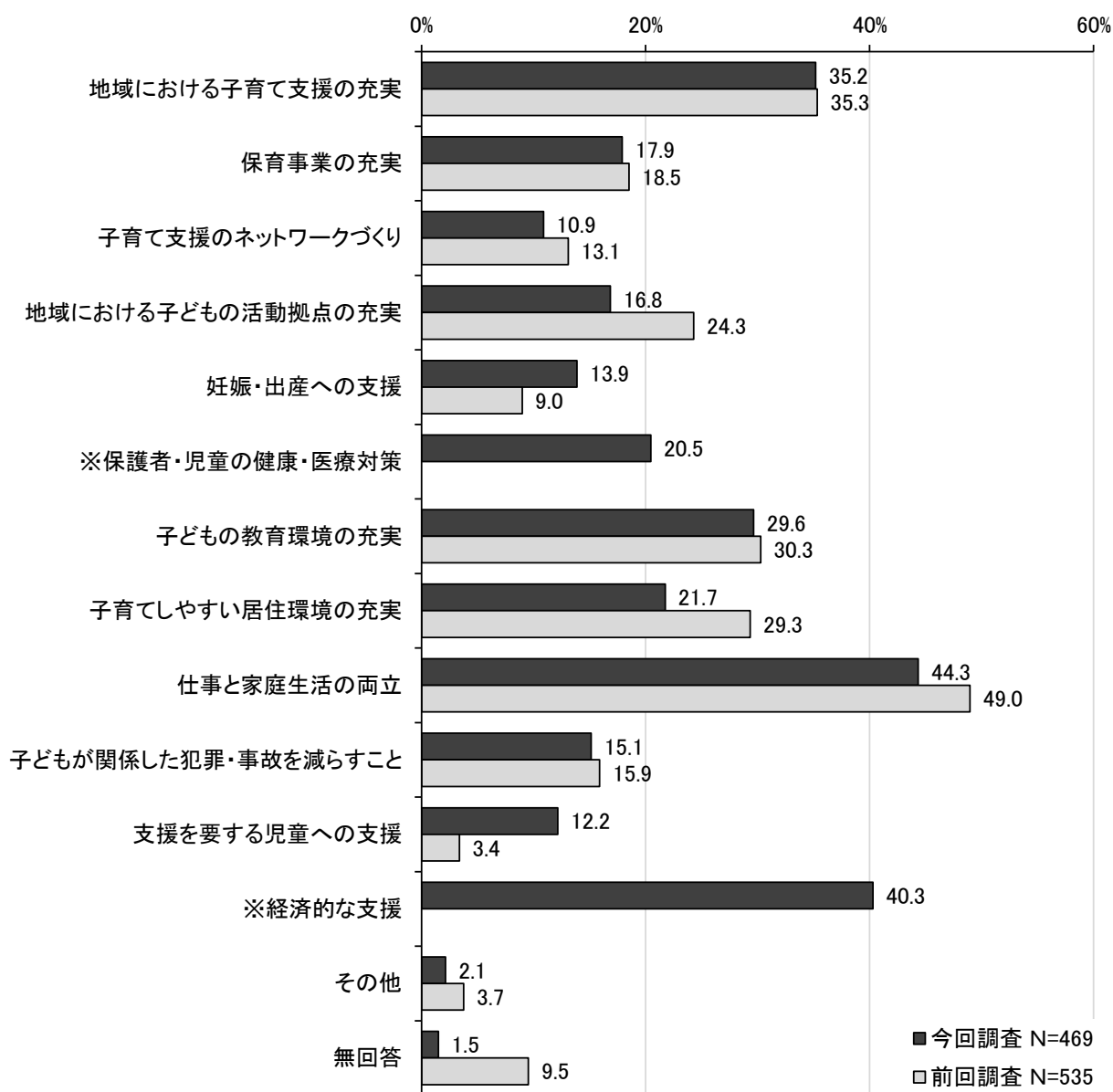
「今回調査：大変だと感じることの方が多い」

上記に変更しております。

問 18 子育てをする中でどのような支援・対策が必要だと思いますか。また、自分にとって子育ての大変さを解消するために必要なことは何ですか。(MA) (3つまで)

子育てをする中で必要な支援・対策は、「仕事と家庭生活の両立」(44.3%)が最も多く、次いで「※経済的な支援」(40.3%)、「地域における子育て支援の充実」(35.2%)となっています。

前回調査と比べ、「支援を要する児童への支援」が8.8ポイント増加し、「地域における子どもの活動拠点の充実」が7.5ポイント減少しています。

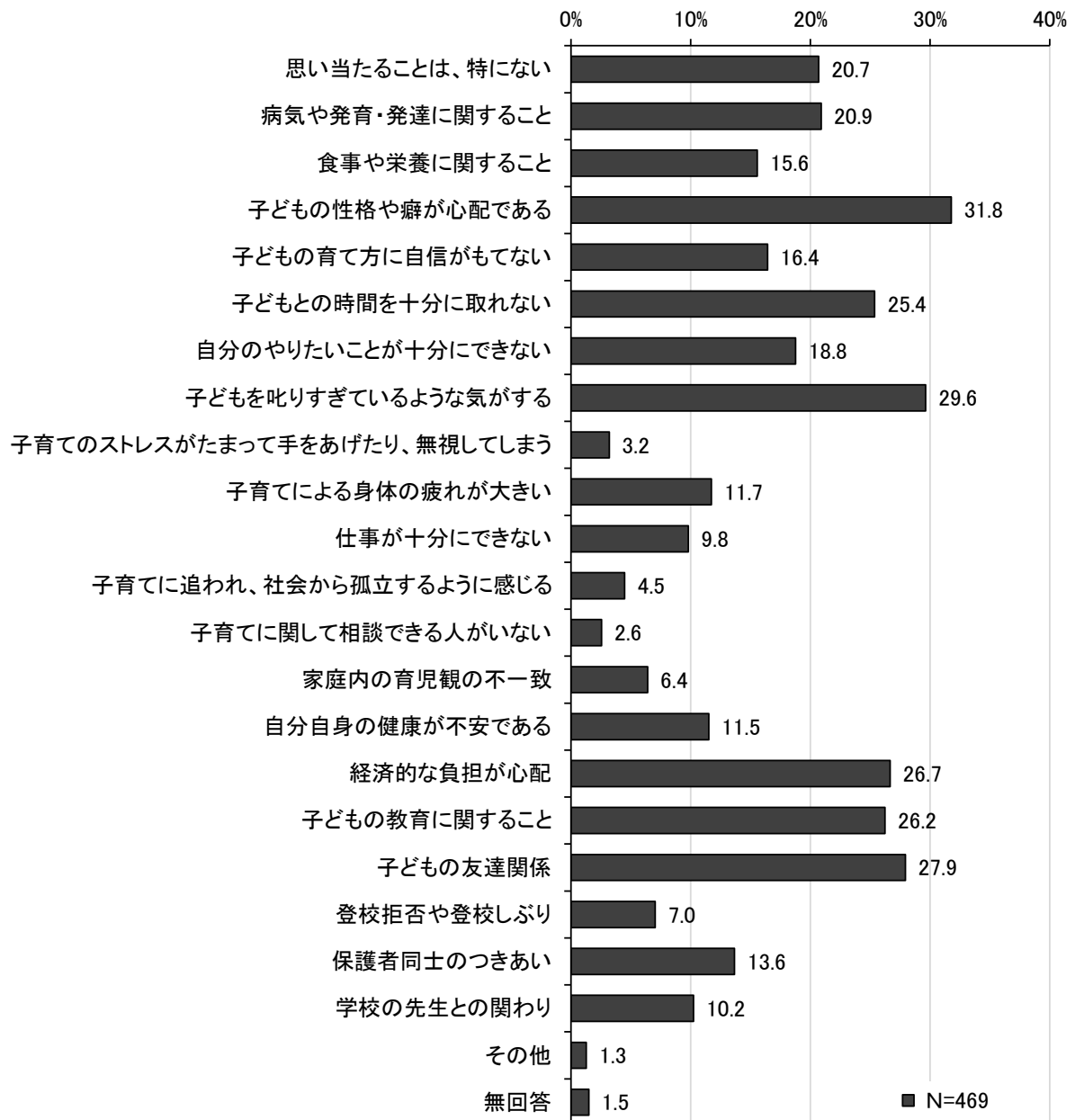


※は、今回調査から追加した選択肢となります。

6. 子どもの育ちをめぐる環境について

問 19 子育てに関して日常で悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。 (MA)

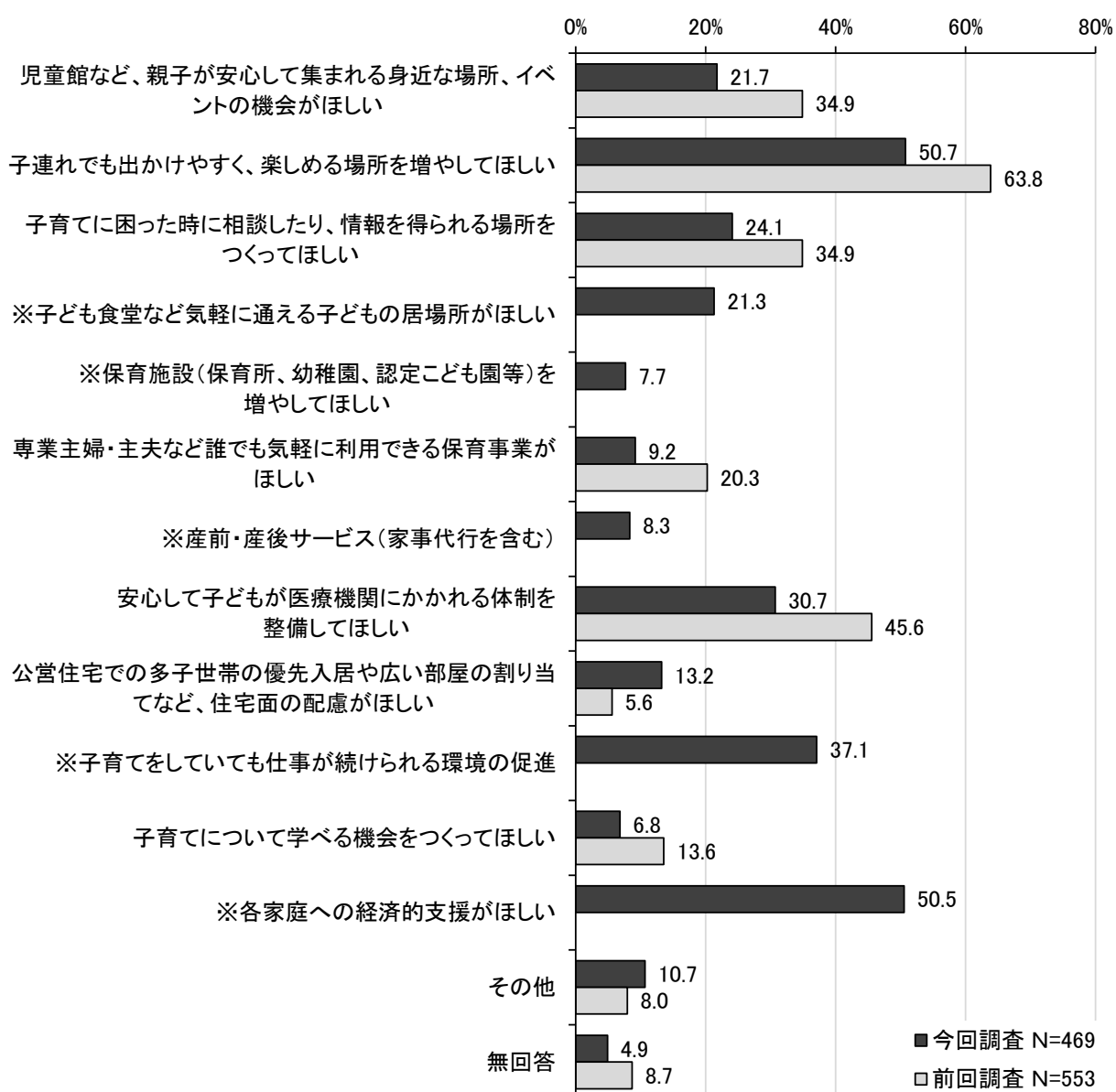
子育てに関して日常で悩んでいること、または気になることは、「子どもの性格や癖が心配である」(31.8%) が最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」(29.6%)、「子どもの友達関係」(27.9%) となっています。



問 20 今後、子どもを安心して産み育てられる環境をつくっていくために、下野市に期待することは何ですか。(MA)

子育て環境をつくっていくために本市に期待することは、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」(50.7%) が最も多く、次いで「※各家庭への経済的支援がほしい」(50.5%)、「※子育てをしても仕事が続けられる環境の促進」(37.1%) となっています。

前回調査と比べ、「公営住宅での多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい」が 7.6 ポイント増加し、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が 14.9 ポイント減少しています。

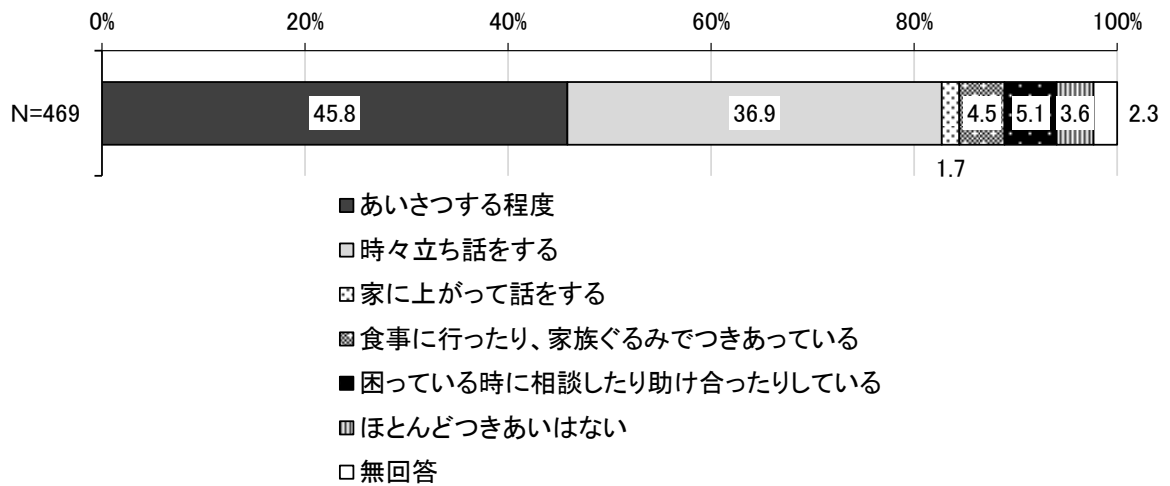


※は、今回調査から追加した選択肢となります。

7. 地域における子育てについて

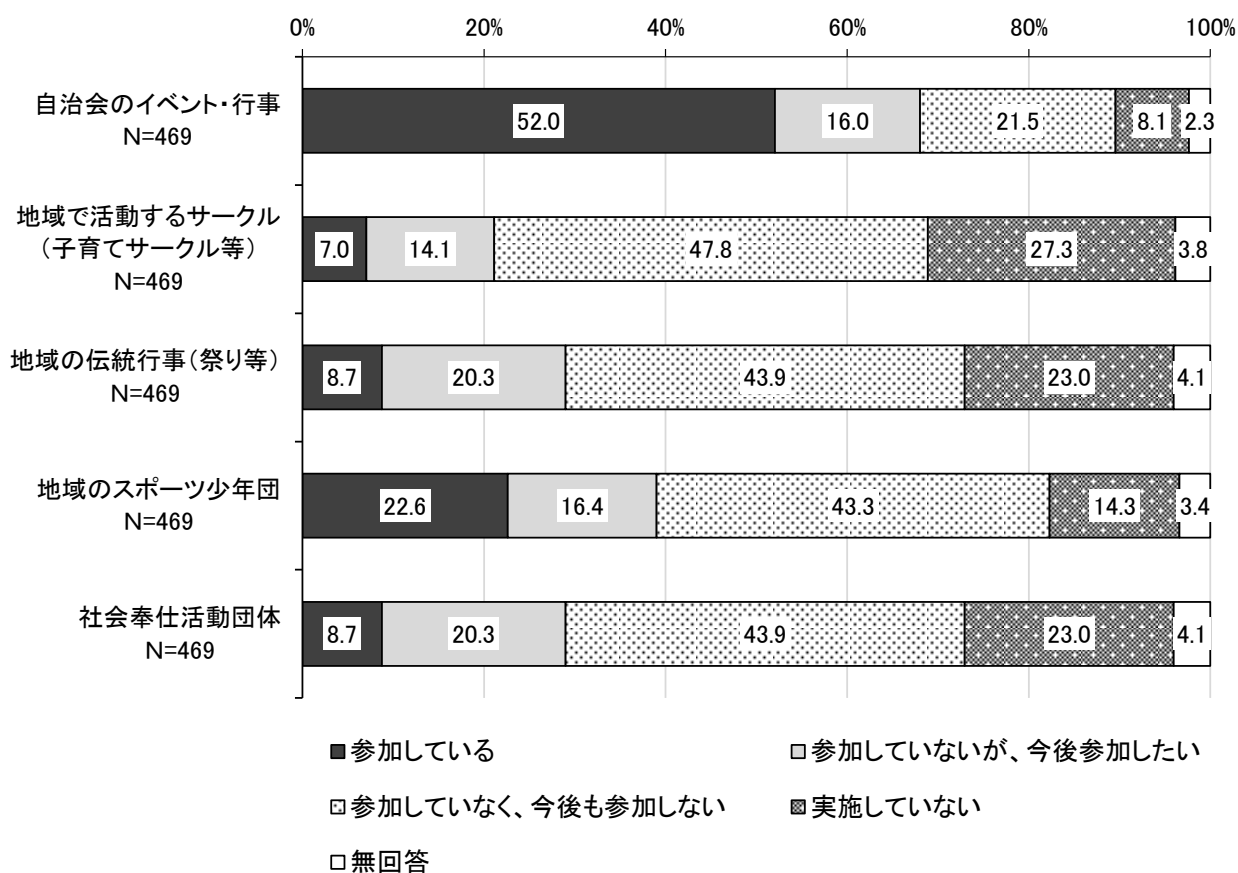
問 21 近所や地域の人とおつきあいは、どの程度ありますか。(S A)

近所や地域の人とおつきあいは、「あいさつする程度」(45.8%)が最も多く、次いで「時々立ち話をする」(36.9%)、「困っている時に相談したり助け合ったりしている」(5.1%)となっています。



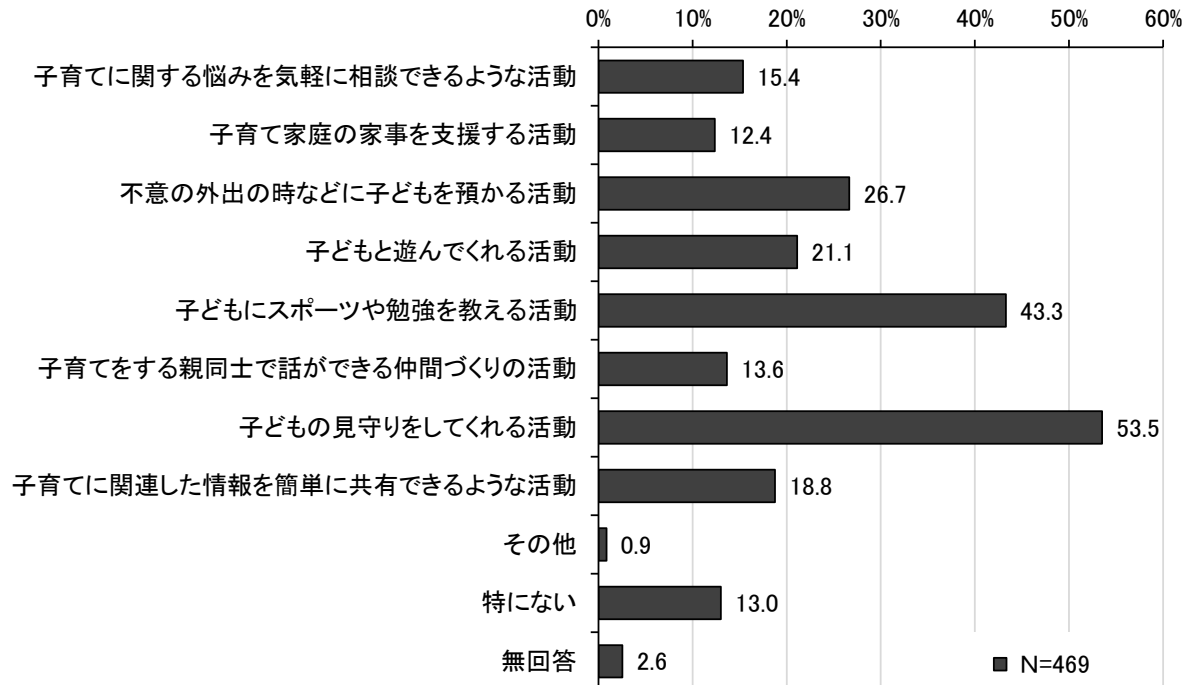
問 22 親子で地域の行事や組織に参加していますか。また、参加していない場合、今後参加したいと思いますか。(SA)

親子での地域の行事や組織への参加状況は、「参加している」では、「自治会のイベント・行事」(52.0%) が最も多く、次いで「地域のスポーツ少年団」(22.6%)、「地域の伝統行事(祭り等)」「社会奉仕活動団体」(ともに8.7%) となっています。

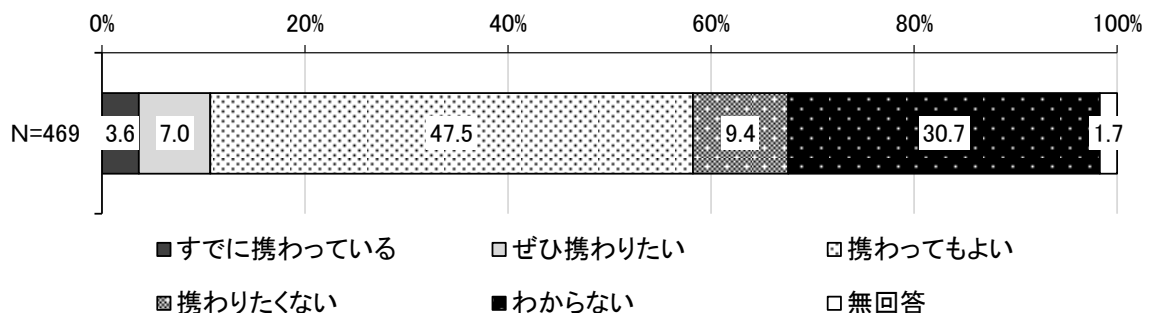


問 23 あなたは、地域住民によるどのような子ども・子育て支援活動を期待しますか。(MA)

子ども・子育て支援活動への期待は、「子どもの見守りをしてくれる活動」(53.5%)が最も多く、次いで「子どもにスポーツや勉強を教える活動」(43.3%)、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」(26.7%)となっています。

**問 24 あなたは、今後、地域住民による子ども・子育て支援活動に携わってもよいと思いますか。(SA)**

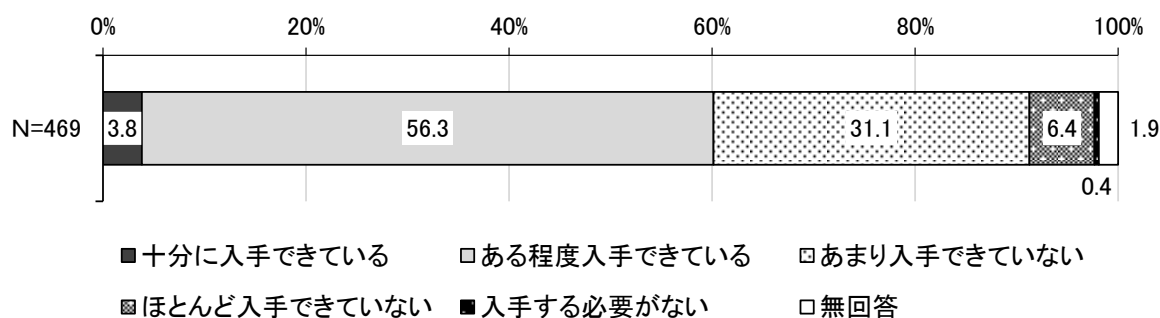
地域住民による子ども・子育て支援活動に携わってもよいかは、「携わってもよい」(47.5%)が最も多く、次いで「わからない」(30.7%)、「携わりたくない」(9.4%)となっています。



8. 子育てに関する意識について

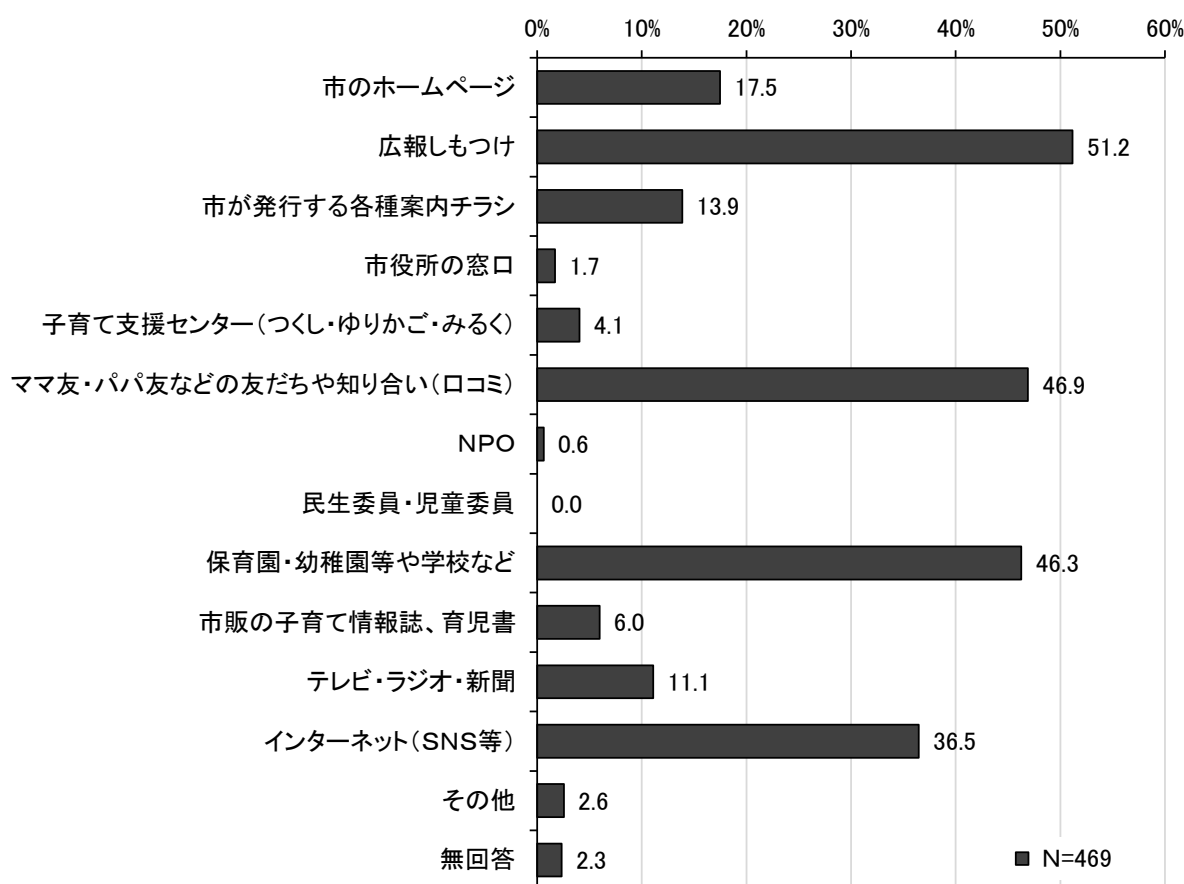
問 25 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(SA)

子育てに関する情報の入手状況は、「ある程度入手できている」(56.3%)が最も多く、次いで「あまり入手できていない」(31.1%)、「ほとんど入手できていない」(6.4%)となっています。



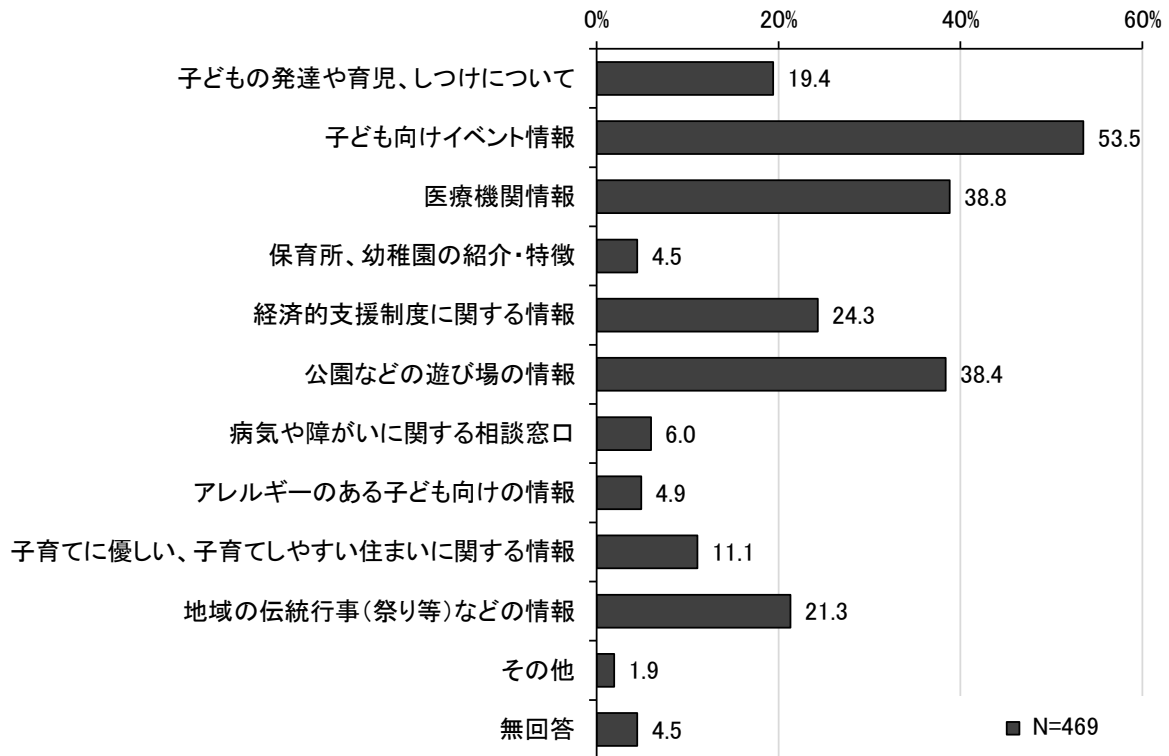
問 26 子育てに関する情報は、どこから入手していますか。(MA)

子育てに関する情報の入手先は、「広報しもつけ」(51.2%)が最も多く、次いで「ママ友・パパ友などの友だちや知り合い(口コミ)」(46.9%)、「保育園・幼稚園等や学校など」(46.3%)となっています。



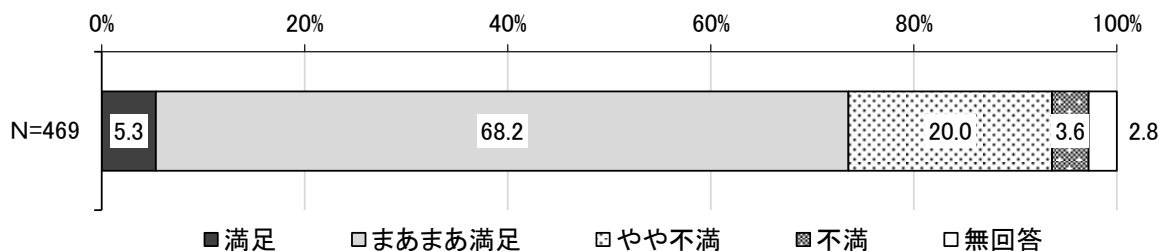
問 27 あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。(MA)(3つまで)

子育てに関する必要な情報は、「子ども向けイベント情報」(53.5%)が最も多く、次いで「医療機関情報」(38.8%)、「公園などの遊び場の情報」(38.4%)となっています。



問 28 市の情報発信力に対する満足度はいかがですか。(SA)

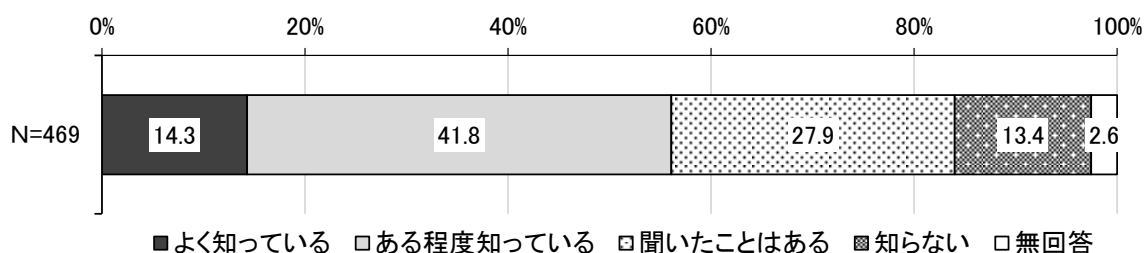
市の情報発信力に対する満足度は、『満足』(満足+まあまあ満足)が73.5%となっています。一方、『不満』(やや不満+不満)(23.6%)となっています。



9. 子どもの権利について

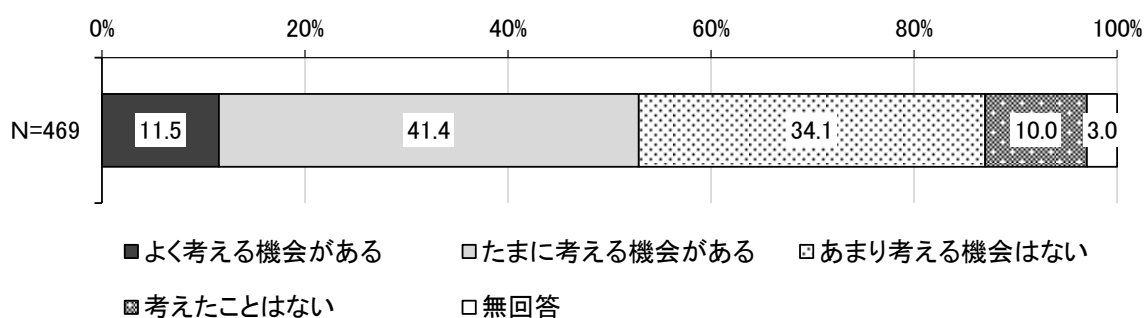
問 29 「子どもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「子どもの権利」について知っていますか。（S A）

「子どもの権利」の認知度は、『知っている』（よく知っている+ある程度知っている）が 56.1%となっています。一方、「知らない」が 13.4%となっています。



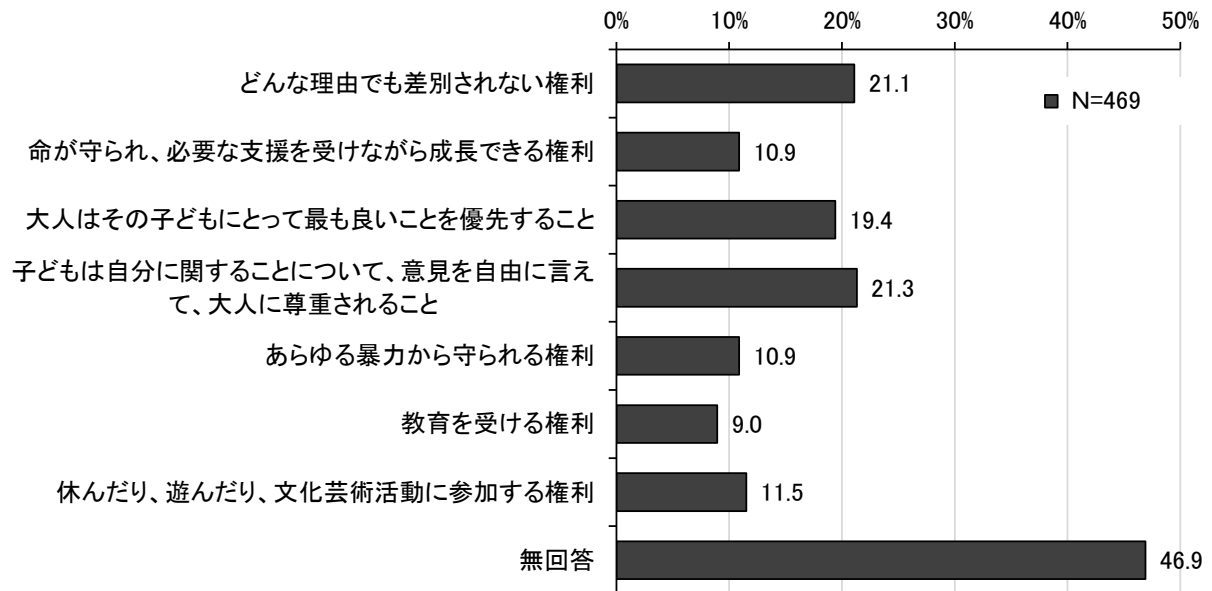
問 30 あなたは、「子どもの権利」について考えることはありますか。（S A）

「子どもの権利」について考えることの有無は、『考える機会がある』（よく考える機会がある+たまに考える機会がある）が 52.9%となっています。一方、『考えない』（あまり考える機会はない+考えたことはない）が 44.1%となっています。



問 31 あなたや、あなたの周りのお子さんで、次にあげるような「子どもの権利」が守られていないと感じるものはありますか。(MA)

「子どもの権利」が守られていないと感じるものは、「子どもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」(21.3%)が最も多く、次いで「どんな理由でも差別されない権利」(21.1%)、「大人はその子どもにとって最も良いことを優先すること」(19.4%)となっています。



第3章 自由回答

1. 就学前児童保護者・自由記入欄意見

回答者数	自由記入欄への回答件数（割合）	該当意見件数
915	380件（41.5%）	518

「経済的支援について」の意見数が最も多く71件、次いで「子育て支援施策について」52件、「生活環境について」45件となっています。

「経済的支援について」では、物価上昇等への経済的な支援を求める意見や保育料等の支援等に関する意見などがあり、子育てへの経済的支援を求める意見が多くなっています。

	分類項目	該当意見件数
1	経済的支援について	71
2	情報提供について	17
3	悩み・相談について	16
4	就労について	10
5	保育園について	25
6	幼稚園について	7
7	認定こども園について	4
8	延長保育、休日預かり、一時預かりについて	22
9	病児・病後児について	22
10	障害児への支援について	9
11	学童保育について	21
12	ファミリー・サポート・センターについて	4
13	小中学校について	12
14	子育て支援センターや児童館などの施設について	26
15	公園などの遊び場について	29
16	生活環境について	45
17	医療機関について	17
18	保健・健診・予防接種等について	9
19	医療費助成について	7
20	地域のイベント等について	10
21	リフレッシュ利用券の利用について	14
22	子育て全般について	22
23	子育て支援施策について	52
24	市政・窓口について	18
25	その他	29
合計		518

2. 小学生児童保護者・自由記入欄意見

回答者数	自由記入欄への回答件数（割合）	該当意見件数
4 6 9	1 5 1 件（3 2. 2 %）	1 7 9

「小中学校について」の意見数が最も多く25件、次いで「生活環境について」23件、「子育て支援施策について」17件となっています。

「小中学校について」では、幼稚園の時より学校での生活の様子が分からないことや学校行事への参加、また授業内容に関する意見があり、幼稚園の時より子どもの様子が見えにくいことに関する意見が多くなっています。

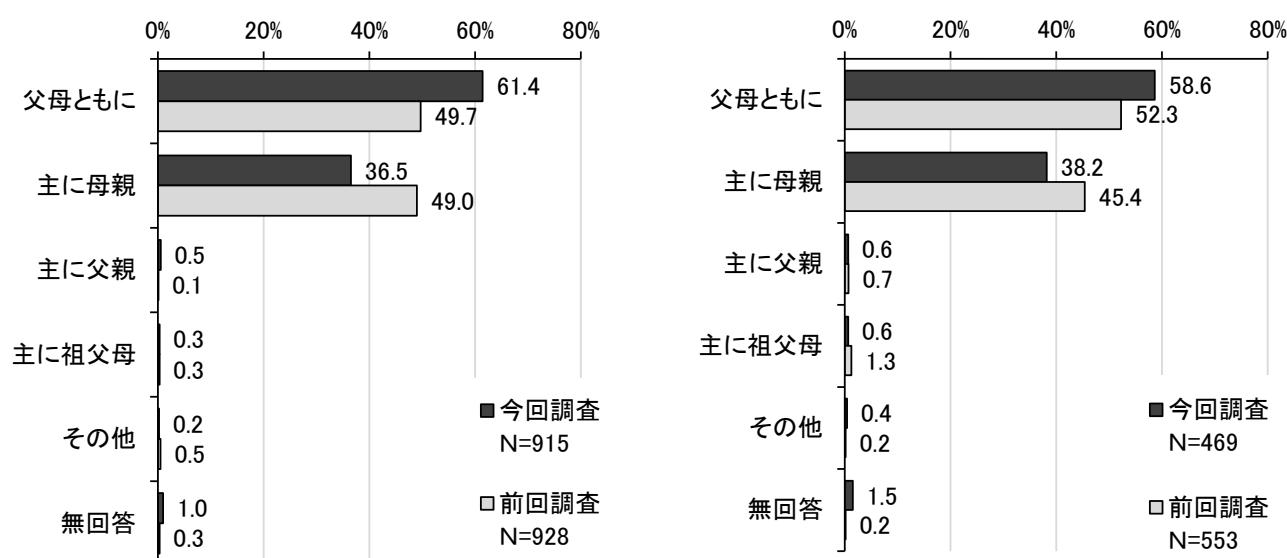
	分類項目	該当意見件数
1	経済的支援について	1 4
2	情報提供について	9
3	悩み・相談について	1 0
4	仕事と家庭の両立について	4
5	保育園について	5
6	幼稚園について	0
7	一時預かりについて	2
8	病児・病後児について	5
9	障害児への支援について	8
1 0	学童保育について	9
1 1	ファミリー・サポート・センターについて	2
1 2	放課後の過ごし方について	2
1 3	小中学校について	2 5
1 4	公園や児童館等の遊び場について	1 3
1 5	生活環境について	2 3
1 6	医療機関について	6
1 7	保健・健診・予防接種等について	5
1 8	医療費助成について	1
1 9	地域のイベント等について	4
2 0	子育て全般について	6
2 1	子育て支援施策について	1 7
2 2	市政・窓口について	6
2 3	その他	3
合計		1 7 9

第4章 調査結果のとりまとめ

1 子育ての状況（就学前児童保護者：問4・6／小学生児童保護者：問4）

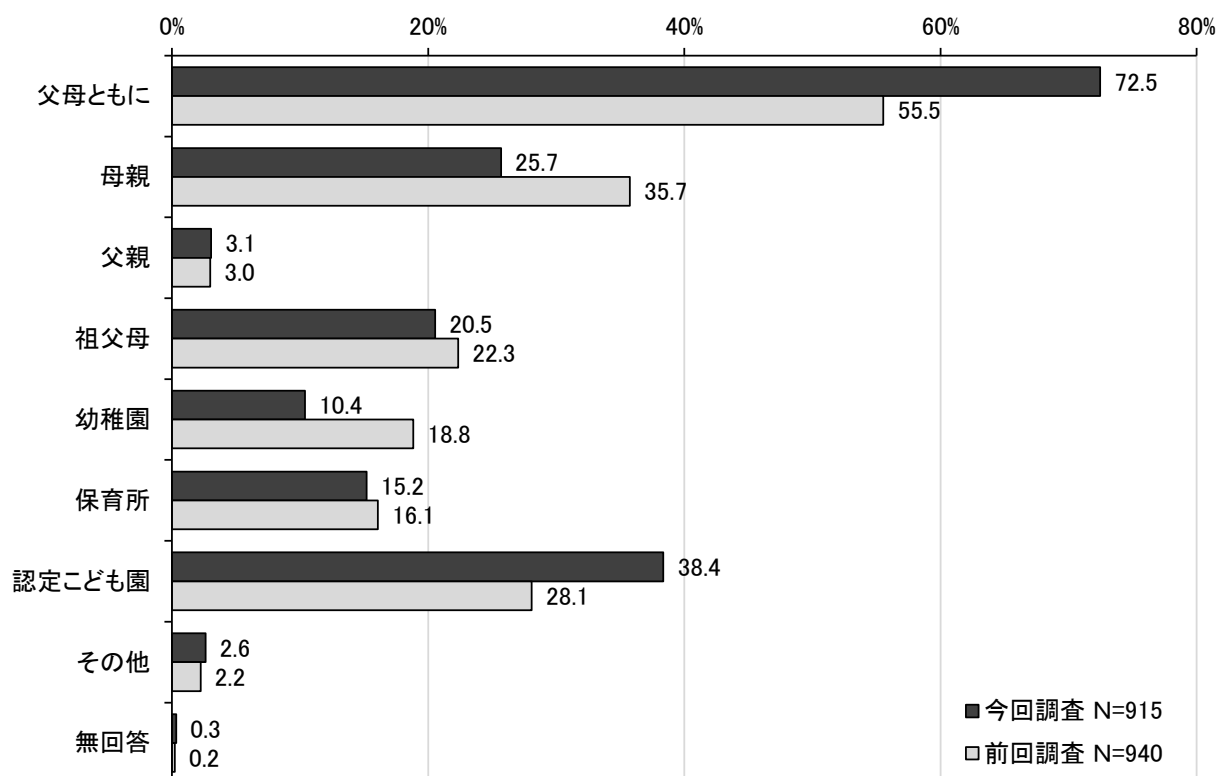
主に子育てを行っている方は、「父母ともに」が就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに約6割と最も多く、次いで「主に母親」が4割弱を占めています。就学前児童保護者の家庭類型別では、両親ともにフルタイムでの共働きでは「父母ともに」が70.0%と回答の約7割となっていますが、28.7%は「主に母親」と回答しています。

【主に子育てを行っている方（就学前児童保護者）】 【主に子育てを行っている方（小学生児童保護者）】



子育てに日常的に関わっている方（施設含む）は、「父母ともに」が72.5%、「母親」が25.7%を占め、「父親」は3.1%となっています。

前回調査に比べ、「幼稚園」が8.4ポイント減り、「認定こども園」が10.3ポイント増加しています。

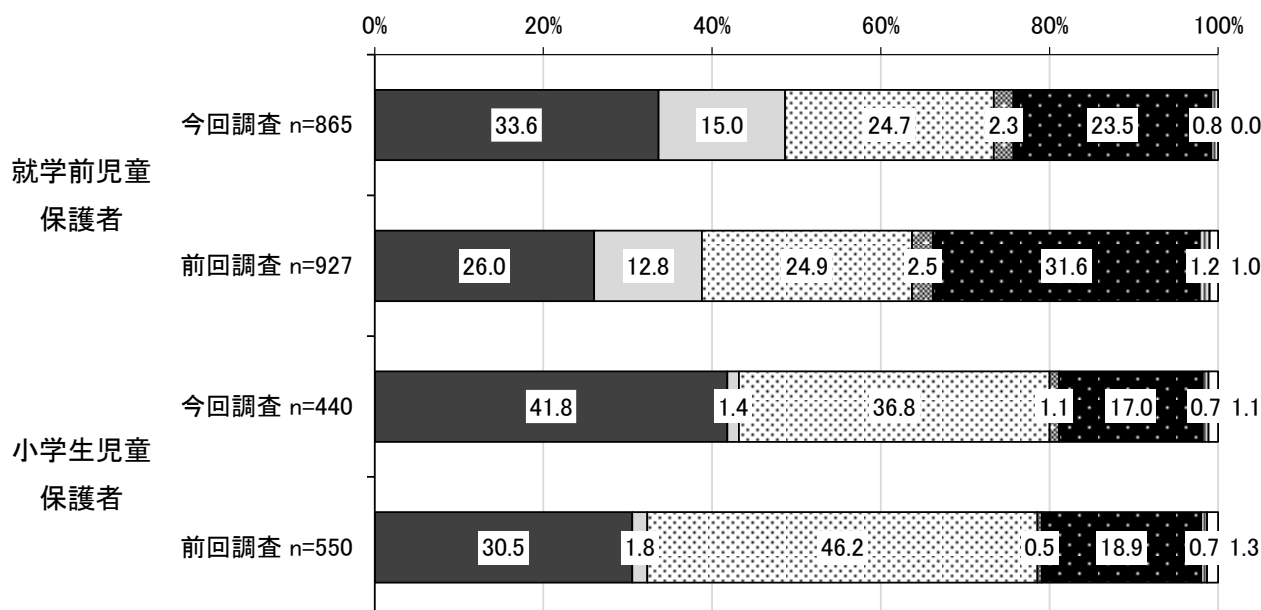


2 保護者の就労状況について（就学前児童保護者：問4・10・12／小学生児童保護者：問6・8）

母親の就労状況は、就学前児童保護者は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（33.6%）、小学生児童保護者においても「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（41.8%）が最も多くなっています。

前回調査と比べて就労割合（フルタイムもしくはパートタイムで働いている）は、就学前児童保護者で9.4ポイント、小学生児童保護者で2.1ポイント増加しています。

■母親の就労状況の変化



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ パートタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▩ パートタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▨ これまで就労したことがない
- 無回答

1日当たりの就労時間は、父親は就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに「8～9時間」、母親も就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに「8～9時間」が最も多い割合となっています。

■保護者の1日あたりの就労時間

(単位: %)

	就学前児童保護者				小学生児童保護者			
	父親		母親		父親		母親	
	前回調査 n=871	今回調査 n=627	前回調査 n=614	今回調査 n=655	前回調査 n=495	今回調査 n=397	前回調査 n=435	今回調査 n=357
4時間未満	0.0	1.1	2.8	1.2	0.2	0.5	1.8	3.1
4～5時間	0.3	11.5	17.4	11.3	0.2	0.5	32.9	25.2
6～7時間	1.4	29.0	29.5	29.2	1.4	1.3	24.3	21.6
8～9時間	41.1	47.8	41.4	48.1	41.0	48.4	32.4	39.4
10時間以上	52.0	8.6	7.8	8.4	53.7	47.9	7.4	9.2
無回答	5.1	1.9	1.1	1.8	3.4	1.5	1.1	1.4

就労していない母親の今後の就労希望は、就学前児童保護者で67.4%、小学生児童保護者で56.4%あり、希望する就労形態は、就学前児童保護者でパートタイムが81.6%、小学生児童保護者でパートタイムが81.8%となっています。

就学前児童保護者で、両親ともにフルタイムの共働きでは28.7%、どちらかパートタイムの共働きでは33.3%、母親か父親のどちらかは在宅が50.2%と、子育てを主に行っている人は母親と回答しており、父母ともに子育てに参加している割合が多い一方で、依然として母親が中心的な役割を担っていることがうかがえます。

前回調査時よりも、就労している母親が増えており、また、就労を希望する母親も多いことから、母親の子育ての負担が父親よりも大きいことが考えられます。

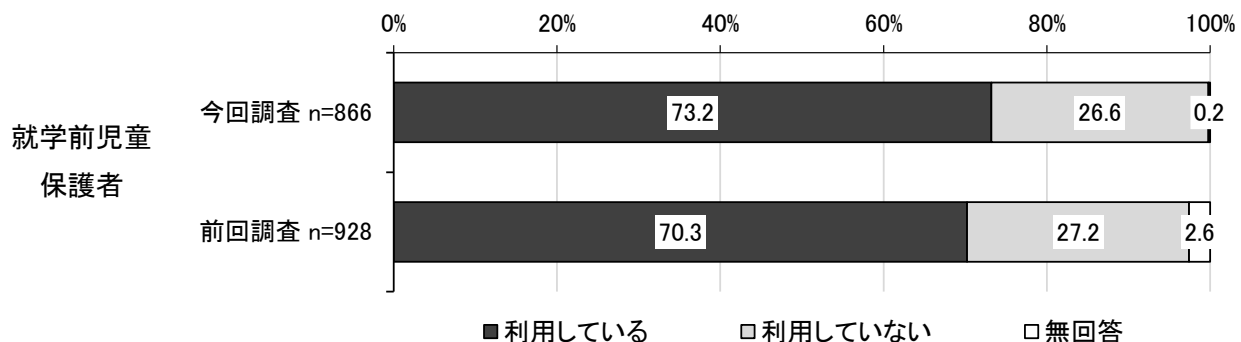
3 教育・保育事業の利用状況について（就学前児童保護者：問 16・17）

教育・保育事業の利用状況は、「利用している」（73.2%）が最も多く、「利用していない」（26.6%）を上回っています。前回調査と比べ「利用している」が2.9ポイント増加しています。

利用している教育・保育事業は、「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」（48.6%）が最も多く、次いで「認定こども園（教育（1号）認定）」（17.8%）、「認可保育所」（17.4%）となっています。前回調査に比べ、「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」が23.8ポイント増加しています。

また、今後利用したい事業では「認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）」が51.0%と多い割合になっており、認定こども園の需要が高まっています。

■教育・保育事業の利用状況



■利用している教育・保育事業

(単位: %)

	幼稚園 (通常の 就園時間 の利用)	幼稚園の 預かり保 育	認定こども 園(教育 (1号)認 定)	認定こども 園の一時 預かり保 育	認可保育 所	認定こども 園(保育 (2号・3 号)認定に よる利用)	小規模保 育施設	家庭的保 育
今回調査 n=634	12.3	4.4	17.8	4.6	17.4	48.6	0.8	0.0
前回調査 n=652	22.7	8.9	26.1	6.1	22.7	24.8	0.3	
	事業所内 保育施設	家庭保育 室	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所	その他	無回答	
今回調査 n=634	0.3	0.0	0.0	1.4	4.3	0.8	2.8	
前回調査 n=652	0.6			0.6	2.6	1.5	0.5	

■今後利用したい事業

(単位: %)

	幼稚園 (通常の 就園時間 の利用)	幼稚園の 預かり保 育	認定こども 園(教育 (1号)認 定)	認定こども 園の一時 預かり保 育	認可保育 所	認定こども 園(保育 (2号・3 号)認定に よる利用)	小規模保 育施設	家庭的保 育
今回調査 n=866	29.0	18.0	24.9	17.0	20.8	51.0	4.2	0.8
前回調査 n=928	16.8	6.7	18.8	4.4	17.0	17.8	0.2	
	事業所内 保育施設	家庭保育 室	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所	その他	無回答	
今回調査 n=866	4.5	0.7	5.1	13.4	5.0	0.8	1.0	
前回調査 n=928	0.5			0.6	1.8	1.3	27.2	

4 保育施設探しについて（就学前児童保護者：問 19）

1 年間での保育施設探しの状況は、「探した・探している」が 20.8%となっており、その割合は 0 歳が最も多く、子どもの年齢が高くなると割合が減少する傾向にあります。

保育施設を探していないと回答した方の探さなかった理由は、「教育施設に入園するつもりだから」（31.8%）が多くなっています。

保育施設探しの結果に満足しているかの設問で、前回調査に比べ、『満足』（満足（希望通り）+まあまあ満足（希望に近い）が 14.2 ポイント増えていることから、保育施設への入所に関して年々保護者の希望に近い入所が可能になっていることが読みとれます。

5 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童保護者：問 20・22）

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」（80.1%）が最も多くなっているものの、年齢によって利用に差があり、0 歳では利用している（27.4%）となっており、年齢が高くなると利用が減少していく傾向にあります。

就学前児童で利用経験のある事業は、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」「児童館」「保育所・幼稚園・認定こども園等の園庭等の開放」「育児ママ・パパリフレッシュ利用券」が 3 割以上となっています。

また、認知度が高い事業ほど、利用経験や利用意向も高い結果となっています。

6 土曜日、日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用

（就学前児童保護者：問 23・24）

定期的な教育・保育事業の利用は、土曜日や日曜日・祝日の利用希望は希望が少なく、「利用する必要がない」が 7 割となっています。土曜日、日曜日・祝日や長期休暇の「ほぼ毎週（毎日）利用したい」という回答に共通して、利用開始時間は 7 時・8 時が多く、利用終了時間は 17 時・18 時が多い利用希望となっています。

また、教育施設を利用されている方の長期休暇中の教育・保育施設の利用希望は「ほぼ毎日利用したい」と「週に数日利用したい」で約 6 割を占めます。

7 子どもが病気の際の対応について（就学前児童保護者：問 25）

子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が「利用できなかったことがあった」保護者の方は 57.0%いました。対処方法は「母親が休んだ」（78.5%）が最も多く、次いで「父親が休んだ」（42.1%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（30.6%）となっています。母親が休んだ日数は「11 日以上」が 33.2%と最も多く、母親の負担が大きい状況です。

8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について（就学前児童保護者：問 26・28）

<不定期の教育・保育事業等の利用>

不定期の教育・保育事業等の利用状況は、「利用していない」（79.1％）が最も多く、次いで「一時預かり」（8.6％）、「幼稚園の預かり保育」（7.7％）となっています。年齢別では、0～1歳では「一時預かり」の利用割合が多く、2～5歳では「幼稚園の預かり保育」が多くなっています。家庭類型別では、「母親か父親のどちらかは在宅」の家庭で、「一時預かり」の利用割合が多く、「ひとり親」の家庭で「幼稚園の預かり保育」の利用割合が多くなっています。

不定期に事業を利用している人は少ない状況ですが、利用している事業では、子どもが大きくなると「幼稚園の預かり保育」の利用が多くなっています。

<宿泊を伴う一時預かり>

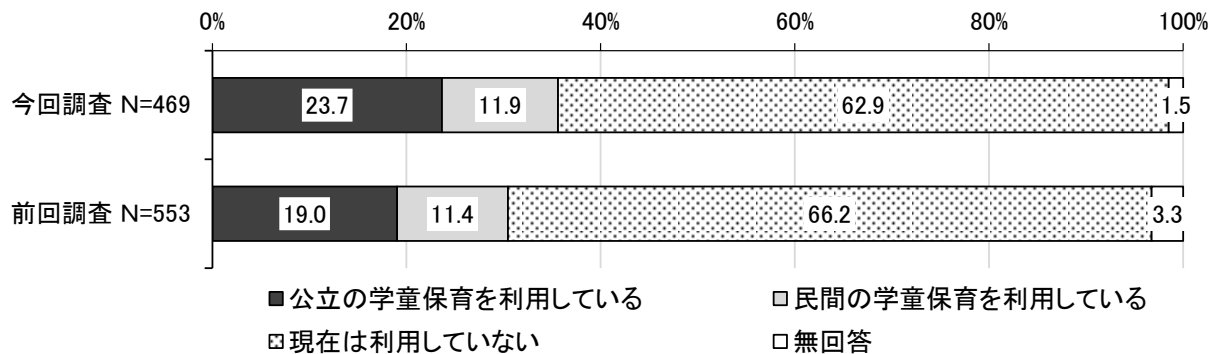
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、泊りがけの家族以外の保育事業の利用については、「利用したい」が10.5％にとどまっています。

9 放課後の過ごし方について（就学前児童保護者：問 29／小学生児童保護者：問 12・13・14）

小学生の学童保育の利用状況は、「現在は利用していない」（62.9％）が最も多い割合です。前回調査と比べ「現在は利用していない」が3.3ポイント減少しています。

希望する放課後の過ごし方は、小学校1～3年生では「自宅」（52.9％）、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（49.5％）、「公立の学童保育」（31.6％）の順で多く、小学校4～6年生では「自宅」（57.3％）、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（45.0％）、「その他（公民館、公園など）」（17.0％）の順で多くなっています。「自宅」「その他（公民館、公園など）」の割合は、小学校1～3年生に比べ小学校4～6年生の方が多くなっています。

■学童保育の利用状況（小学生児童保護者）



■希望する放課後の過ごし方（小学校1～3年生）

（単位：％）

	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事（音 楽、スポー ツ、学習 塾等）	児童館	放課後子 ども教室	公立の学 童保育
今回調査 n=206	52.9	11.2	49.5	5.8	6.3	31.6
前回調査 n=276	63.8	14.5	59.1	5.4	5.1	51.8
	民間の学 童保育	ファミリー サポート・ センター	放課後等 デイサー ビス	その他（公 民館、公 園など）	無回答	
今回調査 n=206	15.0	1.5	4.4	12.6	2.9	
前回調査 n=276	12.7	0.4	1.8	18.8	1.1	

■希望する放課後の過ごし方（小学校4～6年生）

（単位：％）

	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事（音 楽、スポー ツ、学習 塾等）	児童館	放課後子 ども教室	公立の学 童保育
今回調査 n=440	57.3	10.9	45.0	5.0	7.7	16.6
前回調査 n=274	75.5	15.0	63.5	5.8	8.0	23.0
	民間の学 童保育	ファミリー サポート・ センター	放課後等 デイサー ビス	その他（公 民館、公 園など）	無回答	
今回調査 n=440	8.6	1.6	2.7	17.0	17.3	
前回調査 n=274	4.7	1.1		18.3	0.7	

※今回調査のn値では、1～3年生と4～6年生を合計した人数。

※前回調査では、「放課後デイサービス」と「その他」を合計。

令和6年度入学予定児（5歳児）の、小学校1～3年生までの希望する放課後の過ごし方は、「公立の学童保育」（48.6%）が最も多く、次いで「自宅」（42.8%）となっています。また、4～6年生になった時の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」（51.4%）が最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（44.2%）となっています。

小学生児童の、小学校1～3年生までの希望する放課後の過ごし方は、「自宅」（52.9%）が最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（49.5%）、小学校4～6年生になった場合の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」（76.7%）が最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（13.1%）となっています。

小学校4～6年生の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」（57.3%）が最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（45.0%）となっています。

小学生児童の放課後の過ごし方として、学童保育の利用は小学校1～3年生までは利用が多く、ニーズも高いことがうかがえますが、学年が上がると利用は減っています。

希望する過ごし方では、自宅や習い事の意向が**多く**、学童保育の利用意向は学年が上がると減っていく傾向にあり、現状の利用状況とも一致しています。

令和6年度就学予定児（5歳児）の希望する放課後の過ごし方も、おおむね小学生児童と同様の傾向となっていますが、1～3年生の公立学童保育への利用意向は48.6%あり、就労を希望する母親も多いことから、一定のニーズはあると考えられます。

また、土曜日、日曜日・祝日は利用意向が少なくなっていますが、長期休暇での利用意向が多く、ニーズの高さがうかがえます。

10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童保護者：問 31）

育児休業制度の利用状況は、母親は「取得した（取得中である）」（58.9%）が最も多いのに対して、父親は「取得した（取得中である）」が 17.9%となっています。

前回調査と比べ、「取得した（取得中である）」が母親は 13.2 ポイント増加し、父親は 13.4 ポイント増加しています。年齢別では、0 歳児の母親（67.1%）が最も多くなっています。

育児休業制度を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」（42.2%）が最も多く、次いで「その他」（22.2%）、「保育園などに預けることができた」（17.8%）となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」（47.5%）が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（43.6%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（30.5%）となっています。

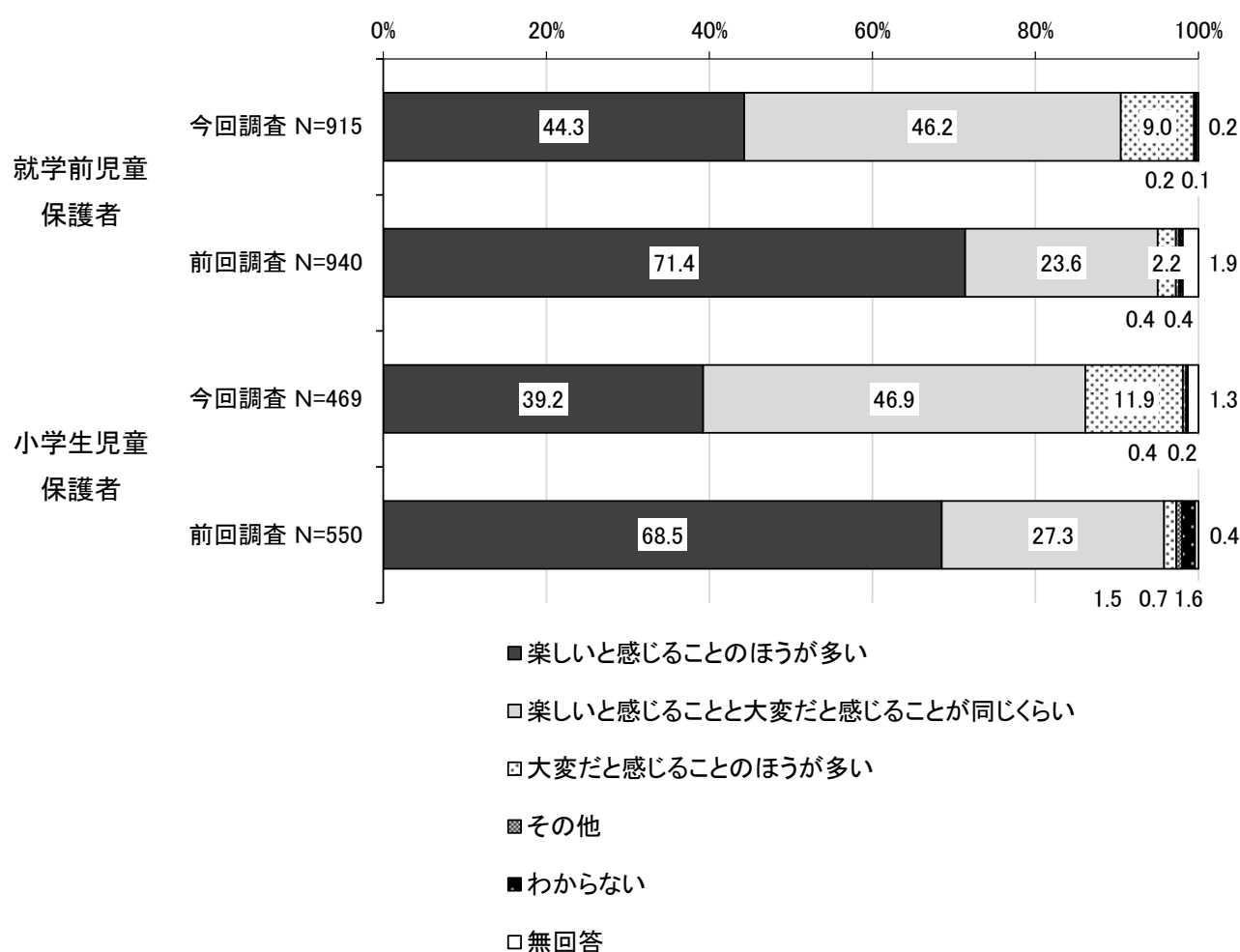
このことから、仕事と子育てや家事の両立に難しさを感じる女性が多くいることや男性では職場内で育児休業に関する理解が得られていない状況が多いことがうかがえます。

11 子育て全般について（就学前児童保護者：問 32・33／小学生児童保護者：問 17・18）

子育てについて、就学前児童保護者及び小学生児童保護者ともに「楽しいと感じることと大変だと感じる事が同じくらい」が最も多く、就学前児童保護者が 46.2%、小学生児童保護者が 46.9% となっています。前回調査と比べて、就学前児童保護者で 22.6 ポイント、小学生児童保護者で 19.6 ポイント増加しています。

また、必要な子育て支援・対策については、就学前児童保護者では「仕事と家庭生活の両立」（45.2%）・小学生児童保護者においても「仕事と家庭生活の両立」（44.3%）が最も多く、次いで就学前児童保護者では「地域における子育て支援の充実」（40.0%）・小学生児童保護者では「※経済的な支援」（40.3%）となっており、三番目は、就学前児童保護者は「※経済的な支援」（36.2%）・小学生児童保護者は「地域における子育て支援の充実」（35.2%）となっています。

■子育て全般について



※選択肢の表現を、

「前回調査：楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」→

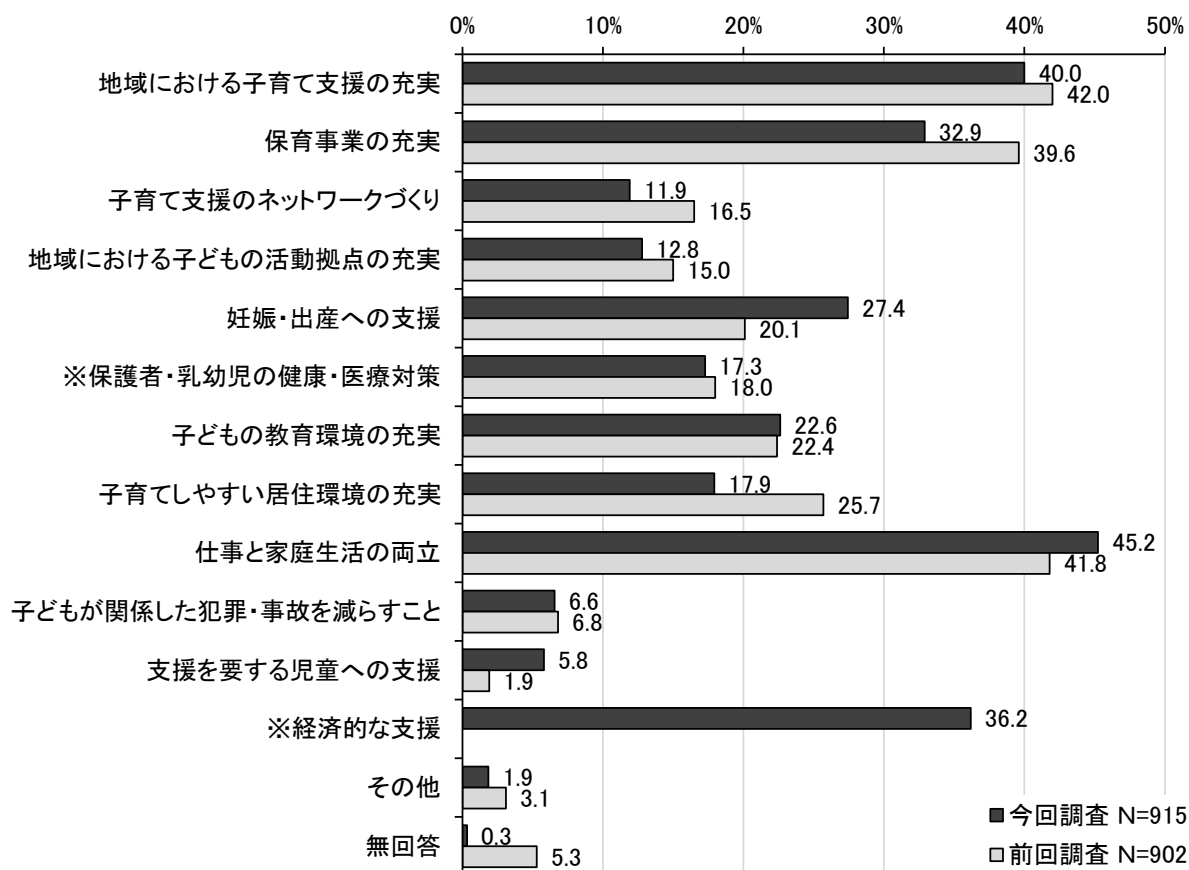
「今回調査：楽しいと感じることと大変だと感じる事が同じくらい」

「前回調査：つらいと感じることの方が多い」→

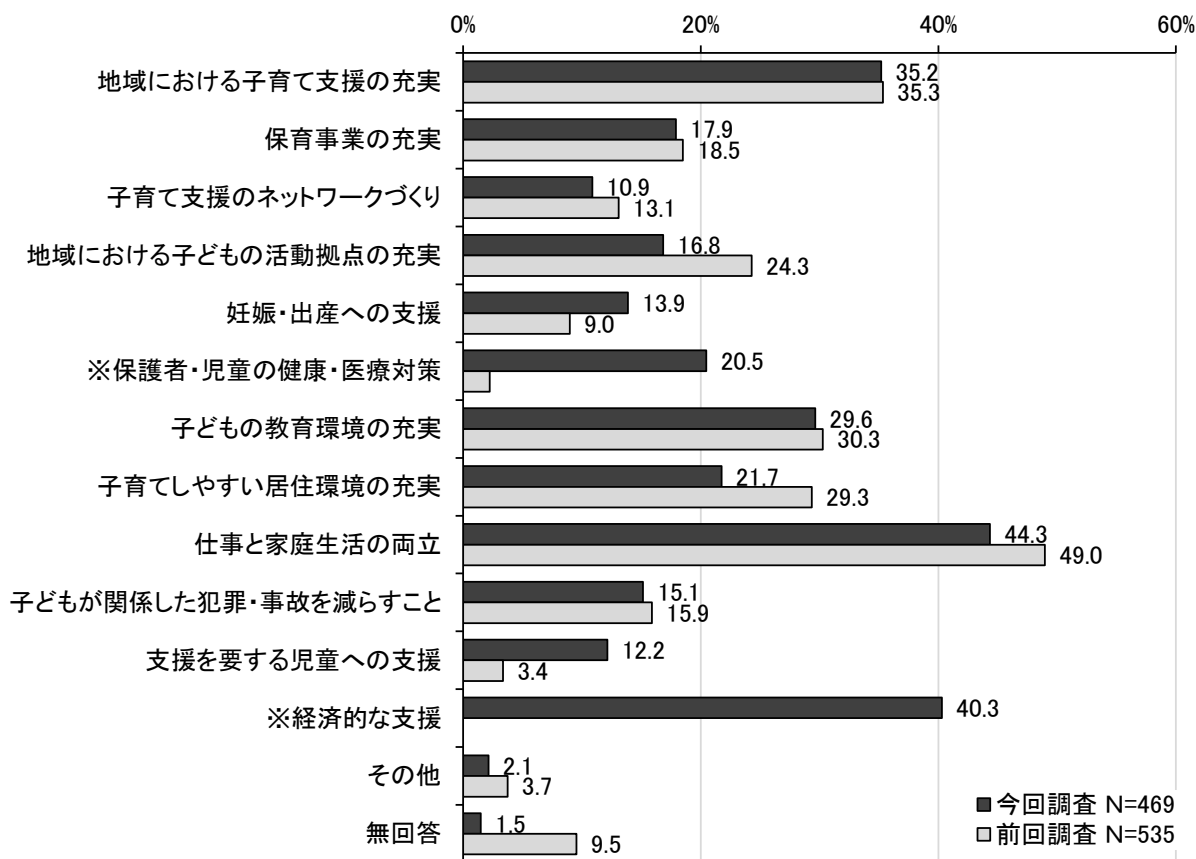
「今回調査：大変だと感じることの方が多い」

上記に変更しております。

■必要な子育て支援対策—就学前児童保護者



■必要な子育て支援対策—小学生児童保護者



※は、今回調査から追加及び表現を変更している選択肢となります。

12 子育て環境をつくっていくために下野市に期待すること

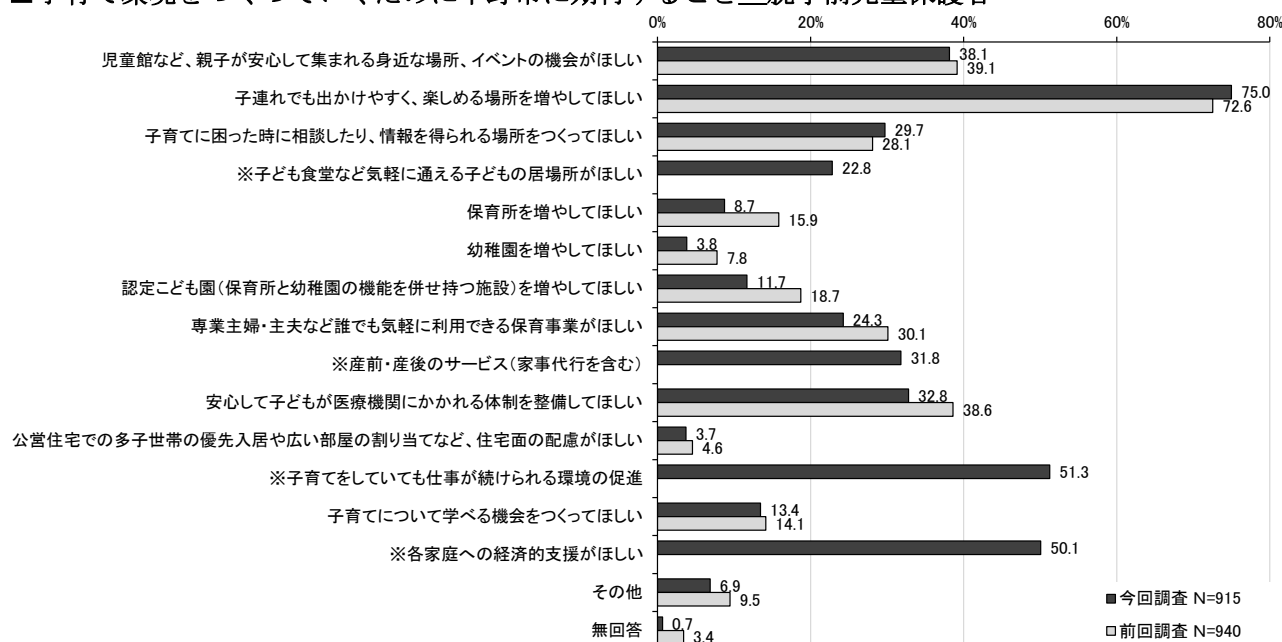
(就学前児童保護者：問 38／小学生児童保護者：問 20)

子育て環境について、就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」が最も多く、就学前児童保護者が 75.0%・小学生児童保護者が 50.7% となっています。

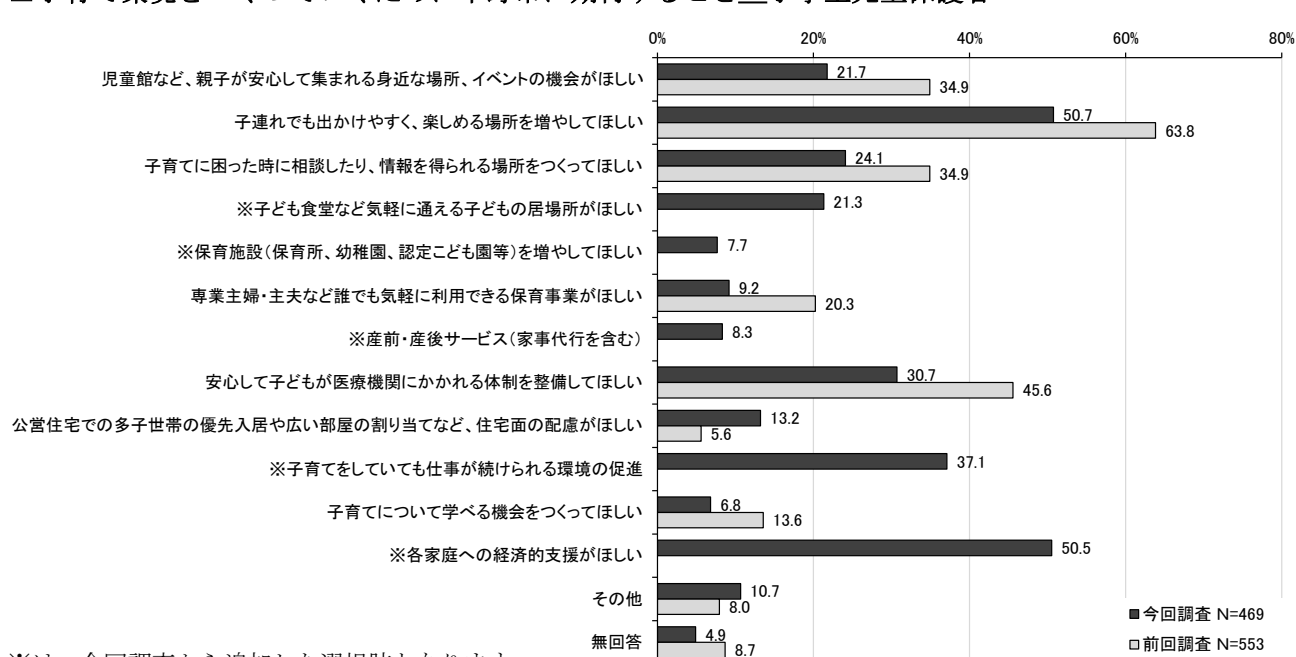
次いで、就学前児童保護者は「※子育てをしても仕事が続けられる環境の促進」(51.3%／新規選択肢)・小学生児童保護者は「※各家庭への経済的支援がほしい」(50.5%／新規選択肢)となっています。

新規選択肢である、子育て環境や経済面の支援に関する割合が多くなっています。前回調査同様子連れでも楽しめる場所や医療機関に関する整備に関して割合が多くなっていましたが、現在の需要として、働きながら子育てが出来る環境や子育て等による経済的な支援が高まっています。

■子育て環境をつくっていくために下野市に期待すること_就学前児童保護者



■子育て環境をつくっていくために下野市に期待すること_小学生児童保護者



※は、今回調査から追加した選択肢となります。

下野市子育て支援ニーズ調査 結果報告書

発行：令和6年3月

編集：栃木県下野市健康福祉部子育て応援課

〒329-0492

栃木県下野市笹原 26（庁舎 1 階）

電話：0285-32-8903 FAX：0285-32-8603